

豊田市高齢者等実態調査結果報告書
(令和7年度)

令和8年3月

豊田市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査方針（調査項目設定）	1
3 調査方法	1
4 集計・分析にあたって	4
5 調査結果のまとめ	5
第2章 高齢者調査	12
1 回答者の属性や生活状況	12
2 からだを動かすことについて	20
3 食べることについて	31
4 毎日の生活について	35
5 地域での活動について	47
6 たすけあいについて	57
7 健康について	67
8 認知症にかかる相談窓口の把握について	78
9 住まいや医療・看護について	82
10 日常生活の自立・回復について	86
11 地域の資源について	89
12 時系列分析（前回（令和4年）との比較）	95
第3章 認定者調査	102
1 本人の属性	102
2 在宅での生活について	106
3 介護の状況について	120
4 主な介護者の状況について	122
5 介護について	125
6 介護と就労の両立について	129
第4章 在宅生活改善調査	132
1 事業所について	132
2 高齢者福祉等について	140
3 自宅等から居場所を変更した利用者について	142
4 在宅生活の維持が難しくなっている利用者について	144
第5章 居所変更実態調査	157
1 事業所について	157

2 新規の入所・入居者について.....	163
3 退去者について.....	164
第6章 介護事業者（法人）調査.....	168
1 法人について.....	168
2 運営について.....	170
3 介護職員について.....	175
第7章 介護事業者（事業所）調査.....	187
1 事業所について.....	187
2 訪問介護の提供状況について.....	190
3 事業所の運営について.....	191
4 人材の確保・職場定着について.....	195
5 介護人材の状況について.....	208
第8章 調査票.....	215

第1章 調査の概要

1 調査の目的

令和8年度に策定する「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）」（以下「第10期計画」といいます。）に、市民及び関係機関の意見を反映させるとともに、高齢者を取り巻く状況について基礎資料を得るため、各種調査を行いました。

2 調査方針（調査項目設定）

国が推奨する介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（高齢者・要支援者向け）、在宅介護実態調査（認定者向け）、在宅生活改善調査・居所変更実態調査・介護人材実態調査をベースに、第9期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の重点施策の進捗、前回調査からの経年変化を確認する事項、新たに検討が必要と思われる視点などを加えて調査項目を設定しています。

3 調査方法

高齢者や認定者など当事者、ケアマネジャーや事業者など関係機関にアンケート調査を行うとともに、統計データ・既存の市のアンケート調査などの活用を図りました。

主な調査内容は次の通りです。

○アンケート調査

・調査対象

高齢者	65 歳以上（要介護と認定されていない）の人
要支援者等	要支援と認定されている人、及び、介護予防・生活支援サービス事業対象者
要介護認定者	在宅の要介護認定者（介護保険施設・グループホームの入居者、特定施設入居者生活介護の利用者、入院中の方は対象外）
在宅生活改善（居宅介護支援事業所）	市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センター※
居所変更実態（施設・居住系）	住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、グループホーム、特定施設入居者生活介護、特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院※
介護事業者（法人）	市内の介護サービスを提供している法人※
介護事業者（事業所）	市内の介護サービス等を提供している事業所（住宅型有料老人ホーム、ケアハウスを含み、住宅改修・福祉用具貸与・特定福祉用具販売・居宅療養管理指導等を除く）※

* 高齢者、要支援認定者・事業対象者、要介護認定者は、令和 7 年 9 月 1 日現在の対象者から無作為抽出

※は全数調査

・調査方法等

各アンケート共通	郵送配布・郵送回収 （高齢者、要支援者等は WEB 回答も可能） 令和 7 年 10～11 月に実施
----------	--

・主な設問

高齢者	属性、日常生活、社会参加、健康、介護リスク、高齢者福祉・医療、地域の資源
要支援者等	高齢者と同様
要介護認定者	属性、介護の状況、高齢者福祉、主な介護者、仕事と介護の両立
在宅生活改善（居宅介護支援事業所）	【事業所票】事業所の属性、利用者、ケアプラン、高齢者福祉、居所変更 【利用者票】生活の維持が難しくなっている利用者の状況、状況を改善するためのサービス
居所変更（施設・居住系）	事業所の属性、入所・入居者、退去者
事業者（法人）	法人の属性、事業、介護人材
事業者（事業所）	事業所の属性、事業所の運営、人材の確保、介護人材の状況

・回収結果

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
高齢者	3,000	2,329	77.6%	2,322	77.4%
要支援者等	2,000	1,457	72.9%	1,455	72.8%
要介護認定者	2,000	1,216	60.8%	1,136**	56.8%
在宅生活改善（居宅介護支援事業所）	111	87	78.4%	87	78.4%
居所変更（施設・居住系）	122	88	72.1%	88	72.1%
事業者（法人）	181	101	55.8%	101	55.8%
事業者（事業所）	503	308	61.2%	308	61.2%

* Webを通じた回答は、高齢者 252、要支援者等 77

** 国のモデル調査票の定義を踏まえ、入院中・入所中の人を除いています。

4 集計・分析にあたって

- ・回答の比率は、その設問に該当する回答者数を基数（n）として算出しました。したがって、複数回答の設問については、全ての比率を合計すると100%を超えます。
- ・回答率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しました。したがって、単数回答の場合であっても、比率の合計が100%にならない場合があります。
- ・本報告書の表、グラフ等の見出しおよび文書中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。
- ・各クロス集計には、年齢、性別、居住地域、世帯、認定状況等について無回答があります。
- ・居住地域は、下図の通り8つの日常生活圏域ごとに集計しています。

○豊田市の日常生活圏域



5 調査結果のまとめ

(1) 高齢者・要支援者等

○回答者の属性や生活状況

- ・ 回答者について、一般高齢者は70歳代、要支援者等は80歳代の割合が比較的高くなっています。
- ・ 家族構成について、要支援者等は「1人暮らし」の割合が一般高齢者と比べ高くなっています。介護・援助をしてくれる人の居住地については、「同居している、隣近所」「車などで10～30分以内の所」など比較的近くの割合が高くなっています。

○外出頻度について

- ・ 外出頻度について、要支援者等は一般高齢者と比べて「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。外出頻度は、新型コロナウイルス感染症の影響があった前回（令和4年）と比べると、増加しています。外出を控える要因として、「足腰などの痛み」「外での楽しみがない」「トイレの心配」「交通手段がない」「病気」などの回答がみられます。

○毎日の生活について

- ・ 生きがいや楽しみについて、「家族や孫との交流」「テレビやラジオの視聴・聴取」「友人や知人との交流」「散歩や買い物などの近所への外出」などの回答がみられます。

○地域での活動について

- ・ 会・グループ等への参加状況について、一般高齢者は「ボランティア活動」、認定者は「介護予防のための通いの場」の割合が増加しています。
- ・ 会・グループ等に参加しない理由について、一般高齢者は「興味がない」「なんとなく」「人が集まる場所は苦手」、要支援者等は「病気や障がい」が上位となっています。

○たすけあいについて

- ・ 家族や友人・知人以外の相談相手について、一般高齢者は「そのような人はいない」、要支援者等は「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・市役所・支所」の割合が高くなっています。

○健康・幸せ感について

- ・ 前回（令和4年）と比べて、主観的健康観は低下しています。
- ・ 幸せ感について、一般高齢者で高い人（9～10点）がやや減少し、要支援者等は前回（令和4年）と同じ傾向です。外出頻度、社会参加、友人・知人と話す頻度、心配や愚痴を話す人がいる高齢者は幸せ感が高い傾向がみられます。
- ・ 各種リスクのある高齢者について、認知機能低下、うつ傾向、転倒の割合が比較的高くなっています。これらのリスクは年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。

○認知症にかかる相談窓口の把握について

- ・ 認知症にかかる相談窓口について、認知度は3割程度と限定的です。認知症の人と家族への支援については、「相談」「予防や早期発見・早期対応」の割合が高くなっています。

○人生の最期を迎えたい場所について

- ・ 人生の最期を迎えたい場所について、「自宅・家族の家」「病院」「施設やサービス付き高齢者向け住宅等」の順に割合が高くなっています。

○日常生活の自立・回復について

- ・ 短期的なリハビリテーションについては、事業対象者を始め関心が高く、「料金」「自宅からの距離」「送迎」「自分に合った方法で受けられるか」などが懸念事項として回答されています。

○地域の資源について

- ・ 住んでいる地域について、「認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる」について「そう思う」「ややそう思う」の割合が低くなっています。
- ・ 介護保険料については、「増加はやむをえない」と「サービス水準を下げた保険料を高くしない」が同程度の割合で意見が分かれています。

(2) 要介護認定者

○本人の属性

- ・ 回答者は、80歳以上、要介護1・2が多くなっています。

○在宅での介護について

- ・ 介護保険サービスの利用については、通所系、訪問系、短期入所の順に多くなっています。
- ・ 介護保険外のサービスについて、約2割の人が利用しており、「配食」「外出同行」「移送サービス」「見守り、声かけ」などのニーズがみられます。
- ・ 施設等への入所・入居について、「すでに入所・入居申し込みをしている」が約1割（サービス付き高齢者向け住宅等の入居者を除く）で、要介護3以上、認知症状が重い人の割合が高くなっています。

○介護者について

- ・ 不安に感じる介護として、「認知症状への対応」「排泄」「外出の付き添い・送迎」、自宅での介護を断念する理由としては、「認知症等による問題行動」「排せつ」が上位となっています。
- ・ 就労している介護者は、労働時間の調整や休暇など働き方の調整をしながら両立を図っています。

○認知症の人と家族への支援に必要な取り組み

- ・ 認知症の人と家族への支援については、「相談」「予防や早期発見・早期対応」「当事者の意見を聴き施策に反映」の割合が高くなっています。

○地域の資源について

- ・ 住んでいる地域について、「必要な介護保険サービスを受けること」への評価が高く、「認知症の人の地域での暮らし」については評価が分かれています。
- ・ 介護保険料については、「保険料負担の増加はやむをえない」が多くなっています。

(3) 在宅生活改善（居宅介護支援事業所）

○利用者の状況

- ・ 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用、地域の助け合いやボランティア団体による支援の受け入れ、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に

取り組む利用者は限定的です。

○ケアプラン作成におけるニーズ

- ・ ケアプランを作成する上で不足することとして、「訪問系の居宅サービス」「介助が可能な移送支援サービス」「近所・地域の支援」の割合が比較的高くなっています。

○訪問介護の利用状況

- ・ 業務多忙・人手不足を理由に訪問介護の利用が十分にできない人は87人（推計値）となっています。

○社会参加の実現について

- ・ 利用者の社会参加の実現に向けた課題として、「インフォーマルな資源の不足」「本人や家族介護者の意欲」の割合が高くなっています。

○認知症の人と家族への支援に必要な取り組み

- ・ 認知症の人への支援については、「住民による助け合い」「住民の理解」「当事者の社会参加」「相談・助言」などが上位となっています。

○在宅生活の維持が難しくなっている利用者について

- ・ 在宅での生活が難しくなっている利用者は、要介護2以下の独居もしくは高齢者夫婦世帯が多くなっています。現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている主な要因は、「認知症」「身体介護」「生活支援」などとなっています。
- ・ 生活の改善に向けて、特別養護老人ホーム、グループホーム、住宅型有料老人ホーム、ショートステイ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護などの利用が上位にげられています。

(4) 居所変更実態（施設・居住系）

- ・ グループホーム、住宅型有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどから回答を得ています。
- ・ 回答した施設等において対応可能な医療処置として、「褥瘡の処置」「ストーマの処置」「インスリン注射」「酸素療法」「経管栄養」「カテーテル」などは割合が高く、「中心静脈栄養」「レスピレーター」「気管切開の処置」「モニターの測定」は低くなっています。

- ・ 入所・入居前の居場所は「自宅」「病院・診療所」の割合が高くなっています。
- ・ 退去先としては、「病院・診療所」「自宅」「特別養護老人ホーム」の順に多くなっています。退去理由は、「医療的ケア・医療措置」が多く、「身体介護」「費用負担」「認知症」などの回答もみられます。
- ・ 「死亡」(搬送先の医療機関を含む)の割合は、住宅型有料老人ホームで5割、特定施設、介護医療院、特別養護老人ホームで4割程度となっています。

(5) 介護事業者（法人）

○事業所の規模について

- ・ 回答法人の市内事業所で介護保険サービスに従事する従業員数は、「10～19人」「20～49人」「5～9人」の順に割合が高くなっています。

○運営について

- ・ 拡大・新たに実施したいサービスとして、介護保険サービスでは「居宅介護支援」「訪問看護」、介護保険以外のサービスでは「移動、外出支援サービス」などが回答されていますが、どちらの設問においても「特にない」「無回答」の割合が高くなっています。

○人材について

- ・ 豊田市内の従業員数は、2年間で約10%増加しています。
- ・ 人材不足の職種として、「介護職」「看護職」「ケアマネジャー」の順に割合が高くなっています。
- ・ 介護職員の採用につながった取組について、新卒採用は「自社の説明会・ホームページ」「学校や介護実習等でのPR」、中途採用は「有料職業紹介」「ハローワーク」「求人サイト・情報誌」「職員の口コミ」、非正規職員は「職員の口コミ」「有料職業紹介」「ハローワーク」「求人サイト・情報誌」の順に割合が高くなっています。
- ・ 職場定着に効果があった取組は、「賃金水準の向上」「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」「人間関係が良好な職場づくり」などが回答されています。

(6) 介護事業者（事業所）

○事業所について

- ・ 回答事業所について、従業員数は「10～19人」「5～9人」、提供しているサービスは訪問系、通所系、短期入所、居住系、施設系、居宅介護支援など多様です。

○事業所の運営について

- ・ 職場環境の魅力について、仕事の内容・やりがい、有給休暇の取りやすさ、柔軟な働き方（ワークライフバランス）、職場の人間関係は「他産業と比較しても魅力がある」の割合が比較的高く、賃金水準、人事評価等は割合が比較的低くなっています。
- ・ 事業所運営の課題は、「職員の採用」「職員の育成」「利用者の確保」の割合が高くなっています。

○人材の確保・職場定着について

- ・ 稼働状況について、「人員が不足していて、受入数を制限せざるを得ない」「人員体制は整っているが、利用ニーズが少ない（稼働に余裕がある）」の双方の回答がみられます。業種別でみると、訪問系で「人員が不足していて、受入数を制限せざるを得ない」の割合が比較的高くなっています。一方、居宅介護支援で「人員体制は整っているが、利用ニーズは少ない（稼働に余裕がある）」と回答する割合が高くなっています。
- ・ 人材確保について、市には「介護人材の採用に関する支援」「介護人材の育成に関する支援」「介護の魅力発信や啓発」などのサポートが期待されています。
- ・ 介護職員の職場定着に向けて効果を感じることで、「賃金水準の向上」「柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進」「人間関係が良好な職場づくり」「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」などの回答がみられます。
- ・ サービス需要と供給のバランスをとるのに必要な介護職員の合計は162人（推計値）となっています。
- ・ 介護職員の離職率は1年間で13.0%となっています。介護職員の離職理由は「家庭の事情」「職場の人間関係」「腰痛など身体的負担」の割合が高くなっています。

○介護人材の状況について

- ・ 介護職員を年齢別にみると、40歳代、50歳代の女性が比較的多くなっています。業種別では、訪問系・通所系は40～59歳の非常勤が比較的多く、居住系・施設系は常勤職員の割合が高くなっています。
- ・ 新任・転任について、他の介護事業所からの転職（別法人・グループ）が最も多く、次いで新卒、他業界からの転職の順に多くなっています。なお、新卒、他業界からの転職で約4割を占めています。

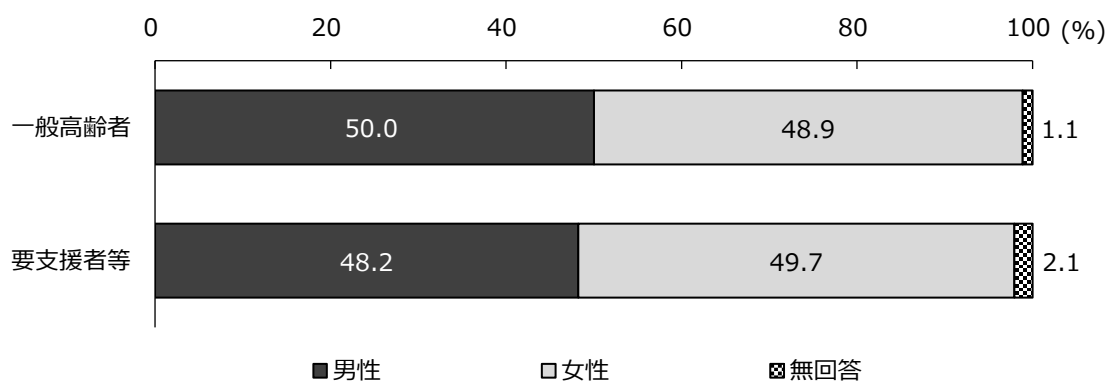
第2章 高齢者調査

1 回答者の属性や生活状況

(1) 本人の性別

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者は、「男性」が50.0%、「女性」が48.9%となっています。要支援者等は、「男性」が48.2%、「女性」が49.7%となっています。

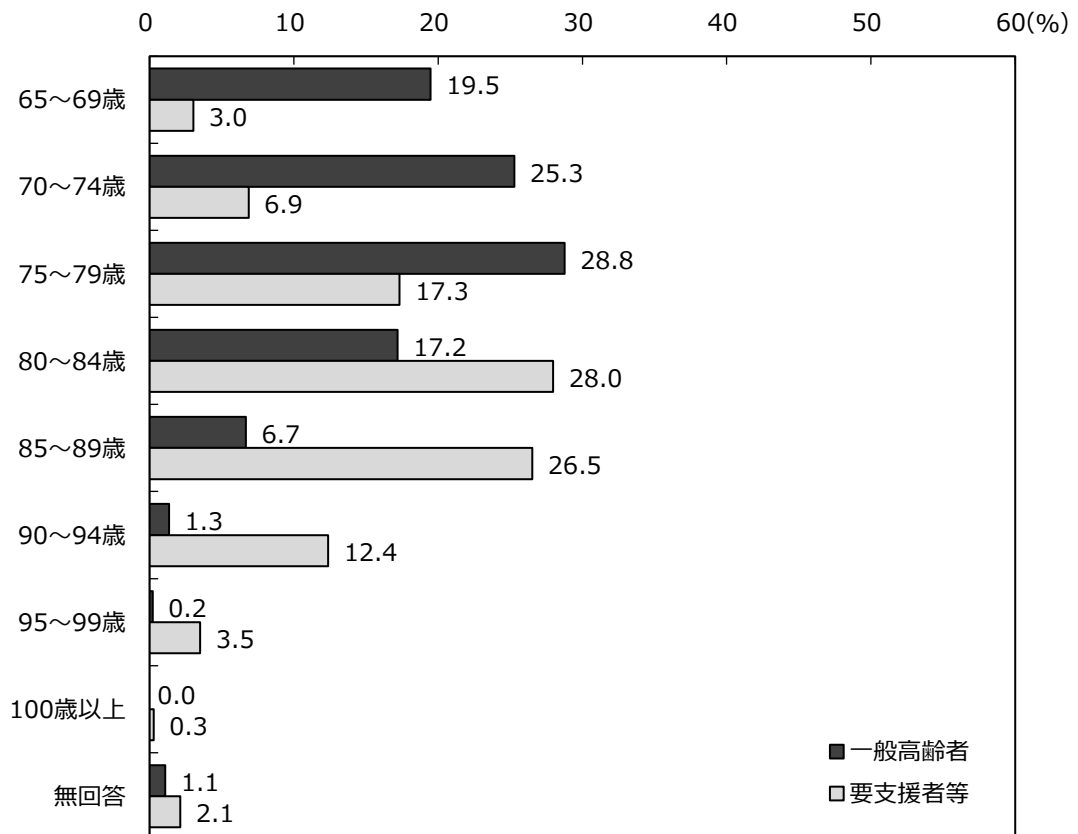


(2) 本人の年齢

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「75～79 歳」が 28.8%と最も高く、次いで「70～74 歳」(25.3%)、「65～69 歳」(19.5%) の順に高くなっています。

要支援者等では、「80～84 歳」が 28.0%と最も高く、次いで「85～89 歳」(26.5%)、「75～79 歳」(17.3%) の順に高くなっています。

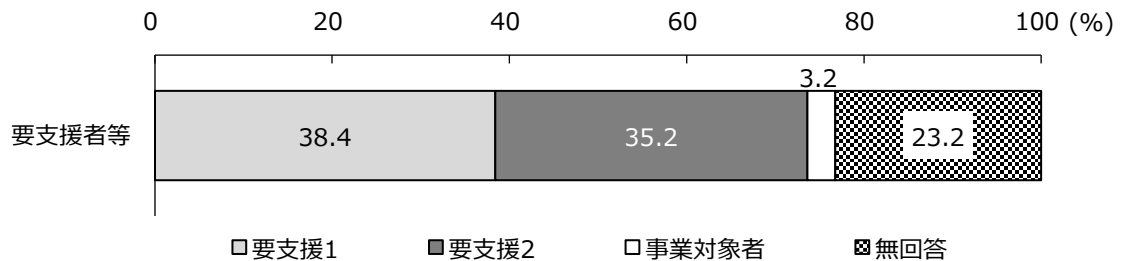


(3) 要介護状態区分

n=1,455 (要支援者等)

要支援者等の内訳として、「要支援 1」が 38.4%、「要支援 2」が 35.2%、「事業対象者」*が 3.2%となっています。

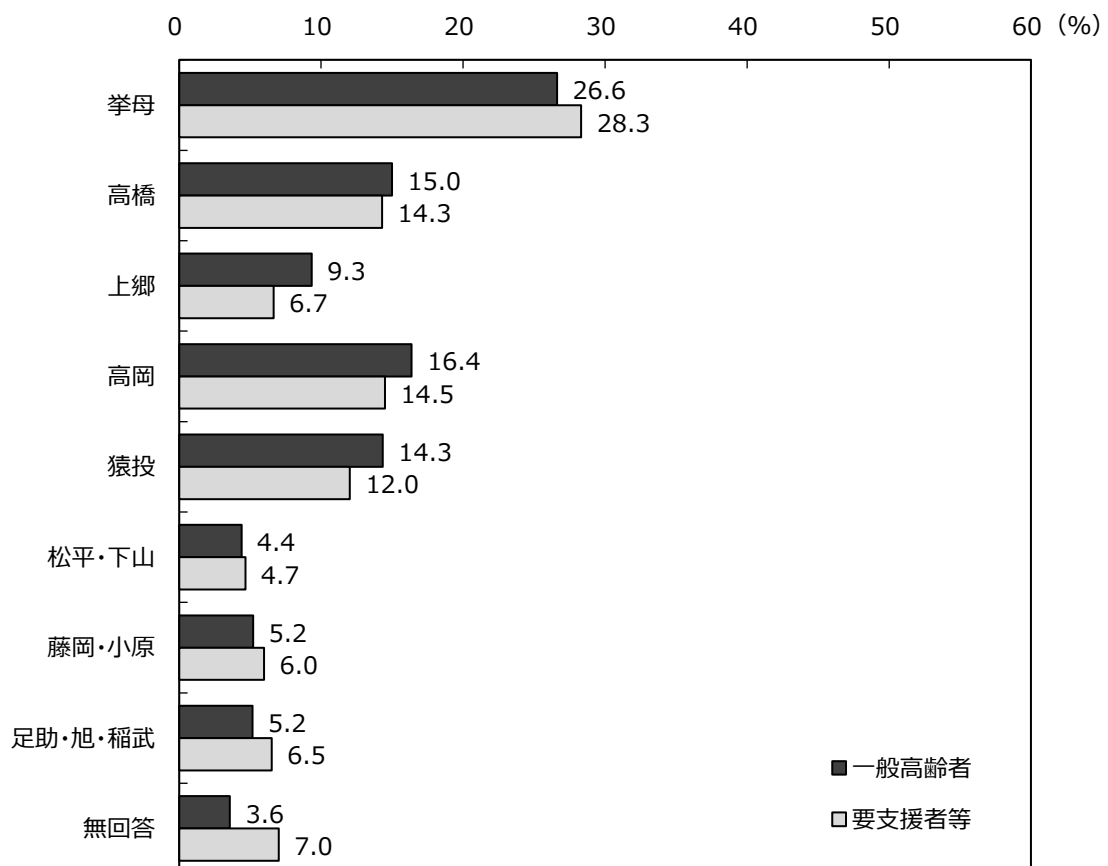
*介護予防・生活支援サービス事業対象者（要支援認定者を除く）



(4) 居住地域

n=2,322 (一般高齢者) 、1,455 (要支援者等)

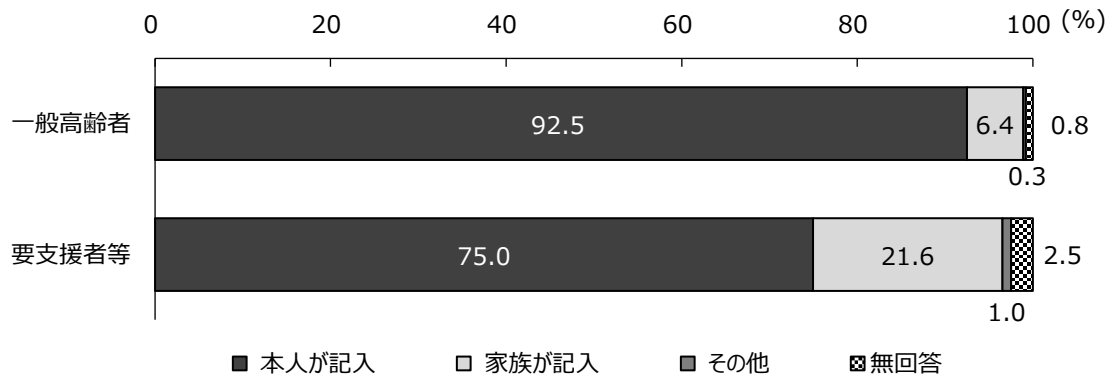
一般高齢者、要支援者等ともに、「拳母」が 26.6%、28.3%と最も高く、次いで「高岡」(16.4%、14.5%)、「高橋」(15.0%、14.3%) の順に高くなっています。



(5) 調査票の記入者

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者は、「本人が記入」が92.5%、「家族が記入」が6.4%となっています。要支援者等は、「本人が記入」が75.0%、「家族が記入」が21.6%となっています。

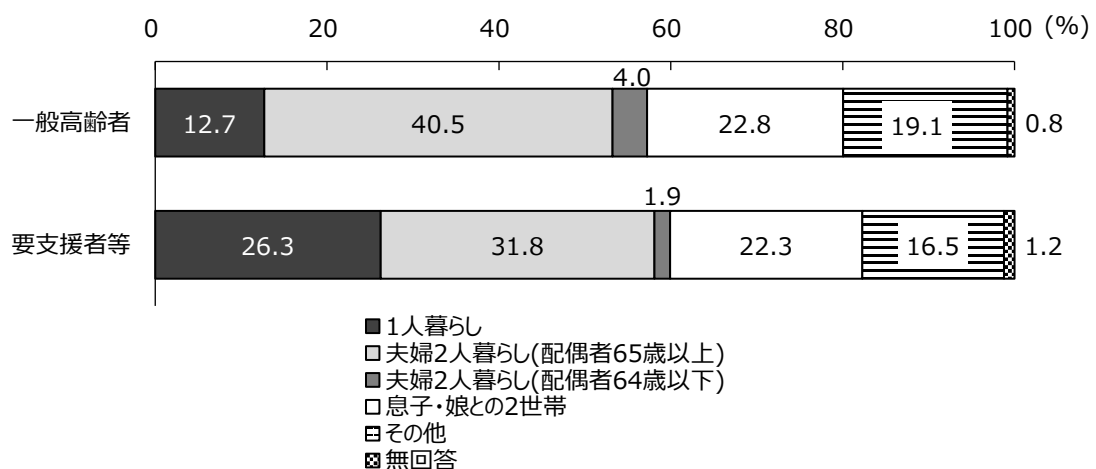


(6) 家族構成

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が40.5%、31.8%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では、「息子・娘との2世帯」(22.8%)が、要支援者等では「1人暮らし」(26.3%)が高くなっています。

日常生活圏域別でみると、一般高齢者は足助・旭・稲武で、要支援者等は藤岡・小原、足助・旭・稲武で「1人暮らし」の割合が他の圏域と比べて高くなっています。



単位：%

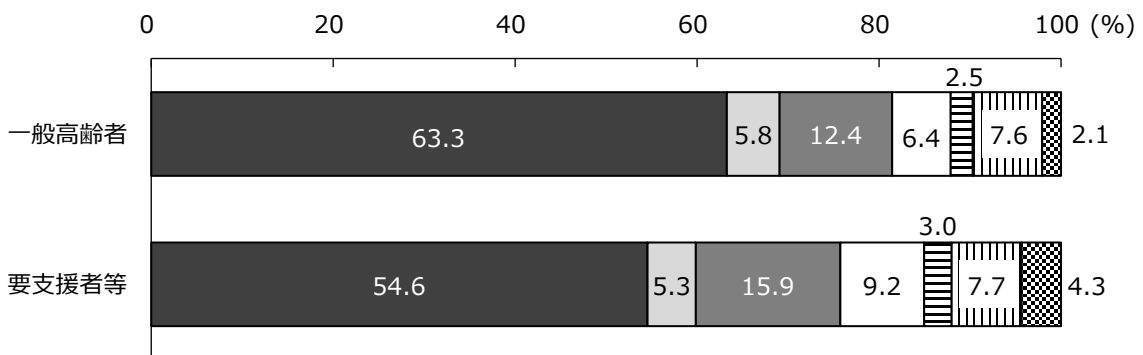
		n	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	11.4	39.9	6.5	20.2	21.5	0.5
		75～84歳	1,067	13.3	42.3	2.3	23.4	17.4	1.2
		85歳以上	191	14.7	34.6	0.0	32.5	17.8	0.5
	日常生活圏域	拳母	618	15.4	41.7	5.3	19.4	16.7	1.5
		高橋	348	10.3	43.7	3.2	25.3	17.2	0.3
		上郷	217	11.1	40.1	3.7	21.2	23.5	0.5
		高岡	380	11.3	36.6	3.4	26.1	22.1	0.5
		猿投	333	10.2	41.7	3.9	24.0	19.5	0.6
		松平・下山	102	5.9	38.2	2.9	28.4	23.5	1.0
		藤岡・小原	121	9.9	39.7	5.8	24.0	20.7	0.0
		足助・旭・稲武	120	19.2	43.3	2.5	17.5	15.8	1.7
	要支援	認定等	要支援1	559	29.3	31.7	1.4	21.5	15.2
要支援2			512	25.2	31.4	2.0	21.7	18.6	1.2
事業対象者			46	17.4	34.8	2.2	28.3	15.2	2.2
日常生活圏域		拳母	412	25.7	31.3	2.2	24.0	16.3	0.5
		高橋	208	30.3	33.2	1.9	19.7	14.4	0.5
		上郷	97	24.7	25.8	0.0	32.0	16.5	1.0
		高岡	211	22.7	33.6	1.4	28.0	13.3	0.9
		猿投	175	22.3	36.6	2.9	20.6	17.1	0.6
		松平・下山	68	16.2	42.6	0.0	23.5	17.6	0.0
		藤岡・小原	87	27.6	24.1	3.4	20.7	21.8	2.3
		足助・旭・稲武	95	33.7	30.5	0.0	15.8	17.9	2.1

(7) 介護・援助をしてくれる人の居住地

■ あなたに介護が必要になった時に、主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「同居している、隣近所」が63.3%、54.6%と最も高く、次いで「車などで10～30分以内の所」(12.4%、15.9%)が高くなっています。一般高齢者では、「介護や援助を期待できる人はいない」(7.6%)、要支援者等では「日帰りで帰れる所」(9.2%)が続きます。



■同居している、隣近所 □車などで10分かかる所 ■車などで10～30分以内の所 □日帰りで帰れる所 ▨遠方で日帰りは難しい所 □介護や援助を期待できる人はいない ▩無回答

(8) 介護・介助の必要性

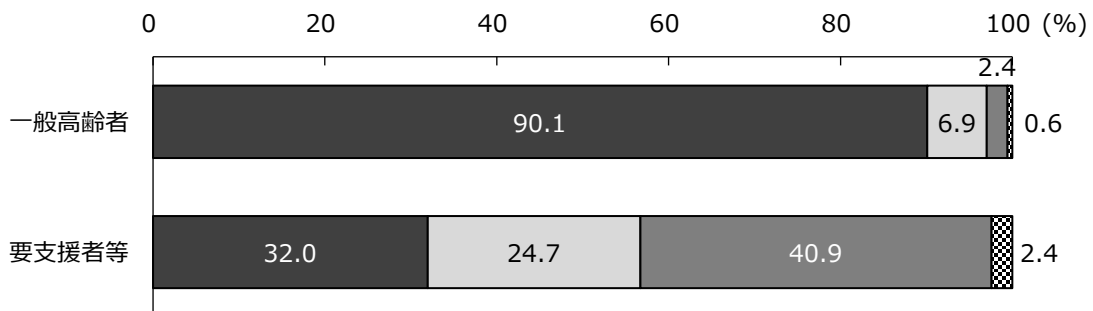
■ あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

n=2,322 (一般高齢者) 、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」が90.1%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.9%)が高くなっています。

年齢別でみると、85歳以上で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等では、「現在、何らかの介護を受けている」が40.9%と最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」(32.0%)、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(24.7%)が高くなっています。



- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- ▣ 無回答

単位：%

		n	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	無回答	
							高齢者
		75～84歳	1,067	88.0	8.2	3.3	0.6
		85歳以上	191	77.0	19.4	2.6	1.0
要支援	認定等	要支援1	559	32.6	27.2	37.0	3.2
		要支援2	512	19.5	22.3	56.6	1.6
		事業対象者	46	41.3	15.2	43.5	0.0

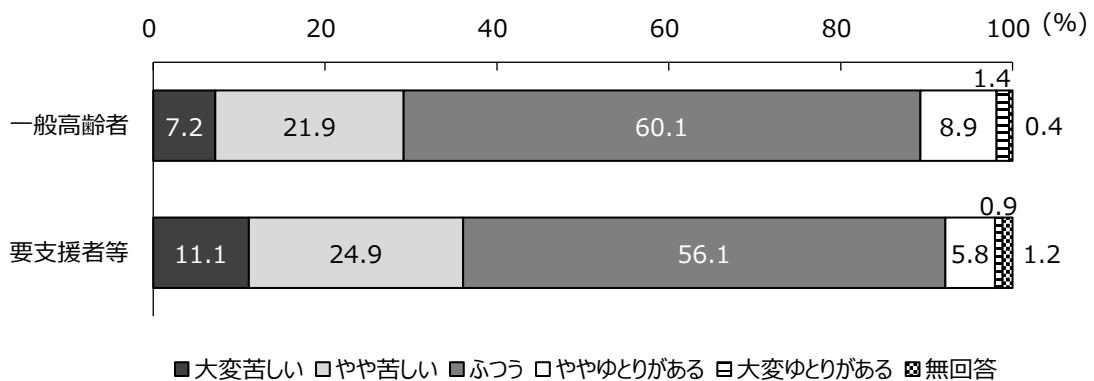
(9) 現在の暮らしの経済状況

■ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「ふつう」が60.1%、56.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」(21.9%、24.9%)の順に高くなっています。

一般高齢者、要支援者等ともに、幸せ感別でみると、暮らしの経済状況が苦しくなるほど幸せ感が低くなっています。



単位：%

		n	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	6.8	21.9	58.7	10.2	2.0	0.3
		75～84歳	1,067	7.7	22.8	61.6	6.8	0.7	0.4
		85歳以上	191	6.8	16.8	60.7	12.0	2.1	1.6
	幸せ感	9～10	538	3.5	13.6	64.1	15.1	3.3	0.4
		7～8	951	4.0	16.7	67.5	10.2	1.3	0.3
		5～6	604	11.6	32.3	51.7	3.5	0.5	0.5
		0～4	182	19.8	40.1	35.7	3.3	0.0	1.1
要支援	認定等	要支援1	559	10.9	25.2	56.5	5.0	0.9	1.4
		要支援2	512	13.1	26.2	54.3	4.9	1.2	0.4
		事業対象者	46	10.9	37.0	41.3	8.7	2.2	0.0
	幸せ感	9～10	235	7.7	17.0	63.8	8.1	3.0	0.4
		7～8	424	5.4	19.3	66.3	7.3	0.7	0.9
		5～6	529	12.1	27.8	53.7	4.7	0.4	1.3
		0～4	217	25.3	35.9	35.5	2.8	0.5	0.0

2 からだを動かすことについて

(1) 階段等の昇降

■ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

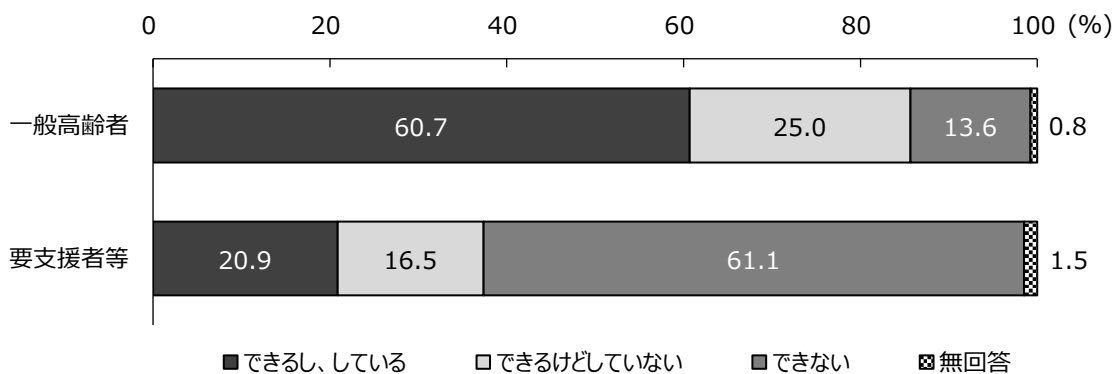
n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者では、「できるし、している」が60.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(25.0%)、「できない」(13.6%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高くなっています。

要支援者等では、「できない」が61.1%と最も高く、次いで「できるし、している」(20.9%)、「できるけどしていない」(16.5%)の順に高くなっています。

認定等別でみると、要支援2で「できない」の割合が特に高くなっています。



単位：%

		n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	69.3	22.4	7.6	0.7
		75～84歳	1,067	55.4	27.3	16.7	0.7
		85歳以上	191	43.5	27.2	27.7	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	22.0	17.2	58.7	2.1
		要支援2	512	11.5	10.0	77.5	1.0
		事業対象者	46	19.6	23.9	56.5	0.0

(2) 立ち上がり

■ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

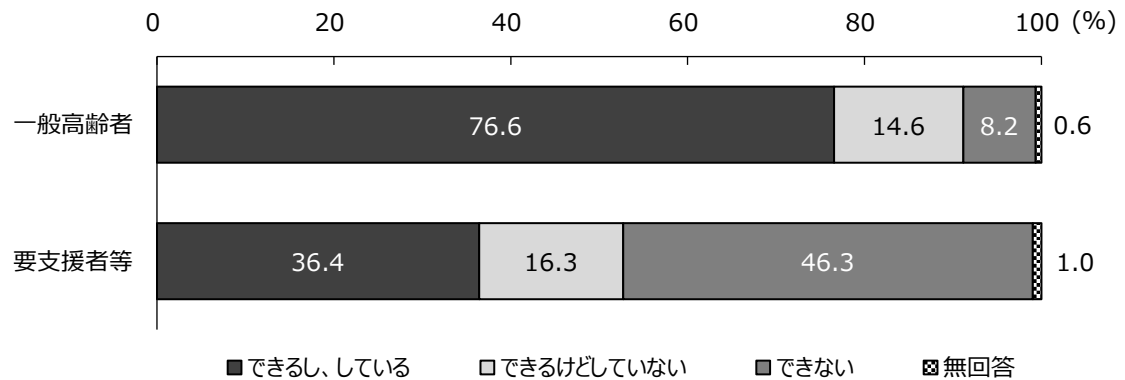
n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「できるし、している」が76.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(14.6%)「できない」(8.2%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高くなっています。

要支援者等では、「できない」が46.3%と最も高く、次いで「できるし、している」(36.4%)、「できるけどしていない」(16.3%)の順に高くなっています。

認定等別でみると、要支援2で「できない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
高齢者	年齢					
	65～74歳	1,039	83.6	11.2	4.8	0.4
	75～84歳	1,067	72.6	17.2	9.5	0.7
	85歳以上	191	61.3	19.4	18.3	1.0
要支援	認定等					
	要支援1	559	38.8	18.1	41.3	1.8
	要支援2	512	25.8	11.7	62.3	0.2
	事業対象者	46	50.0	8.7	41.3	0.0

(3) 歩行

■ 15分位続けて歩いていますか

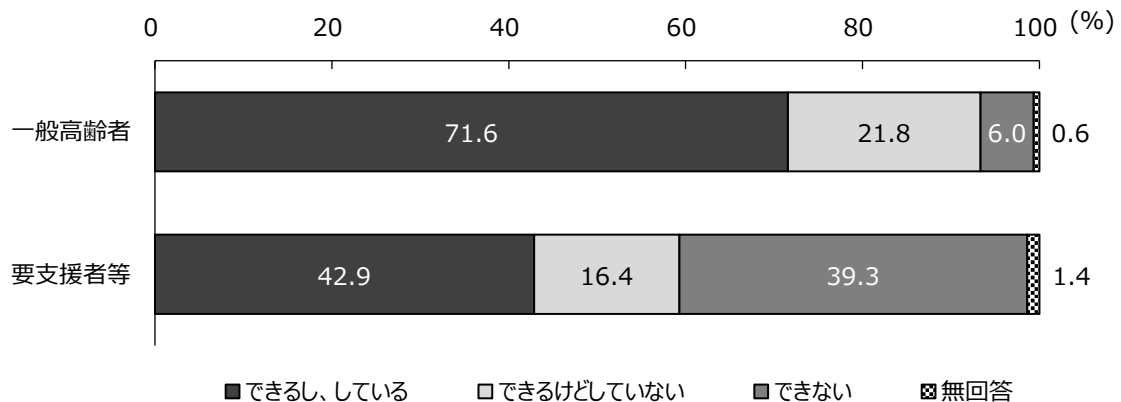
n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「できるし、している」が71.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(21.8%)、「できない」(6.0%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が高くなっています。

要支援者等では、「できるし、している」が42.9%と最も高く、次いで「できない」(39.3%)、「できるけどしていない」(16.4%)の順に高くなっています。

認定等別でみると、要支援2で「できない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	75.2	21.9	2.7	0.2
		75～84歳	1,067	70.2	21.4	7.5	0.9
		85歳以上	191	61.8	22.5	14.7	1.0
要支援	認定等	要支援1	559	45.4	16.1	36.9	1.6
		要支援2	512	31.3	14.1	53.3	1.4
		事業対象者	46	50.0	19.6	28.3	2.2

(4) 転倒経験

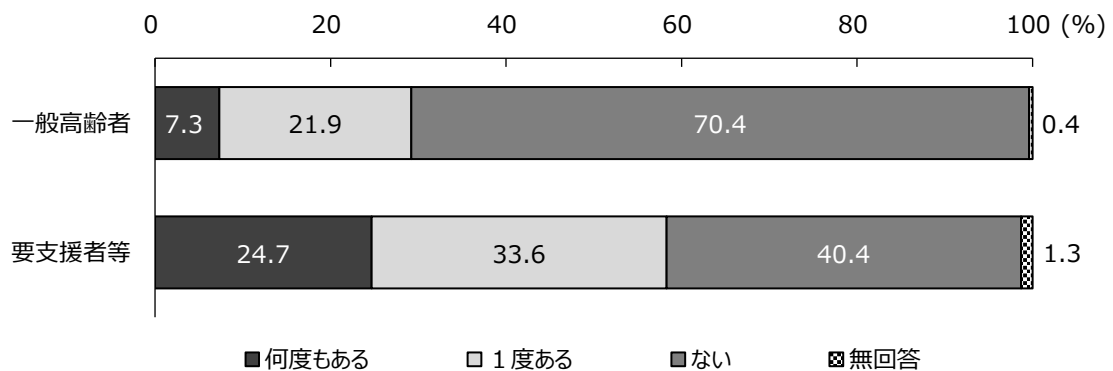
■ 過去1年間に転んだ経験がありますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者よりも要支援者等の方が転倒経験を有しています。「1度ある」が21.9%、33.6%、「何度もある」が7.3%、24.7%

一般高齢者について、年齢別でみると、85歳以上で転倒経験を有している人の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別でも、転倒経験の有無に大きな違いはみられません。



単位：%

		n	何度もある	1度ある	ない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	5.7	19.5	74.4	0.4
		75～84歳	1,067	8.2	22.9	68.4	0.5
		85歳以上	191	11.0	29.3	59.7	0.0
要支援	認定等	要支援1	559	22.2	36.3	39.7	1.8
		要支援2	512	30.1	32.4	36.7	0.8
		事業対象者	46	26.1	30.4	43.5	0.0

(5) 転倒に対する不安

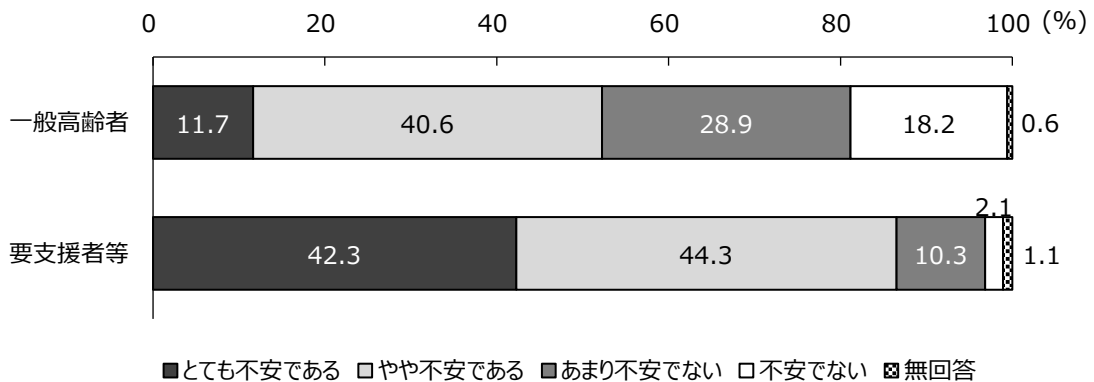
■ 転倒に対する不安は大きいですか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「やや不安である」が 40.6%、44.3%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では「あまり不安でない」(28.9%)、「不安でない」(18.2%)の順に、要支援者等では「とても不安である」(42.3%)、「あまり不安でない」(10.3%)の順に高くなっています。

一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど「とても不安である」の割合が高くなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、要支援 2 で「とても不安である」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	8.3	39.3	30.7	21.3	0.5
		75～84歳	1,067	13.5	41.3	27.9	16.7	0.6
		85歳以上	191	19.9	42.9	23.6	12.0	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	39.2	48.5	8.6	2.5	1.3
		要支援2	512	52.3	39.8	6.4	1.0	0.4
		事業対象者	46	32.6	47.8	15.2	0.0	4.3

(6) 外出頻度

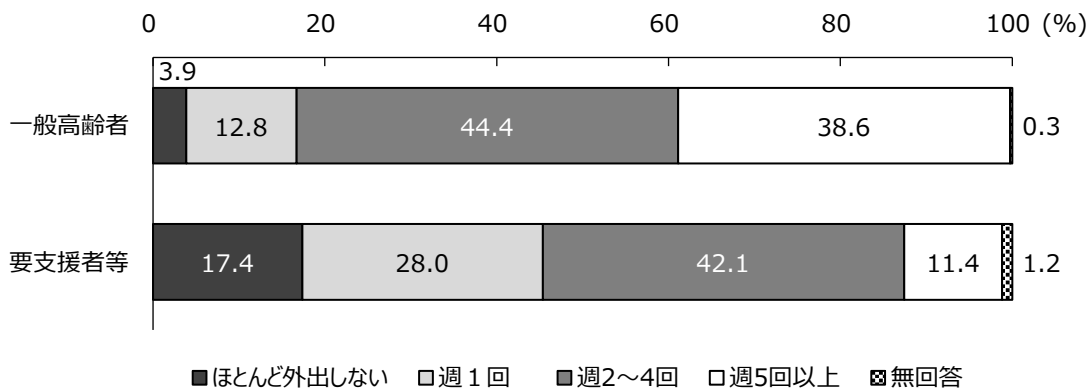
■ 週に1回以上は外出していますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「週2~4回」が44.4%、42.1%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では「週5回以上」(38.6%)、「週1回」(12.8%)の順に、要支援者等では「週1回」(28.0%)、「ほとんど外出しない」(17.4%)の順に高くなっています。

一般高齢者について年齢別・性別でみると、65~74歳と男性で「週5回以上」の割合が他と比べて高くなっています。また、幸せ感別でみると、幸せ感が高いほど外出頻度は高くなっています。

要支援者等について、性別でみると男性で「週5回以上」の割合が女性と比べて高くなっています。また、幸せ感別でみると、幸せ感が高いほど外出頻度は高くなっています。



単位：%

		n	ほとんど外 出しない	週1回	週2~4回	週5回以上	無回答	
高齢者	年齢	65~74歳	1,039	2.2	8.8	40.5	48.3	0.2
		75~84歳	1,067	3.6	15.9	48.0	32.2	0.3
		85歳以上	191	14.1	18.3	43.5	23.6	0.5
	幸せ感	9~10	538	2.8	11.0	40.5	45.7	0.0
		7~8	951	2.3	9.9	44.8	42.6	0.4
		5~6	604	5.0	15.9	47.8	31.0	0.3
		0~4	182	11.5	21.4	40.1	26.9	0.0
性別	男性	1,161	3.9	11.5	41.3	43.2	0.3	
	女性	1,135	3.8	14.3	47.3	34.4	0.3	
要支援	認定等	要支援1	559	16.1	31.5	40.4	10.7	1.3
		要支援2	512	20.1	25.8	42.6	10.5	1.0
		事業対象者	46	13.0	26.1	50.0	10.9	0.0
	幸せ感	9~10	235	14.0	27.7	41.7	15.7	0.9
		7~8	424	13.4	24.1	48.6	12.7	1.2
		5~6	529	18.0	32.3	39.9	8.7	1.1
		0~4	217	25.3	25.8	37.8	10.6	0.5
	性別	男性	702	19.9	24.5	39.3	15.1	1.1
		女性	723	15.1	31.1	44.7	8.0	1.1

(7) 外出頻度の変化

■ 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

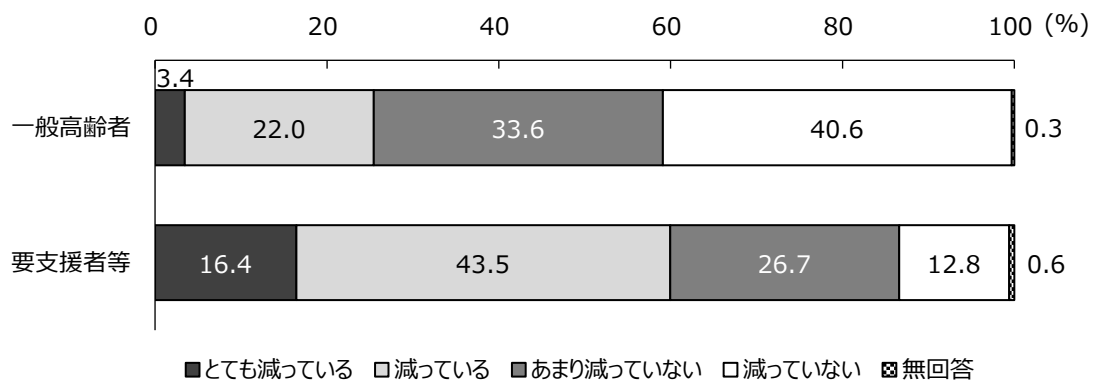
n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「減っていない」が40.6%と最も高く、次いで「あまり減っていない」(33.6%)、「減っている」(22.0%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど外出の回数が減っています。幸せ感別では、幸せ感が低いほど外出の回数が減っています。

要支援者等では、「減っている」が43.5%と最も高く、次いで「あまり減っていない」(26.7%)、「とても減っている」(16.4%)の順に高くなっています。

幸せ感別でみると、幸せ感が低いほど外出の回数が減っています。



単位：%

		n	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	2.5	16.7	32.8	47.6	0.4
		75～84歳	1,067	3.7	24.4	34.6	37.1	0.2
		85歳以上	191	6.8	37.7	32.5	22.5	0.5
	幸せ感	9～10	538	2.4	15.1	30.3	52.2	0.0
		7～8	951	1.7	18.4	36.2	43.2	0.5
		5～6	604	4.3	29.3	34.3	31.8	0.3
		0～4	182	12.1	36.8	26.9	24.2	0.0
要支援	認定等	要支援1	559	17.0	44.4	26.3	11.6	0.7
		要支援2	512	17.4	45.1	24.0	13.1	0.4
		事業対象者	46	8.7	52.2	30.4	8.7	0.0
	幸せ感	9～10	235	13.6	37.4	29.4	18.7	0.9
		7～8	424	11.3	41.3	32.8	14.4	0.2
		5～6	529	16.8	47.3	24.4	10.8	0.8
		0～4	217	28.6	43.8	20.3	6.9	0.5

(8) 外出を控えているか

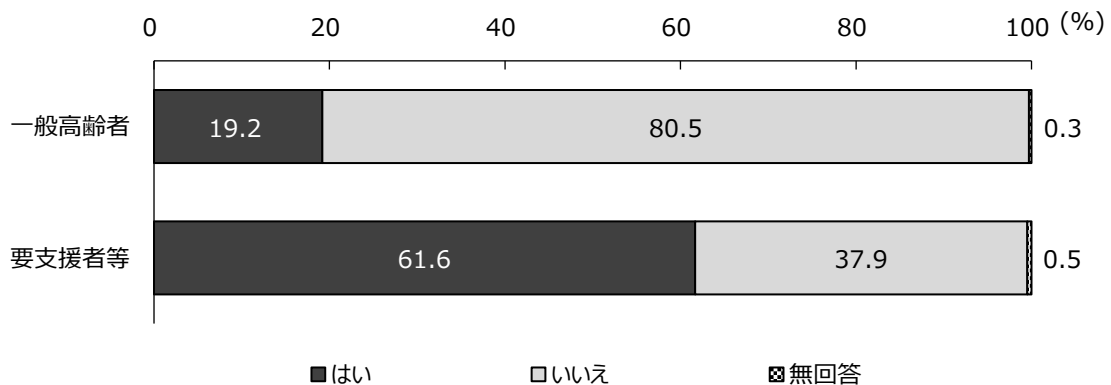
■ 外出を控えていますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者よりも要支援者等の方が外出を控える傾向にあります。(一般高齢者では 19.2%、要支援者等では 61.6%)

一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど、外出を控えています。

一般高齢者、要支援者等ともに、幸せ感別でみると、幸せ感が低いほど外出を控えています。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答	
高齢者	年齢	65~74歳	1,039	13.8	86.1	0.1
		75~84歳	1,067	21.4	78.2	0.5
		85歳以上	191	37.2	62.3	0.5
	幸せ感	9~10	538	11.3	88.5	0.2
		7~8	951	14.5	85.2	0.3
		5~6	604	26.3	73.3	0.3
		0~4	182	42.9	56.6	0.5
要支援	認定等	要支援1	559	62.1	37.2	0.7
		要支援2	512	68.8	30.9	0.4
		事業対象者	46	54.3	45.7	0.0
	幸せ感	9~10	235	48.5	51.1	0.4
		7~8	424	54.5	45.0	0.5
		5~6	529	66.4	33.1	0.6
		0~4	217	76.5	23.0	0.5

(9) 外出を控える理由

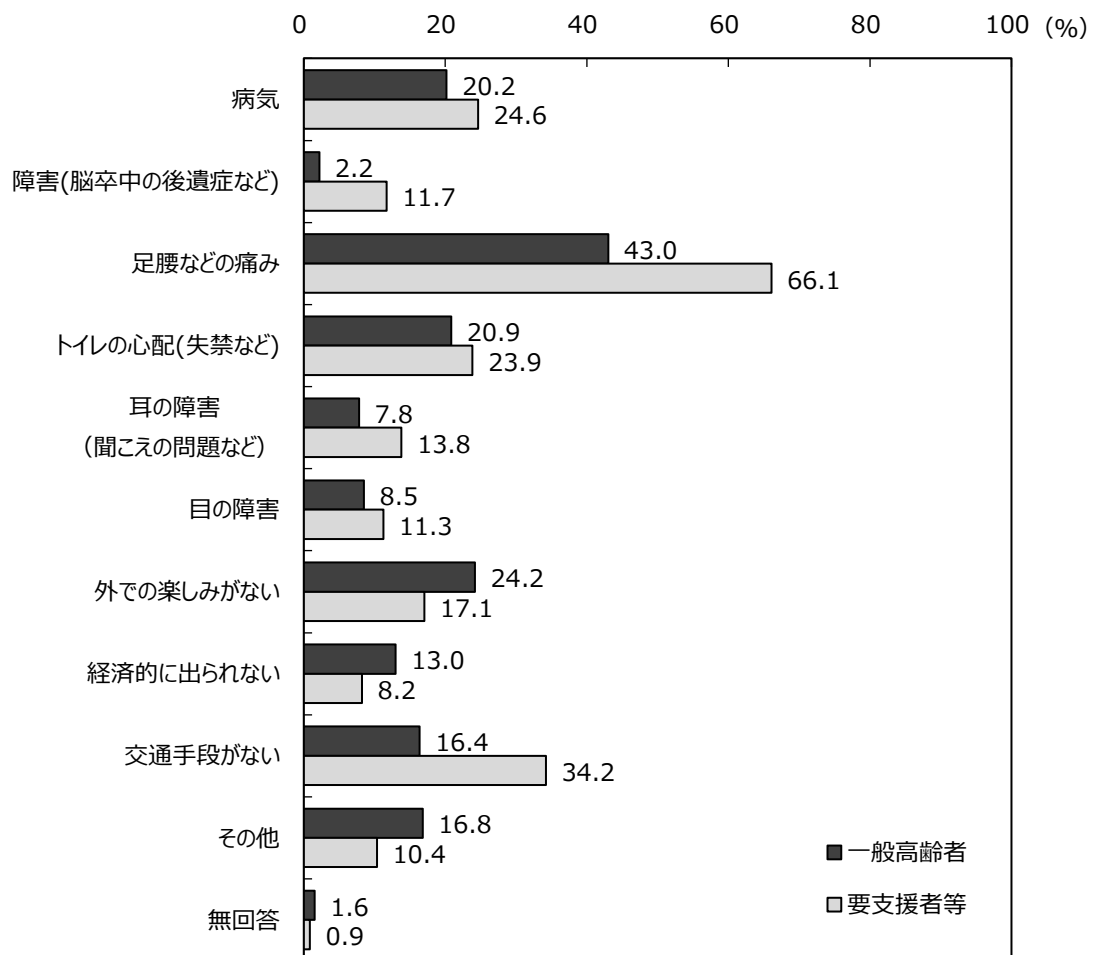
「外出を控えている」を選択した場合

■ 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

外出を控えている n=446（一般高齢者）、897（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに、「足腰などの痛み」が 43.0%、66.1%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では「外での楽しみがない」(24.2%)、「トイレの心配(失禁など)」(20.9%) の順に、要支援者等では「交通手段がない」(34.2%)、「病気」(24.6%) の順に高くなっています。

一般高齢者について、年齢別でみると、65～74歳で「外での楽しみがない」、75歳以上で「足腰などの痛み」の割合が最も高くなっています。



単位：%

		n	病 気	障 害 (脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど)	耳 の 障 害 (聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	
高 齢 者	年 齢	65～74歳	143	25.2	1.4	30.1	13.3	2.8	2.1	31.5	16.8	7.0
		75～84歳	228	19.7	3.1	50.0	25.0	8.3	11.8	21.1	13.2	20.2
		85歳以上	71	11.3	1.4	46.5	23.9	15.5	9.9	19.7	5.6	23.9
要 支 援	認 定 等	要支援1	347	24.2	9.8	65.1	22.5	11.8	8.9	18.2	8.1	35.4
		要支援2	352	29.5	17.6	72.7	28.4	13.1	14.2	13.6	8.8	34.7
		事業対象者	25	32.0	8.0	60.0	20.0	28.0	4.0	20.0	8.0	28.0

単位：%

		n	そ の 他	無 回 答	
高 齢 者	年 齢	65～74歳	143	23.1	1.4
		75～84歳	228	13.2	0.9
		85歳以上	71	16.9	4.2
要 支 援	認 定 等	要支援1	347	10.7	0.6
		要支援2	352	9.7	0.0
		事業対象者	25	20.0	0.0

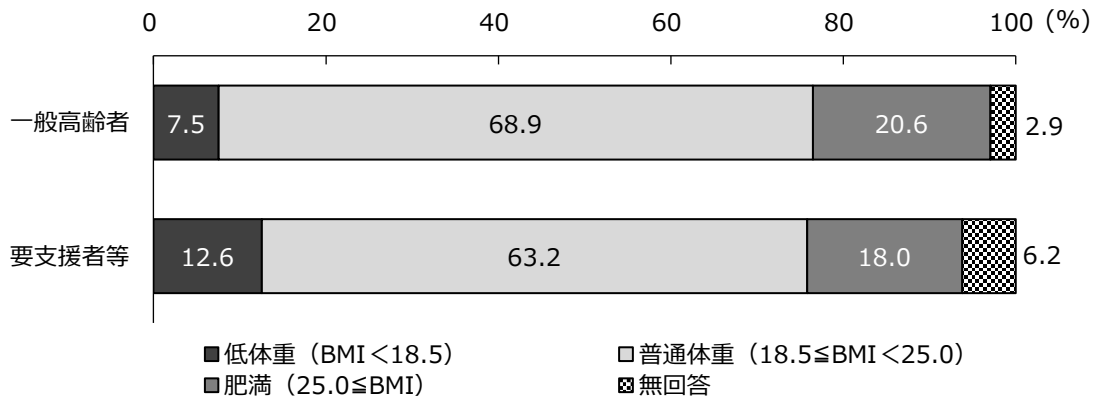
3 食べることについて

(1) BMI

n=2,254 (一般高齢者)、1,365 (要支援者等)

身長・体重を元に BMI を算出し、集計した結果、一般高齢者、要支援者等ともに、「普通体重」が 68.9%、63.2%と最も高く、次いで「肥満」(20.6%、18.0%)、「低体重」(7.5%、12.6%) の順に高くなっています。

一般高齢者、要支援者等ともに、属性別でも、大きな違いはみられません。



* BMI は[体重(kg)] ÷ [身長(m)²]により算出

単位：%

		n	低体重 (BMI < 18.5)	普通体重 (18.5 ≤ BMI < 25.0)	肥満 (25.0 ≤ BMI)	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	6.7	67.4	23.5	2.4
		75～84歳	1,067	7.9	70.5	19.3	2.3
		85歳以上	191	9.4	69.6	12.6	8.4
	性別	男性	1,161	5.3	68.8	23.6	2.2
		女性	1,135	9.7	69.2	17.6	3.5
要支援	年齢	65～74歳	144	9.0	60.4	29.2	1.4
		75～84歳	659	12.3	63.7	20.0	3.9
		85歳以上	621	13.7	63.3	13.8	9.2
	性別	男性	702	11.4	65.0	18.1	5.6
		女性	723	13.8	61.3	18.5	6.4

(2) 口腔機能について

① 固いものを食べることについて

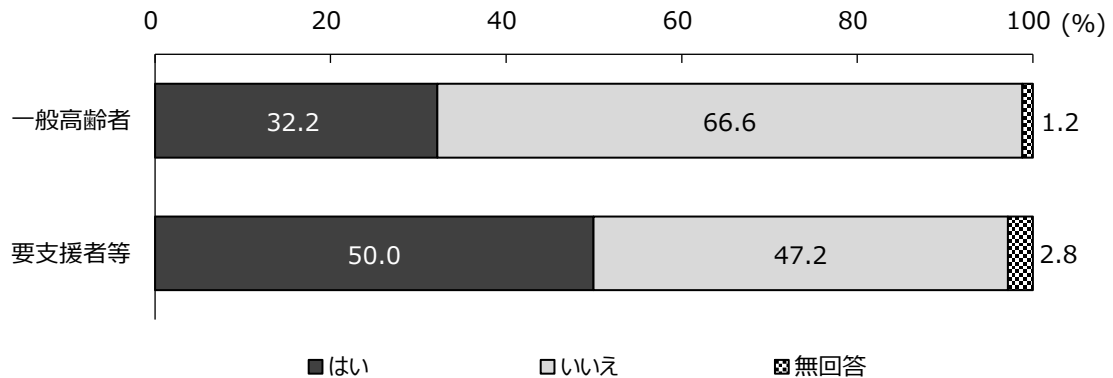
■ 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者よりも要支援者等の方が半年前に比べて固いものが食べにくくなっています。(一般高齢者では32.2%、要支援者等では50.0%)

一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど固いものが食べにくくなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、要支援1・2では事業対象者よりも「はい」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	26.2	73.2	0.6
		75～84歳	1,067	36.9	61.8	1.3
		85歳以上	191	38.7	57.1	4.2
要支援者等	認定等	要支援1	559	50.8	46.0	3.2
		要支援2	512	53.9	43.9	2.1
		事業対象者	46	41.3	52.2	6.5

②歯の状態

■ 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

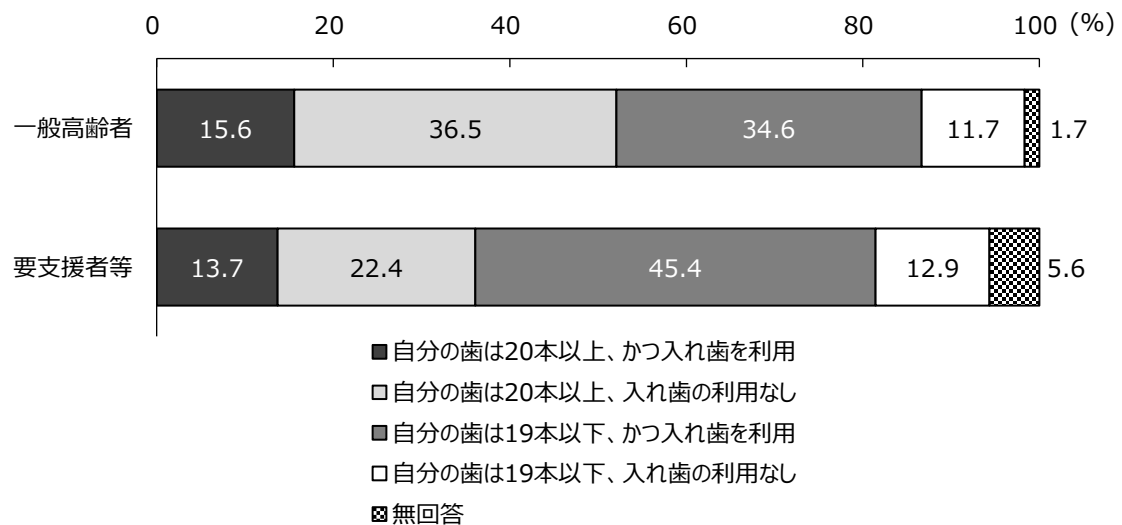
n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.5%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(34.6%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.6%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるほど、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。

要支援者等では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が45.4%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(22.4%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.7%)の順に高くなっています。

要支援者等について、認定等別でも、大きな違いはみられません。



単位: %

		n	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答	
高齢者	年齢	65~74歳	1,039	13.8	48.7	23.2	13.3	1.1
		75~84歳	1,067	16.8	27.6	42.8	10.7	2.2
		85歳以上	191	19.4	20.4	50.3	7.3	2.6
要支援	認定等	要支援1	559	15.6	19.5	44.5	14.1	6.3
		要支援2	512	12.1	24.2	45.7	13.1	4.9
		事業対象者	46	10.9	26.1	47.8	6.5	8.7

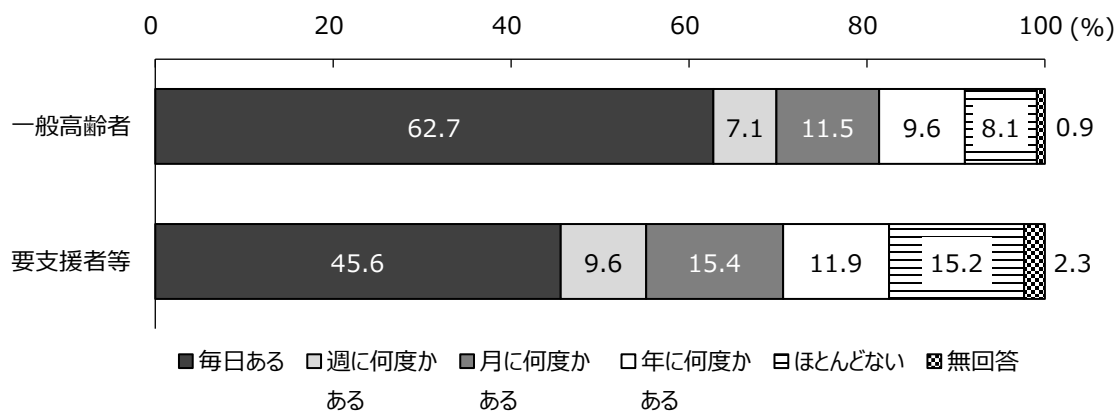
(3) 誰かと食事する機会

■ どなたかと食事をとる機会がありますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「毎日ある」が62.7%、45.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」(11.5%、15.4%)が高くなっています。

一般高齢者について、年齢別でみると、85歳以上では「ほとんどない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	69.1	6.6	9.8	6.7	7.0	0.7
		75～84歳	1,067	59.0	6.9	12.9	12.5	7.6	1.0
		85歳以上	191	49.7	9.9	13.1	10.5	15.2	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	44.7	9.1	14.8	14.0	15.2	2.1
		要支援2	512	47.5	9.2	15.4	12.7	13.3	2.0
		事業対象者	46	45.7	10.9	19.6	2.2	17.4	4.3

4 毎日の生活について

(1) 物忘れ

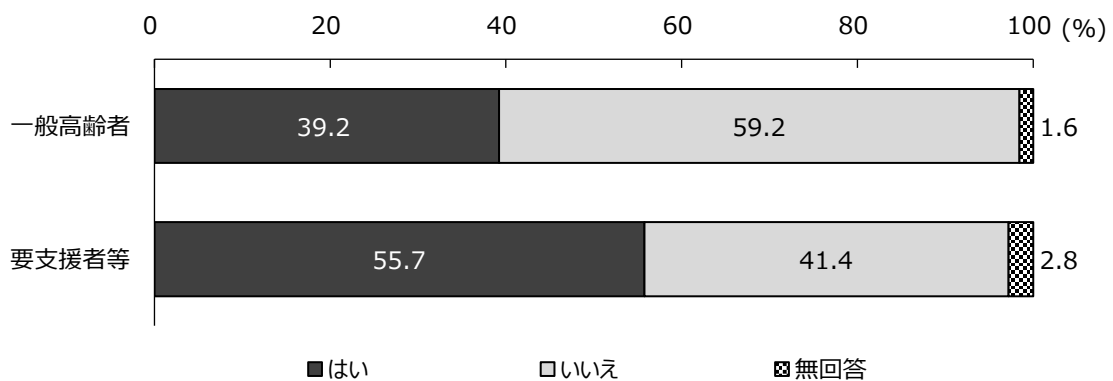
■ 物忘れが多いと感じますか

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

要支援者等は一般高齢者より「はい」の割合が高くなっています。（一般高齢者では39.2%、要支援者等では、55.7%）

一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。

要支援者等について、認定等別でも、大きな違いはみられません。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	35.7	63.2	1.1
		75～84歳	1,067	40.6	57.5	1.9
		85歳以上	191	49.2	48.7	2.1
要支援	認定等	要支援1	559	57.2	40.6	2.1
		要支援2	512	53.1	44.3	2.5
		事業対象者	46	58.7	32.6	8.7

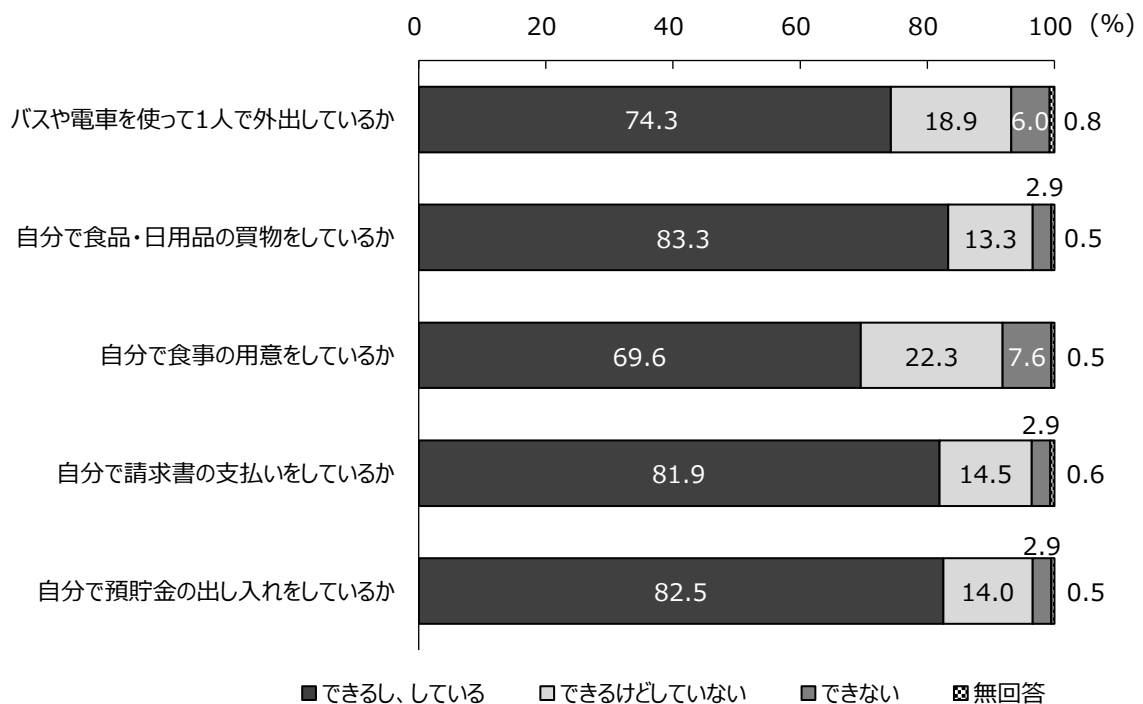
(2) IADL (手段的日常生活動作)

- バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)
- 自分で食品・日用品の買物をしていますか
- 自分で食事の用意をしていますか
- 自分で請求書の支払いをしていますか
- 自分で預貯金の出し入れをしていますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

【一般高齢者】

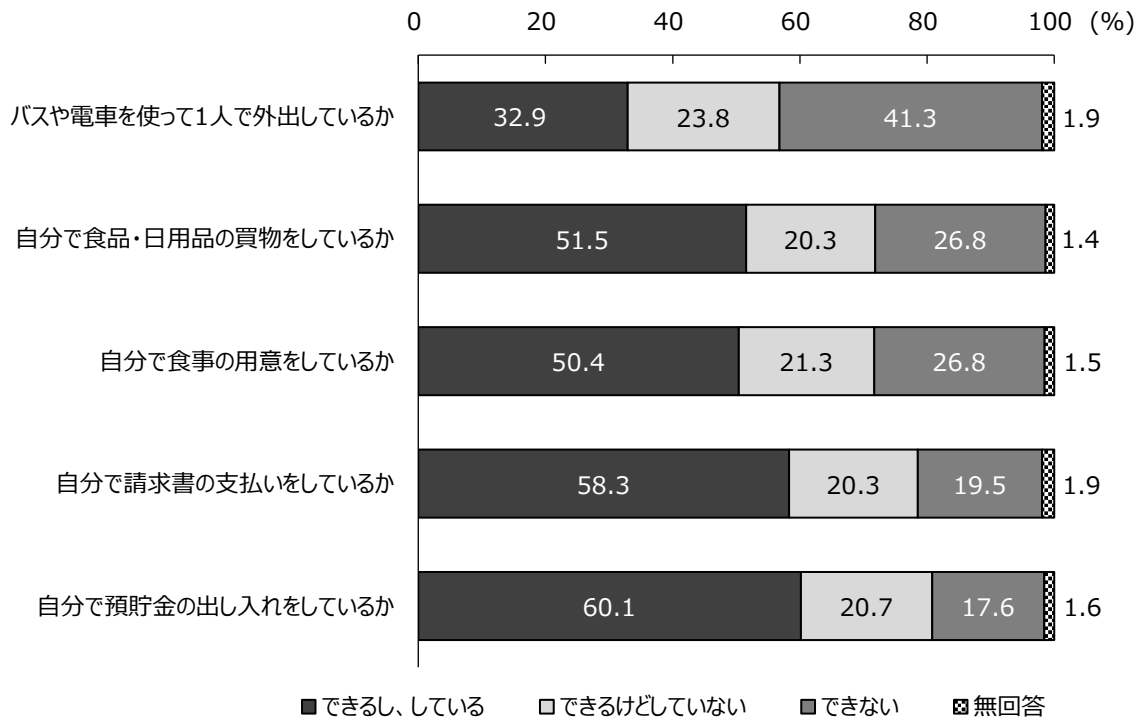
「バスや電車を使って1人で外出しているか」、「自分で食事の用意をしているか」について、「できるけどしていない」(18.9%、22.3%)、「できない」(6.0%、7.6%) が比較的に高くなっています。



【要支援者等】

「バスや電車を使って1人で外出しているか」について、「できない」(41.3%)が最も高くなっており、「できるけどしていない」(23.8%)を合わせると、半数以上となっています。

また、「自分で食品・日用品の買物をしているか」、「自分で食事の用意をしているか」について、「できない」(26.8%、26.8%)、「できるけどしていない」(20.3%、21.3%)の合計が半数程度となっています。



○バスや電車を使って1人で外出しているか

一般高齢者について、年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「できない」の割合が高くなっています。

要支援者等について、認定等別で見ると、要支援2で「できない」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

			n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	82.2	14.0	3.4	0.5
		75～84歳	1,067	70.2	22.0	6.8	0.9
		85歳以上	191	53.4	29.8	15.2	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	35.1	27.5	35.4	2.0
		要支援2	512	24.4	19.7	54.3	1.6
		事業対象者	46	34.8	17.4	43.5	4.3

○自分で食品・日用品の買物をしているか

一般高齢者について、年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「できない」の割合が高くなっています。また、85歳以上では、「できるけどしていない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別で見ると、要支援2で「できない」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

			n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	88.5	9.3	1.9	0.3
		75～84歳	1,067	81.3	15.0	3.1	0.6
		85歳以上	191	66.5	25.1	6.8	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	58.0	19.1	21.5	1.4
		要支援2	512	40.4	20.1	38.7	0.8
		事業対象者	46	47.8	23.9	23.9	4.3

○自分で食事の用意をしているか

一般高齢者について、年齢別で見ると、85歳以上で「できない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別で見ると、要支援2で「できない」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

			n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	73.4	20.2	6.0	0.4
		75～84歳	1,067	68.1	23.5	7.9	0.5
		85歳以上	191	56.0	27.2	15.2	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	55.8	19.7	22.9	1.6
		要支援2	512	42.8	20.9	35.4	1.0
		事業対象者	46	50.0	19.6	26.1	4.3

○自分で請求書の支払いをしているか

一般高齢者について、年齢別で見ると、年齢が上がるほど、「できない」の割合が高くなっています。また、85歳以上では、「できるけどしていない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別で見ると、要支援2で「できるし、している」の割合が他と比べて低くなっています。

単位：%

			n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	85.3	12.2	2.2	0.3
		75～84歳	1,067	81.3	14.8	3.2	0.7
		85歳以上	191	66.5	26.2	5.2	2.1
要支援	認定等	要支援1	559	63.7	19.1	15.2	2.0
		要支援2	512	49.0	23.0	26.8	1.2
		事業対象者	46	60.9	8.7	26.1	4.3

○自分で預貯金の出し入れをしているか

一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど、「できない」の割合が高くなっています。また、85歳以上では、「できるけどしていない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、要支援2で「できるし、している」の割合が他と比べて低くなっています。

単位：%

		n	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
高齢者	年齢					
	65～74歳	1,039	86.8	10.9	2.0	0.3
	75～84歳	1,067	80.7	15.4	3.3	0.7
	85歳以上	191	69.1	24.1	5.8	1.0
要支援	認定等					
	要支援1	559	64.0	19.5	15.0	1.4
	要支援2	512	51.8	23.0	23.8	1.4
	事業対象者	46	69.6	10.9	17.4	2.2

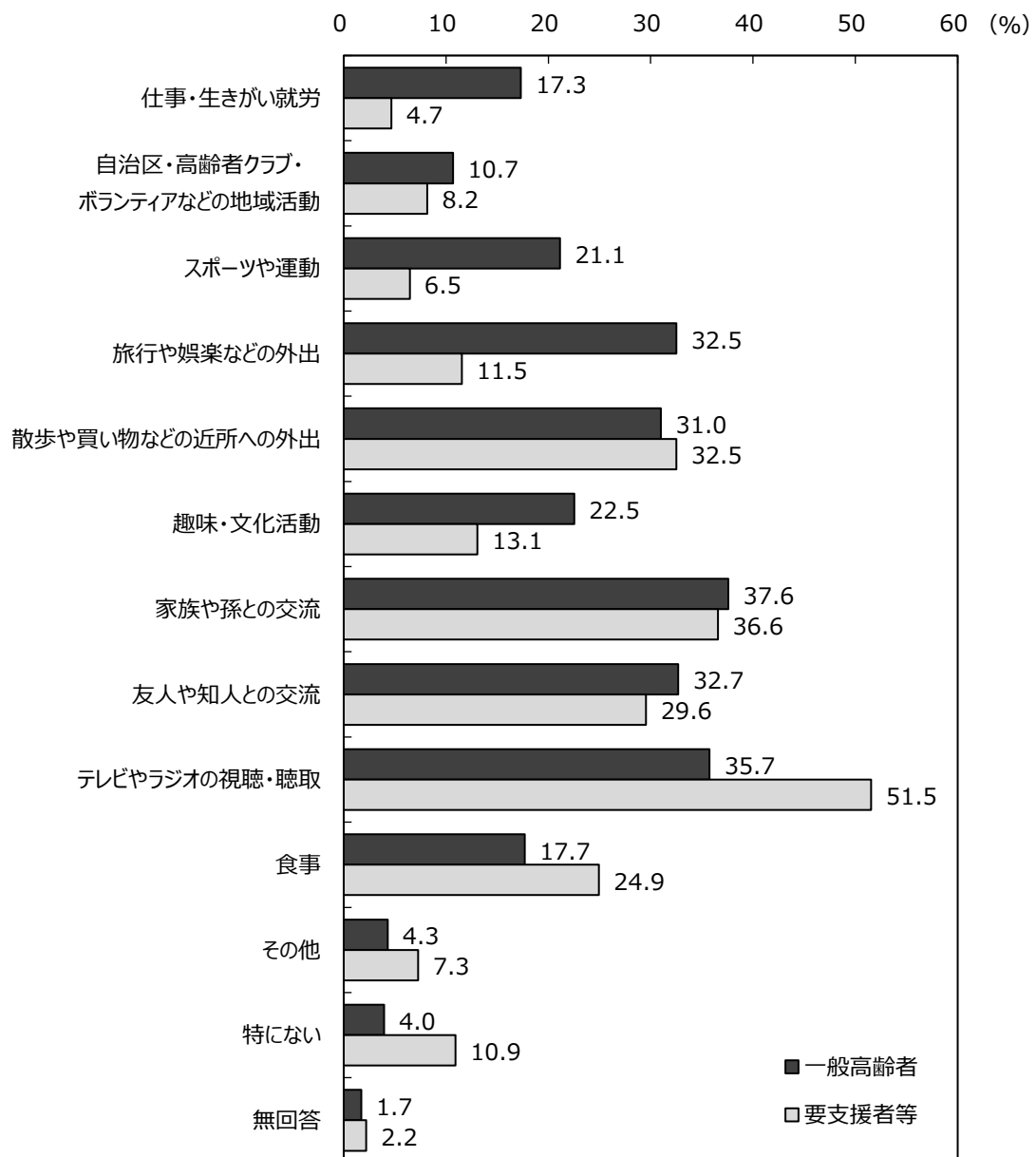
(3) 生きがいや楽しみ

■ あなたは、どのようなことを生きがいや楽しみにしていきたいとお考えですか（〇は3つまで）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者では、「家族や孫との交流」が37.6%と最も高く、次いで「テレビやラジオの視聴・聴取」（35.7%）、「友人や知人との交流」（32.7%）の順に高くなっています。

要支援者等では、「テレビやラジオの視聴・聴取」が51.5%と最も高く、次いで「家族や孫との交流」（36.6%）、「散歩や買い物などの近所への外出」（32.5%）の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別でみると、65～74歳で「旅行や娯楽などの外出」の割合が他と比べて高くなっています。性別でみると、女性で「友人や知人との交流」の割合が男性と比べて高くなっています。

要支援者等について、性別でみると、女性で「友人や知人との交流」の割合が男性と比べて高くなっています。

単位：%

		n	仕事・生きがい就労	自治区・高齢者クラブ・ボランティア	スポーツや運動	旅行や娯楽などの外出	散歩や買い物などの近所への外出	趣味・文化活動	家族や孫との交流	友人や知人との交流	テレビやラジオの視聴・聴取	食事	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	24.2	8.8	24.1	42.9	23.7	26.6	40.0	32.2	27.0	16.3
		75～84歳	1,067	11.9	12.1	19.5	25.5	36.7	19.5	35.6	33.6	42.5	19.0
		85歳以上	191	8.4	12.6	15.7	15.7	37.7	16.2	36.6	31.4	45.0	18.3
	性別	男性	1,161	20.2	12.8	26.4	32.8	25.9	25.1	31.9	23.2	38.2	16.4
		女性	1,135	14.0	8.4	16.0	32.3	36.0	19.6	43.7	42.7	33.1	19.1
要支援	認定等	要支援1	559	4.8	9.1	5.7	10.4	35.4	13.6	35.6	28.3	51.2	23.1
		要支援2	512	3.5	6.6	5.5	10.7	27.5	11.3	38.3	32.4	57.0	27.7
		事業対象者	46	8.7	13.0	6.5	17.4	32.6	15.2	34.8	26.1	39.1	19.6
	性別	男性	702	5.1	9.1	7.3	12.5	28.3	13.5	34.2	19.8	57.7	25.8
		女性	723	4.3	7.3	5.7	10.4	36.8	12.4	38.9	39.1	46.1	24.6

単位：%

		n	その他	特 に な い	無 回 答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	2.5	3.3	1.3
		75～84歳	1,067	5.2	4.4	1.7
		85歳以上	191	9.9	4.7	4.7
	性別	男性	1,161	4.7	4.8	1.4
		女性	1,135	4.0	3.0	2.1
要支援	認定等	要支援1	559	8.6	11.3	2.1
		要支援2	512	7.8	12.5	1.6
		事業対象者	46	6.5	8.7	2.2
	性別	男性	702	6.4	13.4	2.1
		女性	723	8.2	8.3	2.2

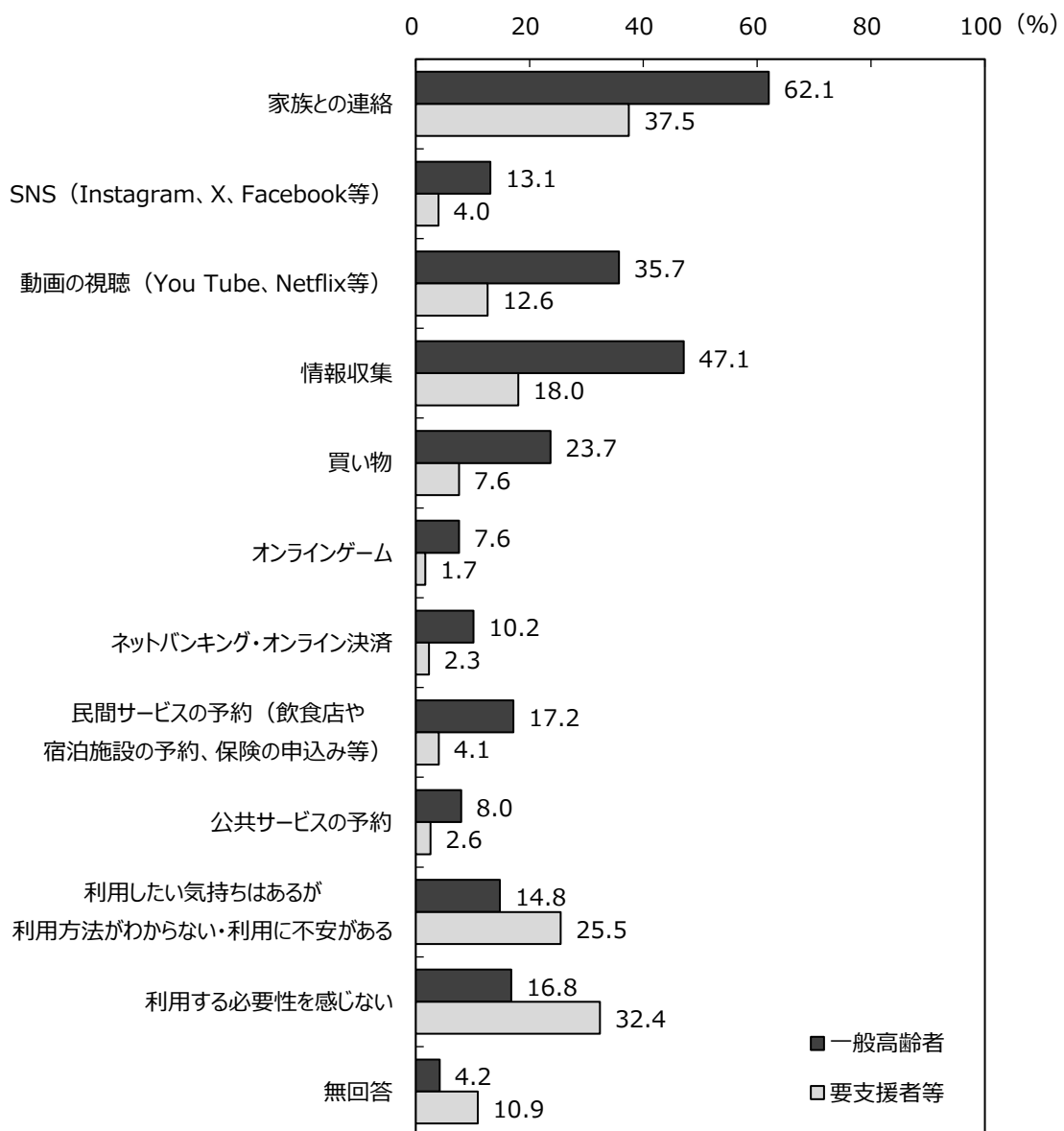
(4) インターネットの利用状況

■ あなたは、インターネットを何に利用していますか（いくつでも）

*スマートフォンでの利用も含まます

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに、「家族との連絡」が62.1%、37.5%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では「情報収集」（47.1%）、「動画の視聴（You Tube、Netflix等）」（35.7%）の順に、要支援者等では「利用する必要を感じない」（32.4%）、「利用したい気持ちはあるが利用方法がわからない・利用に不安がある」（25.5%）の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別・性別でみると、65～74歳と男性では「情報収集」「動画の視聴」を始め総じて割合が他と比べて高くなっています。

単位：％

		n	家族との連絡	F a N C e (B o n o k a g r a m , X ,	N e t f l i x 等)	動画の視聴 (Y o u T u b e ,	情報収集	買い物	オンラインゲーム	ネットバンキング・オンライン決済	民間サービスの予約 (飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込み等)	公共サービスの予約	利用したい・気持ちはあるが利用方法がわからない
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	74.1	19.2	51.8	62.9	34.5	10.4	16.3	26.2	11.6	9.7
		75～84歳	1,067	55.2	8.7	24.0	36.8	15.8	5.4	5.2	10.3	5.1	19.1
		85歳以上	191	36.1	5.2	14.1	20.9	11.0	4.2	5.8	6.8	5.2	17.8
	性別	男性	1,161	57.0	16.1	40.2	54.7	27.6	8.1	14.3	23.7	11.0	13.6
		女性	1,135	67.4	10.1	31.2	39.8	20.1	7.0	6.1	10.6	5.0	15.9
要支援	認定等	要支援1	559	39.4	5.0	14.7	18.2	6.8	2.3	2.9	2.9	2.0	26.8
		要支援2	512	36.1	2.9	10.0	18.6	8.2	1.2	2.1	4.1	3.1	23.8
		事業対象者	46	47.8	4.3	23.9	17.4	10.9	2.2	2.2	6.5	0.0	23.9
	性別	男性	702	37.2	4.4	15.8	24.6	9.7	1.7	3.6	5.6	3.8	25.1
		女性	723	38.0	3.7	9.7	11.8	5.4	1.8	1.2	2.8	1.4	25.9

単位：％

		n	を利用しない必要性	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	7.4	1.2
		75～84歳	1,067	22.9	5.1
		85歳以上	191	33.5	14.7
	性別	男性	1,161	15.0	2.6
		女性	1,135	18.6	5.6
要支援	認定等	要支援1	559	29.9	10.0
		要支援2	512	36.9	9.8
		事業対象者	46	28.3	6.5
	性別	男性	702	31.2	7.7
		女性	723	33.5	13.7

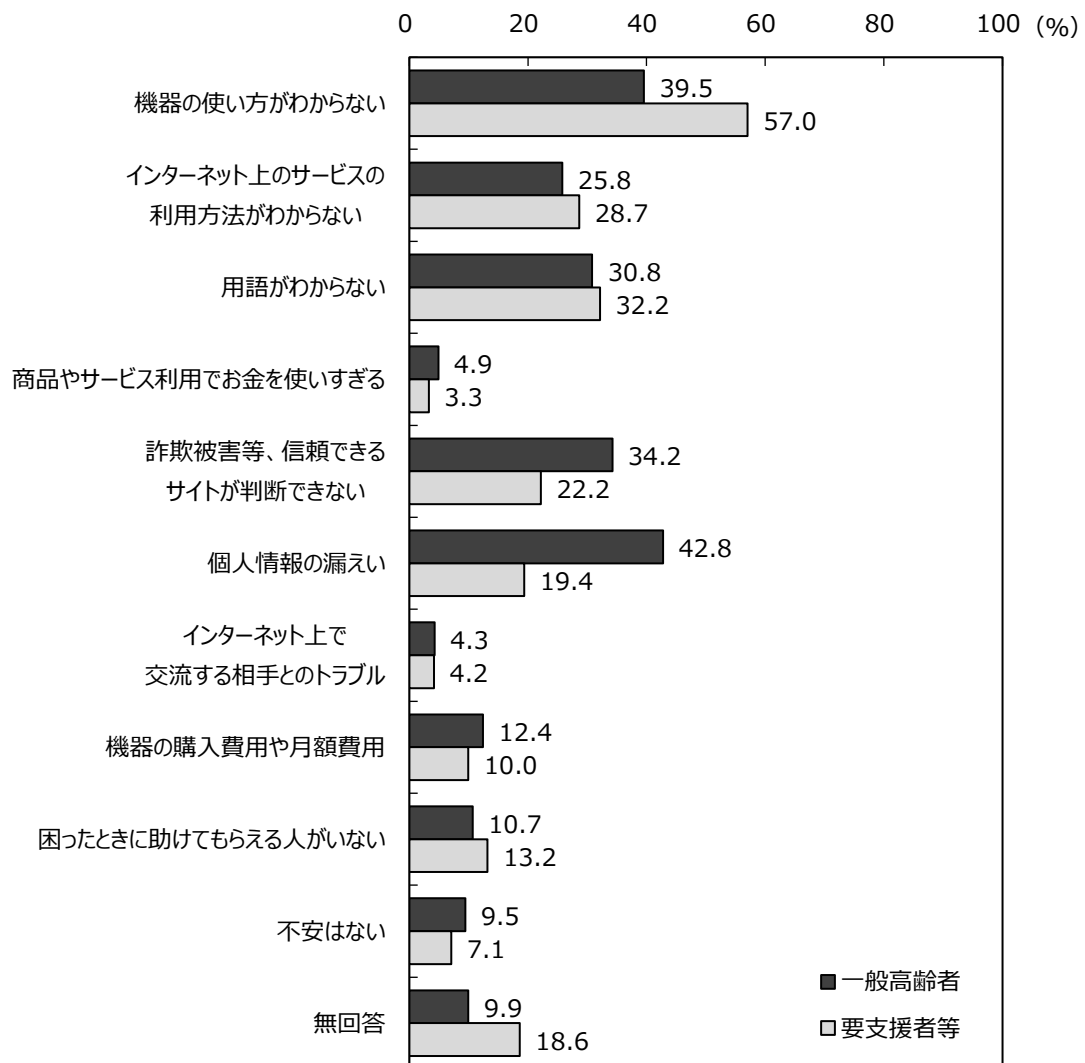
(5) インターネット利用における不安

■ インターネット利用にあたってどのようなことが不安ですか（いくつでも）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者では、「個人情報の漏えい」が42.8%と最も高く、次いで「機器の使い方がわからない」（39.5%）、「詐欺被害等、信頼できるサイトが判断できない」（34.2%）の順に高くなっています。

要支援者等では、「機器の使い方がわからない」が57.0%と最も高く、次いで「用語がわからない」（32.2%）、「インターネット上のサービスの利用方法がわからない」（28.7%）の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別・性別でみると、65～74歳と男性で「個人情報の漏えい」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別、性別でみても、大きな違いはみられません。

単位：％

		n	機器の使い方がわからない	インターネットがわからない	用語がわからない	商品やサービス利用でお金を使いすぎる	詐欺被害等、信頼できないサイトが判断できない	個人情報の漏えい	インターネット上で交流する相手とのトラブル	機器の購入費用や月額費用	困ったときに助けをもらえない	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	31.1	25.3	29.5	5.1	41.1	56.1	5.0	14.4	10.9
		75～84歳	1,067	46.4	26.8	31.3	5.0	30.4	34.8	3.7	11.8	10.5
		85歳以上	191	46.6	22.5	34.6	3.7	20.9	16.8	4.2	6.3	10.5
	性別	男性	1,161	34.9	26.3	29.9	5.4	35.1	44.6	4.0	14.9	11.1
		女性	1,135	44.2	25.3	31.7	4.4	33.7	41.1	4.6	10.1	10.2
要支援	認定等	要支援1	559	58.5	27.7	32.6	2.7	22.7	18.6	4.3	8.8	12.9
		要支援2	512	58.0	28.3	35.2	3.7	25.6	23.4	4.1	11.9	13.9
		事業対象者	46	56.5	32.6	32.6	2.2	19.6	17.4	2.2	10.9	10.9
	性別	男性	702	54.4	29.5	32.2	4.3	23.4	20.2	4.3	11.1	13.2
		女性	723	59.9	28.2	32.8	2.4	21.7	19.1	4.3	9.1	13.3

単位：％

		n	不安はない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	9.3	4.5
		75～84歳	1,067	9.6	12.6
		85歳以上	191	9.4	23.0
	性別	男性	1,161	12.3	6.5
		女性	1,135	6.5	13.2
要支援	認定等	要支援1	559	5.4	18.1
		要支援2	512	8.2	17.0
		事業対象者	46	8.7	10.9
	性別	男性	702	9.0	15.1
		女性	723	5.4	21.6

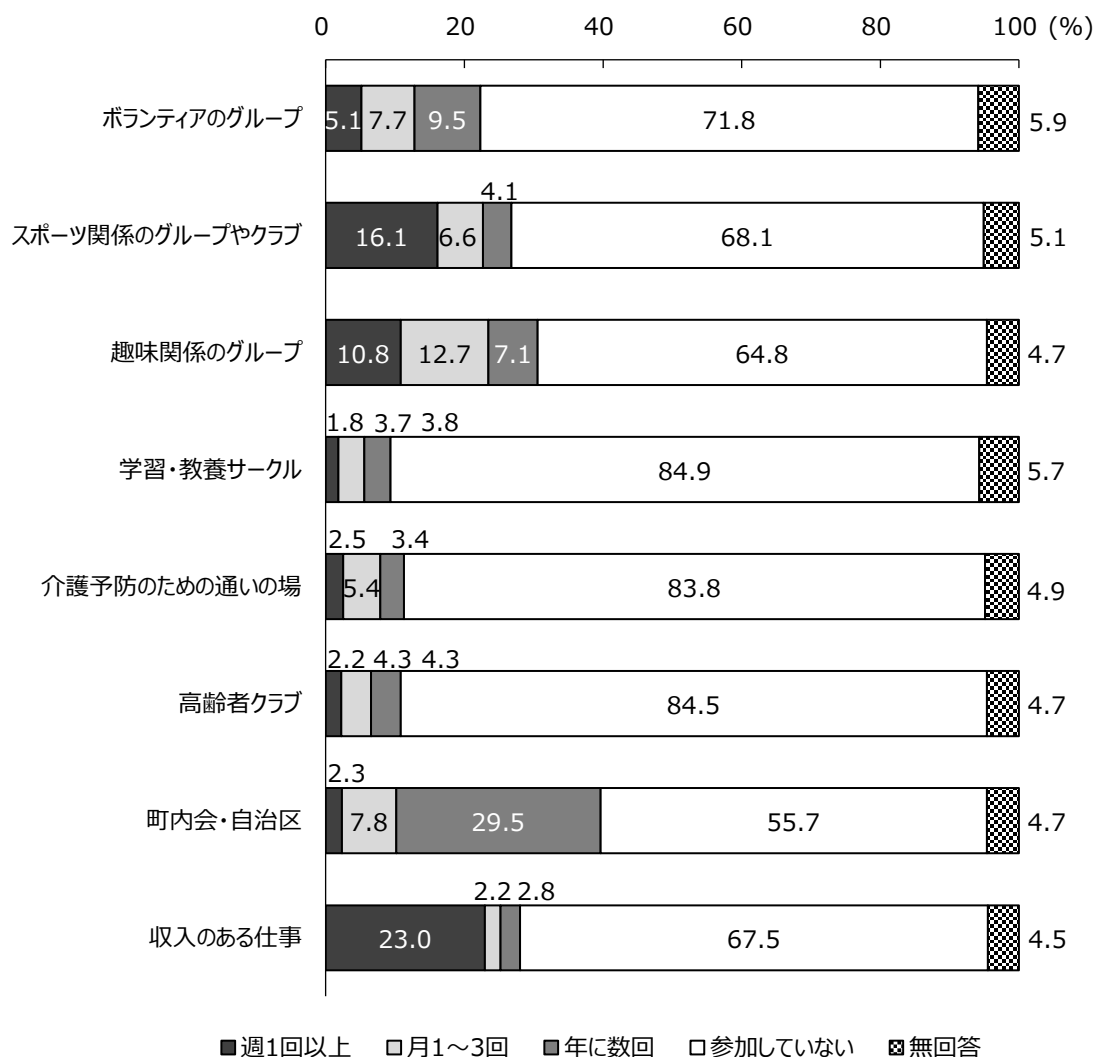
5 地域での活動について

(1) 会・グループ等への参加状況

■ 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

【一般高齢者】

「週1回以上」の参加について、「収入のある仕事」(23.0%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(16.1%)、「趣味関係のグループ」(10.8%)の順に高くなっています。



【一般高齢者 月1回以上の割合】

年齢別でみると、65～74歳では「収入のある仕事」の割合が他と比べて高くなっています。性別でみると、男性では「町内会・自治区」の割合が女性と比べて高くなっています。

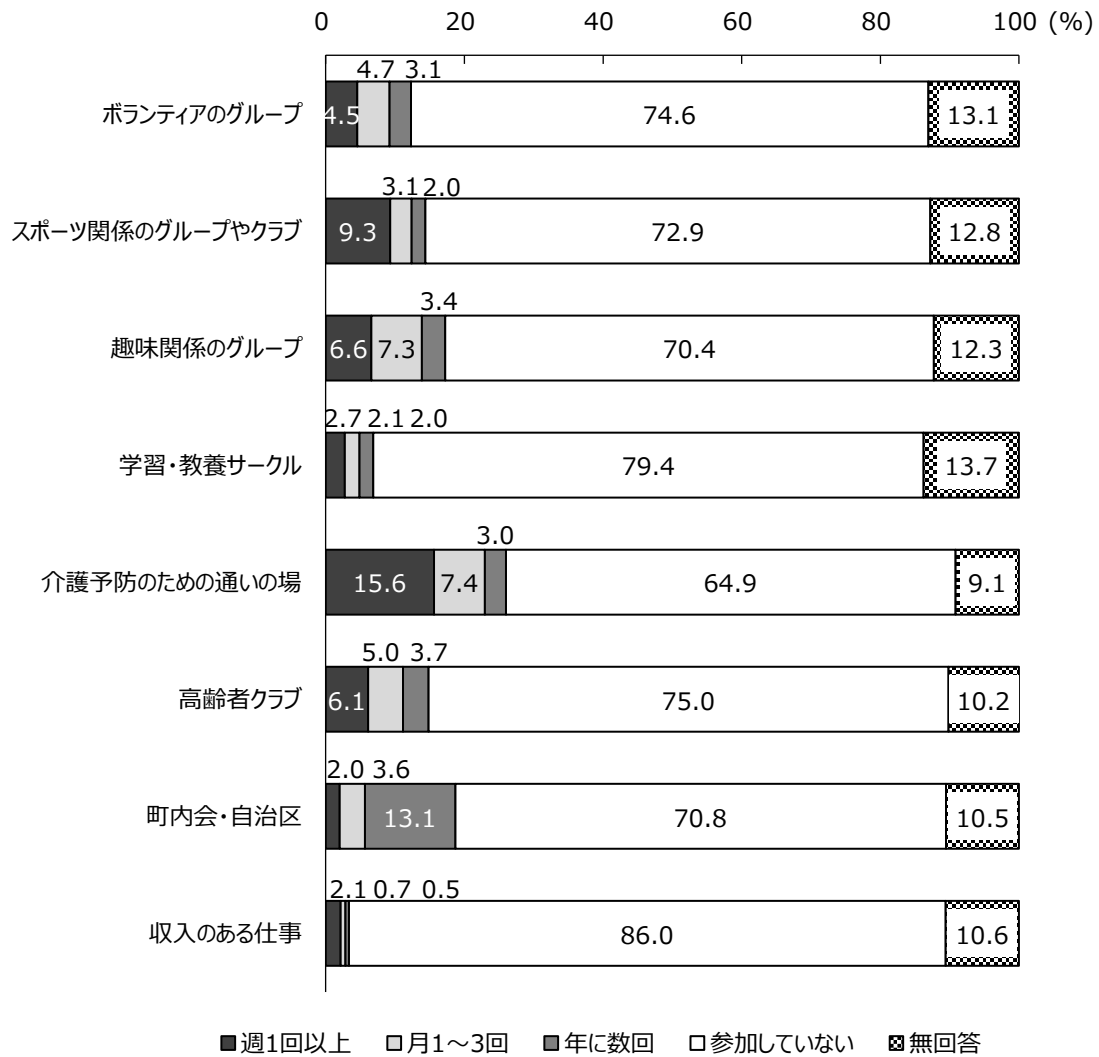
日常生活圏域別でみると、松平・下山、藤岡・小原、足助・旭・稲武では「収入のある仕事」の割合が他の圏域と比べて高くなっています。また、足助・旭・稲武では「町内会・自治区」の割合が、猿投では「趣味関係のグループ」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	ボランティア のグループ	スポーツ関 係のグルー プやクラブ	趣味関係 のグループ	学習・教養 サークル	介護予防 のための通 いの場	高齢者クラブ	町内会・自 治区	収入のある仕 事
年 齢	65～74歳	1,039	12.5	22.0	22.5	6.2	4.7	3.1	11.4	41.1
	75～84歳	1,067	13.4	23.8	24.2	4.8	9.3	8.7	9.0	13.5
	85歳以上	191	11.0	20.4	24.6	7.3	17.3	13.6	11.5	3.1
幸 せ 感	9～10	538	15.6	27.0	26.8	9.1	10.6	9.5	11.2	29.9
	7～8	951	15.1	26.8	28.3	6.3	8.1	7.4	11.6	26.2
	5～6	604	8.6	15.9	16.9	2.5	5.8	3.6	8.4	22.5
	0～4	182	5.5	12.6	12.1	2.7	4.9	2.7	6.0	15.9
性 別	男性	1,161	14.8	21.1	21.9	3.7	5.9	6.7	14.6	28.5
	女性	1,135	10.7	24.4	25.1	7.6	10.0	6.4	5.8	21.7
地 域	拳母	618	11.8	22.8	23.9	4.5	5.7	5.5	8.6	25.4
	高橋	348	12.6	25.9	24.1	5.2	8.0	7.5	11.2	22.4
	上郷	217	11.5	22.1	20.7	8.3	4.6	4.6	7.8	21.7
	高岡	380	13.2	22.9	20.3	5.3	7.9	6.3	8.9	20.0
	猿投	333	16.2	27.0	30.0	7.5	10.5	10.8	13.2	25.5
	松平・下山	102	12.7	15.7	24.5	7.8	13.7	11.8	8.8	37.3
	藤岡・小原	121	18.2	24.0	25.6	4.1	8.3	2.5	13.2	37.2
	足助・旭・稲武	120	9.2	14.2	20.0	5.8	13.3	4.2	18.3	33.3

【要支援者等】

「週1回以上」の参加について、「介護予防のための通いの場」(15.6%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(9.3%)、「趣味関係のグループ」(6.6%)の順に高くなっています。



【要支援者等】

認定等別・性別でみると、事業対象者と女性で「介護予防のための通いの場」の割合が他と比べて高くなっています。

日常生活圏域別でみると、上郷、猿投で「介護予防のための通いの場」の割合が他と比べて低くなっています。

単位：%

		n	ボランティア のグループ	スポーツ関 係のグルー プやクラブ	趣味関係 のグループ	学習・教養 サークル	介護予防 のための通 いの場	高齢者クラブ	町内会・自 治区	収入のある仕 事
認 定 等	要支援1	559	9.3	14.3	13.8	5.0	22.7	11.6	5.5	2.5
	要支援2	512	6.8	7.6	11.1	3.9	18.8	8.8	4.3	2.1
	事業対象者	46	10.9	19.6	13.0	0.0	34.8	13.0	2.2	4.3
幸 せ 感	9～10	235	11.1	18.3	18.3	8.5	29.4	15.7	7.7	2.1
	7～8	424	11.8	17.0	18.4	5.9	26.7	13.9	6.1	5.2
	5～6	529	9.1	9.5	11.7	3.8	21.7	9.5	5.5	2.1
	0～4	217	4.1	5.5	7.8	2.8	13.4	6.5	3.2	0.9
性 別	男性	702	9.1	10.5	11.7	3.7	18.2	10.3	4.4	3.3
	女性	723	9.7	14.7	16.3	6.2	27.2	12.3	6.8	2.5
地 域	拳母	412	8.7	13.1	13.8	4.9	24.0	9.7	5.6	4.4
	高橋	208	10.6	17.8	16.3	6.3	23.6	12.0	7.2	1.9
	上郷	97	6.2	7.2	16.5	3.1	12.4	9.3	3.1	3.1
	高岡	211	7.1	12.3	11.8	2.8	24.6	8.5	6.2	1.4
	猿投	175	6.9	11.4	12.6	6.9	13.7	10.9	4.0	2.3
	松平・下山	68	10.3	14.7	13.2	4.4	26.5	11.8	5.9	1.5
	藤岡・小原	87	13.8	8.0	14.9	4.6	28.7	18.4	8.0	2.3
	足助・旭・稲武	95	18.9	12.6	15.8	7.4	33.7	17.9	7.4	3.2

(2) 会・グループ等に参加していない理由

全ての会・グループ等で「年に数回」または「参加していない」を選択した場合

■ 会・グループ等にあまり参加していない理由をお聞かせください(○は3つまで)

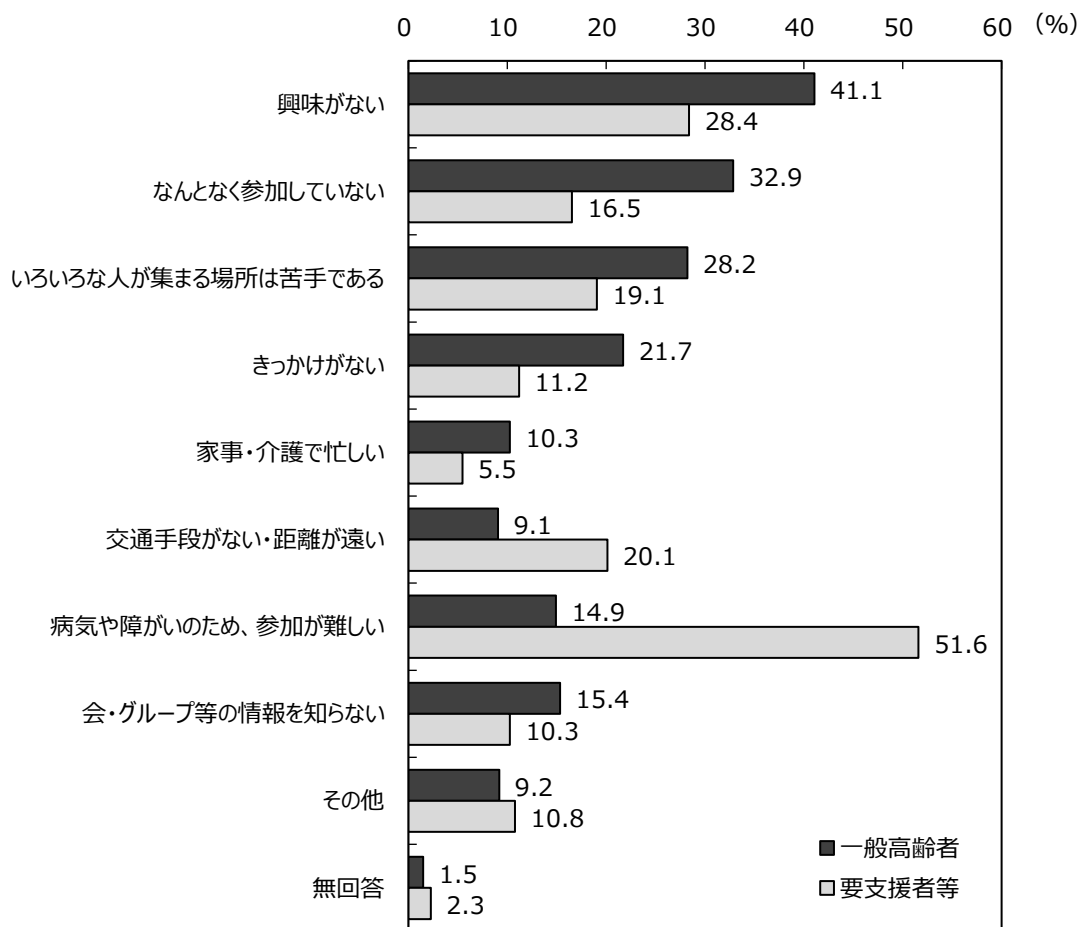
会・グループに参加していない人 n=925 (一般高齢者)、750 (要支援者等)

一般高齢者では、「興味がない」が41.1%と最も高く、次いで「なんとなく参加していない」(32.9%)、「いろいろな人が集まる場所は苦手である」(28.2%)の順に高くなっています。

年齢別でみると、85歳以上では「なんとなく参加していない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等では、「病気や障がいのため、参加が難しい」が51.6%と最も高く、次いで「興味がない」(28.4%)、「交通手段がない・距離が遠い」(20.1%)の順に高くなっています。

認定等別でみると、事業対象者では「興味がない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	興味がない	い な ん と な く 参 加 し て	る い ろ ろ は ろ な 人 が 集 ま る	き つ か け が な い	家 事 ・ 介 護 で 忙 し い	離 交 通 手 段 が な い ・ 距 離 が 遠 い	め 病 気 や 障 が い の た め ・ 参 加 が 難 し い	報 会 ・ グ ル ー プ 等 の 情 報 を 知 ら な い	そ の 他	無 回 答	
高齢者	年齢	65～74歳	335	43.6	29.0	31.0	25.7	11.6	3.9	13.1	15.8	9.3	0.6
		75～84歳	486	40.7	33.5	27.8	20.4	10.9	11.5	15.0	15.6	8.6	1.9
		85歳以上	94	34.0	40.4	20.2	14.9	3.2	16.0	21.3	11.7	12.8	2.1
	性別	男性	455	48.1	32.5	24.2	22.4	5.9	6.4	15.2	17.1	8.6	1.5
		女性	460	34.1	32.6	32.2	21.1	14.8	12.0	14.8	13.5	10.0	1.3
要支援	認定等	要支援1	296	28.4	19.6	18.6	13.5	8.4	22.6	45.3	11.5	10.8	3.0
		要支援2	302	28.1	12.3	17.9	7.0	3.0	17.9	64.9	7.9	10.3	1.3
		事業対象者	19	42.1	0.0	26.3	10.5	5.3	15.8	26.3	5.3	15.8	0.0
	性別	男性	402	31.8	15.4	17.4	12.4	5.0	16.9	55.0	9.5	8.7	1.7
		女性	336	24.1	17.6	20.2	9.8	6.3	23.8	47.9	11.3	13.7	3.0

(3) 地域づくり活動への参加意向

①参加者としての参加

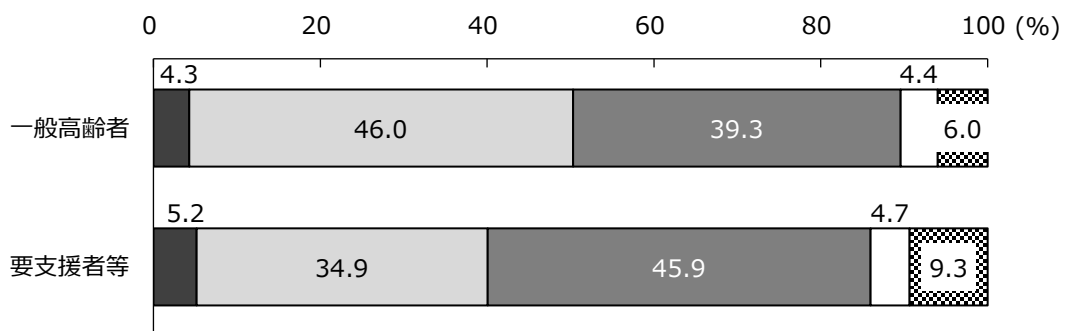
■ 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者の方が要支援者等よりも参加者としての参加意向が高くなっています。（「是非参加したい」（4.3%、5.2%）、「参加してもよい」（46.0%、34.9%））

一般高齢者について、年齢別でみると85歳以上で「参加してもよい」の割合が他と比べて低くなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、事業対象者では「参加してもよい」の割合が他と比べて高くなっています。



■是非参加したい □参加してもよい ■参加したくない □既に参加している ▨無回答

単位：%

		n	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加し ている	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	3.5	50.2	38.2	3.2	4.9
		75～84歳	1,067	4.3	43.8	40.9	5.1	6.0
		85歳以上	191	8.9	35.1	37.2	7.9	11.0
	性別	男性	1,161	3.4	46.5	41.3	4.3	4.5
		女性	1,135	5.3	45.5	37.3	4.6	7.4
要支援	認定等	要支援1	559	6.3	33.8	44.9	5.4	9.7
		要支援2	512	4.7	28.7	55.7	2.5	8.4
		事業対象者	46	0.0	50.0	39.1	2.2	8.7
	性別	男性	702	3.8	34.8	49.3	4.1	8.0
		女性	723	6.4	35.3	42.3	5.3	10.8

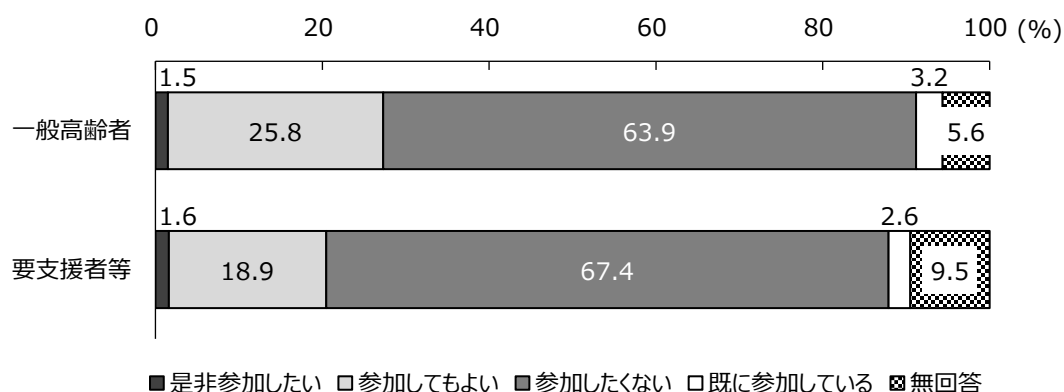
②企画・運営者としての参加

- 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者の方が要支援者等よりも企画・運営者としての参加意向が高くなっています。（「是非参加したい」（1.5%、1.6%）、「参加してもよい」（25.8%、18.9%））

一般高齢者、要支援者等ともに、年齢別・性別・認定等別でみると、「参加したくない」の割合が最も高くなっています。



単位：%

		n	是非参加 したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加し ている	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	1.3	26.7	64.8	2.4	4.8
		75～84歳	1,067	1.0	25.4	64.5	3.9	5.2
		85歳以上	191	4.7	24.6	55.0	3.7	12.0
	性別	男性	1,161	1.6	28.3	61.8	3.8	4.5
		女性	1,135	1.4	23.4	65.8	2.6	6.7
要支援	認定等	要支援1	559	2.0	19.3	66.2	3.0	9.5
		要支援2	512	0.8	14.3	74.6	1.6	8.8
		事業対象者	46	2.2	23.9	69.6	0.0	4.3
	性別	男性	702	1.6	22.8	65.1	2.4	8.1
		女性	723	1.5	15.1	69.6	2.9	10.9

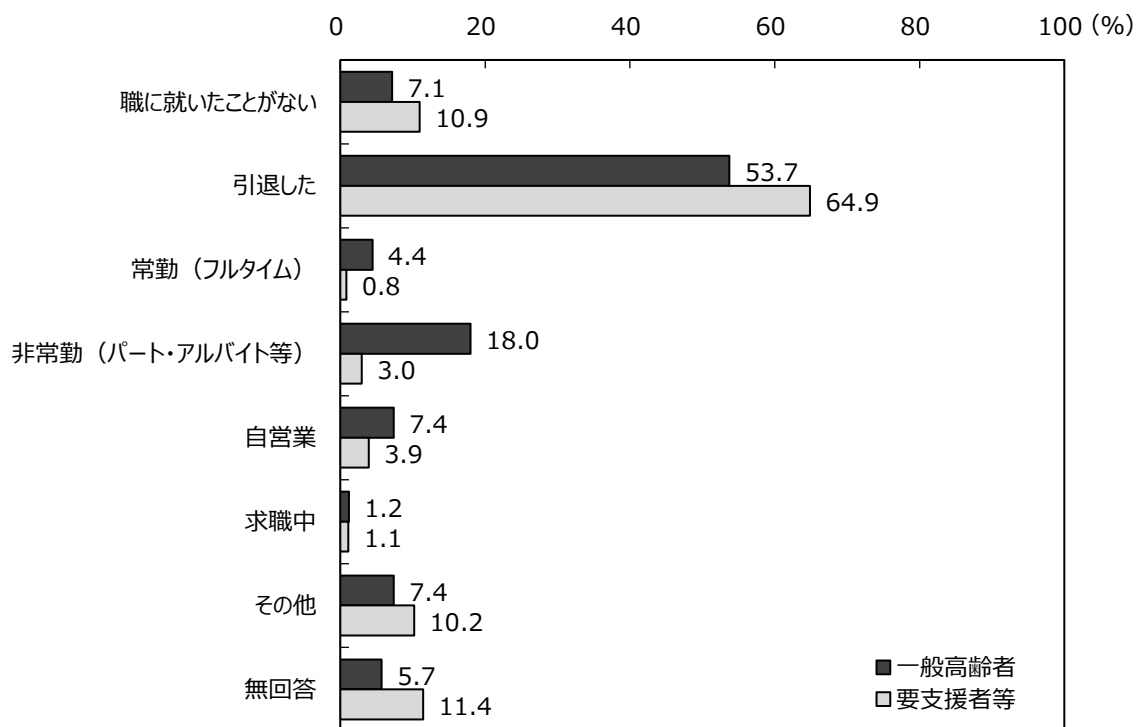
(4) 就労について

①現在の就労状態

■ 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「引退した」が 53.7%、64.9%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では「非常勤(パート・アルバイト等)」(18.0%)が、要支援者等では「職に就いたことがない」(10.9%)が高くなっています。



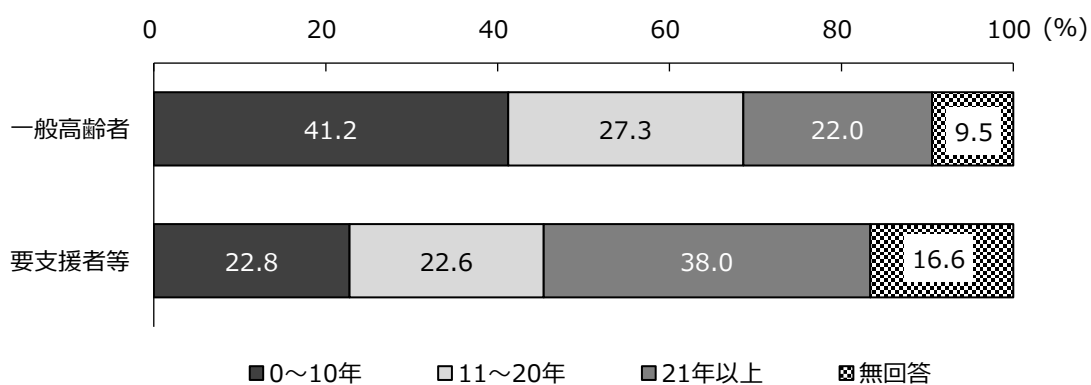
②引退してからの年数

■ あなたはいつ引退しましたか

引退した人 n=1,247 (一般高齢者)、944 (要支援者等)

引退してから令和 7 年に至るまでの年数を集計した結果、一般高齢者では、「0～10 年」が 41.2%と最も高く、次いで「11～20 年」(27.3%)、「21 年以上」(22.0%) の順に高くなっています。

要支援者等では、「21 年以上」が 38.0%と最も高く、次いで「0～10 年」(22.8%)、「11～20 年」(22.6%)、の順に高くなっています。



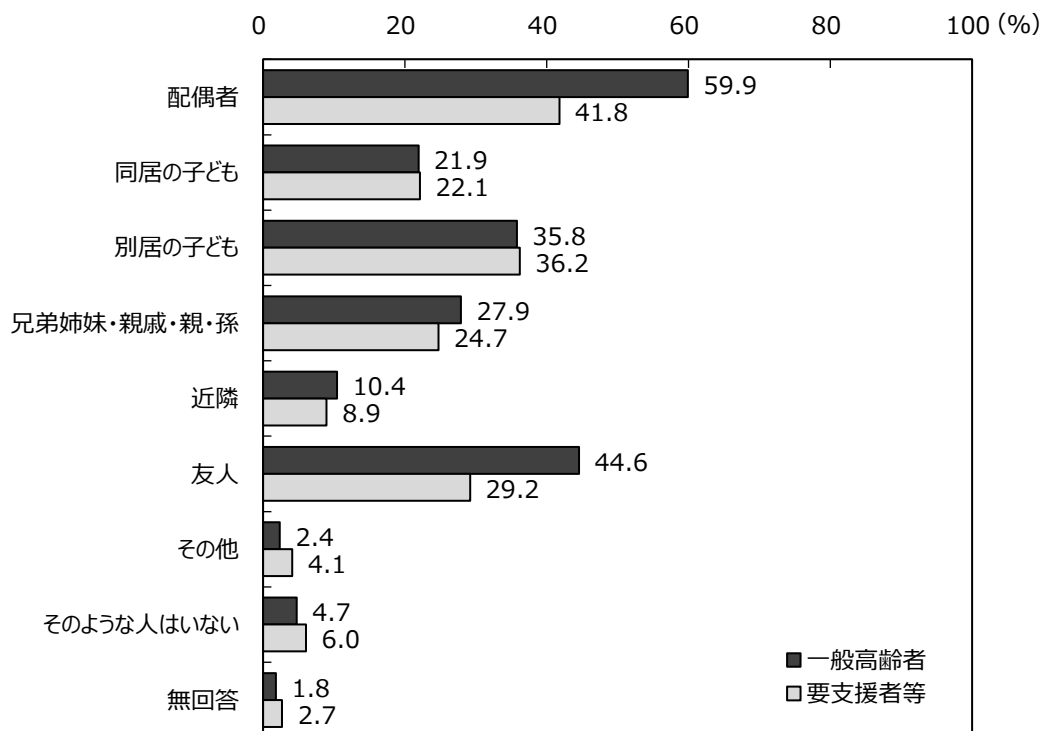
6 たすけあいについて

(1) 心配や愚痴を聞いてくれる人

■ あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに、「配偶者」が59.9%、41.8%と最も高く、次いで、一般高齢者では「友人」(44.6%)、「別居の子ども」(35.8%)の順に、要支援者等では「別居の子ども」(36.2%)、「友人」(29.2%)の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別にみると、年齢が上がるほど「配偶者」「友人」の割合が低くなり、「同居の子ども」の割合が高くなっています。性別でみると、女性では「配偶者」以外の割合が男性と比べて高く、特に「友人」で高くなっています。

要支援者等について、性別でみると、女性では「配偶者」以外の割合が男性と比べて高く、特に「友人」で高くなっています。また、幸せ感が高いほど「別居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

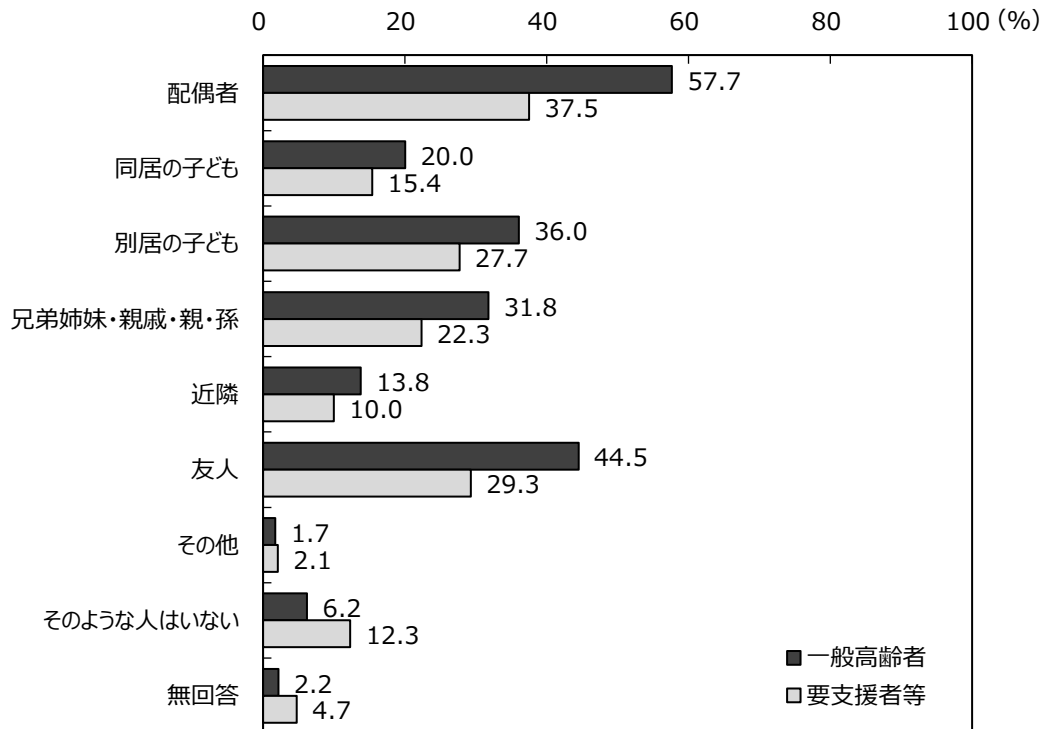
		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟・姉妹・孫・親	近隣	友人	その他	はそいなのうな人	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	65.0	19.6	36.7	29.2	9.0	51.0	2.4	5.2	1.4
		75～84歳	1,067	57.8	22.2	35.6	26.8	12.1	41.1	2.2	4.7	1.5
		85歳以上	191	45.5	34.0	34.6	28.3	9.9	28.8	3.1	2.1	4.2
	幸せ感	9～10	538	73.4	24.0	40.1	32.7	12.6	50.4	3.7	0.9	1.3
		7～8	951	62.4	23.9	38.1	29.1	11.4	49.9	1.8	2.7	1.7
		5～6	604	52.6	19.9	31.1	24.5	8.3	37.6	1.5	7.8	1.8
		0～4	182	34.1	11.5	29.1	18.1	7.1	25.8	3.8	15.9	3.3
	性別	男性	1,161	71.9	16.5	26.6	20.5	6.5	31.7	2.3	7.1	2.2
		女性	1,135	47.8	27.7	45.6	35.7	14.5	57.8	2.5	2.3	1.2
	要支援	認定等	要支援1	559	41.3	21.5	37.6	25.0	10.7	28.8	4.3	5.7
要支援2			512	43.9	24.4	35.5	22.3	8.6	29.9	5.1	5.7	2.0
事業対象者			46	39.1	21.7	30.4	23.9	8.7	28.3	2.2	8.7	2.2
幸せ感		9～10	235	38.3	27.2	41.3	20.4	12.3	30.6	2.1	3.0	2.6
		7～8	424	44.8	24.1	39.6	31.1	9.0	35.4	3.3	4.0	2.6
		5～6	529	43.1	21.7	35.2	25.0	8.9	27.8	5.3	5.7	1.7
		0～4	217	38.7	15.7	28.6	18.9	5.5	22.6	5.1	13.4	2.3
性別		男性	702	59.1	18.4	30.3	21.4	5.4	17.1	3.4	7.4	2.3
		女性	723	25.2	25.6	42.3	27.8	12.4	41.1	4.8	4.8	2.9

(2) 心配や愚痴を聞いてあげる人

■ 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに、「配偶者」が57.7%、37.5%と最も高く、次いで、「友人」（44.5%、29.3%）、「別居の子ども」（36.0%、27.7%）の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別にみると、年齢が上がるほど「配偶者」「友人」の割合が低くなっています。性別でみると、女性では「配偶者」以外の割合が男性と比べて高く、特に「友人」で高くなっています。幸せ感別でみると、幸せ感が低いほど「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

要支援者等について、性別でみると、女性では「配偶者」以外の割合が男性と比べて高く、特に「友人」で高くなっています。

単位：％

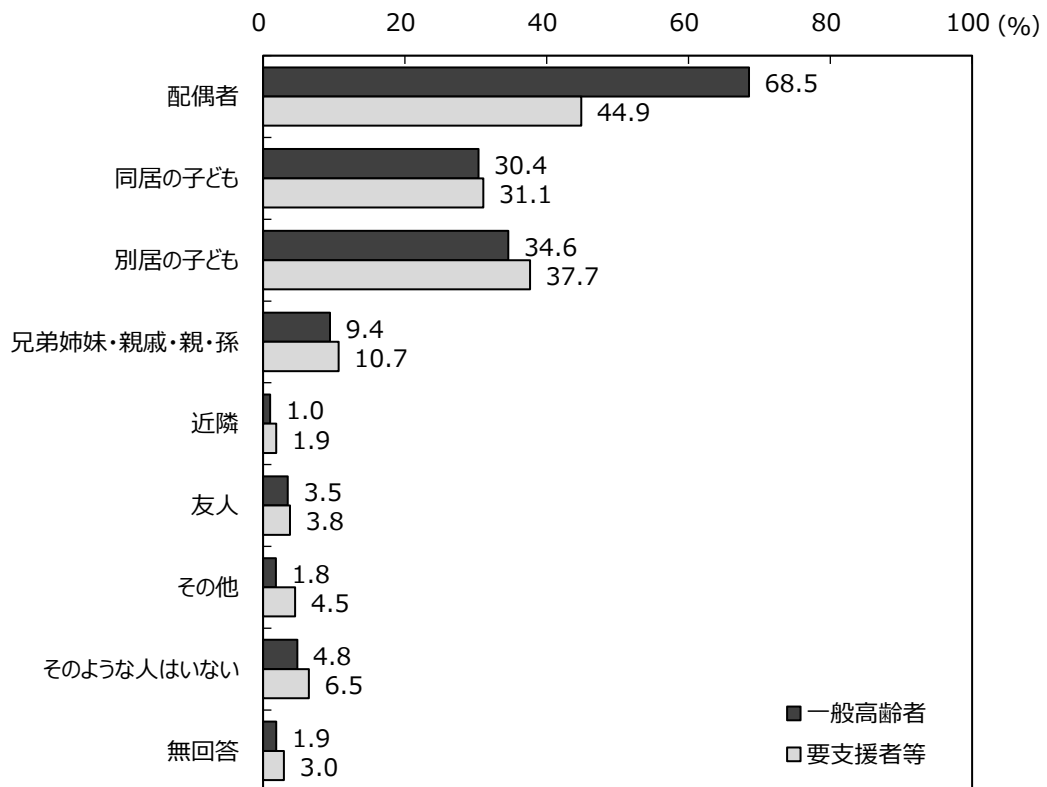
		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚兄弟・親姉妹・孫・親	近隣	友人	その他	はそれ以外のようない人	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	62.7	20.6	39.3	34.1	11.6	50.1	2.2	5.4	1.5
		75～84歳	1,067	55.6	19.5	34.0	30.0	15.8	41.4	1.2	6.4	2.1
		85歳以上	191	45.0	19.4	31.9	30.4	15.2	31.4	1.6	8.4	4.7
	幸せ感	9～10	538	68.8	23.2	42.0	37.7	17.3	50.0	2.6	2.2	1.9
		7～8	951	60.5	20.9	38.6	33.3	14.0	51.3	1.2	3.7	1.5
		5～6	604	51.3	18.9	30.5	26.8	11.8	35.9	1.5	8.1	2.5
		0～4	182	34.1	9.9	25.3	23.1	9.3	24.7	2.2	24.2	3.3
	性別	男性	1,161	70.9	18.2	29.9	24.9	9.0	31.8	1.4	7.8	2.7
女性		1,135	44.6	21.8	42.7	38.9	18.8	57.6	2.0	4.3	1.4	
要支援	認定等	要支援1	559	38.5	15.2	30.1	22.4	11.1	29.2	2.7	10.4	3.9
		要支援2	512	38.7	16.0	25.4	21.1	9.6	28.7	2.1	14.1	4.7
		事業対象者	46	34.8	19.6	26.1	21.7	15.2	21.7	2.2	15.2	2.2
	幸せ感	9～10	235	32.8	17.9	34.9	20.9	13.2	34.0	0.9	8.5	5.1
		7～8	424	40.1	17.7	31.4	30.4	8.0	36.3	1.7	8.0	5.0
		5～6	529	39.9	15.7	25.1	20.2	11.0	26.1	3.0	12.7	3.4
		0～4	217	35.0	8.8	20.7	15.7	6.9	21.7	1.8	22.1	4.1
	性別	男性	702	55.8	13.8	24.6	18.5	6.3	16.0	1.6	13.7	4.4
		女性	723	19.9	16.6	30.6	26.0	13.6	42.2	2.6	11.3	5.1

(3) 看病や世話をしてくれる人

■ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつかでも)

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「配偶者」が68.5%、44.9%と最も高く、次いで、「別居の子ども」(34.6%、37.7%)、「同居の子ども」(30.4%、31.1%)の順に高くなっています。

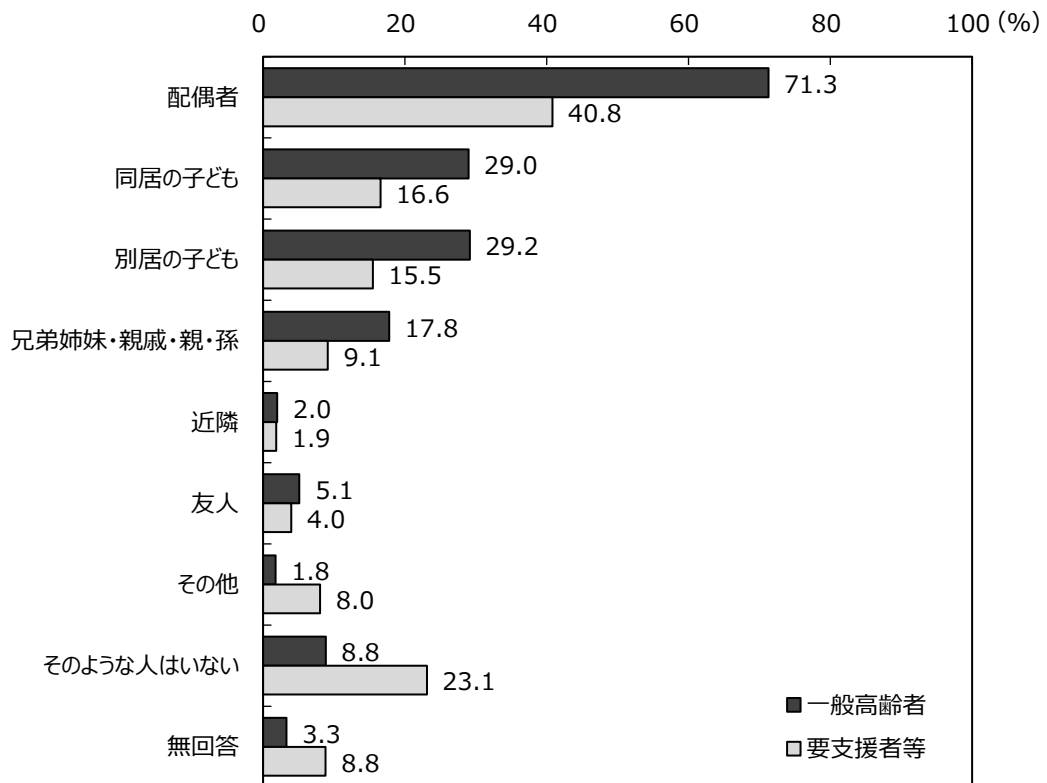


(4) 看病や世話をしあける人

■ 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「配偶者」が71.3%、40.8%と最も高くなっています。次いで、一般高齢者では「別居の子ども」(29.2%)、「同居の子ども」(29.0%)の順に、要支援者等では「そのような人はいない」(23.1%)、「同居の子ども」(16.6%)の順に高くなっています。



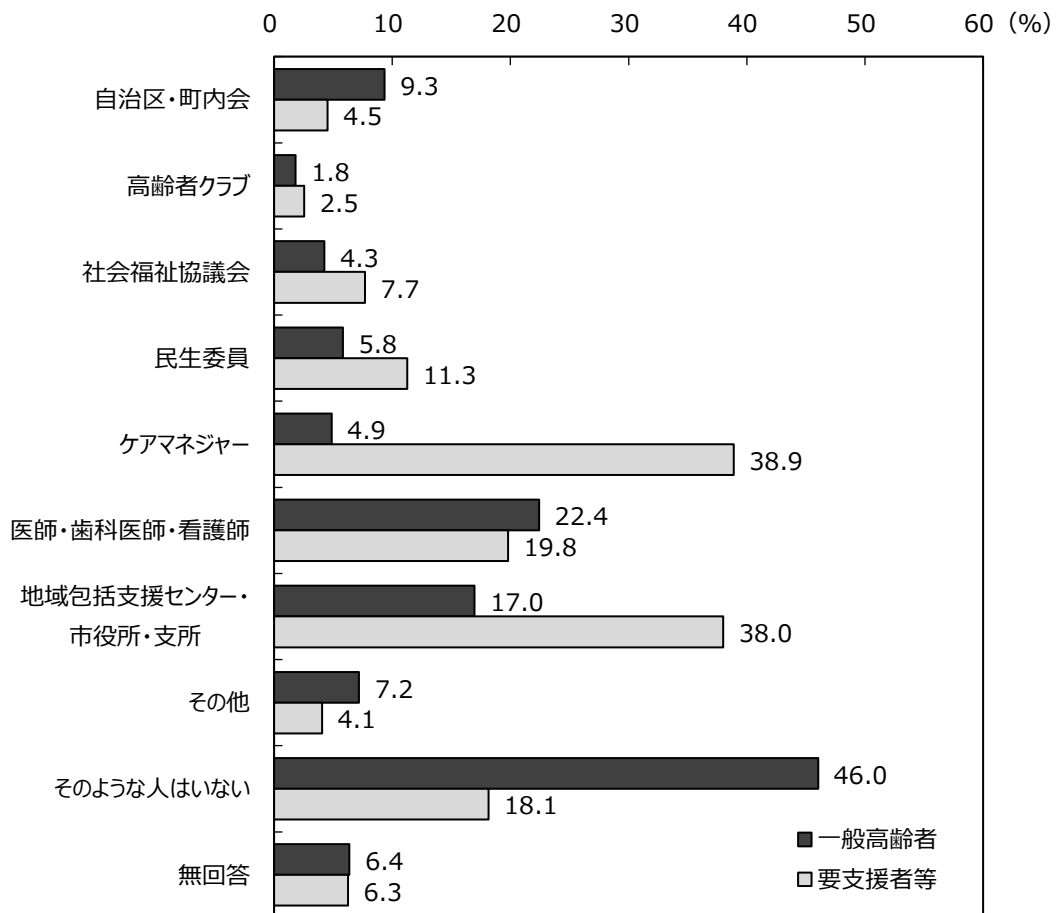
(5) 何かあったときに相談する相手

■ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者では、「そのような人はいない」が46.0%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(22.4%)、「地域包括支援センター・市役所・支所」(17.0%)の順に高くなっています。

要支援者等では、「ケアマネジャー」が38.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所・支所」(38.0%)、「医師・歯科医師・看護師」(19.8%)の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別でみると、85歳以上で「民生委員」「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別・性別でみると、要支援2と女性で「ケアマネジャー」の割合が他と比べて高くなっています。また、世帯別でみると、1人暮らしでは「民生委員」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	自治区・町内会	高齢者クラブ	社会福祉協議会	民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域・包括支援センター	その他	そのような人はいな	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	9.4	1.0	4.2	3.6	4.6	22.1	17.4	7.4	50.0	3.4
		75～84歳	1,067	8.9	2.2	4.0	7.0	4.5	21.3	16.5	6.7	44.8	8.6
		85歳以上	191	10.5	4.2	5.8	12.0	8.4	31.4	18.3	8.4	33.0	8.4
	幸せ感	9～10	538	11.5	3.2	4.1	6.1	4.3	25.5	19.0	8.6	37.7	7.2
		7～8	951	11.4	1.7	4.9	5.8	4.7	25.1	18.0	6.7	44.4	5.5
		5～6	604	6.3	1.0	3.6	6.0	5.0	19.0	16.2	7.3	53.5	4.6
		0～4	182	3.3	1.6	1.6	4.9	6.0	13.2	9.3	6.6	57.7	8.2
	性別	男性	1,161	12.5	2.6	4.3	6.0	4.3	23.8	15.8	7.5	46.3	5.4
		女性	1,135	6.0	1.1	4.2	5.7	5.5	21.1	18.3	6.9	46.2	7.0
	要支援	認定等	要支援1	559	4.7	2.7	8.6	13.8	38.1	18.4	37.7	3.2	17.5
要支援2			512	4.1	2.3	7.2	9.6	49.2	22.3	40.0	5.5	16.2	3.5
事業対象者			46	6.5	2.2	2.2	6.5	43.5	26.1	45.7	2.2	21.7	2.2
幸せ感		9～10	235	8.1	3.8	8.5	13.2	38.3	26.0	43.0	3.0	14.5	7.7
		7～8	424	5.2	3.8	8.5	13.2	37.7	22.6	42.2	5.2	15.8	5.4
		5～6	529	3.0	1.3	6.6	10.2	40.8	17.8	37.2	4.7	19.1	4.2
		0～4	217	3.7	2.3	8.8	8.3	41.5	14.7	30.4	2.3	22.1	7.8
性別		男性	702	5.6	3.1	7.4	10.4	34.6	21.2	37.2	3.6	21.1	5.6
		女性	723	3.5	2.1	7.9	12.4	42.9	18.5	38.9	4.7	15.2	6.8
世帯		1人暮らし	382	4.7	2.1	8.4	25.4	41.6	20.2	41.6	5.8	12.6	6.5
		夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	463	6.5	2.6	9.3	7.6	36.7	21.4	39.1	2.6	21.0	4.5
		夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	27	0.0	0.0	11.1	3.7	51.9	14.8	33.3	3.7	25.9	11.1
		息子・娘との2世帯	325	3.4	3.1	4.6	5.5	39.1	21.5	33.8	3.1	19.4	8.3
		その他	240	2.5	2.5	6.3	5.0	38.3	14.6	37.9	5.8	18.8	5.0

(6) 知人・友人・近所の人（家族以外）との会話

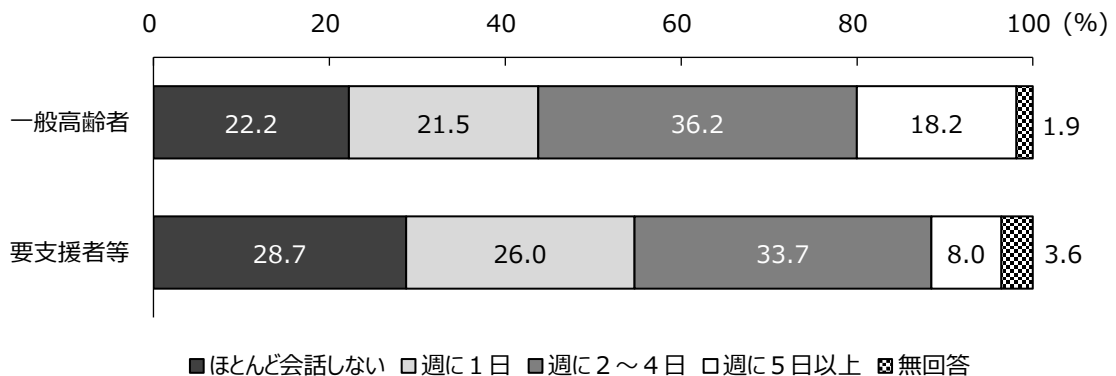
■ 1週間に、知人・友人・近所の人（家族以外）とどのくらい話しますか（○は1つ）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに、「週に2～4日」が36.2%、33.7%と最も高く、次いで「ほとんど会話しなない」（22.2%、28.7%）、「週に1日」（21.5%、26.0%）の順に高くなっています。

一般高齢者について、幸せ感別でみると、幸せ感が高くなるほど知人・友人・近所の人と話す頻度は高くなっています。性別でみると、男性で「ほとんど会話しなない」の割合が女性に比べて高くなっています。

要支援者等について、幸せ感別でみると、幸せ感が高くなるほど知人・友人・近所の人と話す頻度は高くなっています。また、性別でみると、男性で「ほとんど会話しなない」の割合が女性に比べて高くなっています。



単位：%

		n	ほとんど会 話しない	週に1日	週に2～ 4日	週に5日 以上	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	22.1	21.6	35.5	19.2	1.5
		75～84歳	1,067	21.2	22.4	37.2	17.5	1.7
		85歳以上	191	28.8	17.3	36.1	14.7	3.1
	幸せ感	9～10	538	13.6	19.5	36.2	29.0	1.7
		7～8	951	17.7	21.0	41.3	18.5	1.5
		5～6	604	30.3	22.5	32.9	12.4	1.8
		0～4	182	44.0	26.4	20.3	4.9	4.4
	性別	男性	1,161	27.1	21.0	33.0	16.8	2.1
		女性	1,135	17.3	22.2	39.8	19.3	1.4
要支援	認定等	要支援1	559	29.0	27.7	30.8	8.8	3.8
		要支援2	512	28.1	24.6	38.7	6.6	2.0
		事業対象者	46	28.3	23.9	43.5	2.2	2.2
	幸せ感	9～10	235	18.3	26.4	39.6	12.3	3.4
		7～8	424	21.9	24.5	42.7	8.5	2.4
		5～6	529	32.1	28.9	30.2	6.2	2.5
		0～4	217	43.8	22.6	23.0	6.0	4.6
	性別	男性	702	37.6	23.8	27.8	7.8	3.0
		女性	723	20.1	27.9	40.0	7.9	4.1

7 健康について

(1) 主観的健康観

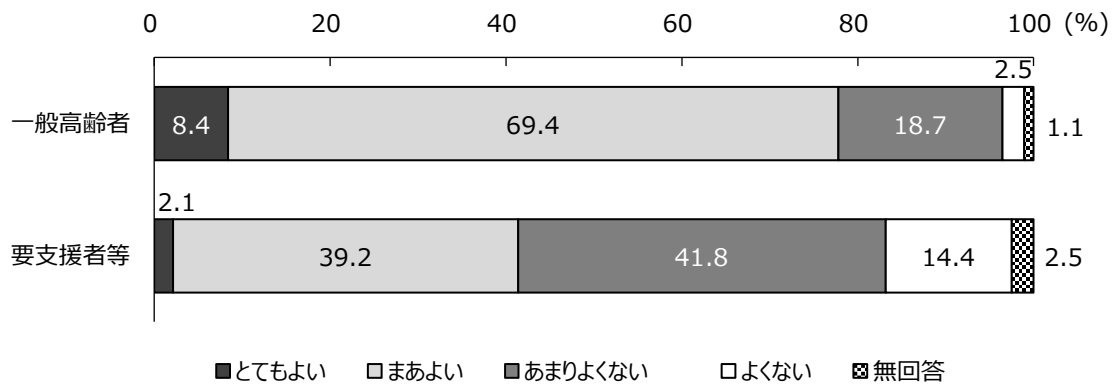
■ 現在のあなたの健康状態はいかがですか

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者は「まあよい」(69.4%)、要支援者等は「あまりよくない」(41.8%)が最も高くなっています。

一般高齢者について、年齢別で見ると、年齢が上がるほど健康状態が良くないとする割合が高くなっています。幸せ感別で見ると、幸せ感が高くなるほど健康状態がよい傾向がみられます。

要支援者等について、幸せ感別で見ると、幸せ感が高くなるほど健康状態がよいとしています。また、性別で見ると、男性は女性よりも「あまりよくない」「よくない」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	10.8	74.0	13.0	1.9	0.3
		75～84歳	1,067	6.3	67.4	22.0	2.8	1.5
		85歳以上	191	7.3	57.6	30.9	2.1	2.1
	幸せ感	9～10	538	18.6	70.8	8.9	1.3	0.4
		7～8	951	7.9	77.7	13.1	0.8	0.4
		5～6	604	2.8	65.4	27.6	3.3	0.8
		0～4	182	0.5	40.1	47.3	11.0	1.1
	性別	男性	1,161	7.9	66.8	22.0	2.4	0.9
		女性	1,135	8.9	72.3	15.3	2.3	1.1
	要支援	認定等	要支援1	559	1.8	39.4	43.8	12.9
要支援2			512	1.0	34.0	45.5	18.0	1.6
事業対象者			46	4.3	39.1	39.1	17.4	0.0
幸せ感		9～10	235	6.4	59.6	27.2	5.5	1.3
		7～8	424	2.4	51.9	38.0	6.4	1.4
		5～6	529	0.6	31.6	50.1	16.3	1.5
		0～4	217	0.5	16.6	47.5	34.6	0.9
性別		男性	702	1.4	36.2	44.0	16.7	1.7
		女性	723	2.8	42.0	40.5	12.3	2.4

(2) 幸せ感

■ あなたは、現在どの程度幸せですか

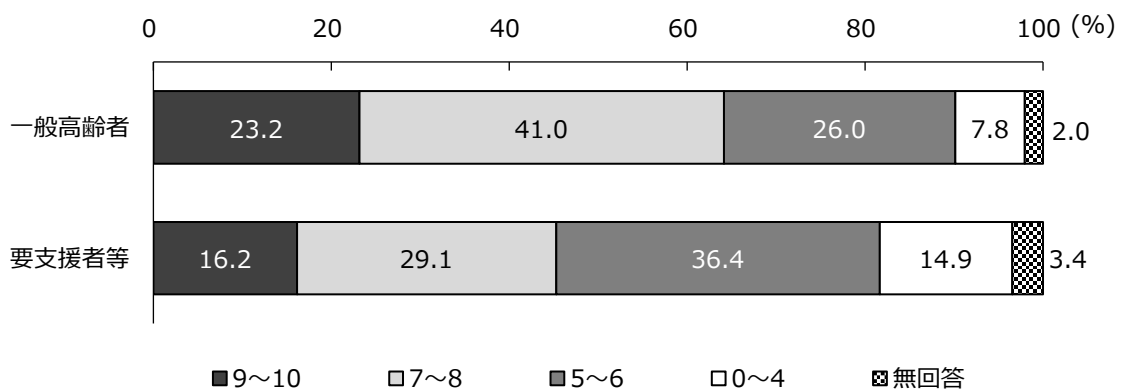
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○をつけてください)

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者は「7～8」(41.0%)、要支援者等は「5～6」(36.4%) が最も高くなっています。

一般高齢者について、年齢別、性別でも、大きな違いはみられません。

要支援者等について、年齢別で見ると、65～74歳では幸せ感が低くなっています。



単位：%

		n	9~10	7~8	5~6	0~4	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	22.4	44.9	24.2	7.6	0.9
		75～84歳	1,067	23.1	38.5	27.6	8.2	2.5
		85歳以上	191	27.7	34.6	26.7	7.3	3.7
	性別	男性	1,161	21.0	39.3	29.1	9.0	1.6
		女性	1,135	25.5	43.0	22.8	6.6	2.1
要支援	認定等	要支援1	559	14.8	30.6	36.3	15.7	2.5
		要支援2	512	14.6	29.3	36.5	17.2	2.3
		事業対象者	46	10.9	17.4	54.3	15.2	2.2
	性別	男性	702	10.8	27.8	39.7	18.5	3.1
		女性	723	21.6	30.3	33.2	11.9	3.0
	年齢	65～74歳	144	13.9	19.4	38.2	27.1	1.4
		75～84歳	659	12.9	29.4	39.2	15.5	3.0
		85歳以上	621	20.6	30.6	33.3	11.9	3.5

(3) 気分の落ち込み

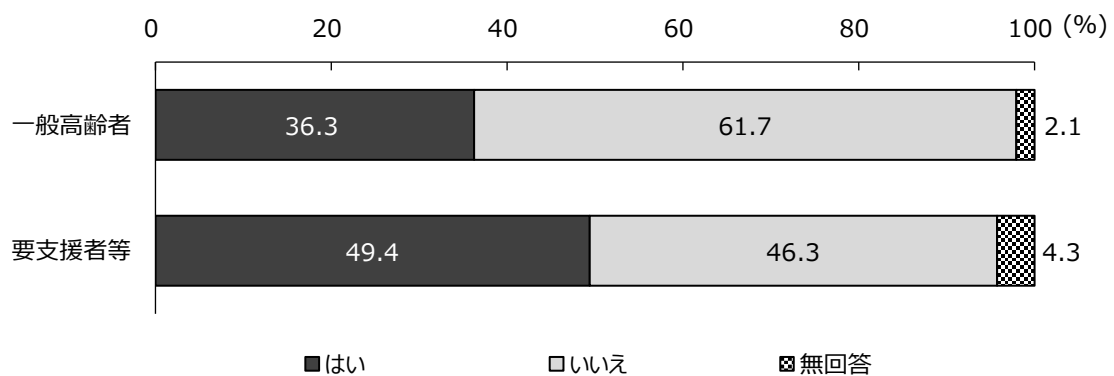
■ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

「はい」の割合が、一般高齢者では36.3%、要支援者等では49.4%となっています。

一般高齢者について、年齢別でも、大きな違いはみられません。

要支援者等について、認定等別でみると、事業対象者で「はい」の割合が特に高くなっています。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答
高齢者	年齢				
	65～74歳	1,039	37.6	61.6	0.8
	75～84歳	1,067	34.7	62.2	3.1
	85歳以上	191	36.1	61.3	2.6
要支援者等	認定等				
	要支援1	559	49.0	47.2	3.8
	要支援2	512	52.9	44.3	2.7
	事業対象者	46	71.7	26.1	2.2

(4) 興味・関心の低下

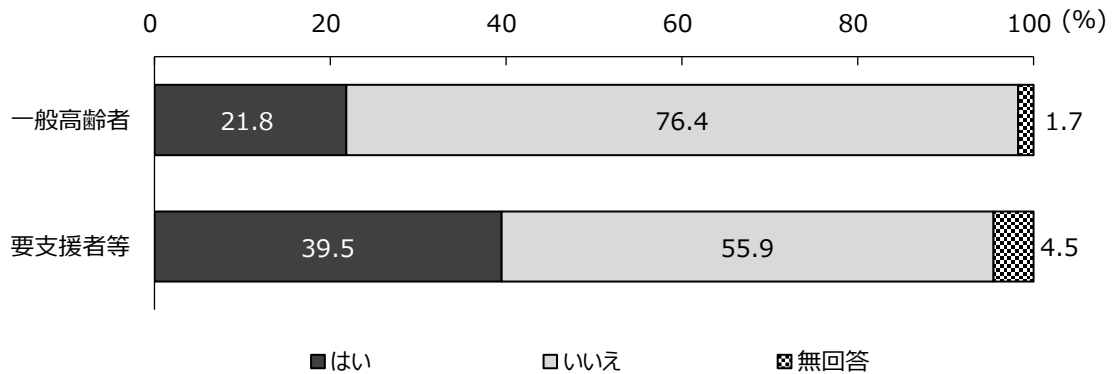
■ この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

「はい」の割合が、一般高齢者では21.8%、要支援者等では39.5%となっています。

一般高齢者について、年齢別でも、大きな違いはみられません。

要支援者等について、認定等別でみると、事業対象者では「はい」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	19.8	79.1	1.1
		75～84歳	1,067	23.1	74.7	2.2
		85歳以上	191	24.1	73.8	2.1
要支援者等	認定等	要支援1	559	40.6	55.8	3.6
		要支援2	512	42.0	54.7	3.3
		事業対象者	46	54.3	43.5	2.2

(5) 喫煙状況

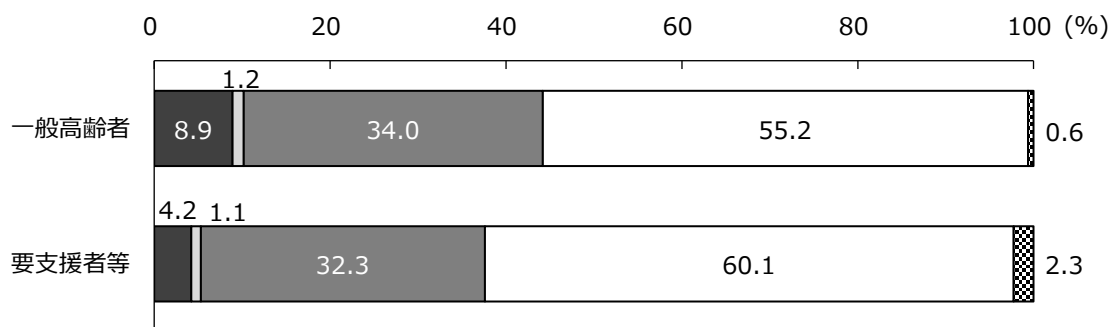
■ タバコは吸っていますか

n=2,322 (一般高齢者) 、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに「もともと吸っていない」が55.2%、60.1%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(34.0%、32.3%)が高くなっています。

一般高齢者について、65～74歳では「ほぼ毎日吸っている」の割合が他と比べてやや高くなっています。

要支援者等について、認定等別でも、大きな違いはみられません。



■ ほぼ毎日吸っている □ 時々吸っている ■ 吸っていたがやめた □ もともと吸っていない ▨ 無回答

単位：%

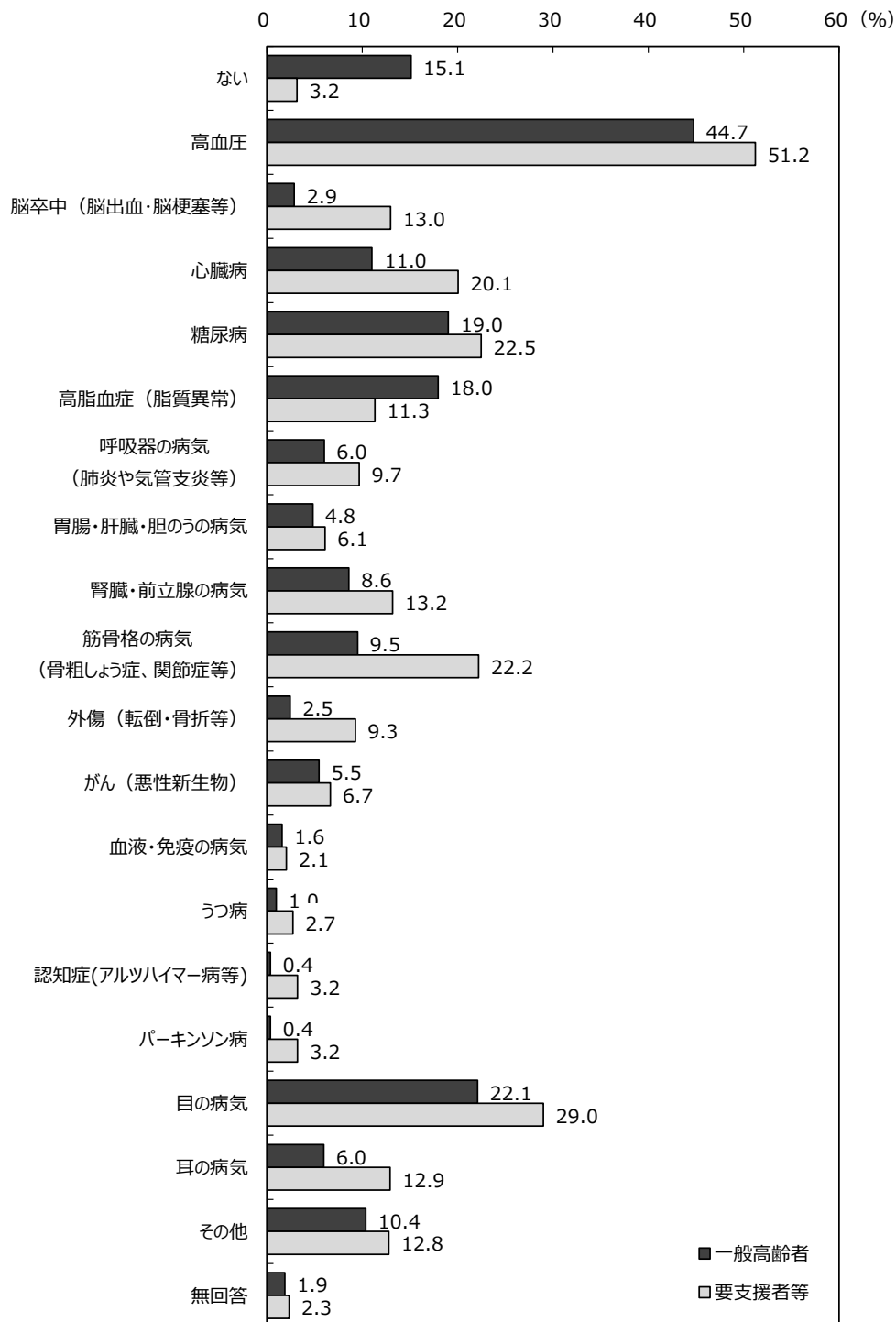
		n	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	11.9	1.3	33.3	53.3	0.1
		75～84歳	1,067	6.8	1.3	34.0	56.9	0.9
		85歳以上	191	3.7	0.5	39.3	55.0	1.6
要支援	認定等	要支援1	559	4.7	0.9	30.6	61.7	2.1
		要支援2	512	3.9	1.2	35.7	57.6	1.6
		事業対象者	46	4.3	0.0	30.4	65.2	0.0

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気

■ 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「高血圧」が44.7%、51.2%と最も高く、次いで「目の病気」(22.1%、29.0%)、「糖尿病」(19.0%、22.5%)の順に高くなっています。



一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど「高血圧」の割合が高くなっています。また、65～74歳で「高脂血症（脂質異常）」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、事業対象者では「耳の病気」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	等呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
高齢者	年齢												
		65～74歳	1,039	19.2	39.2	2.0	7.1	17.6	22.5	4.7	5.0	6.2	7.3
		75～84歳	1,067	12.2	48.8	3.4	14.1	20.2	15.7	7.6	4.2	10.3	11.8
	85歳以上	191	7.9	53.4	4.2	15.7	19.9	6.8	4.7	6.8	12.6	7.3	
要支援	認定等												
		要支援1	559	3.2	51.9	12.9	18.1	23.3	11.1	12.5	7.0	12.2	21.8
		要支援2	512	1.4	51.2	17.6	23.6	25.4	13.1	9.4	7.2	16.8	26.6
	事業対象者	46	2.2	58.7	10.9	26.1	23.9	15.2	6.5	4.3	4.3	30.4	

単位：%

		n	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
高齢者	年齢												
		65～74歳	1,039	1.8	4.8	1.3	1.4	0.1	0.5	18.2	3.8	9.7	1.9
		75～84歳	1,067	3.1	6.0	1.8	0.7	0.7	0.3	25.1	7.9	10.7	1.8
	85歳以上	191	2.6	5.8	2.6	0.0	0.5	0.5	27.2	7.3	12.0	2.1	
要支援	認定等												
		要支援1	559	8.1	6.4	2.1	2.7	3.8	3.0	30.2	12.9	14.1	2.0
		要支援2	512	11.7	7.8	2.7	2.3	2.5	4.3	29.1	11.9	13.5	1.0
	事業対象者	46	6.5	6.5	2.2	4.3	8.7	2.2	34.8	23.9	15.2	0.0	

(7) 各種リスク

一般高齢者について、各種リスク該当者の割合を算出しました。リスク判定基準は、厚生労働省「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査実施の手引き」（令和7年8月版）に準じ、下記のとおり算出しています。

○運動器機能低下リスク（問2（1）～（5）の5問中3問以上の該当者）

○転倒リスク（問2（4）の該当者）

番号	設問	選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3.できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3.できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	3.できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1.何度もある 2.1度ある
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1.とても不安である 2.やや不安である

○閉じこもりリスク（次の該当者）

番号	設問	選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1.ほとんど外出しない 2.週1回

○認知機能低下リスク（次の該当者）

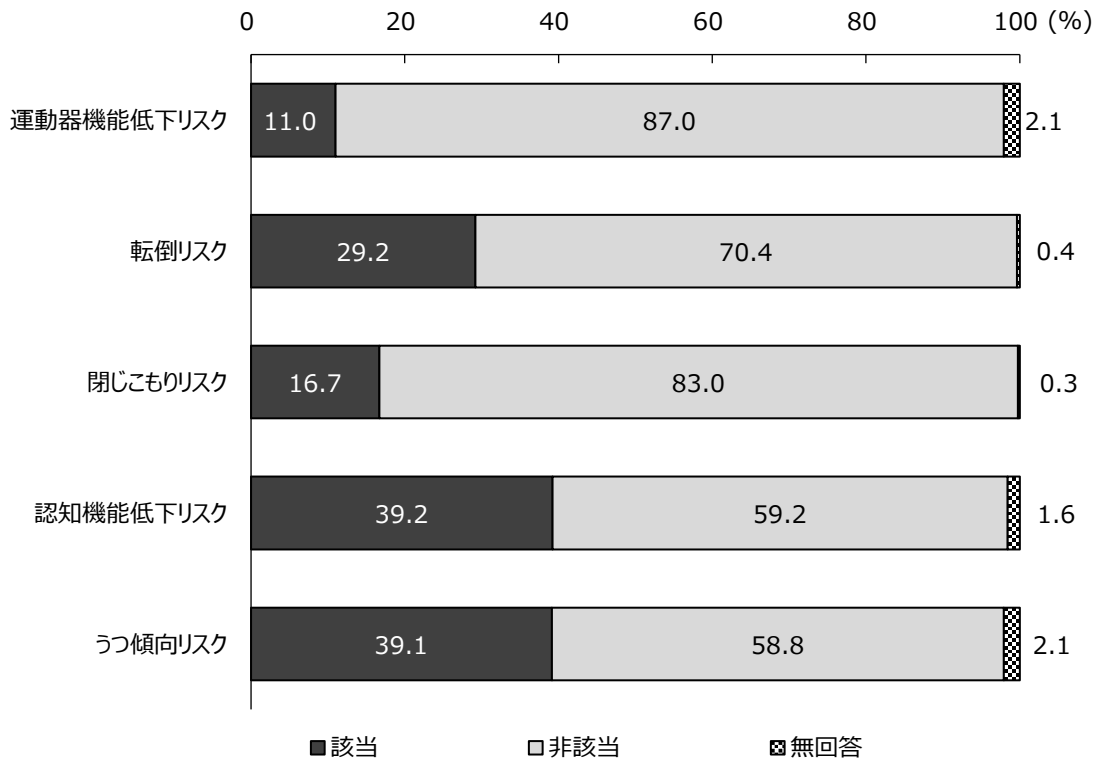
番号	設問	選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1.はい

○うつ傾向リスク（次の2問中1問以上の該当者）

番号	設問	選択肢
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1.はい
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1.はい

n=2,322 (一般高齢者)

運動器機能低下リスクでは 11.0%、転倒リスクでは 29.2%、閉じこもりリスクでは 16.7%、認知機能低下リスクでは 39.2%、うつ傾向リスクでは 39.1% がリスク該当者となっています。



各種リスク該当者について、年齢別・幸せ感別で見ると、年齢が上がるほど、また、幸せ感が低いほど各種リスクの割合が高くなる傾向がみられます。日常生活圏域別で見ると、松平・下山では「転倒リスク」、足助・旭・稲武では「閉じこもりリスク」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	運動器機能低下リスク	転倒リスク	閉じこもりリスク	認知機能低下リスク	うつ傾向リスク
年齢	65～74歳	1,039	5.9	25.2	11.0	35.7	39.7
	75～84歳	1,067	13.1	31.1	19.5	40.6	38.1
	85歳以上	191	26.2	40.3	32.5	49.2	40.8
幸せ感	9～10	538	6.5	21.6	13.8	30.5	21.9
	7～8	951	8.2	27.1	12.2	36.3	33.6
	5～6	604	14.7	35.8	20.9	48.8	52.5
	0～4	182	24.7	39.6	33.0	48.9	78.0
性別	男性	1,161	9.6	29.2	15.3	38.2	37.7
	女性	1,135	12.2	29.2	18.1	39.9	40.4
日常生活圏域	拳母	618	10.0	31.2	13.4	37.9	38.8
	高橋	348	8.3	23.9	15.2	33.6	33.6
	上郷	217	12.4	26.7	16.1	35.5	38.7
	高岡	380	11.3	26.1	14.7	38.2	43.2
	猿投	333	12.9	33.0	15.9	42.3	37.8
	松平・下山	102	8.8	37.3	23.5	46.1	44.1
	藤岡・小原	121	14.0	29.8	22.3	43.0	33.1
	足助・旭・稲武	120	8.3	29.2	28.3	45.0	42.5

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

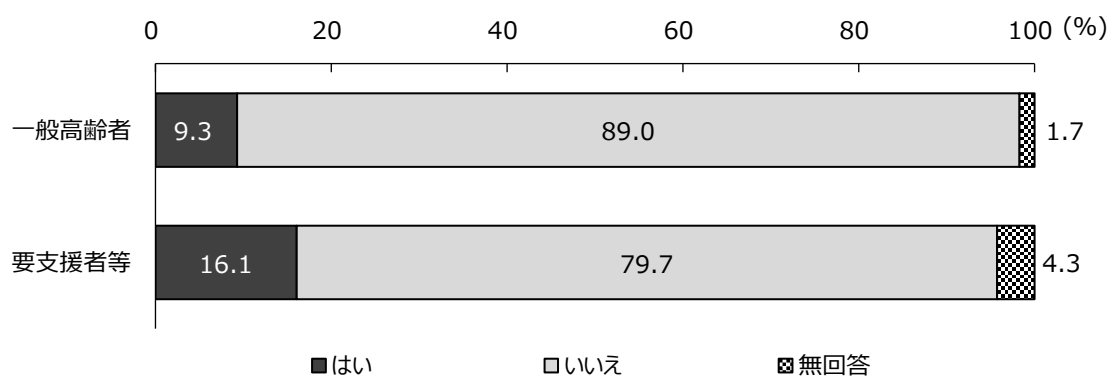
(1) 本人または家族の認知症の有無

■ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに、「いいえ」（89.0%、79.7%）の方が高くなっています。

一般高齢者の年齢別、要支援者等の認定等別でも、全てで「いいえ」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答
高齢者	年齢	65～74歳	10.1	89.1	0.8
		75～84歳	7.4	90.3	2.2
		85歳以上	15.7	81.7	2.6
要支援	認定等	要支援1	16.8	79.6	3.6
		要支援2	16.4	80.1	3.5
		事業対象者	13.0	82.6	4.3

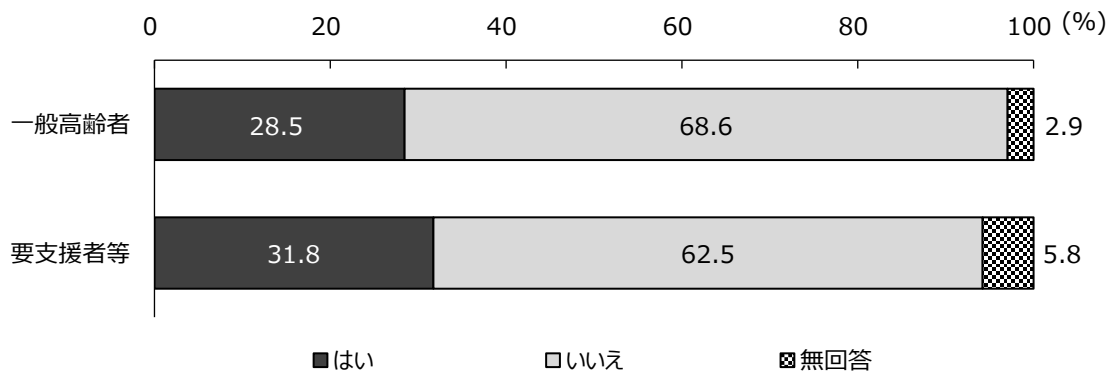
(2) 相談窓口の把握状況

■ 認知症に関する相談窓口を知っていますか

n=2,322 (一般高齢者)、1,455 (要支援者等)

一般高齢者、要支援者等ともに、「いいえ」(68.6%、62.5%)の方が高くなっています。

一般高齢者の年齢別、要支援者等の認定等別でも、全てで「いいえ」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	はい	いいえ	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	31.2	67.1	1.7
		75～84歳	1,067	25.2	71.1	3.7
		85歳以上	191	33.0	62.3	4.7
要支援	認定等	要支援1	559	33.5	61.7	4.8
		要支援2	512	35.2	60.2	4.7
		事業対象者	46	19.6	73.9	6.5

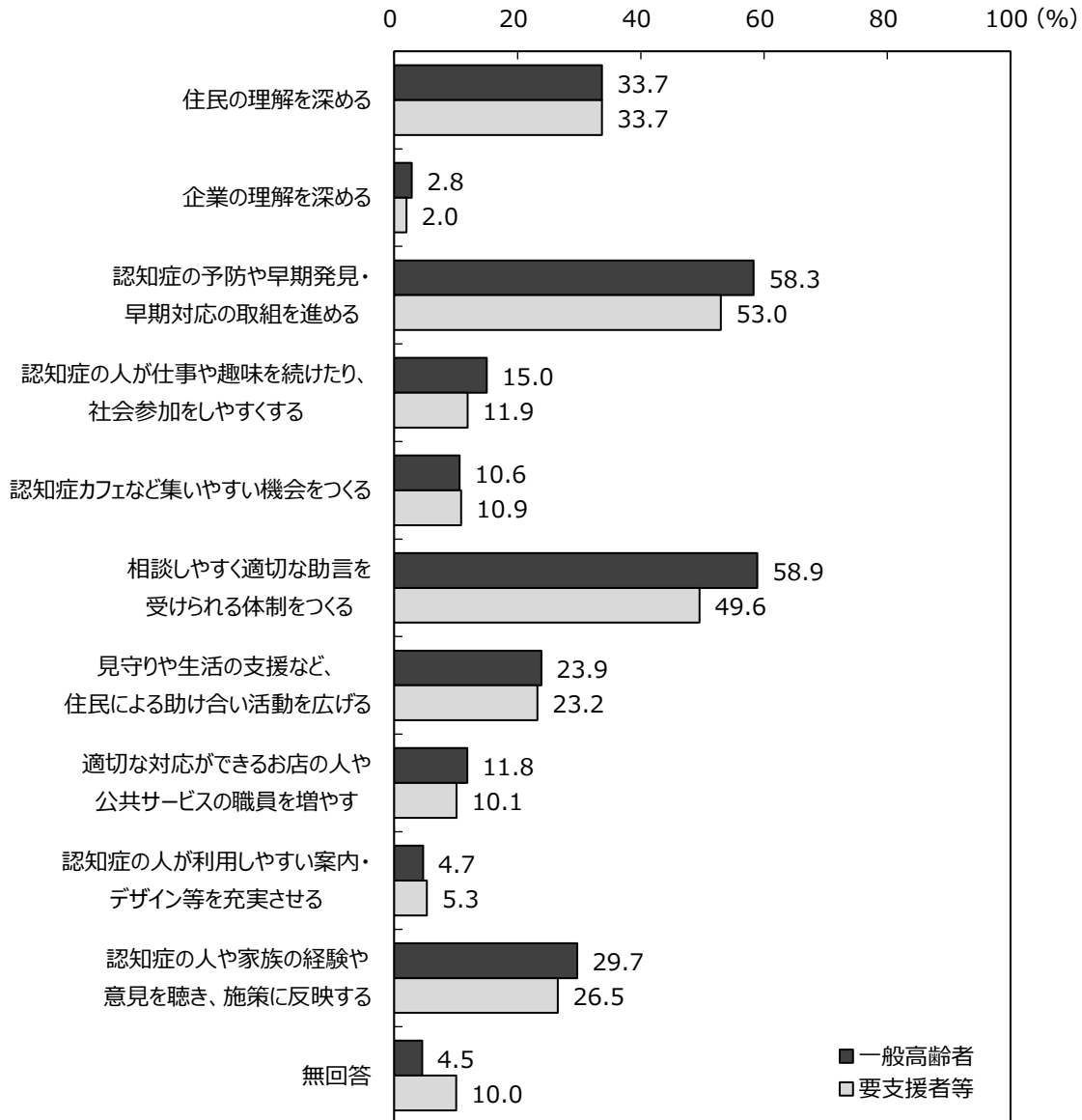
(3) 認知症の人と家族への支援に必要な取り組み

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか（○は3つまで）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者では、「相談しやすく適切な助言を受けられる体制をつくる」が58.9%と最も高く、次いで「認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める」(58.3%)、「住民の理解を深める」(33.7%)の順に高くなっています。

要支援者等では、「認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める」が53.0%と最も高く、次いで「相談しやすく適切な助言を受けられる体制をつくる」(49.6%)、「住民の理解を深める」(33.7%)の順に高くなっています。



第2章 高齢者調査

一般高齢者の年齢別、要支援者等の認定等別でも、「認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める」「相談しやすく適切な助言を受けられる体制をつくる」の割合が高くなっています。

単位：％

		n	住民の理解を深める	企業の理解を深める	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	認知症の社会参加を促進する	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	30.0	3.6	60.0	17.9	10.5	62.9	22.8	14.4	4.8
		75～84歳	1,067	36.7	2.0	56.7	12.7	10.8	56.1	25.4	9.8	4.6
		85歳以上	191	37.7	3.7	58.6	13.6	9.9	51.8	22.0	8.4	5.2
要支援	認定等	要支援1	559	35.1	1.4	54.2	11.6	11.8	50.6	26.8	11.1	4.7
		要支援2	512	33.4	2.7	57.4	10.4	9.4	49.6	23.4	10.5	5.9
		事業対象者	46	30.4	0.0	54.3	10.9	15.2	67.4	23.9	10.9	2.2

単位：％

		n	認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	29.9	2.6
		75～84歳	1,067	30.0	5.6
		85歳以上	191	25.7	7.3
要支援	認定等	要支援1	559	26.1	8.8
		要支援2	512	27.9	8.4
		事業対象者	46	28.3	4.3

9 住まいや医療・看護について

(1) 在宅療養の把握状況

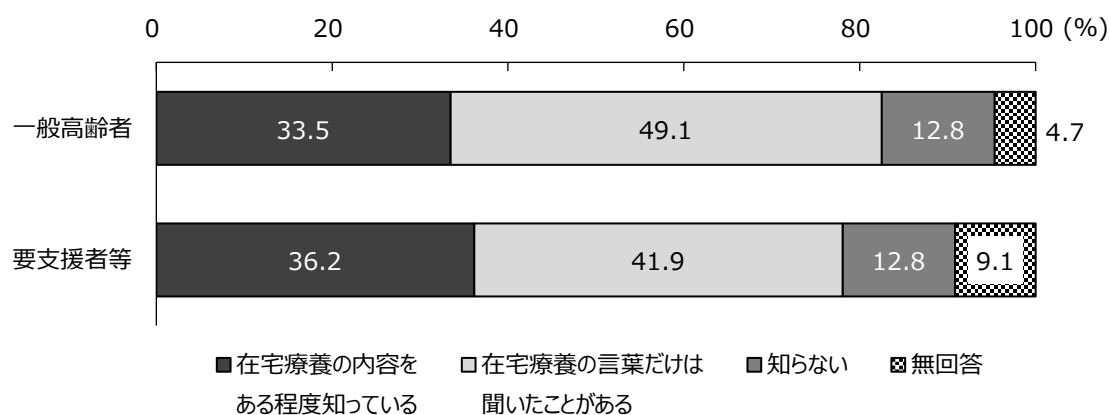
■ あなたは、在宅療養について知っていますか（○は1つ）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

「在宅療養の内容をある程度知っている」、「在宅療養の言葉だけは聞いたことがある」を合わせると、一般高齢者の方が要支援者等よりも認知度がやや高くなっています。（「在宅療養の内容をある程度知っている」（33.5%、36.2%）、「在宅療養の言葉だけは聞いたことがある」（49.1%、41.9%））

一般高齢者について、年齢別でも、大きな違いはみられません。

要支援者等について、認定等別でみると、要支援2では「在宅療養の内容をある程度知っている」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	在宅療養の内容をある程度知っている	在宅療養の言葉だけは聞いたことがある	知らない	無回答	
高齢者	年齢						
		65～74歳	1,039	35.8	49.4	12.5	2.3
		75～84歳	1,067	31.3	49.9	13.3	5.5
	85歳以上	191	35.6	45.0	11.5	7.9	
要支援	認定等	要支援1	559	35.6	44.2	10.7	9.5
		要支援2	512	43.4	36.3	13.3	7.0
		事業対象者	46	26.1	50.0	10.9	13.0

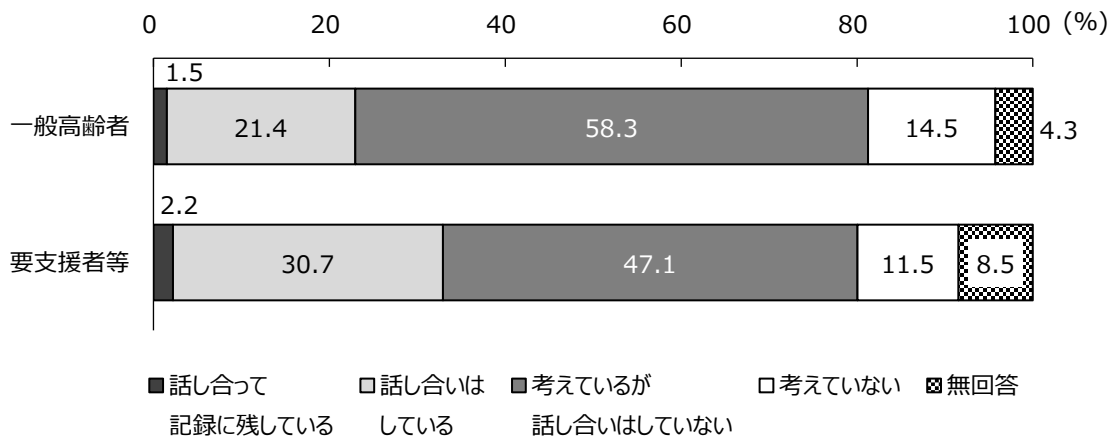
(2) 人生の最終段階に関する意向確認について

■ あなたは、万一、病気（長期療養や看取り段階）などを抱えたことを想定して、今後の生活等について、子どもや家族等と話し合っていますか（○は1つ）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

「話し合って記録に残している」、「話し合いはしている」を合わせると、一般高齢者よりも要支援者等の方が話し合いを実施しています。（「話し合って記録に残している」（1.5%、2.2%）、「話し合いはしている」（21.4%、30.7%））

一般高齢者について、年齢別でみると、年齢が上がるほど「話し合いはしている」の割合が高くなっています。



単位：%

			n	話し合っ て記録に 残してい る	話し合 いはし てい る	考 えて い る が 話 し 合 い は し て い な い	考 えて い な い	無 回 答
高 齢 者	年 齢	65～74歳	1,039	1.1	18.8	60.8	16.9	2.4
		75～84歳	1,067	1.5	22.8	58.2	12.6	5.0
		85歳以上	191	3.7	29.8	48.7	11.5	6.3
要 支 援 等	認 定 等	要支援1	559	1.3	30.8	49.9	8.8	9.3
		要支援2	512	2.9	30.7	47.3	12.7	6.4
		事業対象者	46	4.3	17.4	56.5	13.0	8.7

(3) 人生の最期を迎えたい場所について

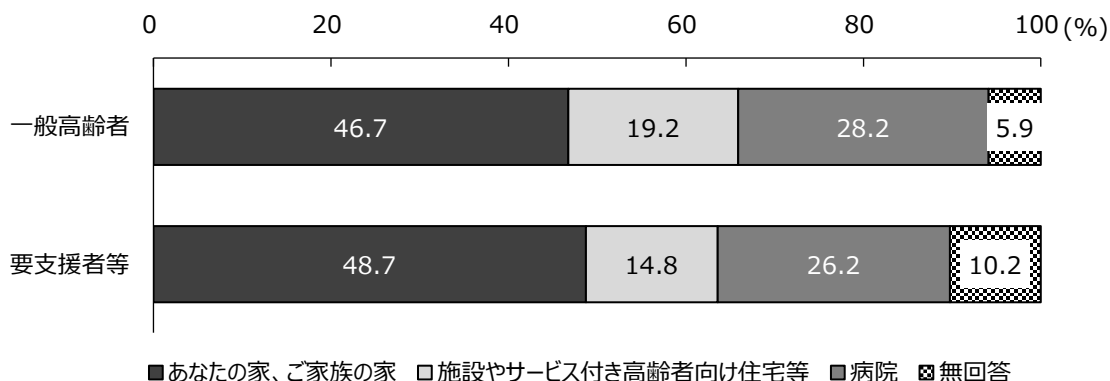
■ あなたは、万一、病気（長期療養や看取り段階）などを抱えたことを想定して、人生の最期はどこで迎えたいと考えますか（○は1つ）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに「あなたの家、ご家族の家」が46.7%、48.7%と最も高く、次いで「病院」（28.2%、26.2%）となっています。

一般高齢者について、年齢別で見ると、65～74歳では「施設やサービス付き高齢者向け住宅等」の割合が他と比べて高くなっています。

一般高齢者、要支援者等ともに、男性は女性より「あなたの家、ご家族の家」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	あなたの家、ご家族の家	施設やサービス付き高齢者向け住宅等	病院	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	45.6	22.7	27.9	3.8
		75～84歳	1,067	48.1	16.8	28.5	6.7
		85歳以上	191	48.2	14.1	28.3	9.4
	性別	男性	1,161	53.2	16.5	24.9	5.3
		女性	1,135	40.5	22.0	31.6	5.8
要支援	認定等	要支援1	559	47.2	16.6	25.0	11.1
		要支援2	512	49.6	13.3	29.9	7.2
		事業対象者	46	45.7	17.4	28.3	8.7
	性別	男性	702	54.3	13.5	24.2	8.0
		女性	723	43.7	16.2	27.9	12.2
	年齢	65～74歳	144	41.7	15.3	34.7	8.3
		75～84歳	659	48.3	15.0	26.6	10.2
		85歳以上	621	51.4	14.5	23.5	10.6

(4) 高齢者の介護や福祉の相談窓口の把握状況

■ あなたのお住まいの地域で、高齢者の介護や福祉の相談窓口（地域包括支援センター）をご存知ですか（○は1つ）

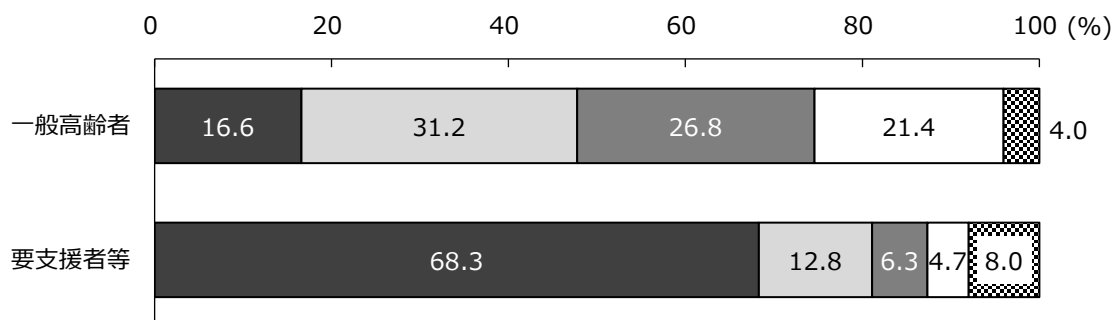
n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者では、「利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている」が31.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない」（26.8%）、「知らない」（21.4%）の順に高くなっています。

年齢別でみると、65～74歳では、「利用したことがある」「知らない」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等では、「利用したことがある」が68.3%となっています。一方で「知らない」（4.7%）、「聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない」（6.3%）の回答がみられます。

認定等別でも、大きな違いはみられません。



- 利用したことがある
- 利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている
- 聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない
- 知らない
- ▣ 無回答

単位：%

		n	利用したことがある	利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている	聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない	知らない	無回答	
高齢者	年齢							
		65～74歳	1,039	21.3	25.5	26.9	24.1	2.2
		75～84歳	1,067	13.1	35.5	27.2	20.0	4.2
	85歳以上	191	11.5	38.2	26.2	15.2	8.9	
要支援者等	認定等							
		要支援1	559	71.7	12.3	4.1	3.4	8.4
		要支援2	512	75.8	10.0	4.9	3.5	5.9
	事業対象者	46	78.3	8.7	2.2	2.2	8.7	

10 日常生活の自立・回復について

(1) 短期的なサービスの利用意向

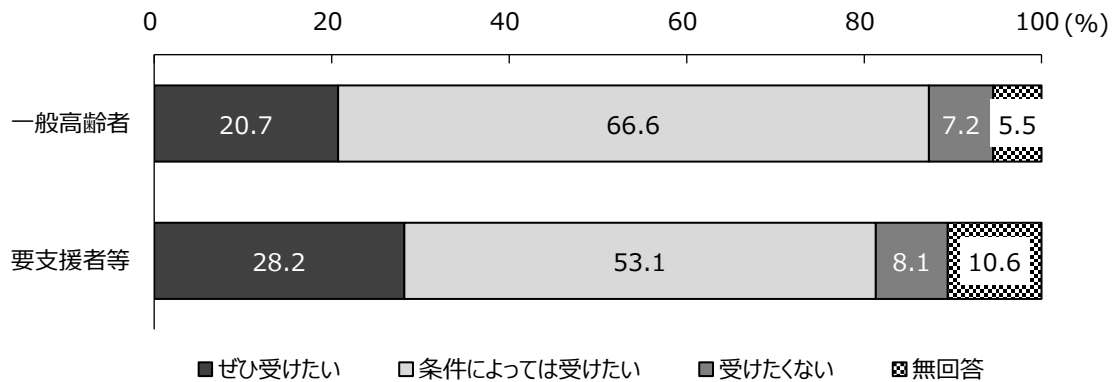
■ 老化などで心身が弱ってきたときに、再び自立した生活に戻るための短期的なサービス*を受けたいと思いますか（○は1つ）

*ここでいう短期的なサービスとは、3か月程度、専門職と対話をしながら、それぞれの状況に応じた介護予防サービス等を受けたり、日常生活でできるリハビリテーションを学ぶ機会のことです

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者、要支援者等ともに「条件によっては受けたい」（66.6%、53.1%）が最も高く、次いで「ぜひ受けたい」（20.7%、28.2%）が高くなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、事業対象者では「ぜひ受けたい」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	ぜひ受けたい	条件によっては受けたい	受けたくない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	23.2	66.3	7.2	3.3
		75～84歳	1,067	18.8	68.2	6.7	6.3
		85歳以上	191	19.4	61.3	11.0	8.4
要支援	認定等	要支援1	559	27.9	54.9	6.4	10.7
		要支援2	512	29.7	51.2	10.2	9.0
		事業対象者	46	45.7	39.1	6.5	8.7

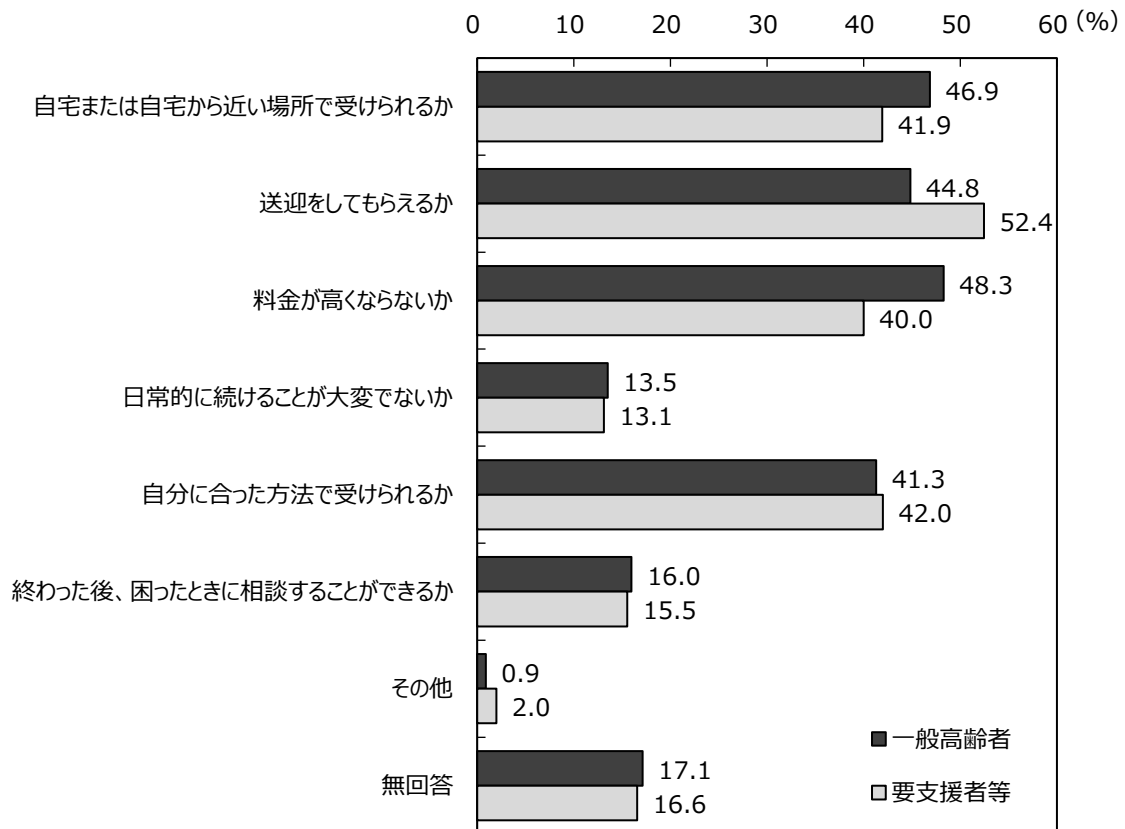
(2) 短期的なサービスの利用に係る懸念事項

■ そのような短期的なサービスを受ける際に、どのようなことが気になりますか（○は3つまで）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者では、「料金が高くないか」が48.3%と最も高く、次いで「自宅または自宅から近い場所で受けられるか」(46.9%)、「送迎をしてもらえるか」(44.8%)の順に高くなっています。

要支援者等では、「送迎をしてもらえるか」が52.4%と最も高く、次いで「自分に合った方法で受けられるか」(42.0%)、「自宅または自宅から近い場所で受けられるか」(41.9%)の順に高くなっています。



一般高齢者について年齢別でみると、65～74 歳では「料金が高くないか」、75～84 歳で「送迎をしてもらえるか」、85 歳以上での割合が「自宅または自宅から近い場所で受けられるか」の割合が最も高くなっています。

要支援者等について認定等別でみると、要支援 1・2 では「送迎をしてもらえるか」、事業対象者で「自分に合った方法で受けられるか」の割合が最も高くなっています。

単位：%

		n	自宅または自宅から近い場所 で受けられるか	送迎を してもらえるか	料金が 高くないか	日常的に 続ける ことが 大変 でないか	自分に 合った 方法で 受け られる か	終わった 後、困 ったと きに 相談す ること ができ るか	その他	無 回 答	
高 齢 者	年齢	65～74歳	1,039	43.5	38.9	49.1	14.3	39.8	15.4	0.8	21.8
		75～84歳	1,067	49.9	50.6	49.3	12.0	42.7	17.2	0.8	12.4
		85歳以上	191	49.2	47.6	39.8	18.3	42.9	11.0	1.6	15.2
要 支 援	認 定 等	要支援1	559	42.6	55.5	42.4	14.8	41.9	16.5	2.1	15.0
		要支援2	512	41.2	53.1	38.5	12.5	40.6	11.5	2.7	17.2
		事業対象者	46	32.6	41.3	32.6	8.7	45.7	17.4	2.2	23.9

1.1 地域の資源について

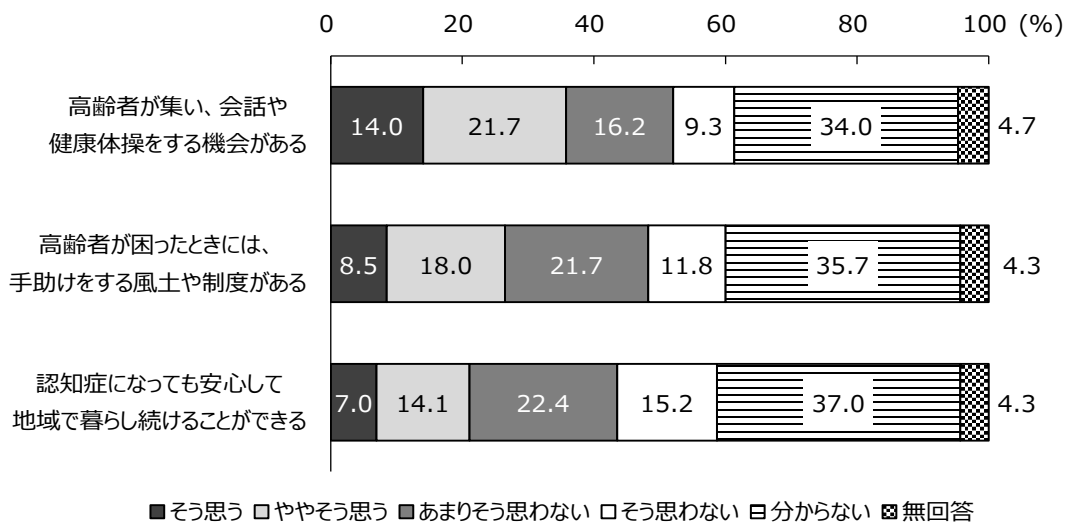
(1) 住んでいる地域について

■ あなたのお住まいの地域について、どのようにお考えですか。
最も近い番号にひとつずつ○をつけてください

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

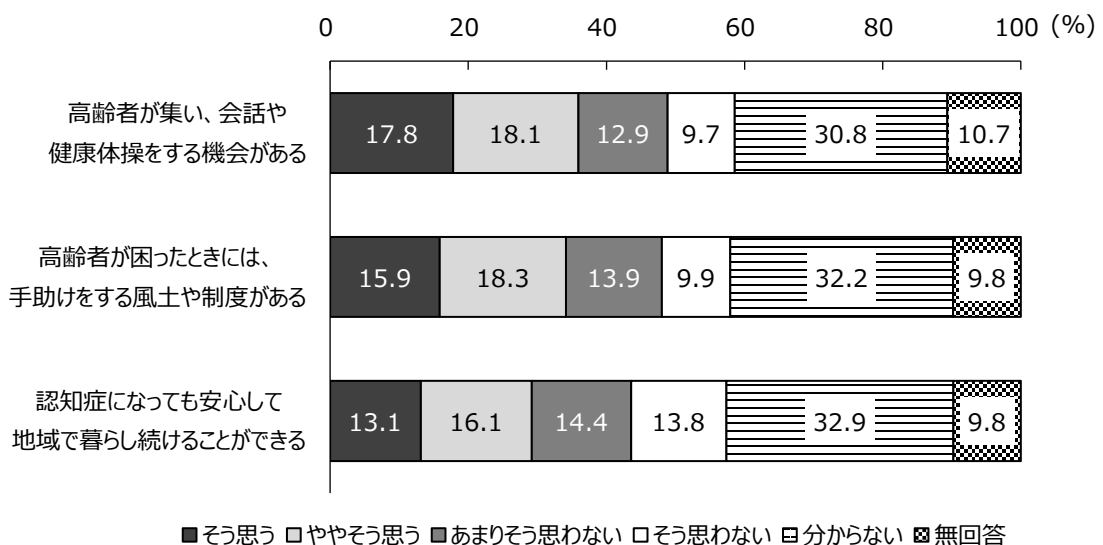
【一般高齢者】

「高齢者が困ったときには、手助けをする風土や制度がある」、「認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる」で、「あまりそう思わない」（21.7%、22.4%）、「そう思わない」（11.8%、15.2%）が高くなっています。



【要支援者等】

一般高齢者と比較して、総じてそう思う人の割合（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が高くなっています。



○「高齢者が集い、会話や健康体操をする機会がある」

一般高齢者について、年齢別でみると、85歳以上では「そう思う」の割合が他と比べて高くなっています。日常生活圏域別にみると、猿投で「そう思う」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、認定等別でみると、事業対象者で「そう思う」「ややそう思う」の割合が他と比べて高くなっています。日常生活圏域別にみると、藤岡・小原、足助・旭・稲武で「そう思う」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	10.1	23.3	17.3	10.3	36.4	2.6
		75～84歳	1,067	15.4	20.9	15.5	9.4	33.7	5.2
		85歳以上	191	27.2	19.4	15.7	4.7	25.1	7.9
	地域	拳母	618	11.5	23.1	15.4	7.4	39.5	3.1
		高橋	348	15.2	21.0	17.8	8.6	33.0	4.3
		上郷	217	10.1	19.4	17.1	12.0	36.4	5.1
		高岡	380	15.0	17.9	17.1	10.8	34.2	5.0
		猿投	333	18.3	24.9	16.5	8.4	27.9	3.9
		松平・下山	102	11.8	29.4	22.5	8.8	22.5	4.9
		藤岡・小原	121	12.4	26.4	9.1	10.7	39.7	1.7
足助・旭・稲武	120	17.5	17.5	16.7	17.5	26.7	4.2		
要支援	認定等	要支援1	559	17.4	19.3	13.1	10.4	29.2	10.7
		要支援2	512	15.4	18.2	12.7	11.7	34.0	8.0
		事業対象者	46	21.7	23.9	17.4	6.5	23.9	6.5
	地域	拳母	412	16.5	16.0	13.8	7.8	35.2	10.7
		高橋	208	22.1	17.8	11.5	10.6	29.3	8.7
		上郷	97	16.5	15.5	14.4	11.3	33.0	9.3
		高岡	211	16.1	22.3	13.3	13.3	26.5	8.5
		猿投	175	11.4	20.0	13.1	10.3	36.6	8.6
		松平・下山	68	14.7	19.1	8.8	13.2	29.4	14.7
		藤岡・小原	87	26.4	18.4	10.3	10.3	20.7	13.8
足助・旭・稲武	95	25.3	17.9	15.8	6.3	24.2	10.5		

○「高齢者が困ったときには、手助けをする風土や制度がある」

一般高齢者について、85歳以上では「そう思う」の割合が他と比べて高くなっています。

要支援者等について、日常生活圏域別にみると、藤岡・小原、足助・旭・稲武では「そう思う」「ややそう思う」の割合の合計が他と比べて高くなっています。

単位：%

		n	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答	
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	5.8	19.7	23.7	11.7	36.6	2.5
		75～84歳	1,067	9.4	16.9	20.1	12.5	36.6	4.7
		85歳以上	191	19.9	14.1	22.0	9.4	27.2	7.3
	地域	拳母	618	8.3	15.7	19.4	11.0	42.7	2.9
		高橋	348	6.3	18.4	25.0	12.4	33.6	4.3
		上郷	217	9.7	14.3	22.6	14.7	33.6	5.1
		高岡	380	8.4	17.9	21.1	13.4	34.5	4.7
		猿投	333	9.6	19.5	26.7	9.0	31.5	3.6
		松平・下山	102	8.8	23.5	26.5	11.8	25.5	3.9
		藤岡・小原	121	6.6	23.1	14.0	14.0	40.5	1.7
足助・旭・稲武		120	13.3	20.0	20.0	13.3	30.0	3.3	
要支援	認定等	要支援1	559	14.7	18.6	12.5	10.9	33.5	9.8
		要支援2	512	14.8	19.9	13.7	10.9	33.2	7.4
		事業対象者	46	21.7	13.0	23.9	10.9	23.9	6.5
	地域	拳母	412	14.3	18.4	13.8	9.5	35.0	9.0
		高橋	208	19.7	13.0	16.3	11.1	31.7	8.2
		上郷	97	16.5	16.5	15.5	8.2	35.1	8.2
		高岡	211	16.1	19.4	15.2	12.8	28.4	8.1
		猿投	175	12.6	15.4	14.9	9.1	40.6	7.4
		松平・下山	68	10.3	19.1	14.7	13.2	30.9	11.8
		藤岡・小原	87	18.4	27.6	11.5	10.3	18.4	13.8
足助・旭・稲武	95	23.2	25.3	11.6	7.4	23.2	9.5		

○「認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる」

一般高齢者について、年齢が上がるほど、「そう思う」「ややそう思う」の割合が高くなっています。日常生活圏域別にみると、総じて「分からない」「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

要支援者等について、日常生活圏域別にみると、足助・旭・稲武では「そう思う」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%

			n	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
高齢者	年齢	65～74歳	1,039	4.6	11.4	25.7	17.8	38.1	2.4
		75～84歳	1,067	7.5	16.3	19.8	14.1	37.7	4.7
		85歳以上	191	17.3	17.3	20.9	6.8	29.8	7.9
	地域	拳母	618	7.8	12.9	19.7	15.0	41.6	2.9
		高橋	348	4.9	13.5	24.1	14.7	38.5	4.3
		上郷	217	6.5	11.1	24.0	16.1	37.3	5.1
		高岡	380	7.1	15.8	20.5	16.1	35.8	4.7
		猿投	333	6.9	15.3	28.5	12.6	33.0	3.6
		松平・下山	102	4.9	20.6	27.5	17.6	25.5	3.9
		藤岡・小原	121	8.3	14.9	18.2	15.7	41.3	1.7
足助・旭・稲武		120	9.2	13.3	21.7	20.0	32.5	3.3	
要支援	認定等	要支援1	559	10.4	17.7	13.8	14.0	34.3	9.8
		要支援2	512	14.1	13.5	16.4	16.2	32.2	7.6
		事業対象者	46	13.0	15.2	15.2	17.4	32.6	6.5
	地域	拳母	412	9.7	18.2	13.6	15.3	34.2	9.0
		高橋	208	14.4	17.3	13.9	13.5	32.2	8.7
		上郷	97	11.3	13.4	12.4	18.6	36.1	8.2
		高岡	211	16.1	12.8	16.1	16.1	30.8	8.1
		猿投	175	10.9	13.7	19.4	9.1	39.4	7.4
		松平・下山	68	11.8	14.7	13.2	14.7	32.4	13.2
		藤岡・小原	87	14.9	19.5	16.1	13.8	21.8	13.8
		足助・旭・稲武	95	21.1	20.0	11.6	11.6	26.3	9.5

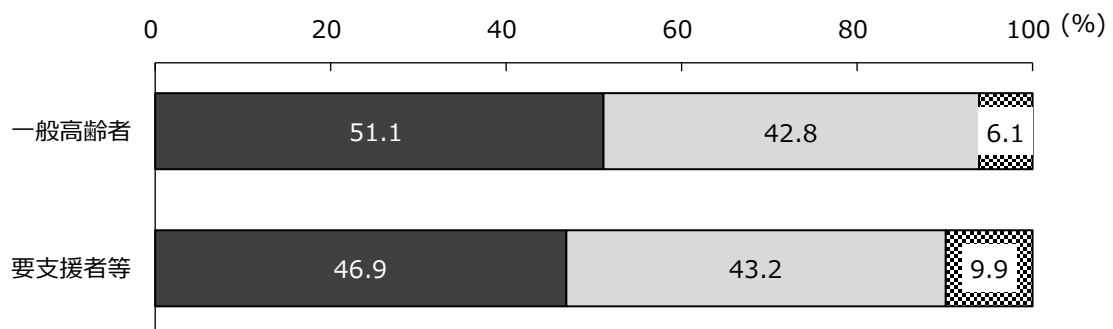
(2) 介護保険料について

■ 介護保険料は、市全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか（○は1つ）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

「保険料負担の増加はやむをえない」は一般高齢者で51.1%、要支援者等で46.9%、「保険料は高くしないでほしい」は一般高齢者で42.8%、要支援者等で43.2%となっています。

高齢者の年齢別、要支援者等の認定別でも、大きな違いはみられません。



- 高齡化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
- 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい
- ▣ 無回答

単位：%

		n	高齡化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない	施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くしないでほしい	無回答	
						高齡者
高齡者	年齢	65～74歳	1,039	54.2	41.6	4.2
		75～84歳	1,067	48.8	45.5	5.7
		85歳以上	191	52.9	39.3	7.9
要支援	認定等	要支援1	559	48.7	42.8	8.6
		要支援2	512	50.4	43.9	5.7
		事業対象者	46	47.8	50.0	2.2

(3) 成年後見制度の把握状況

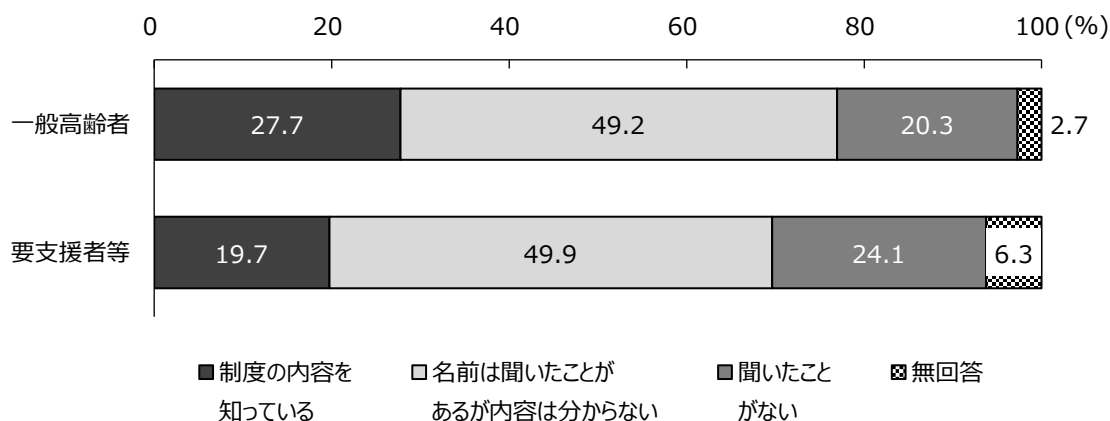
■ あなたは、成年後見制度をご存知ですか（○は1つ）

n=2,322（一般高齢者）、1,455（要支援者等）

一般高齢者の方が要支援者等よりも「制度の内容を知っている」が高くなっています。（一般高齢者は27.7%、要支援者等は19.7%）

一般高齢者について、年齢別でも、大きな違いはみられません。

要支援者等について、認定等別でも、大きな違いはみられません。



単位：%

		n	制度の内容を知っている	名前は聞いたことがあるが内容は分からない	聞いたことがない	無回答
高齢者	年齢					
	65～74歳	1,039	29.8	47.3	22.2	0.7
	75～84歳	1,067	27.2	51.5	19.2	2.1
	85歳以上	191	22.5	53.4	17.8	6.3
要支援	認定等					
	要支援1	559	20.0	53.1	22.4	4.5
	要支援2	512	23.0	49.2	24.4	3.3
	事業対象者	46	17.4	56.5	26.1	0.0

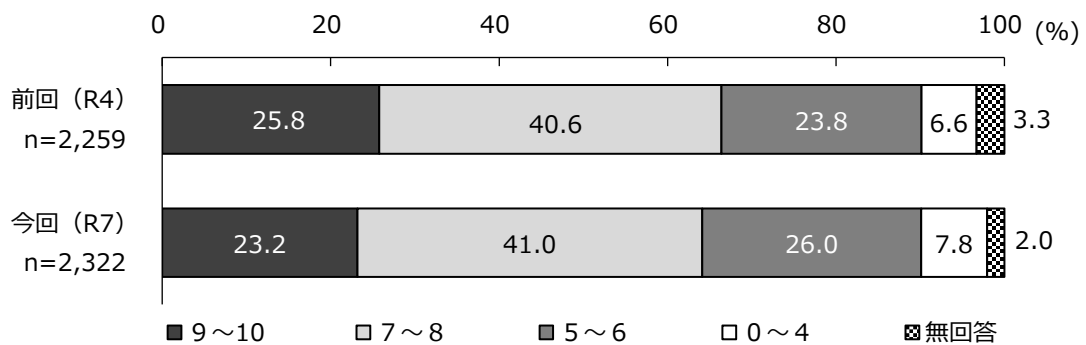
1.2 時系列分析（前回（令和4年）との比較）

（1）幸せ感

一般高齢者について、「9～10」が23.2%と前回よりやや減少し、「5～6」が26.0%とやや増加しています。年齢別でみると75～84歳で「5～6」が増加しています。

要支援者等は、「5～6」が36.4%と増加しています。

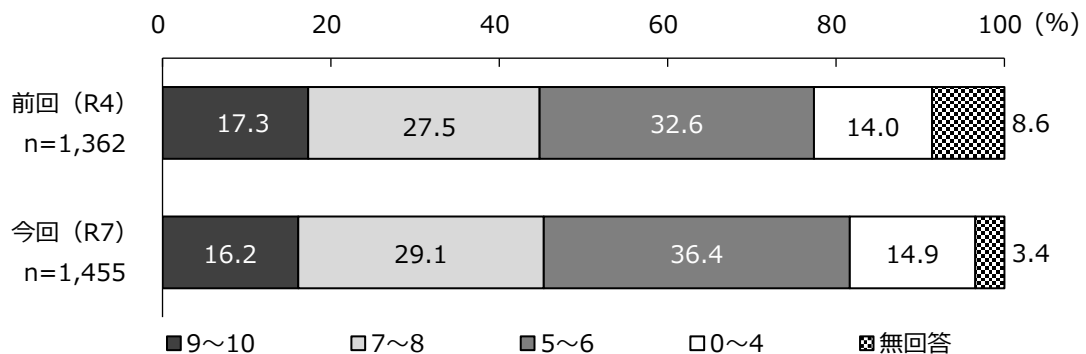
【一般高齢者】



単位：%

		n	9～10	7～8	5～6	0～4	無回答
R4	65～74歳	1,223	24.8	42.4	23.2	7.1	2.5
	75～84歳	859	26.1	40.4	23.9	5.9	3.7
	85歳以上	154	31.8	30.5	26.6	4.5	6.5
R7	65～74歳	1,039	22.4	44.9	24.2	7.6	0.9
	75～84歳	1,067	23.1	38.5	27.6	8.2	2.5
	85歳以上	191	27.7	34.6	26.7	7.3	3.7
差	65～74歳	-	-2.3	2.6	0.9	0.5	-1.7
	75～84歳	-	-2.9	-1.9	3.8	2.2	-1.2
	85歳以上	-	-4.1	4.0	0.1	2.8	-2.8

【要支援者等】

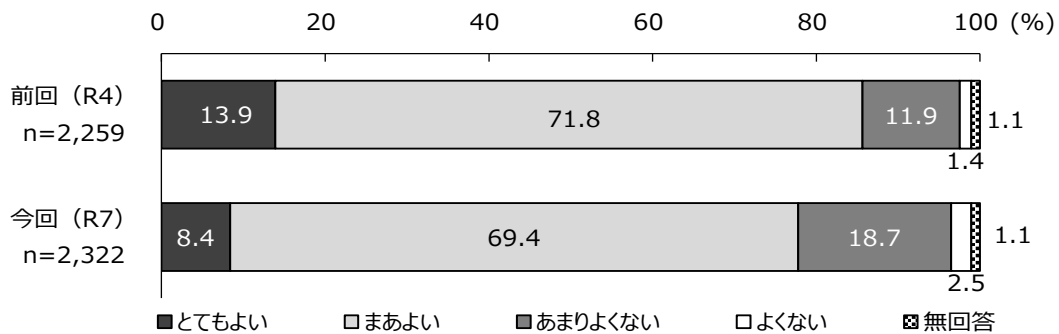


(2) 健康

主観的健康観は、「あまりよくない」が18.7%と前回よりやや増加しています。年齢別でも、全ての年代で「あまりよくない」が増加しています。

転倒について「何度もある」「1度ある」が前回より増加しています。物忘れについては、前回と大きな違いはみられません。

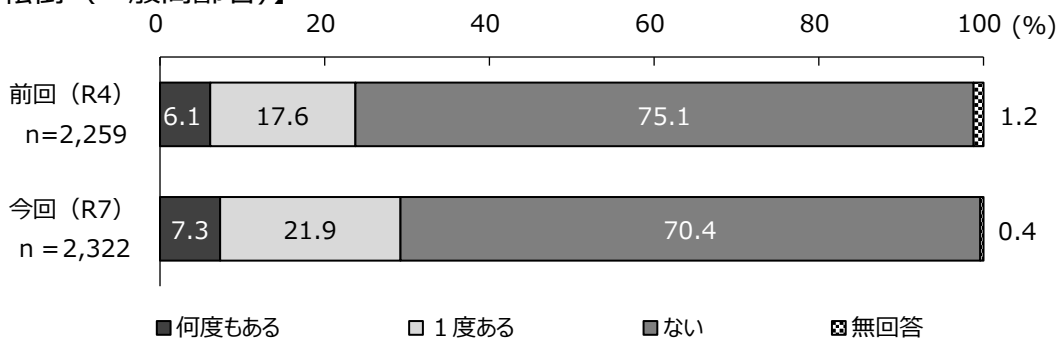
【主観的健康観（一般高齢者）】



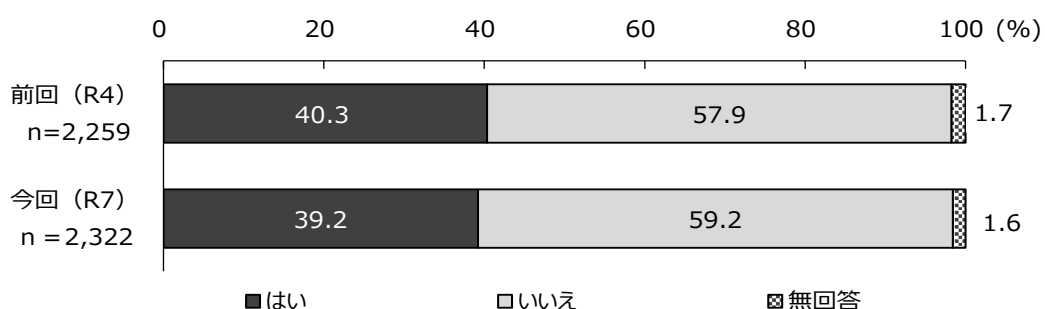
単位：%

		n	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
R4	65～74歳	1,223	17.3	73.6	7.0	1.2	0.9
	75～84歳	859	10.6	70.9	15.9	1.5	1.0
	85歳以上	154	6.5	65.6	23.4	2.6	1.9
R7	65～74歳	1,039	10.8	74.0	13.0	1.9	0.3
	75～84歳	1,067	6.3	67.4	22.0	2.8	1.5
	85歳以上	191	7.3	57.6	30.9	2.1	2.1
差	65～74歳	-	-6.5	0.4	6.0	0.7	-0.6
	75～84歳	-	-4.3	-3.5	6.1	1.3	0.5
	85歳以上	-	0.8	-8.0	7.5	-0.5	0.1

【転倒（一般高齢者）】



【物忘れ（一般高齢者）】

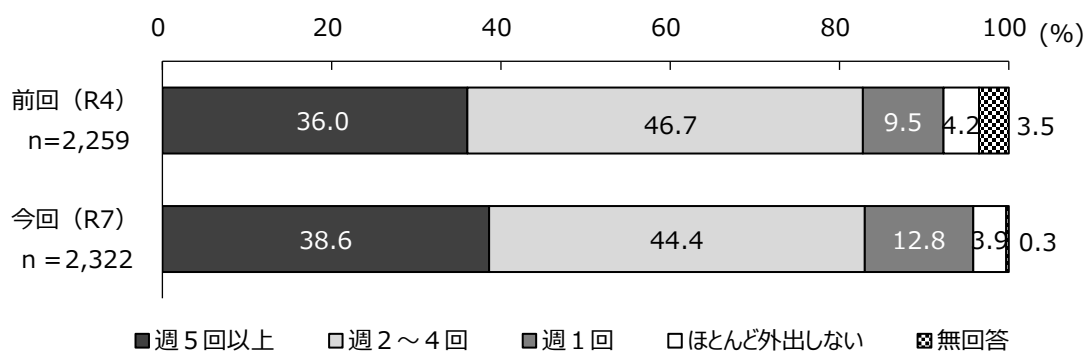


(3) 外出

今回は単位が「日」、今回は単位が「回」のため、参考値とします。一般高齢者は85歳以上で「週2～4回」が増加し、「週1回」「ほとんど外出しない」は減少しています。

要支援者等は「週1回」が28.0%と増加し、「ほとんど外出しない」が17.4%と減少しています。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外出を控えていた人が再開していることがうかがわれます。

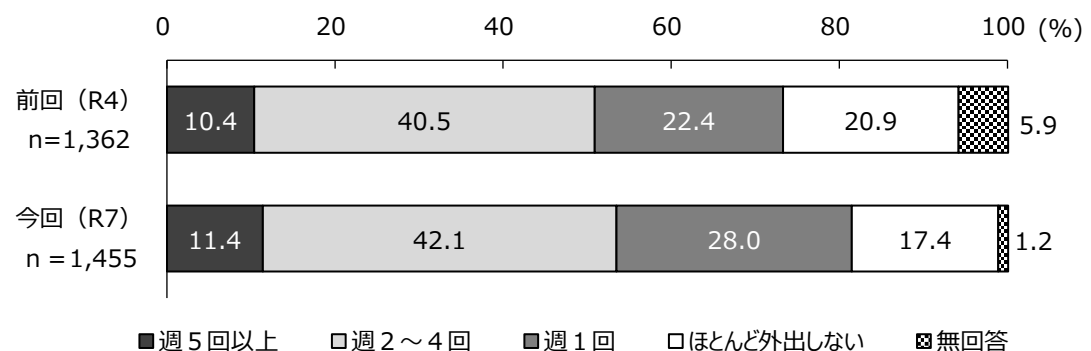
【一般高齢者】



単位：%

		n	週5回以上	週2～4回	週1回	ほとんど外出しない	無回答
R4	65～74歳	1,223	44.2	45.2	6.1	1.5	2.9
	75～84歳	859	27.6	51.3	11.6	5.1	4.3
	85歳以上	154	20.8	31.8	24.0	20.1	3.2
R7	65～74歳	1,039	48.3	40.5	8.8	2.2	0.2
	75～84歳	1,067	32.2	48.0	15.9	3.6	0.3
	85歳以上	191	23.6	43.5	18.3	14.1	0.5
差	65～74歳	-	4.1	-4.7	2.6	0.7	-2.8
	75～84歳	-	4.6	-3.4	4.3	-1.6	-4.0
	85歳以上	-	2.8	11.6	-5.7	-6.0	-2.7

【要支援者等】

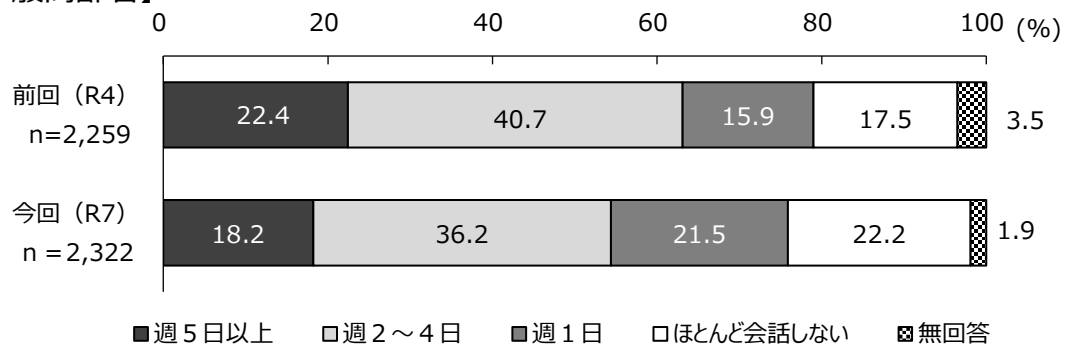


(4) 知人・友人・近所の人との会話

一般高齢者は、「週5日以上」が18.2%と減少し、「週1日」(21.5%)、「ほとんど会話しない」(22.2%)が増加しています。年齢別でみると、特に65～74歳で「ほとんど会話しない」が増加するなど、会話の頻度が少なくなっている傾向がみられます。

要支援者等は、大きな違いがみられません。

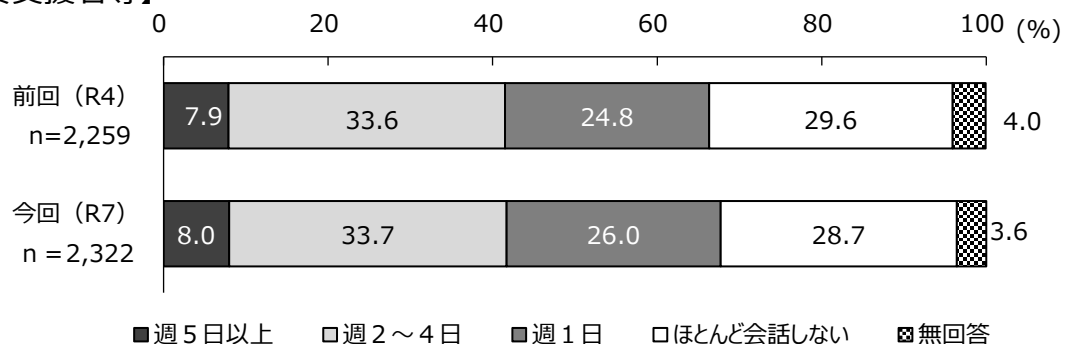
【一般高齢者】



単位：%

		n	週に5日以上	週に2～4日	週に1日	ほとんど会話しない	無回答
R4	65～74歳	1,223	26.7	39.7	15.5	15.7	2.5
	75～84歳	859	17.1	43.8	16.2	18.6	4.3
	85歳以上	154	17.5	33.1	17.5	24.0	7.8
R7	65～74歳	1,039	19.2	35.5	21.6	22.1	1.5
	75～84歳	1,067	17.5	37.2	22.4	21.2	1.7
	85歳以上	191	14.7	36.1	17.3	28.8	3.1
差	65～74歳	-	-7.5	-4.2	6.1	6.4	-1.0
	75～84歳	-	0.4	-6.6	6.2	2.6	-2.6
	85歳以上	-	-2.8	3.0	-0.2	4.8	-4.7

【要支援者等】



(5) 社会参加（会・グループ等への参加状況）

今回は国のモデル調査票に合わせたため、前回と一部の選択肢*を変更しています。

一般高齢者を見ると、「週1回以上参加」が44.8%と増加しています。年齢別でも、全ての年代で「週1回以上参加」が増加しています。内容別では、ボランティアのグループの参加率が増加しています。

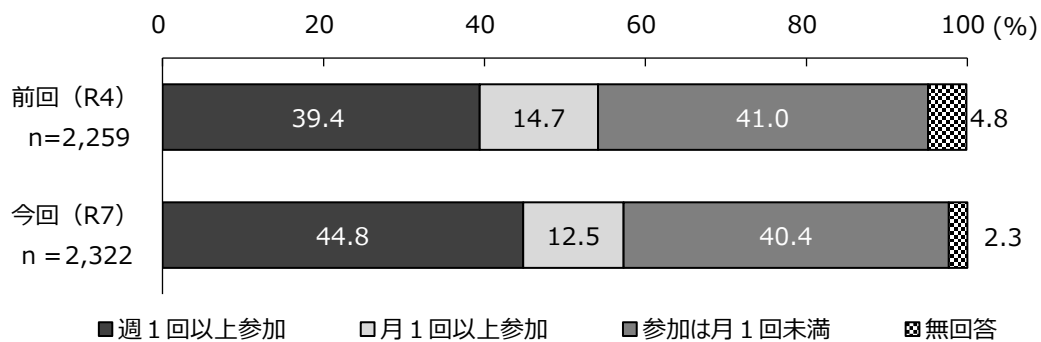
要支援者等でも、「週1回以上参加」が30.0%と増加しています。内容別では、ボランティアのグループ、介護予防のための通いの場の参加率が増加しています。

*変更点

「学習・教養サークル」(新たに追加)

「趣味・文化活動関係のグループ」⇒「趣味関係のグループ」

【一般高齢者】



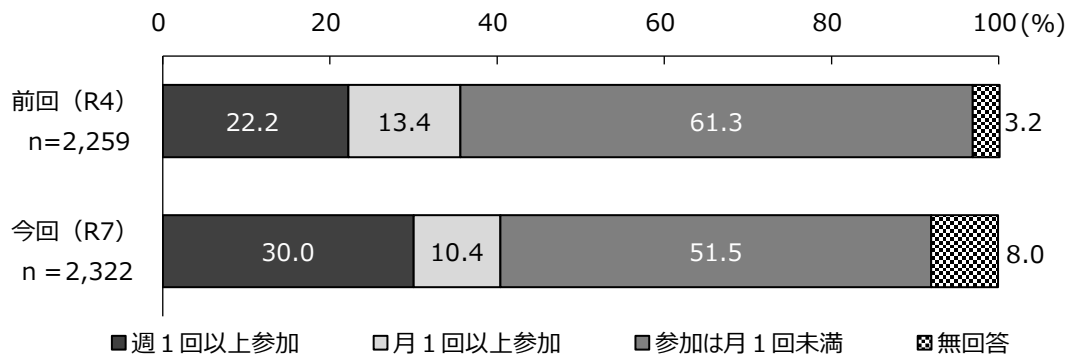
単位: %

		n	週1回以上参加	月1回以上参加	参加は月1回未満	無回答
R4	65~74歳	1,223	46.8	14.6	34.4	4.3
	75~84歳	859	32.2	15.3	47.0	5.5
	85歳以上	154	24.0	12.3	59.1	4.5
R7	65~74歳	1,039	56.4	10.1	32.3	1.2
	75~84歳	1,067	36.6	14.2	46.6	2.5
	85歳以上	191	27.7	16.8	49.2	6.3
差	65~74歳	-	9.6	-4.5	-2.1	-3.1
	75~84歳	-	4.4	-1.1	-0.4	-3.0
	85歳以上	-	3.7	4.5	-9.9	1.8

単位: %

	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	高齢者クラブ	介護予防のための通いの場	自治区・町内会	収入のある仕事
前回 (R4) n=2,259	6.7	25.0	22.6	-	8.2	9.2	10.9	25.3
今回 (R7) n=2,322	12.8	22.7	23.5	9.3	6.5	7.9	10.2	25.2
差	6.1	-2.3	0.9	-	-1.7	-1.3	-0.7	-0.1

【要支援者等】



単位: %

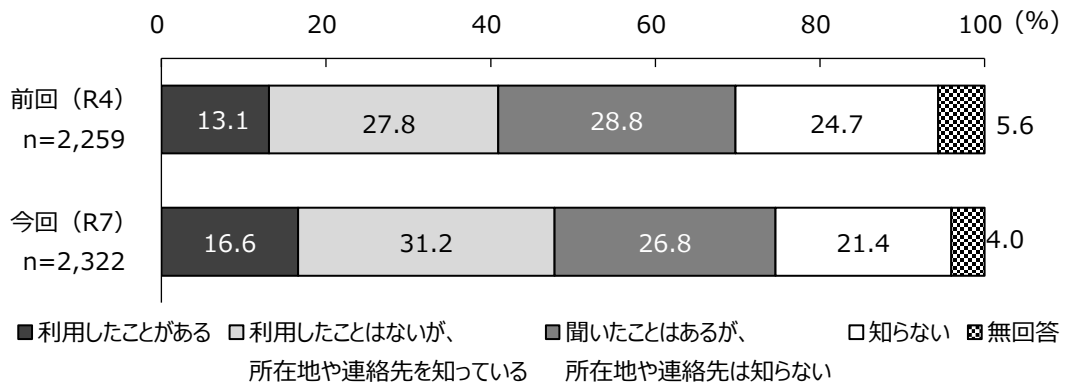
	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	高齢者クラブ	介護予防のための通いの場	自治区・町内会	収入のある仕事
前回 (R4) n=2,259	3.3	15.8	13.2	-	12.2	15.0	5.9	4.1
今回 (R7) n=2,322	9.2	12.4	13.9	6.8	11.1	23.0	5.6	2.8
差	5.9	-3.4	0.7	-	-1.1	8.0	-0.3	-1.3

(6) 認知度

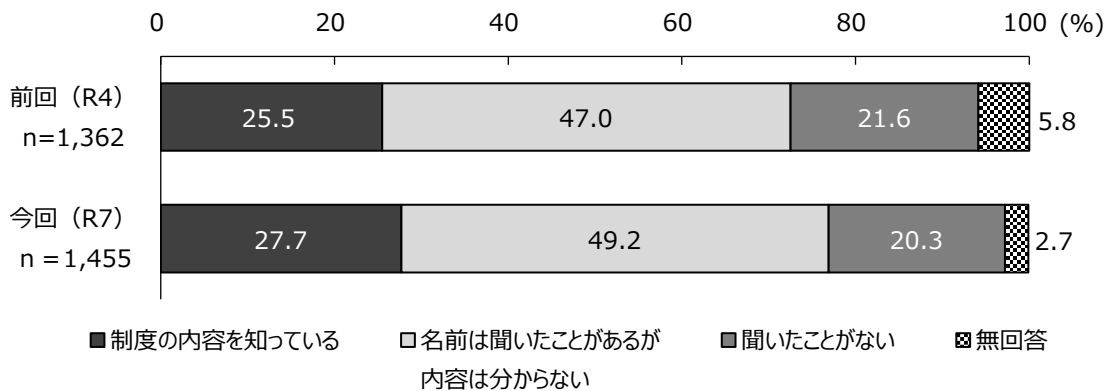
地域包括支援センターは、「利用したことがある」が16.6%、「利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている」が31.2%と増加しています。

成年後見制度についても、「制度の内容を知っている」が27.7%とやや増加しています。

【地域包括支援センター（一般高齢者）】



【成年後見制度（一般高齢者）】



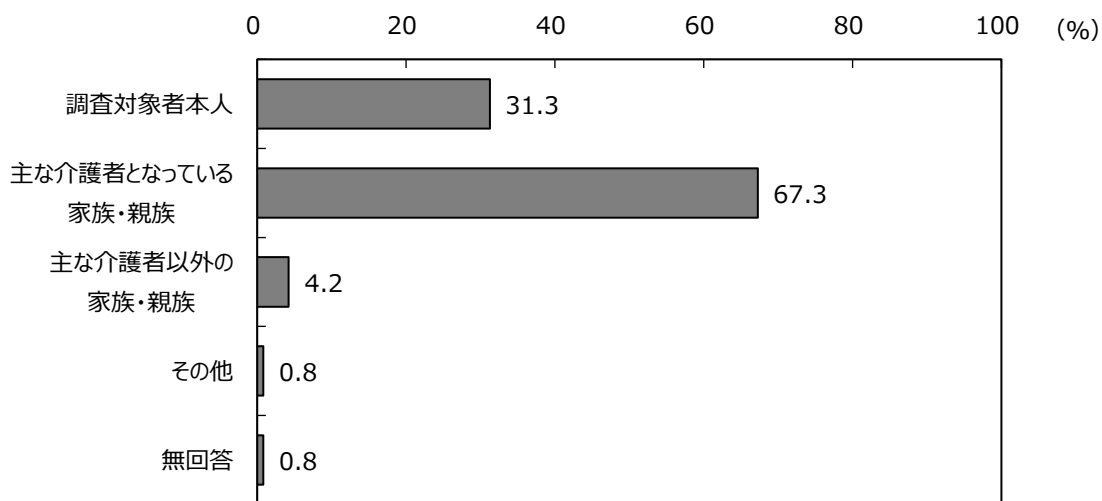
第3章 認定者調査

1 本人の属性

(1) 調査票の記入者

n=1,136

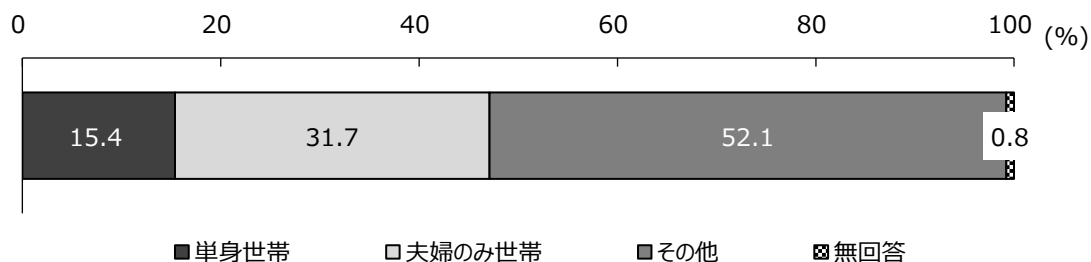
「主な介護者となっている家族・親族」が67.3%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が31.3%となっています。



(2) 世帯類型

n=1,136

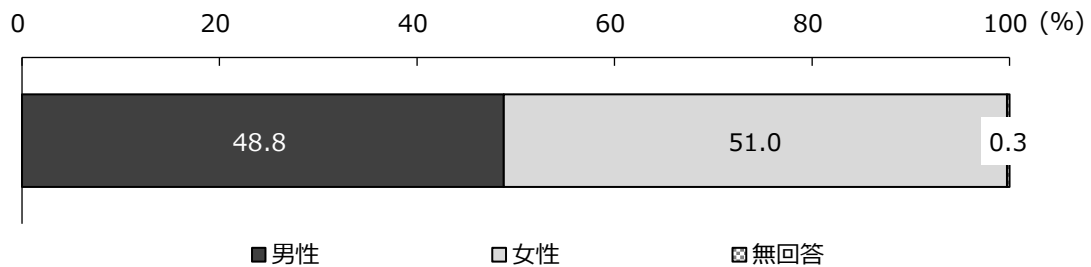
「その他」(52.1%)、「夫婦のみ世帯」(31.7%)、「単身世帯」(15.4%)の順に高くなっています。



(3) 本人の性別

n=1,136

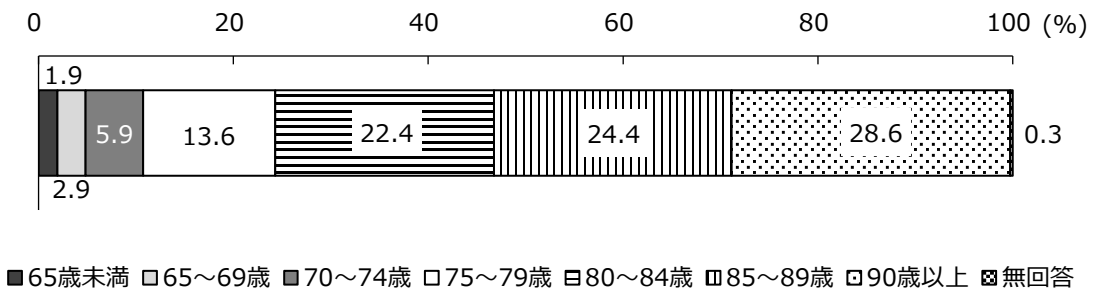
「女性」が51.0%、「男性」が48.8%となっています。



(4) 本人の年齢

n=1,136

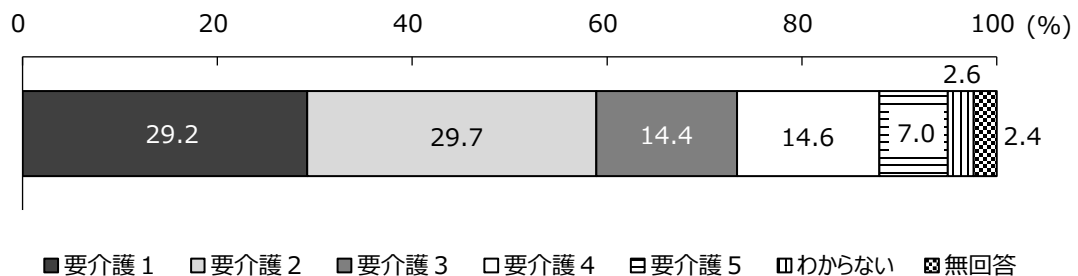
「90歳以上」が28.6%と最も高く、次いで「85～89歳」が24.4%、「80～84歳」が22.4%となっています。



(5) 本人の要介護度

n=1,136

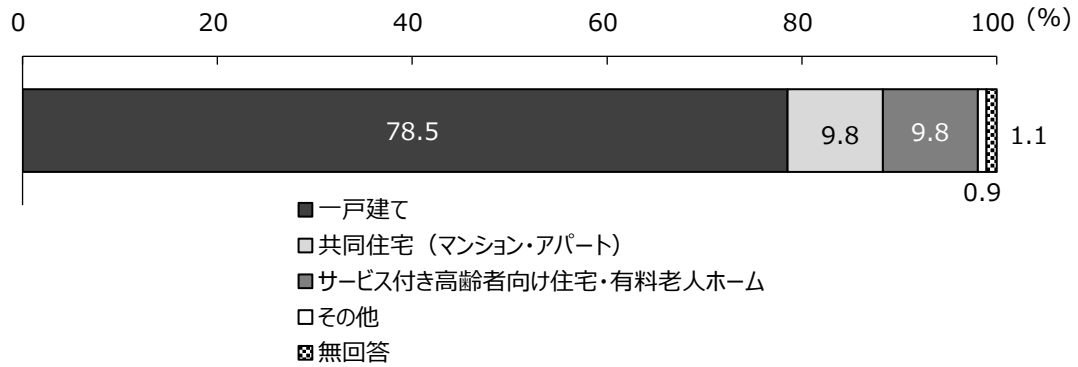
「要介護2」(29.7%)、「要介護1」(29.2%)が高くなっています。



(6) 本人の住まい

n=1,136

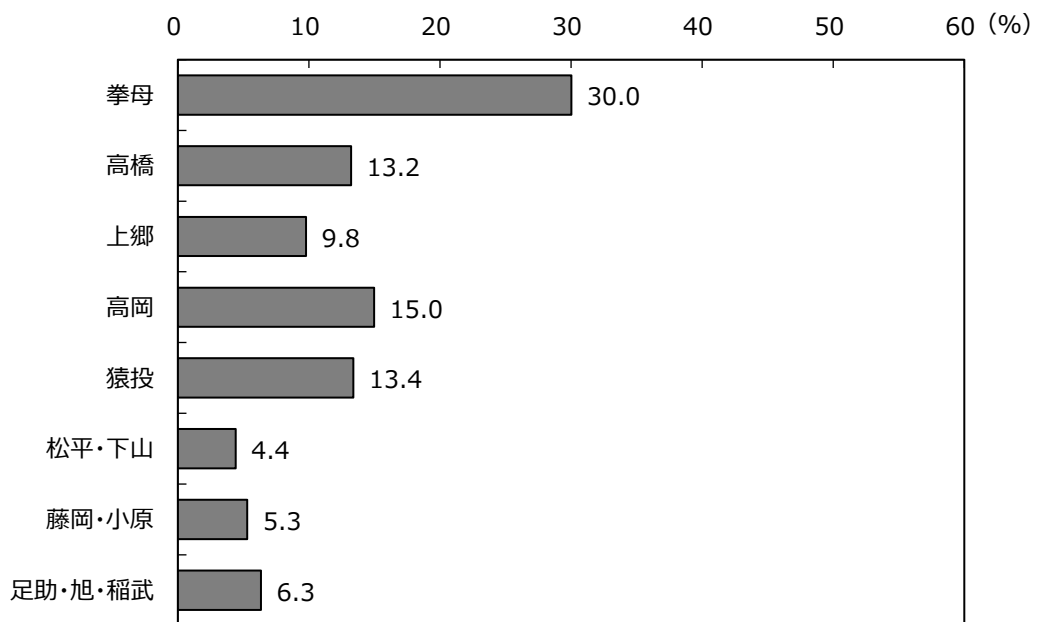
「一戸建て」が78.5%、「共同住宅（マンション・アパート）」が9.8%、「サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム」が9.8%となっています。



(7) 本人の居住地

n=1,136

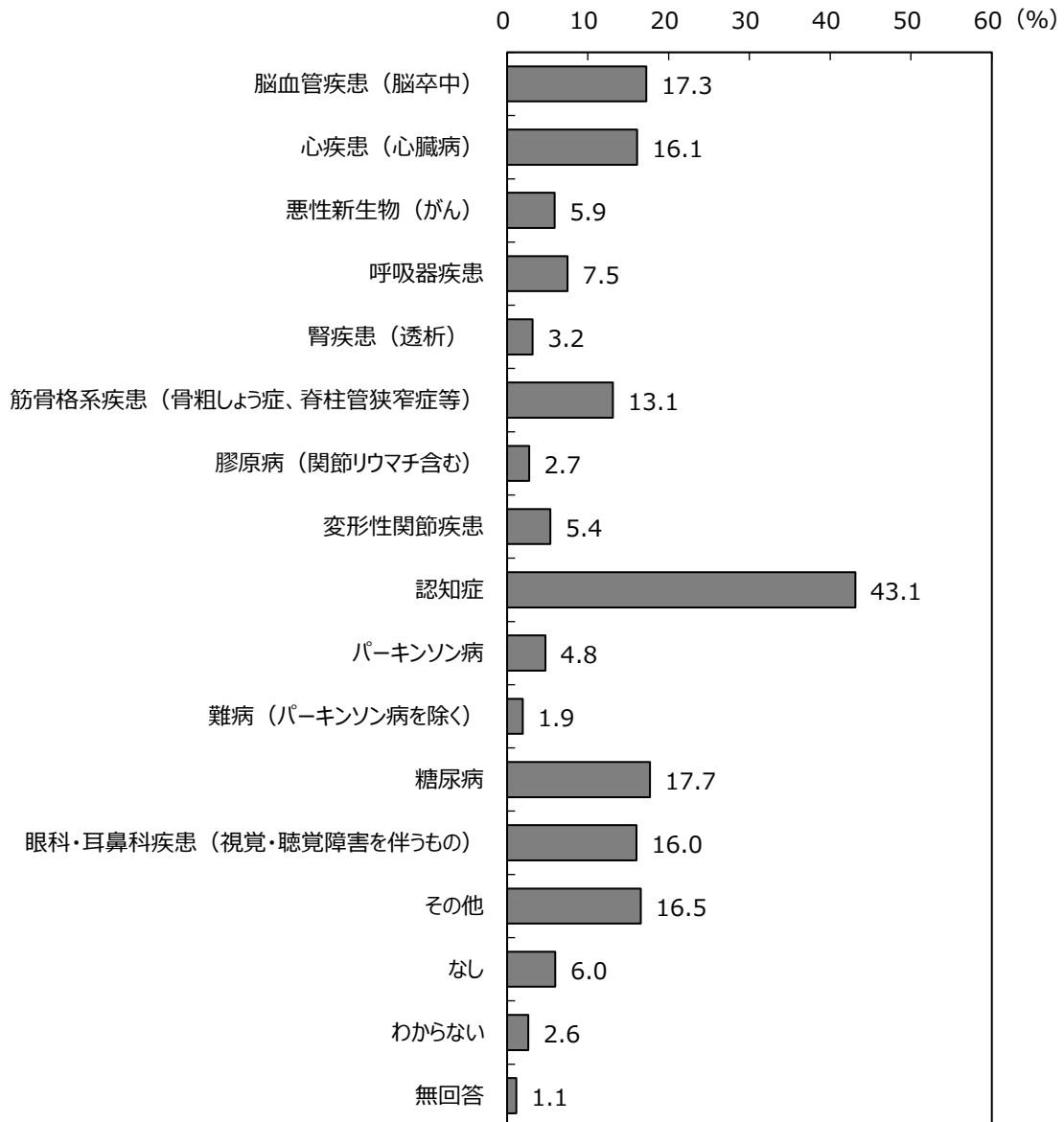
「拳母」が30.0%と最も高く、次いで「高岡」(15.0%)、「猿投」(13.4%)、「高橋」(13.2%)の順に高くなっています。



(8) 本人の抱えている傷病

n=1,136

「認知症」が43.1%と最も高く、次いで「糖尿病」が17.7%、「脳血管疾患（脳卒中）」が17.3%となっています。



2 在宅での生活について

(1) 日中独居の状況

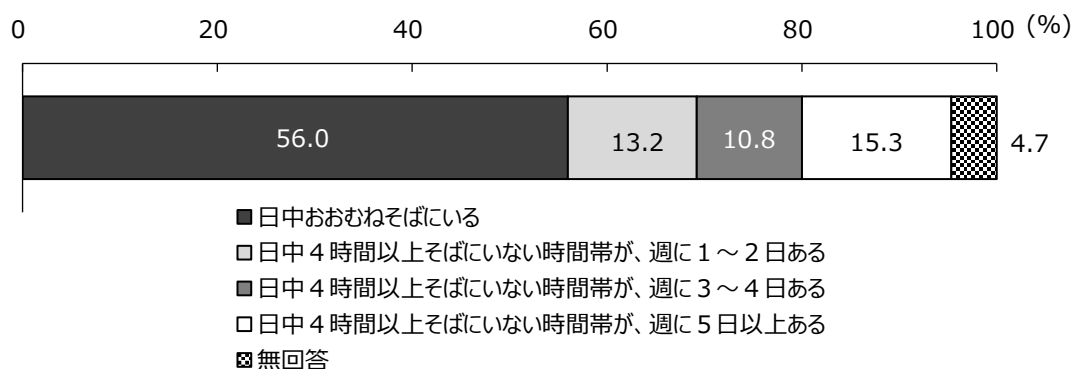
■ 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）が、そばにいないことが、どのくらいありますか（1つを選択）

*同居者がいる場合でも、介護を行うことができない場合は、そばにいるとは考えません。

n=1,136

「日中おおむねそばにいる」が56.0%と最も高くなっています。一方で「日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある」が15.3%となっています。

要介護度別・認知症の症状別でも、全てで「日中おおむねそばにいる」の割合が最も高くなっており、特に要介護5と「ある（重い）」が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	日中おおむねそばにいる	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1～2日ある	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある	日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある	無回答
要介護度	要介護1	332	47.3	18.1	13.6	18.7	2.4
	要介護2	337	57.0	14.5	12.2	13.4	3.0
	要介護3	164	59.1	11.0	9.1	15.2	5.5
	要介護4	166	65.7	8.4	5.4	12.7	7.8
	要介護5	80	75.0	3.8	3.8	10.0	7.5
認知症	ある（重い）	128	68.8	10.9	7.8	10.2	2.3
	ある（軽い）	412	55.1	17.0	11.4	15.3	1.2
	症状はない	300	54.7	16.0	12.3	14.3	2.7

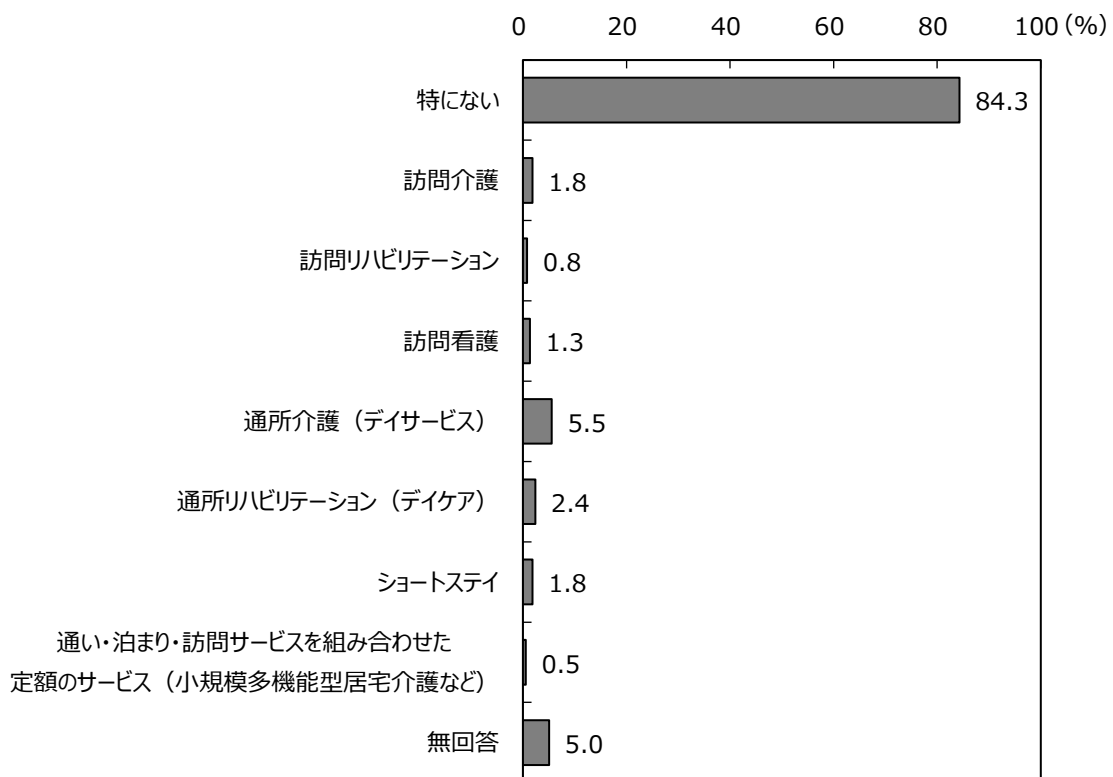
(2) 介護サービスの利用制限

- 介護サービス事業所側の業務多忙・人手不足を理由に、利用回数を減らされたり、使えなかったサービスはありますか（複数選択可）

n=1,136

業務多忙・人手不足を理由に、利用回数を減らされたり、使えなかったサービスが「ある」（全体から「特にない」「無回答」を除いた割合）は10.7%となっています。

サービス別にみると、「通所介護（デイサービス）」（5.5%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（2.4%）の順に高くなっています。



(3) 介護保険サービス以外の利用

- 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

*総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

*介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

n=1,136

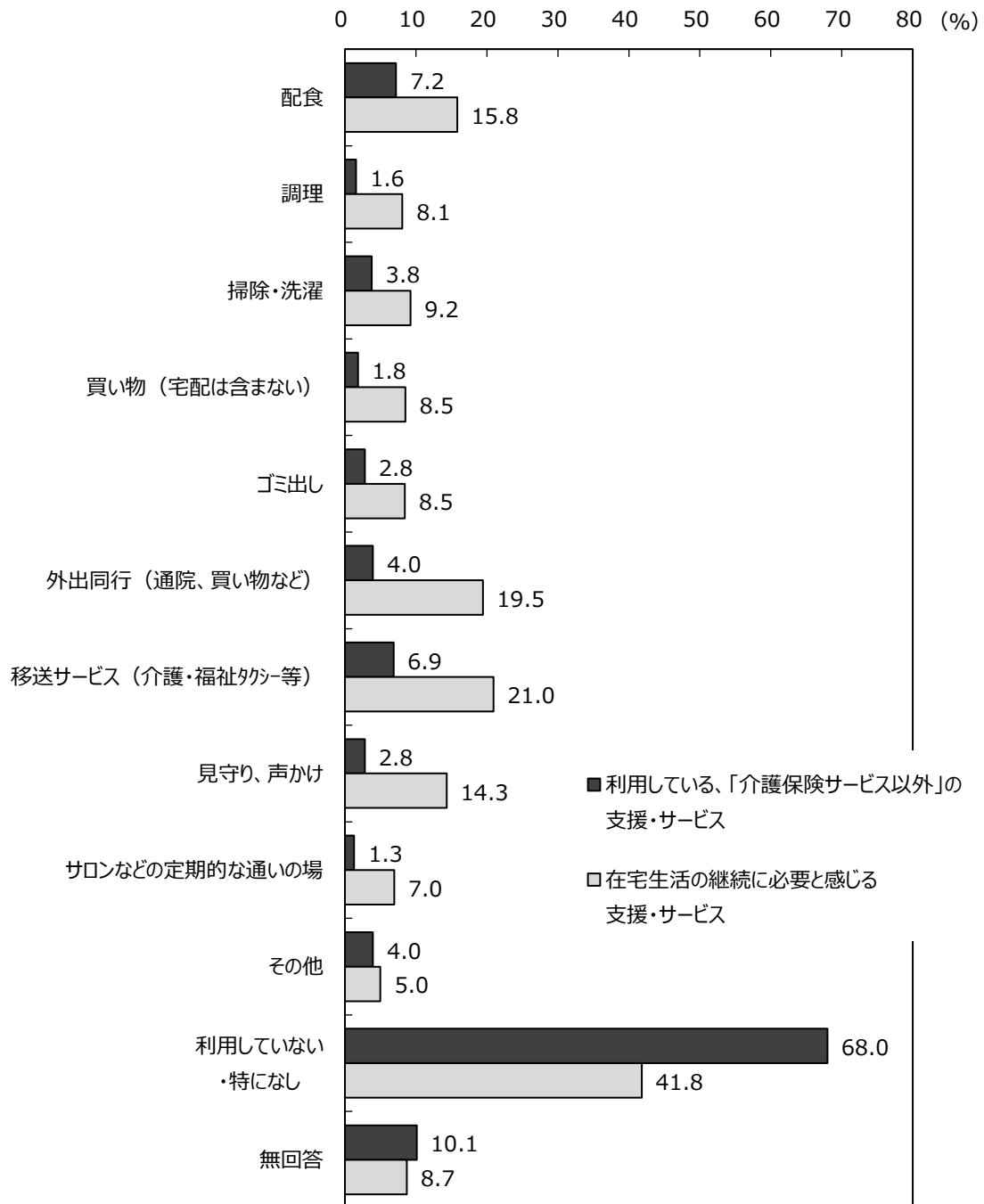
支援・サービスを「利用している」（全体から「利用していない」「無回答」を除いた割合）は21.9%となっています。

利用している支援・サービスの内容は、「配食」（7.2%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.9%）、「外出同行（通院、買い物など）」（4.0%）、「掃除・洗濯」（3.8%）の順に高くなっています。

必要と感じている支援・サービスの内容は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（21.0%）、「外出同行（通院、買い物など）」（19.5%）、「配食」（15.8%）、「見守り、声かけ」（14.3%）の順に高くなっています。

利用している支援・サービスについて要介護度別で見ると、要介護1～3は「配食」、要介護4・5は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が他と比べて高くなっています。

必要と感じている支援・サービスについて要介護度別で見ると、要介護1～3は「外出同行（通院、買い物など）」、要介護3～5は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が他と比べてやや高くなっています。



【利用している支援・サービス】

単位：%

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送サービス等）	見守り、声かけ	サロンの場	その他
要介護度	要介護1	332	9.9	1.8	4.5	1.8	2.7	3.9	4.8	3.3	1.8	4.2
	要介護2	337	5.9	1.8	3.0	3.0	3.0	4.2	5.9	2.7	1.5	4.2
	要介護3	164	9.1	0.0	1.2	0.0	0.6	3.7	4.3	2.4	1.2	3.0
	要介護4	166	3.6	2.4	3.0	1.2	2.4	2.4	15.1	3.0	0.6	2.4
	要介護5	80	3.8	2.5	3.8	0.0	1.3	2.5	11.3	2.5	0.0	5.0
認知症	ある（重い）	128	9.4	3.9	4.7	2.3	3.1	4.7	10.2	7.0	2.3	1.6
	ある（軽い）	412	8.3	0.7	1.7	0.7	1.2	2.2	5.1	2.2	1.5	3.2
	症状はない	300	5.7	0.7	4.0	3.0	3.0	5.3	9.0	1.7	1.0	5.3

単位：%

		n	利用していない	無回答
要介護度	要介護1	332	69.6	8.4
	要介護2	337	71.2	8.0
	要介護3	164	70.7	9.8
	要介護4	166	63.9	12.7
	要介護5	80	63.8	13.8
認知症	ある（重い）	128	69.5	7.8
	ある（軽い）	412	73.8	7.3
	症状はない	300	67.3	7.0

【必要と感じる支援サービス】

単位：%

		n	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	福祉サービス（介護・移送サービス等）	見守り、声かけ	サロンの場	その他の
要介護度	要介護1	332	17.8	6.9	7.8	8.1	7.5	20.5	19.0	15.4	9.0	4.2
	要介護2	337	15.4	9.2	9.8	11.6	10.1	20.8	16.6	13.6	6.5	3.0
	要介護3	164	11.0	7.9	7.3	7.3	3.7	23.8	28.7	22.6	9.1	7.3
	要介護4	166	16.3	7.8	11.4	4.8	8.4	15.7	25.9	9.0	5.4	9.0
	要介護5	80	18.8	10.0	10.0	7.5	11.3	13.8	27.5	13.8	2.5	3.8
認知症	ある（重い）	128	25.0	12.5	13.3	9.4	10.9	21.9	28.1	22.7	9.4	6.3
	ある（軽い）	412	18.4	8.5	8.5	8.7	8.3	20.4	20.9	18.0	9.5	4.1
	症状はない	300	13.7	6.3	8.0	9.0	8.0	19.7	22.7	8.3	4.0	4.3

単位：%

		n	特になし	無回答
要介護度	要介護1	332	43.7	6.0
	要介護2	337	44.5	5.6
	要介護3	164	35.4	8.5
	要介護4	166	38.6	14.5
	要介護5	80	42.5	15.0
認知症	ある（重い）	128	32.0	7.8
	ある（軽い）	412	41.0	3.9
	症状はない	300	45.0	7.7

(4) 施設等への入所・入居の検討状況

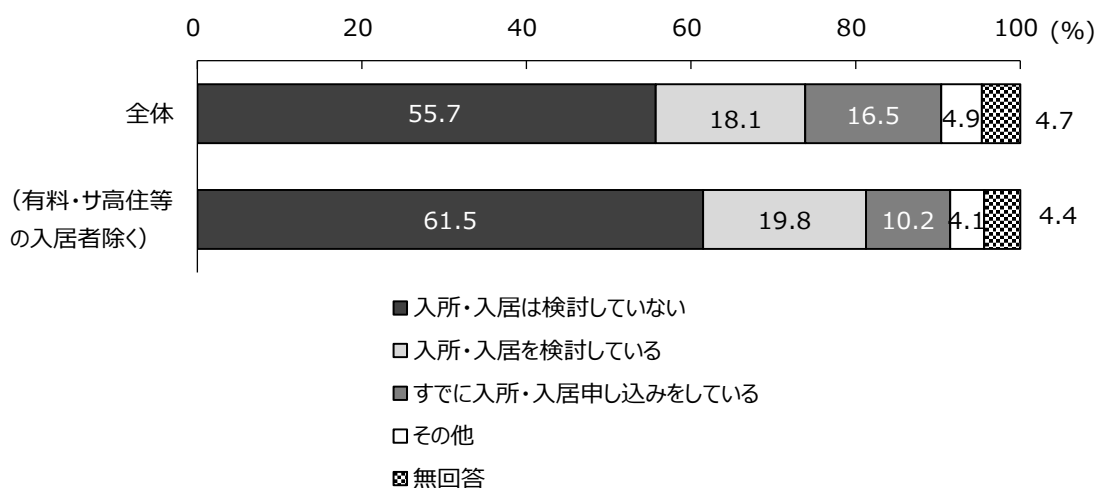
■ 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

*「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

n=1,136

「入所・入居を検討している」が18.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が16.5%となっています。住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホームの入居者を除くと、それぞれ19.8%、10.2%となっています。

要介護度別・認知症の症状別でみると、要介護3～5と「ある(重い)」で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	その他	無回答
要介護度	要介護1	332	65.4	22.3	5.4	4.2	2.7
	要介護2	337	62.0	20.5	10.1	4.7	2.7
	要介護3	164	42.7	22.6	24.4	4.9	5.5
	要介護4	166	41.0	9.0	37.3	4.8	7.8
	要介護5	80	37.5	5.0	40.0	10.0	7.5
認知症	ある(重い)	128	34.4	28.1	28.9	3.9	4.7
	ある(軽い)	412	61.9	20.6	9.2	5.1	3.2
	症状はない	300	71.0	14.3	8.3	3.0	3.3

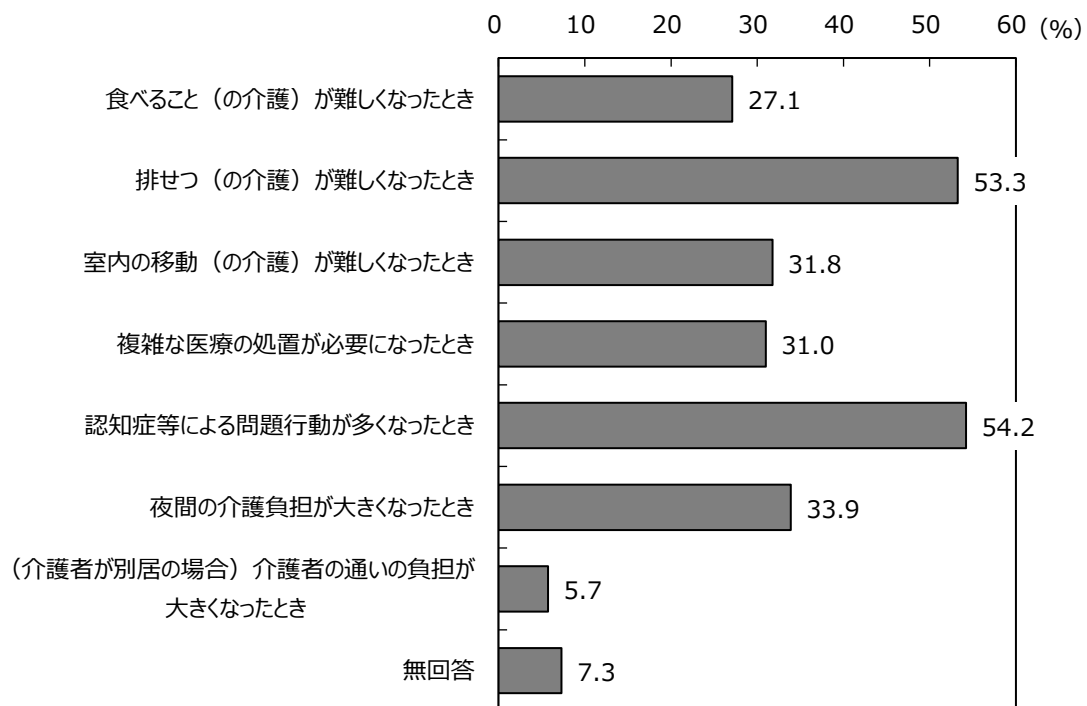
(5) 自宅介護を断念する主な理由

- ご本人やご家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか（○は3つまで）

n=1,136

「認知症等による問題行動が多くなったとき」(54.2%)、「排せつ(の介護)が難しくなったとき」(53.3%)が特に高くなっています。

要介護度別・認知症の症状別でみると、要介護1と「ある(重い・軽い)」で「認知症等による問題行動が多くなったとき」の割合が特に高くなっています。また、「(認知症の)症状はない」で「複雑な医療の処置が必要になったとき」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

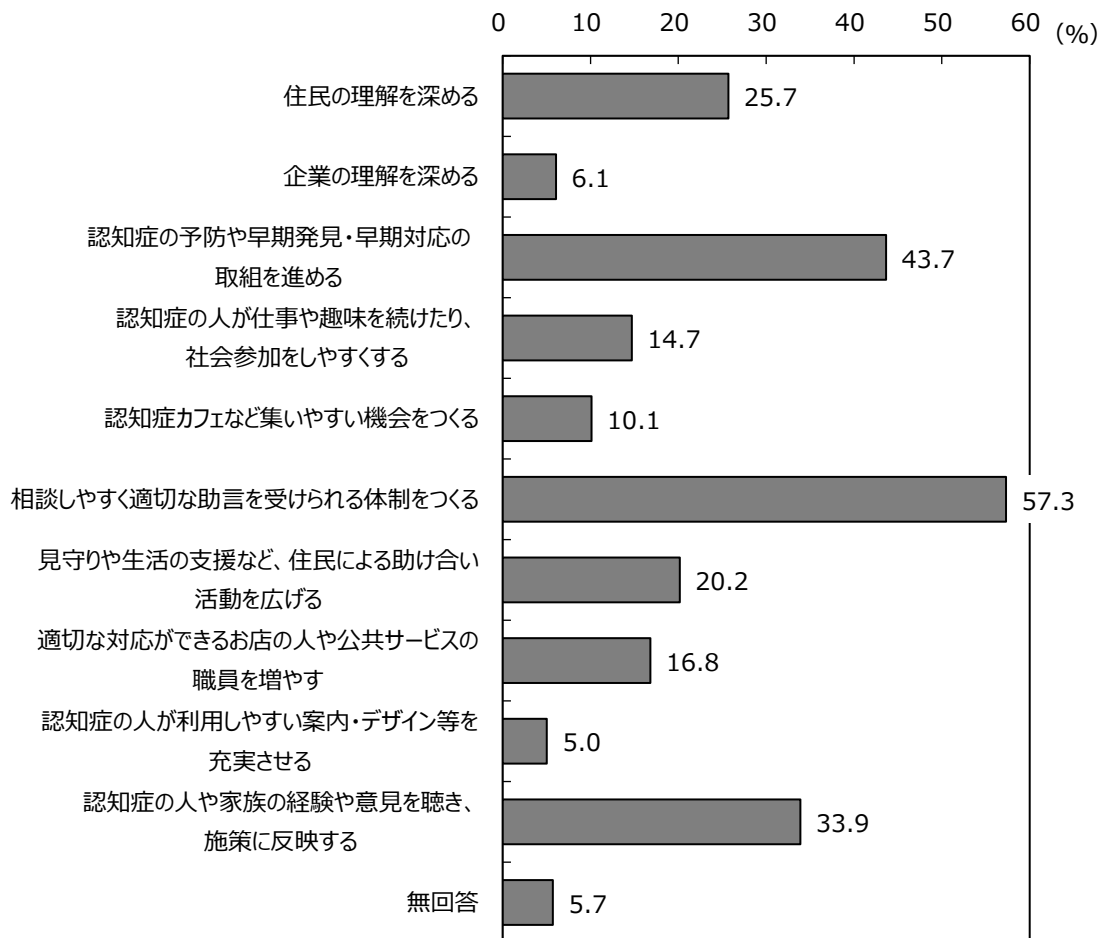
		n	食 べ る こ と （ の 介 護 ） が 難 し く な っ た と き	排 せ つ （ の 介 護 ） が 難 し く な っ た と き	室 内 の 移 動 （ の 介 護 ） が 難 し く な っ た と き	複 雑 な 医 療 の 処 置 が 必 要 に な っ た と き	認 知 症 等 に よ る 問 題 行 動 が 多 く な っ た と き	夜 間 の 介 護 負 担 が 大 き く な っ た と き	（ 介 護 者 が 別 居 の 場 合 ） 介 護 者 の 負 担 が 大 き く な っ た と き	無 回 答
要 介 護 度	要介護1	332	27.4	52.7	24.7	27.7	63.0	32.2	6.6	5.4
	要介護2	337	26.7	56.4	37.1	33.8	57.6	35.9	5.6	4.7
	要介護3	164	25.0	56.1	31.1	32.9	57.9	40.9	4.9	5.5
	要介護4	166	28.3	54.2	40.4	27.7	42.2	34.9	6.0	9.0
	要介護5	80	32.5	51.3	30.0	36.3	31.3	23.8	5.0	11.3
認 知 症	ある（重い）	128	21.9	54.7	21.9	25.8	70.3	35.2	3.1	7.0
	ある（軽い）	412	24.8	55.8	29.9	28.9	65.3	39.6	5.3	3.9
	症状はない	300	31.3	52.0	38.0	45.7	43.3	34.0	7.0	3.7

(6) 認知症の人と家族への支援に必要な取り組み

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか（○は3つまで）

n=1,136

「相談しやすく適切な助言を受けられる体制をつくる」が57.3%と最も高く、次いで「認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める」が43.7%、「認知症の人や家族の経験や意見を聴き、施策に反映する」が33.9%となっています。

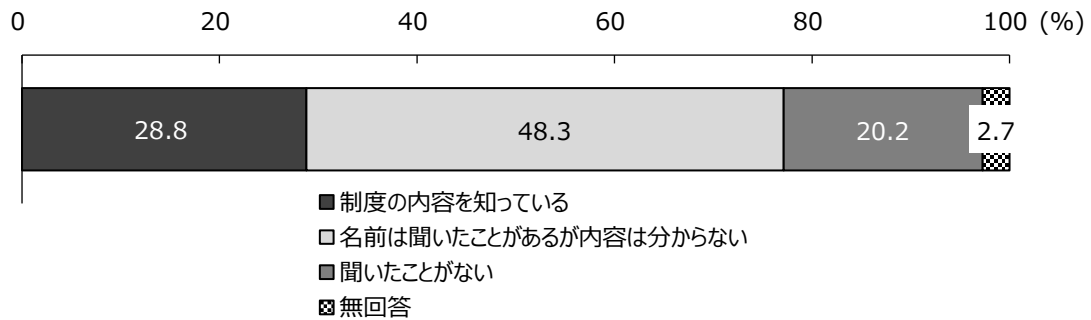


(7) 成年後見制度の把握状況

■ あなたは、成年後見制度をご存知ですか（○は1つ）

n=1,136

「名前は聞いたことがあるが内容は分からない」が48.3%と最も高く、次いで「制度の内容を知っている」が28.8%、「聞いたことがない」が20.2%となっています。



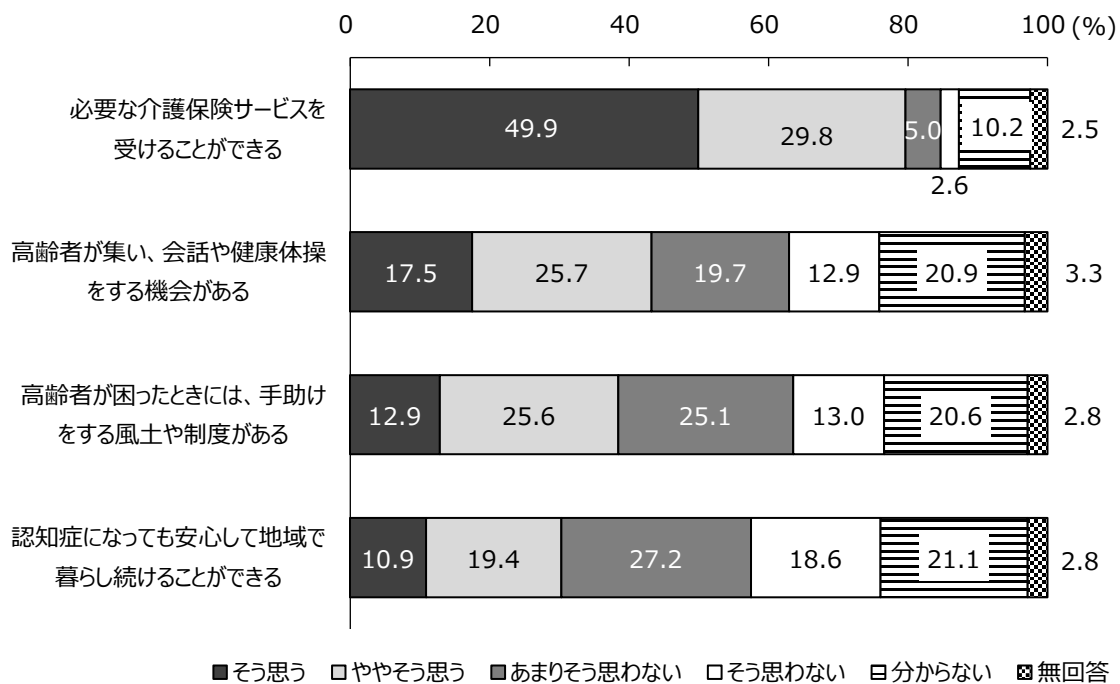
(8) 住んでいる地域について

■ あなたのお住まいの地域について、どのようにお考えですか
 最も近い番号にひとつずつ○をつけてください

n=1,136

「必要な介護保険サービスを受けることができる」は「そう思う」(49.9%)、「高齢者が集い、会話や健康体操をする機会がある」は「ややそう思う」(25.7%)、「高齢者が困ったときには、手助けをする風土や制度がある」は「ややそう思う」(25.6%)、「認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる」は「あまりそう思わない」(27.2%) が最も高くなっています。

要介護度別・認知症の症状別で「そう思う」の割合をみても、大きな違いはみられません。



【「そう思う」の割合】

単位：%

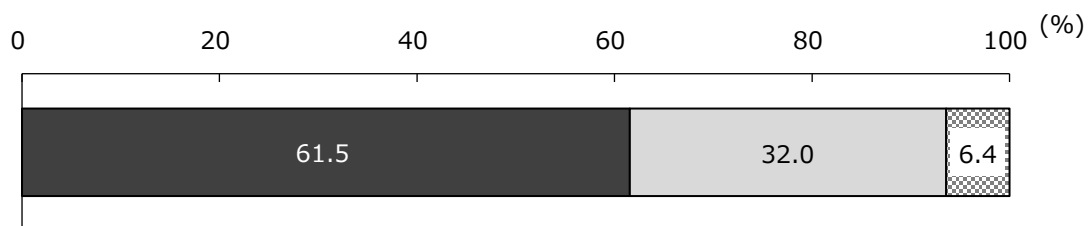
		n	必要な介護保険サービスを受け ることができる	高齢者が集い、会話や健康体操をする機会がある	高齢者が困ったときには、手助けをする風土や制度がある	認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる
要介護度	要介護 1	332	48.5	16.6	13.0	12.0
	要介護 2	337	53.1	19.0	13.4	11.6
	要介護 3	164	47.0	14.0	9.8	8.5
	要介護 4	166	48.8	19.9	13.9	8.4
	要介護 5	80	56.3	17.5	11.3	7.5
認知症	ある（重い）	128	53.1	17.2	7.8	6.3
	ある（軽い）	412	52.4	18.4	13.6	10.9
	症状はない	300	51.0	17.3	14.0	12.3

(9) 介護保険料について

■ 介護保険料は、市全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか（○は1つ）

n=1,136

「高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない」が61.5%、「施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げてでも、保険料は高くしないでほしい」が32.0%となっています。



- 高齡化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
- 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げてでも、保険料は高くしないでほしい
- ▣ 無回答

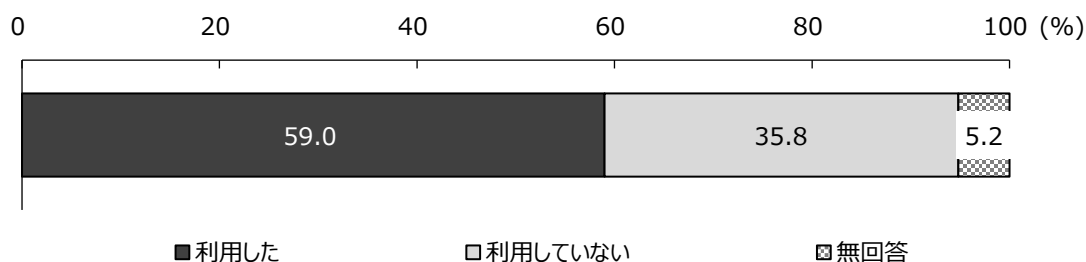
3 介護の状況について

(1) 介護保険サービスの利用の有無

■ 令和7年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

n=1,136

「利用した」が59.0%、「利用していない」が35.8%となっています。

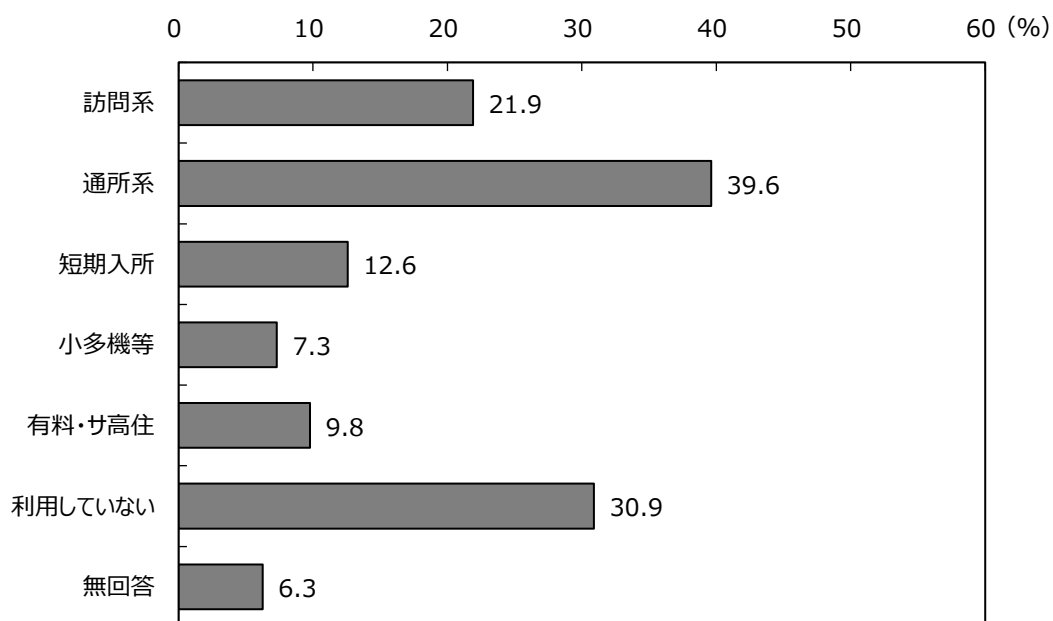


(2) 介護保険サービスの利用状況

■ 以下の介護保険サービスについて、令和7年9月の1か月間の利用状況をご回答ください(それぞれ1つに○)

n=1,136

利用しているサービスについて、「通所系」(39.6%)、「訪問系」(21.9%)、短期入所系(12.6%)の順に高くなっています。



*小多機等は、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護

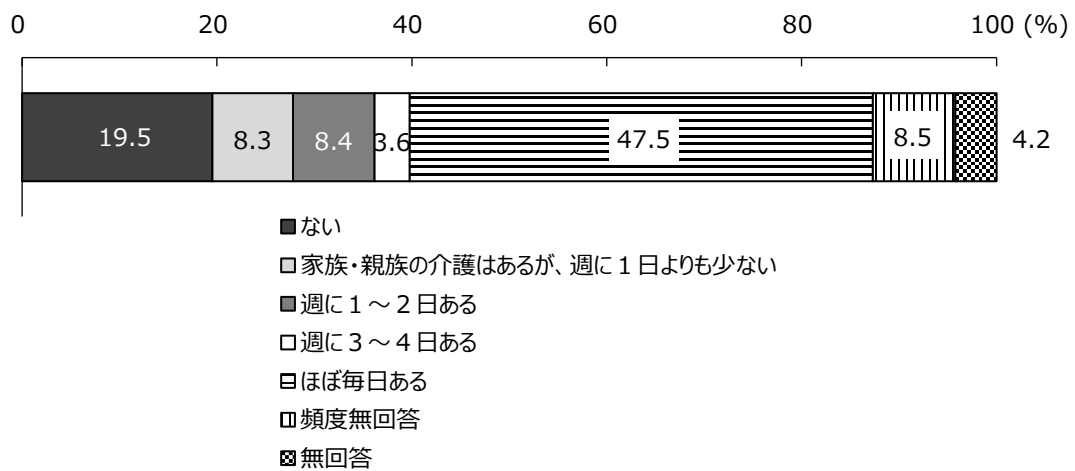
(3) 家族等による介護の頻度

■ ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

n=1,136

「ほぼ毎日ある」が47.5%と最も高く、次いで「ない」が19.5%となっています。

要介護度別でみると、要介護4・5で「ない」の割合が他と比べて高くなっていますが、住宅型有料老人ホーム等の利用が背景にあると考えられます。



単位：%

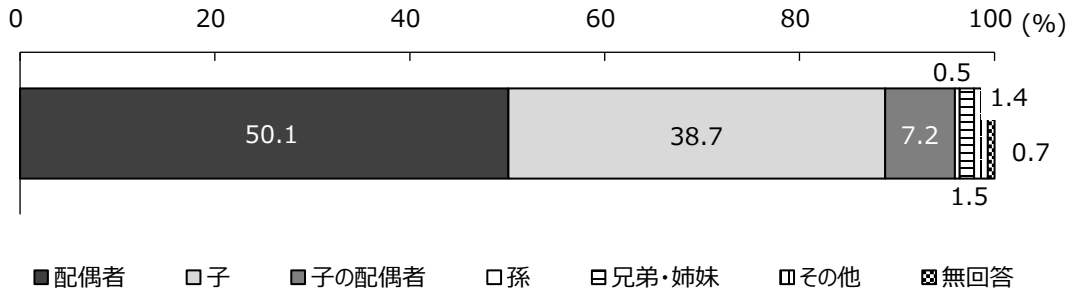
		n	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	頻度無回答	無回答
要介護度	要介護1	332	18.7	7.8	8.1	6.3	46.1	9.6	3.3
	要介護2	337	13.1	8.3	9.5	3.3	56.1	6.8	3.0
	要介護3	164	15.9	6.1	7.3	1.8	54.3	8.5	6.1
	要介護4	166	25.9	12.7	10.8	1.2	38.6	6.0	4.8
	要介護5	80	32.5	8.8	1.3	2.5	38.8	12.5	3.8
認知症	ある（重い）	128	0.0	10.9	7.8	3.1	65.6	12.5	0.0
	ある（軽い）	412	0.0	10.4	11.9	5.8	63.1	8.7	0.0
	症状はない	300	0.0	11.7	11.3	4.0	60.0	13.0	0.0

4 主な介護者の状況について

(1) 主な介護者の本人との関係

主な介護者 n=866

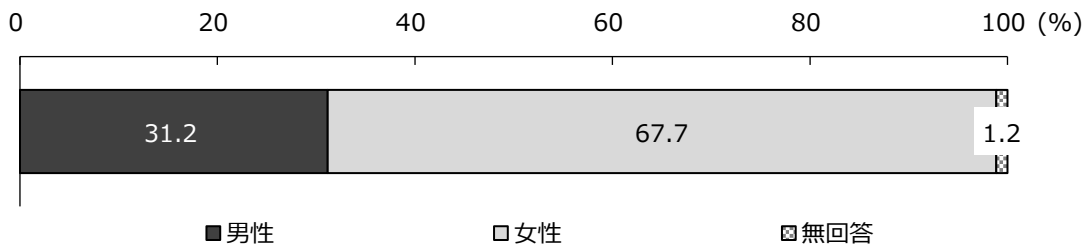
「配偶者」が50.1%と最も高く、次いで「子」が38.7%となっています。



(2) 主な介護者の性別

主な介護者 n=866

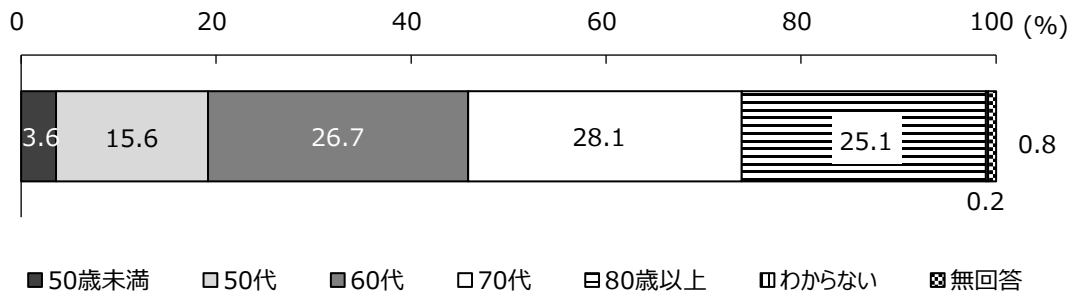
「女性」が67.7%、「男性」が31.2%となっています。



(3) 主な介護者の年齢

主な介護者 n=866

「70代」(28.1%)、「60代」(26.7%)、「80歳以上」(25.1%)が高くなっています。

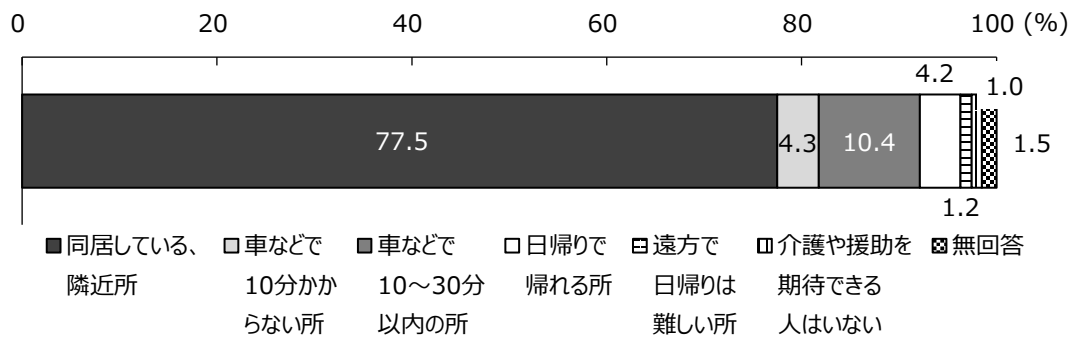


(4) 主な介護者の住まいと本人の住まいの距離

主な介護者 n=866

「同居している、隣近所」が 77.5%と最も高く、次いで「車などで 10～30 分以内の所」(10.4%) となっています。

要介護度別・認知症の症状別でも、全てで「同居している、隣近所」の割合が高くなっています。

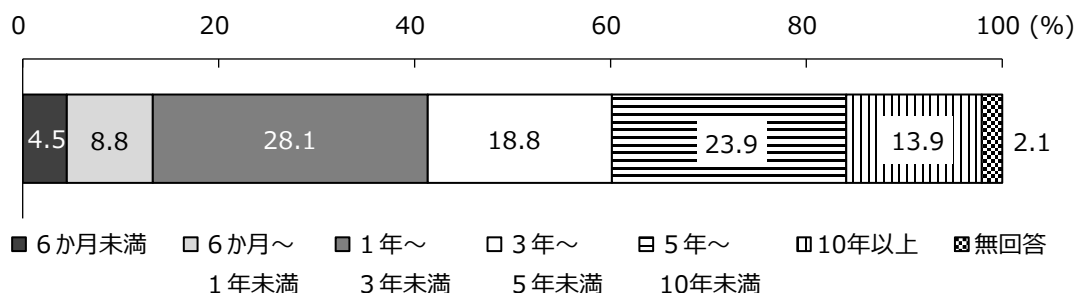


	n	同居している、隣近所	車などで10分以内の所	車などで10～30分以内の所	日帰りで帰れる所	遠方で日帰りは難しい所	介護や援助を期待できる人はいない	無回答	
									要介護度
要介護度	要介護 1	259	79.2	3.1	8.1	6.6	1.5	0.8	0.8
	要介護 2	283	76.7	5.3	10.2	3.9	1.4	1.4	1.1
	要介護 3	128	81.3	4.7	7.8	2.3	0.0	0.8	3.1
	要介護 4	115	76.5	4.3	12.2	2.6	0.0	1.7	2.6
	要介護 5	51	70.6	3.9	21.6	2.0	2.0	0.0	0.0
認知症	ある (重い)	128	73.4	3.9	14.1	4.7	0.8	0.8	2.3
	ある (軽い)	412	79.9	4.6	10.7	3.2	0.7	0.2	0.7
	症状はない	300	77.3	3.7	8.3	5.7	2.0	2.0	1.0

(5) 主な介護者が介護している期間

主な介護者 n=866

「1年～3年未満」が 28.1%と最も高く、次いで「5年～10年未満」が 23.9%、「3年～5年未満」が 18.8%となっています。

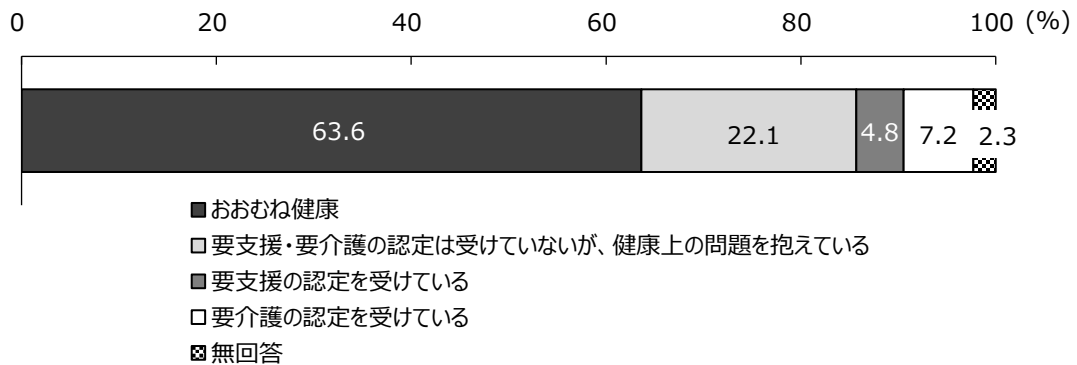


(6) 主な介護者の健康状態

主な介護者 n=866

「おおむね健康」が63.6%と最も高くなっています。「要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている」が22.1%、「要介護の認定を受けている」が7.2%、「要支援の認定を受けている」が4.8%となっています。

要介護度別・認知症の症状別でも、大きな違いはみられません。



単位：%

		n	おおむね健康	要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている	要支援の認定を受けている	要介護の認定を受けている	無回答
要介護度	要介護1	259	67.6	17.4	5.4	7.3	2.3
	要介護2	283	56.2	26.5	6.0	9.2	2.1
	要介護3	128	64.8	25.0	2.3	5.5	2.3
	要介護4	115	73.0	20.0	3.5	2.6	0.9
	要介護5	51	68.6	17.6	3.9	7.8	2.0
認知症	ある(重い)	128	64.1	26.6	3.9	4.7	0.8
	ある(軽い)	412	65.0	20.1	4.9	9.0	1.0
	症状はない	300	64.7	23.7	4.3	6.0	1.3

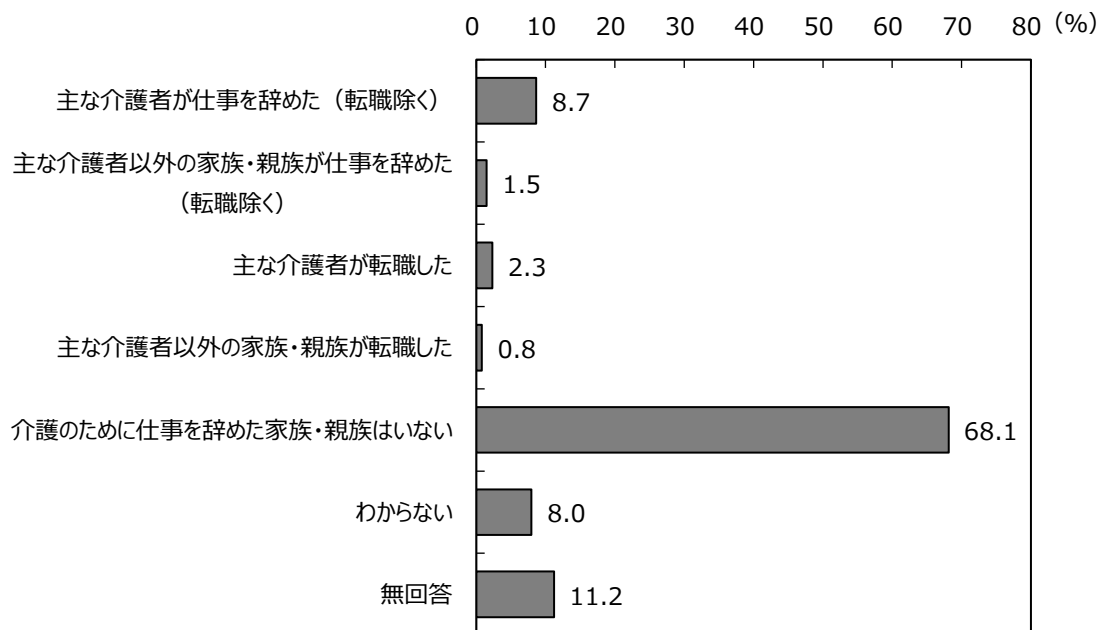
5 介護について

(1) 介護を理由とした家族等の就労中断

- ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

主な介護者 n=866

介護者が退職や転職などをした割合（全体から「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」「わからない」「無回答」を除いた割合）は12.7%となっています。内容としては、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.7%と最も高くなっています。

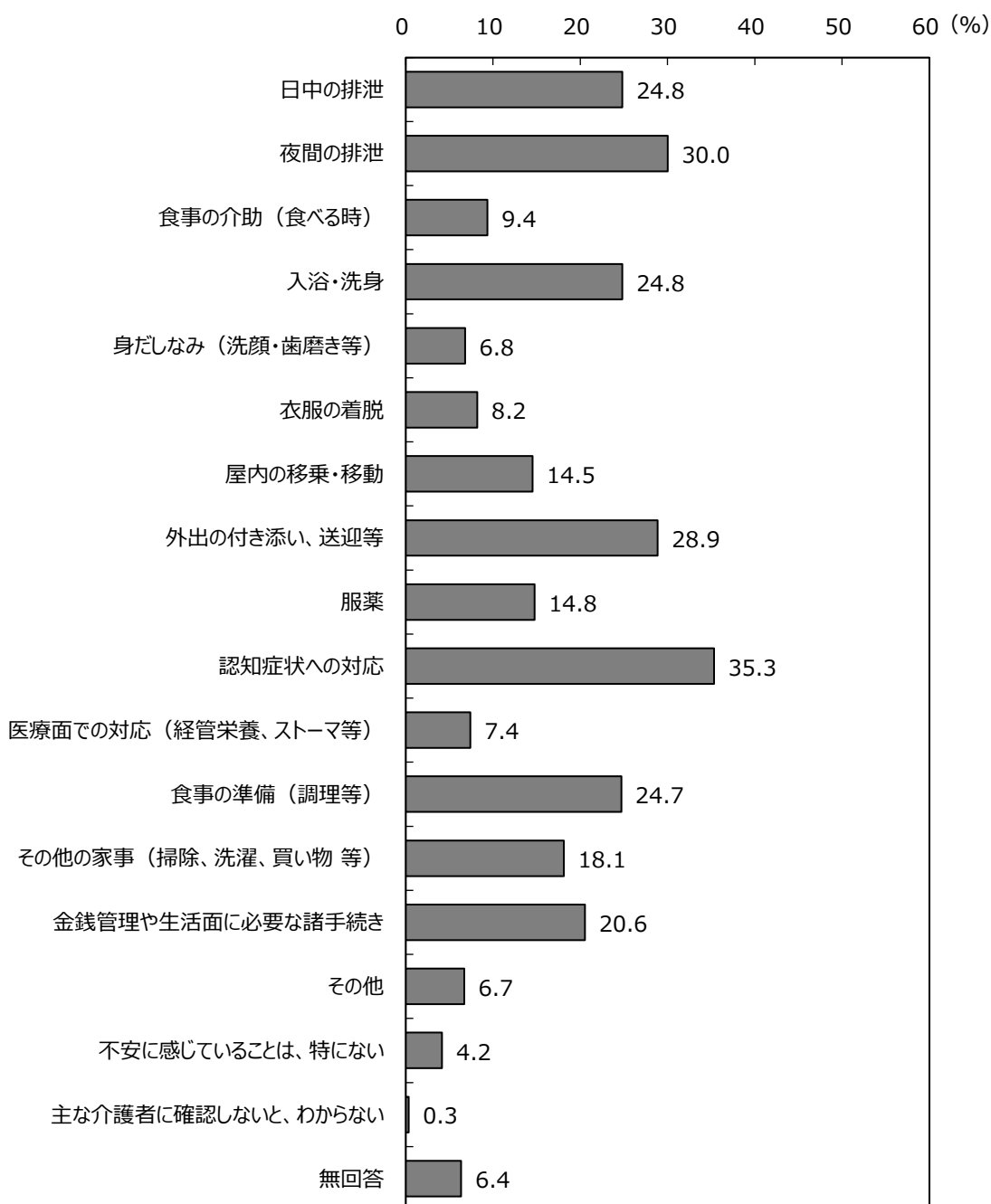


(2) 不安を感じる介護等

- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者 n=866

「認知症状への対応」が35.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」(30.0%)、「外出の付き添い、送迎等」(28.9%)となっています。



第3章 認定者調査

要介護度別でみると、要介護1～3は「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」、要介護4は「日中の排泄」「夜間の排泄」、要介護5は「入浴・洗身」の割合が他と比べて高くなっています。

認知症の症状別でみると、「ある（重い）」で「認知症状への対応」の割合が特に高くなっています。

単位：%

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	顔身・歯磨き等（洗）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等の付き添い、	服薬	認知症状への対応	
要介護度	要介護1	259	24.3	25.1	8.1	20.8	9.3	6.2	6.6	31.3	25.1	49.0
	要介護2	283	22.3	29.0	6.7	24.4	7.4	9.2	15.9	32.9	12.4	32.2
	要介護3	128	23.4	32.0	9.4	27.3	3.1	7.8	19.5	28.1	14.1	40.6
	要介護4	115	36.5	41.7	17.4	29.6	4.3	7.8	26.1	18.3	5.2	21.7
	要介護5	51	21.6	27.5	13.7	35.3	2.0	15.7	11.8	23.5	3.9	9.8
認知症	ある（重い）	128	29.7	30.5	10.2	23.4	5.5	10.2	12.5	14.1	16.4	61.7
	ある（軽い）	412	26.5	32.0	10.0	22.8	9.2	7.5	11.2	29.4	18.7	44.7
	症状はない	300	22.3	29.0	8.3	30.3	4.7	8.3	20.3	35.0	9.7	13.7

単位：%

	n	トーマ等（医療面での対応）	食事の準備（調理等）	除、洗濯、家事（掃除）	その他（洗濯、家事）	金銭管理（生活費）	その他	不安、感じない	なし	主な介護者に確認	無回答
要介護度	要介護1	259	5.0	24.3	17.4	26.3	6.6	3.1	0.0	5.8	
	要介護2	283	8.5	26.9	21.9	19.4	6.4	4.2	0.7	4.9	
	要介護3	128	6.3	20.3	11.7	21.1	5.5	4.7	0.0	6.3	
	要介護4	115	9.6	25.2	17.4	15.7	7.0	3.5	0.0	7.8	
	要介護5	51	13.7	23.5	9.8	17.6	13.7	11.8	0.0	7.8	
認知症	ある（重い）	128	10.9	20.3	9.4	21.9	8.6	3.9	0.0	3.9	
	ある（軽い）	412	5.3	25.0	17.7	21.4	6.3	2.9	0.0	4.9	
	症状はない	300	9.3	27.3	23.0	19.7	7.0	6.0	1.0	5.0	

(3) 認定者の認知症の有無

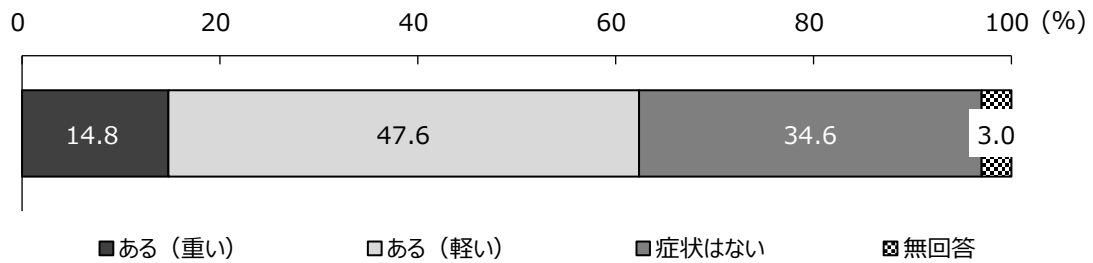
■ ご本人（このアンケートの封筒の宛名のご本人）には、認知症の症状がありますか（1つを選択）

主な介護者 n=866

「ある（軽い）」が47.6%と最も高く、次いで「症状はない」が34.6%、「ある（重い）」が14.8%となっています。

*ある（重い）：症状があり、常時の見守りや何らかの介護が必要

*ある（軽い）：症状はあるが、少しサポートすれば普段の生活が可能



6 介護と就労の両立について

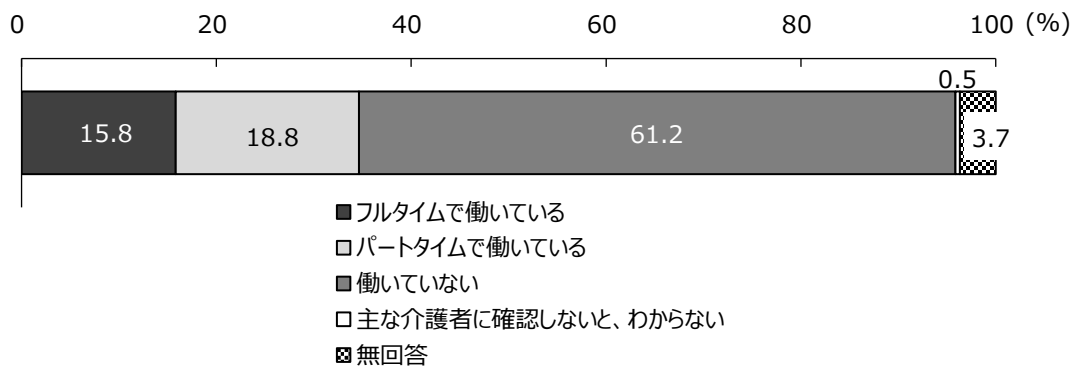
(1) 主な介護者の勤務形態

■ 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者 n=866

「働いていない」が61.2%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が18.8%、「フルタイムで働いている」が15.8%となっています。

要介護度別・認知症の症状別でも、全てで「働いていない」の割合が最も高くなっています。



単位：%

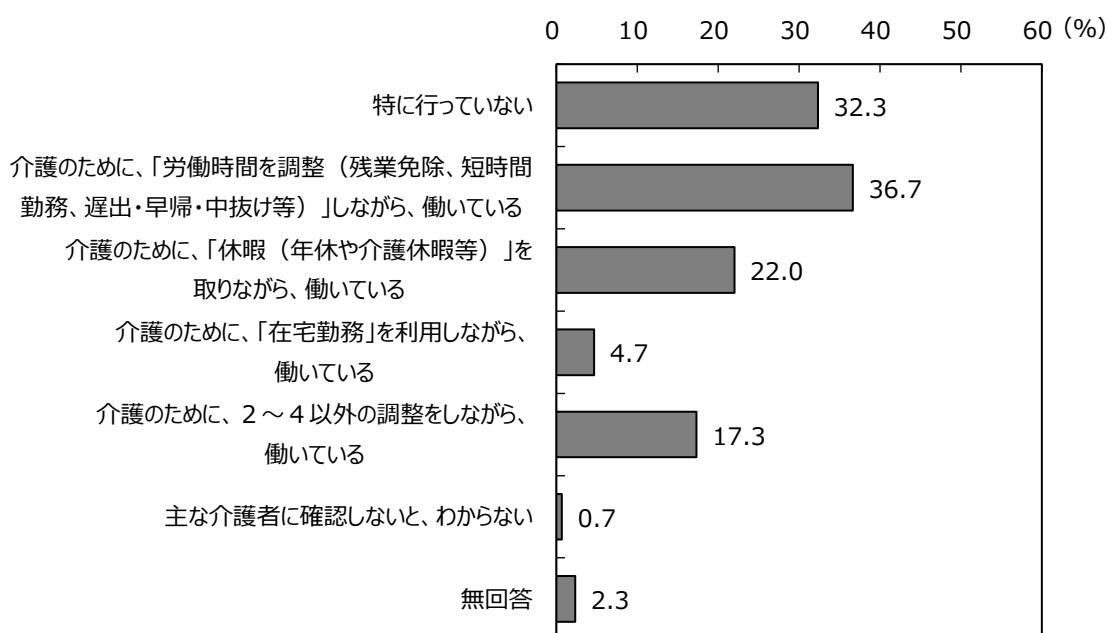
		n	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要介護度	要介護1	259	15.8	19.7	61.8	0.0	2.7
	要介護2	283	12.7	20.1	62.5	1.1	3.5
	要介護3	128	22.7	18.0	55.5	0.0	3.9
	要介護4	115	17.4	21.7	57.4	0.0	3.5
	要介護5	51	15.7	11.8	68.6	0.0	3.9
認知症	ある（重い）	128	25.0	19.5	55.5	0.0	0.0
	ある（軽い）	412	13.1	19.9	65.3	0.2	1.5
	症状はない	300	16.7	18.0	60.7	1.0	3.7

(2) 主な介護者の働き方の調整の有無

- 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

就労をしている主な介護者 n=300

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が36.7%と最も高く、次いで「特に行っていない」（32.3%）、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（22.0%）となっています。



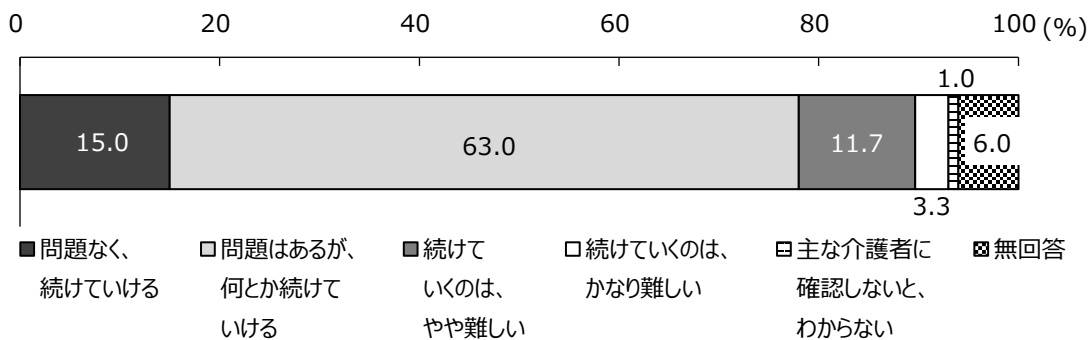
(3) 介護と就労の両立の見込み

■ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

就労をしている主な介護者 n=300

「問題はあるが、何とか続けていける」が63.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.0%、「続けていくのは、やや難しい」が11.7%となっています。

要介護度別・認知症の症状別でみると、全てで「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高くなっています。



単位：%

	n	問題なく、	問題はある	続けていく	続けていく	主な介護	無回答	
		続けていける	が、何とか	のは、やや	のは、かなり	者に確認し		
			続けていける	難しい	難しい	ないと、わ		
						からない		
要介護度	要介護1	92	14.1	63.0	12.0	1.1	3.3	6.5
	要介護2	93	16.1	64.5	9.7	3.2	0.0	6.5
	要介護3	52	9.6	67.3	15.4	5.8	0.0	1.9
	要介護4	45	15.6	55.6	13.3	6.7	0.0	8.9
	要介護5	14	21.4	64.3	7.1	0.0	0.0	7.1
認知症	ある（重い）	57	10.5	57.9	17.5	8.8	0.0	5.3
	ある（軽い）	136	13.2	66.2	11.8	1.5	1.5	5.9
	症状はない	104	20.2	60.6	8.7	2.9	1.0	6.7

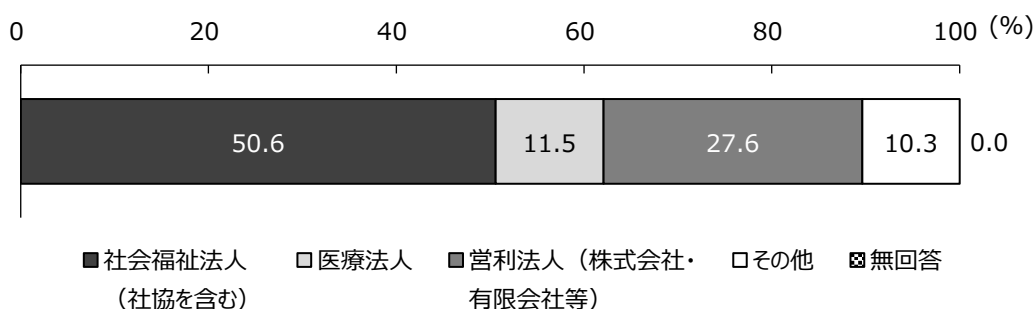
第4章 在宅生活改善調査

1 事業所について

(1) 法人等のタイプ

n=87

「社会福祉法人（社協を含む）」が50.6%と最も高く、次いで「営利法人（株式会社・有限会社等）」（27.6%）、「医療法人」（11.5%）の順に高くなっています。



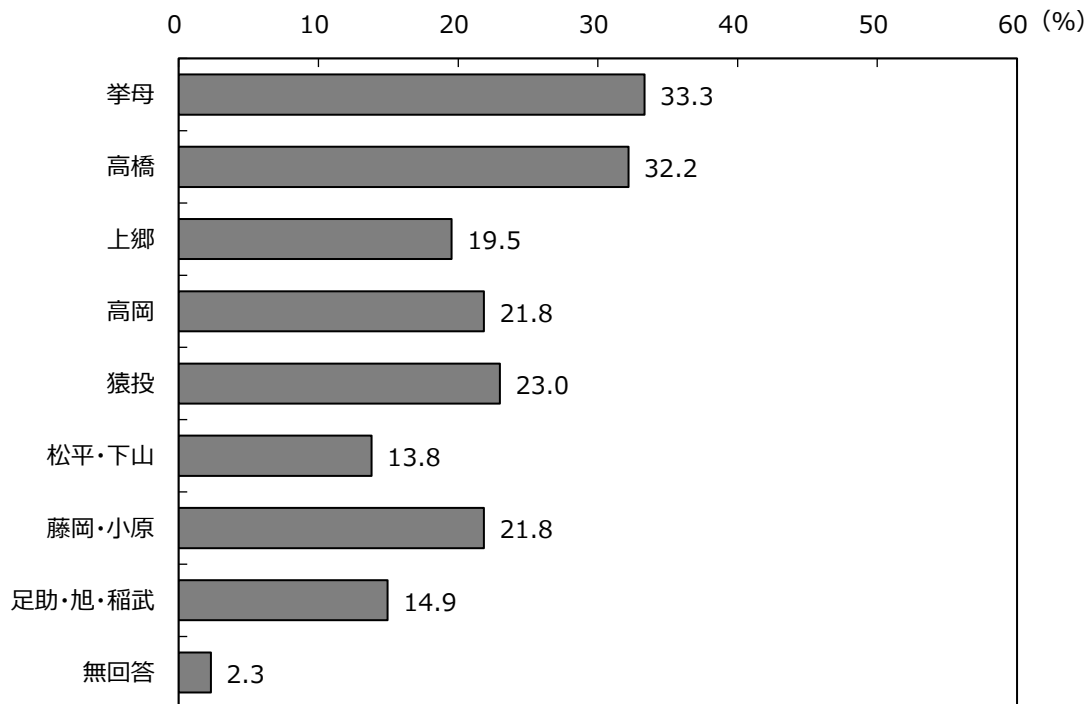
単位：%

	n	社会福祉法人 (社協を含む)	医療法人	営利法人 (株式会社・有限会社等)	その他	無回答
拳母	29	24.1	10.3	48.3	17.2	0.0
高橋	28	42.9	7.1	46.4	3.6	0.0
上郷	17	29.4	23.5	47.1	0.0	0.0
高岡	19	57.9	5.3	31.6	5.3	0.0
猿投	20	45.0	20.0	35.0	0.0	0.0
松平・下山	12	41.7	8.3	50.0	0.0	0.0
藤岡・小原	19	36.8	21.1	42.1	0.0	0.0
足助・旭・稲武	13	46.2	7.7	30.8	15.4	0.0

(2) 主な担当地区

n=87

「拳母」(33.3%)、「高橋」(32.2%)、「猿投」(23.0%) の順に高くなっています。



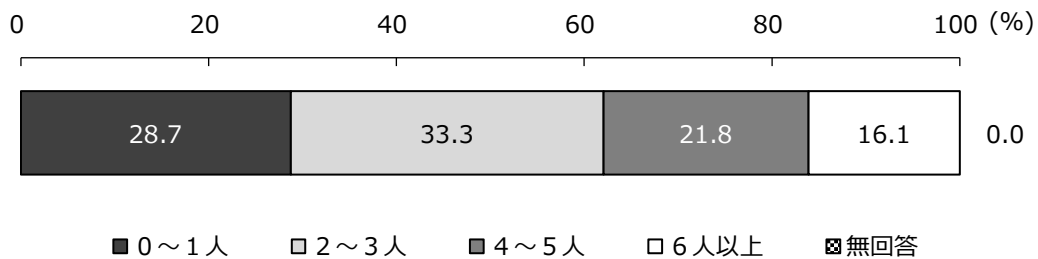
(3) ケアマネジャー、利用者の人数

■ 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

①所属するケアマネジャーの人数

n=87

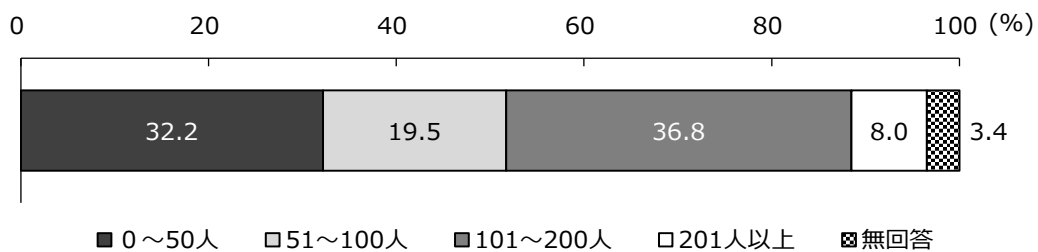
「2～3人」が33.3%と最も高く、次いで「0～1人」(28.7%)、「4～5人」(21.8%)の順に高くなっています。



②「自宅等」にお住まいの利用者数

n=87

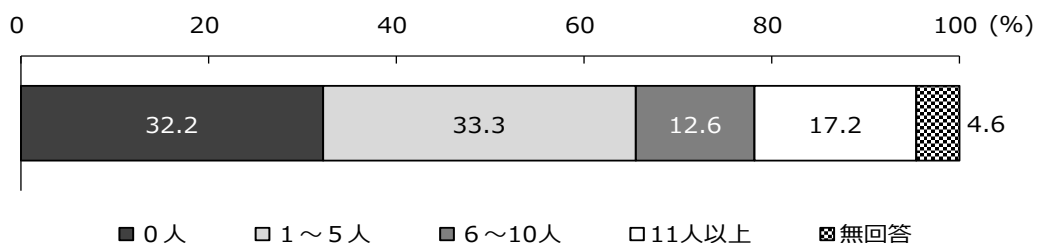
「101～200人」が36.8%と最も高く、次いで「0～50人」(32.2%)、「51～100人」(19.5%)の順に高くなっています。



③「サービス付き高齢者向け住宅」・「住宅型有料老人ホーム」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数

n=87

「1～5人」が33.3%と最も高く、次いで「0人」(32.2%)、「11人以上」(17.2%)の順に高くなっています。



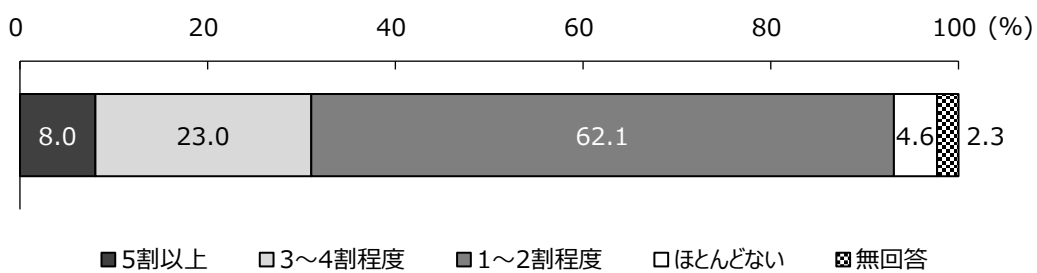
(4) 利用者の状況

■ 貴事業所の利用者について、次の①から③まで教えてください。(それぞれ○は1つ)

①「介護保険サービス以外」(配食、生活支援等)の支援・サービスを利用している割合 *延長デイや限度額以上の利用などは除く

n=87

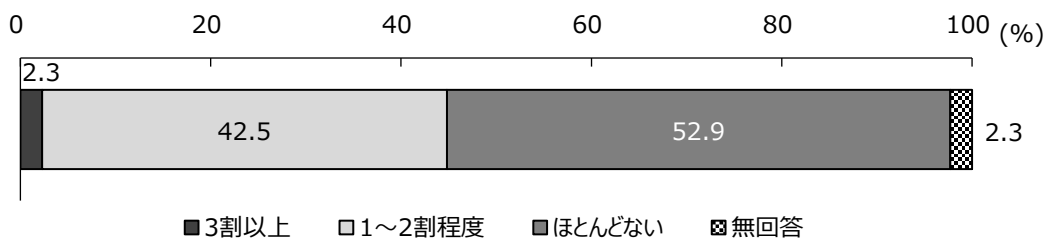
「1~2割程度」が「62.1%」と最も高く、次いで「3~4割程度」(23.0%)、「5割以上」(8.0%)の順に高くなっています。



②地域住民の助け合いや見守り、ボランティア団体による支援などを利用している割合

n=87

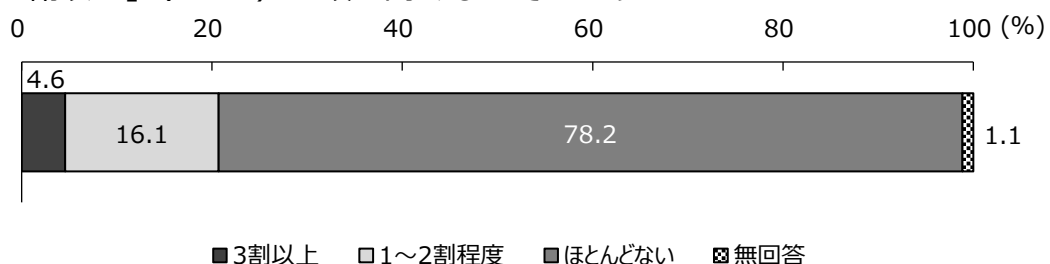
「ほとんどない」が52.9%と最も高く、次いで「1~2割程度」(42.5%)、「3割以上」(2.3%)の順に高くなっています。



③ACP (アドバンス・ケア・プランニング)に取り組んでいる利用者の割合

n=87

「ほとんどない」が78.2%と最も高く、次いで「1~2割程度」(16.1%)、「3割以上」(4.6%)の順に高くなっています。



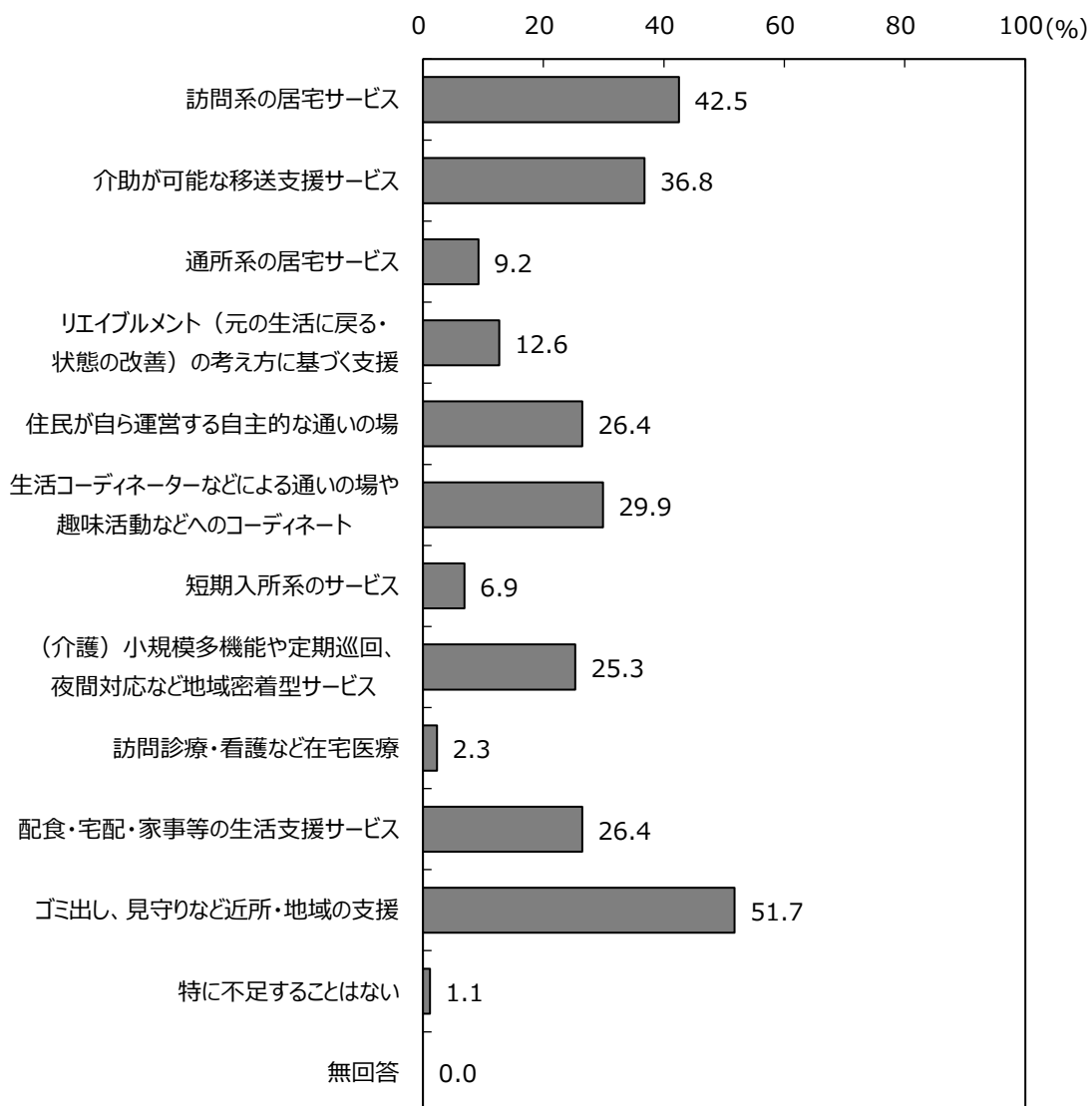
(5) ケアプラン作成におけるニーズ

■ 在宅介護において、ケアプラン作成でどのようなサービスや支援が特に不足していると感じますか。(○は3つまで)

* 選択肢のサービスが不足していると感じていても、他のサービス等で代替できる場合は、不足していないとお考えください。

n=87

「ゴミ出し、見守りなど近所・地域の支援」が51.7%と最も高く、次いで「訪問系の居宅サービス」(42.5%)、「介助が可能な移送支援サービス」(36.8%)の順に高くなっています。



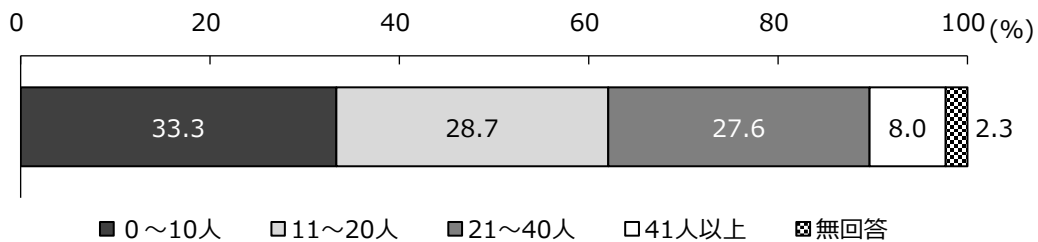
(6) 訪問介護の利用状況

■ 貴事業所の要介護者の訪問介護の利用状況はいかがですか。人数をご記入ください。

①訪問介護を利用している人、利用が必要な人の合計

n=87

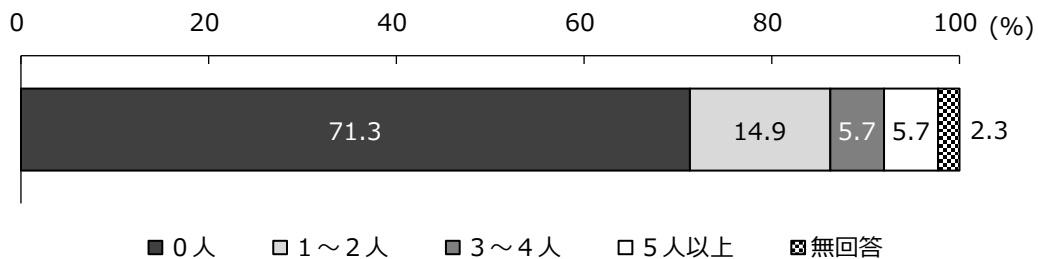
「0～10人」が33.3%と最も高く、次いで「11～20人」(28.7%)、「21～40人」(27.6%)の順に高くなっています。



②そのうち、訪問介護事業所側の業務多忙・人手不足を理由に訪問介護の利用回数を減らしている人・利用できない人

n=87

「0人」が71.3%と最も高く、次いで「1～2人」(14.9%)の順に高くなっています。利用回数を減らしている人・利用できない人は推計値で87人です。



	推計人数*	(回答数)
総数	87人	68人

*回答数を回答率で割り戻しています。

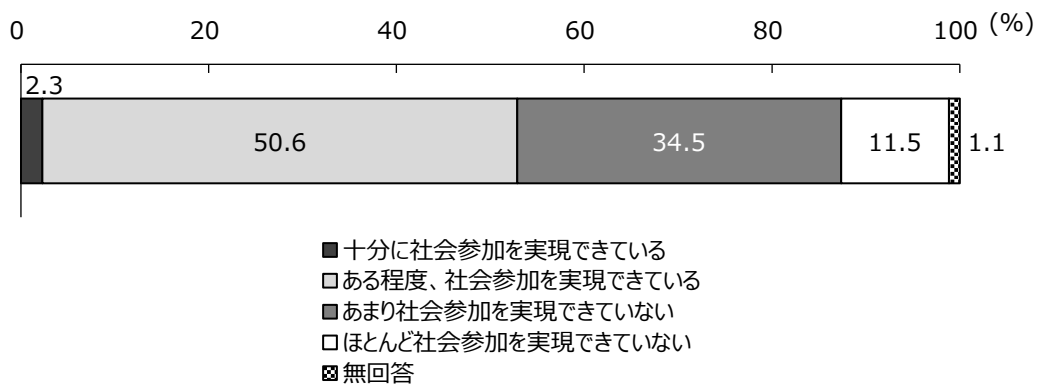
(7) 社会参加の実現について

■ ケアプランの PDCA をまわしていくことを通じて、介護保険サービス・介護保険サービス外にかかわらず、本人の社会参加*を実現することができますか。(○は1つ)

*デイサービス利用者どうしの交流、近所や趣味等の付き合い、その他家族以外の人と接する機会

n=87

「ある程度、社会参加を実現できている」が 50.6%と最も高く、次いで「あまり社会参加を実現できていない」(34.5%)、「ほとんど社会参加を実現できていない」(11.5%)の順に高くなっています。

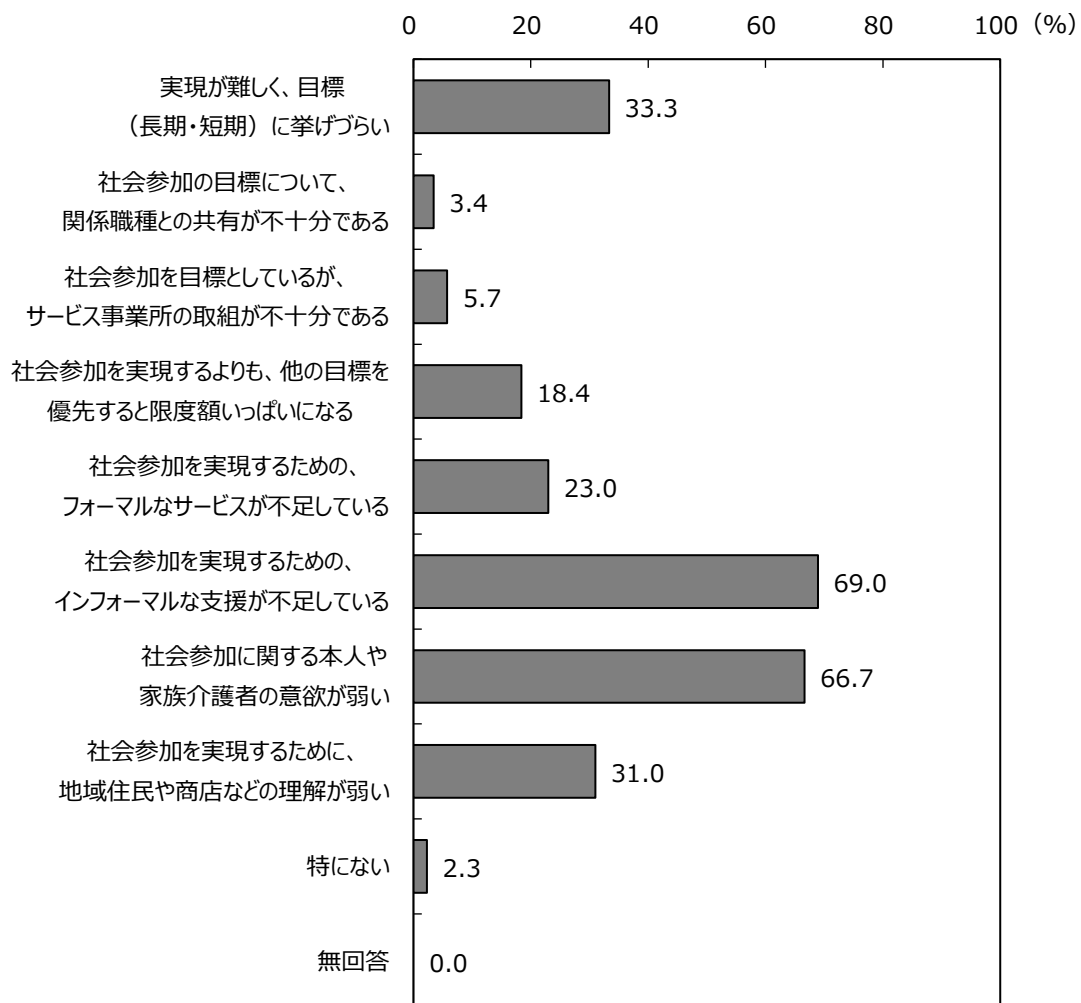


(8) 社会参加実現に向けた課題

■ ケアプランを作成するうえで、本人の社会参加について、特にどのような課題がありますか。(〇は3つまで)

n=87

「社会参加を実現するための、インフォーマルな支援が不足している」が69.0%と最も高く、次いで「社会参加に関する本人や家族介護者の意欲が弱い」(66.7%)、「実現が難しく、目標(長期・短期)に挙げづらい」(33.3%)の順に高くなっています。



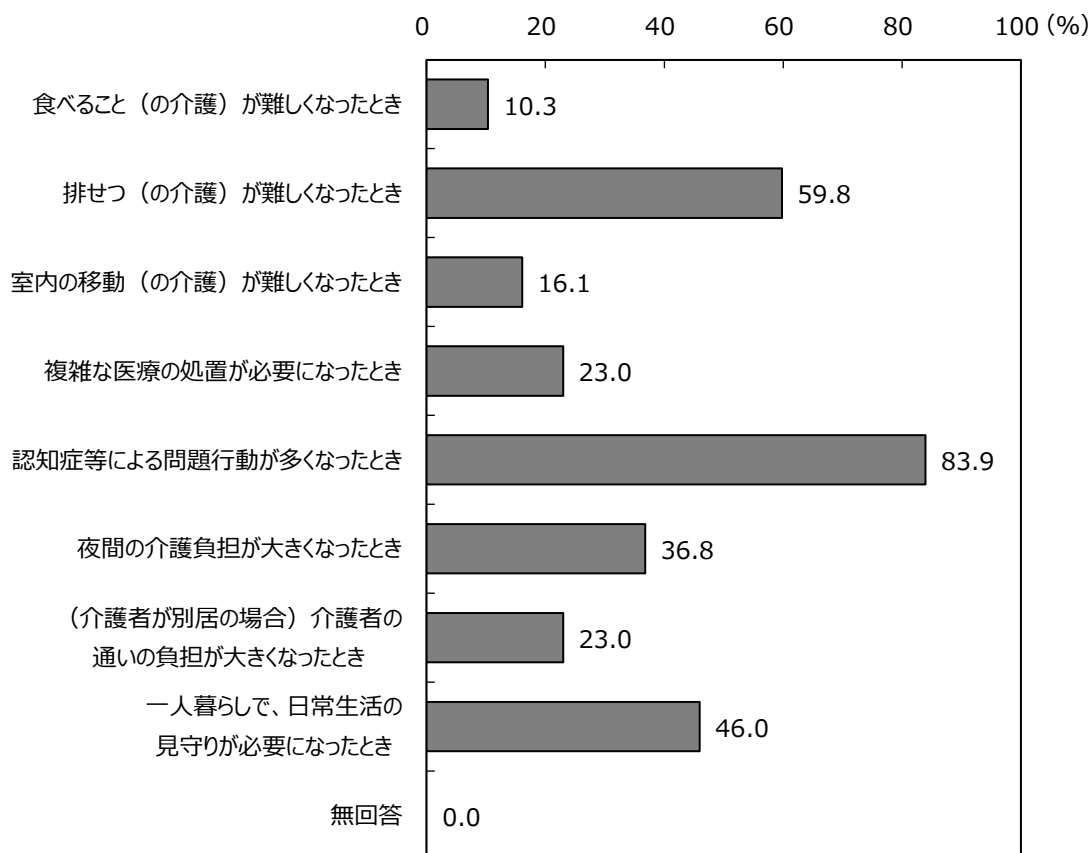
2 高齢者福祉等について

(1) 自宅介護を断念する主な理由

- ご本人や家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

n=87

「認知症等による問題行動が多くなったとき」が83.9%と最も高く、次いで「排せつ（の介護）が難しくなったとき」（59.8%）、「一人暮らしで、日常生活の見守りが必要になったとき」（46.0%）の順に高くなっています。

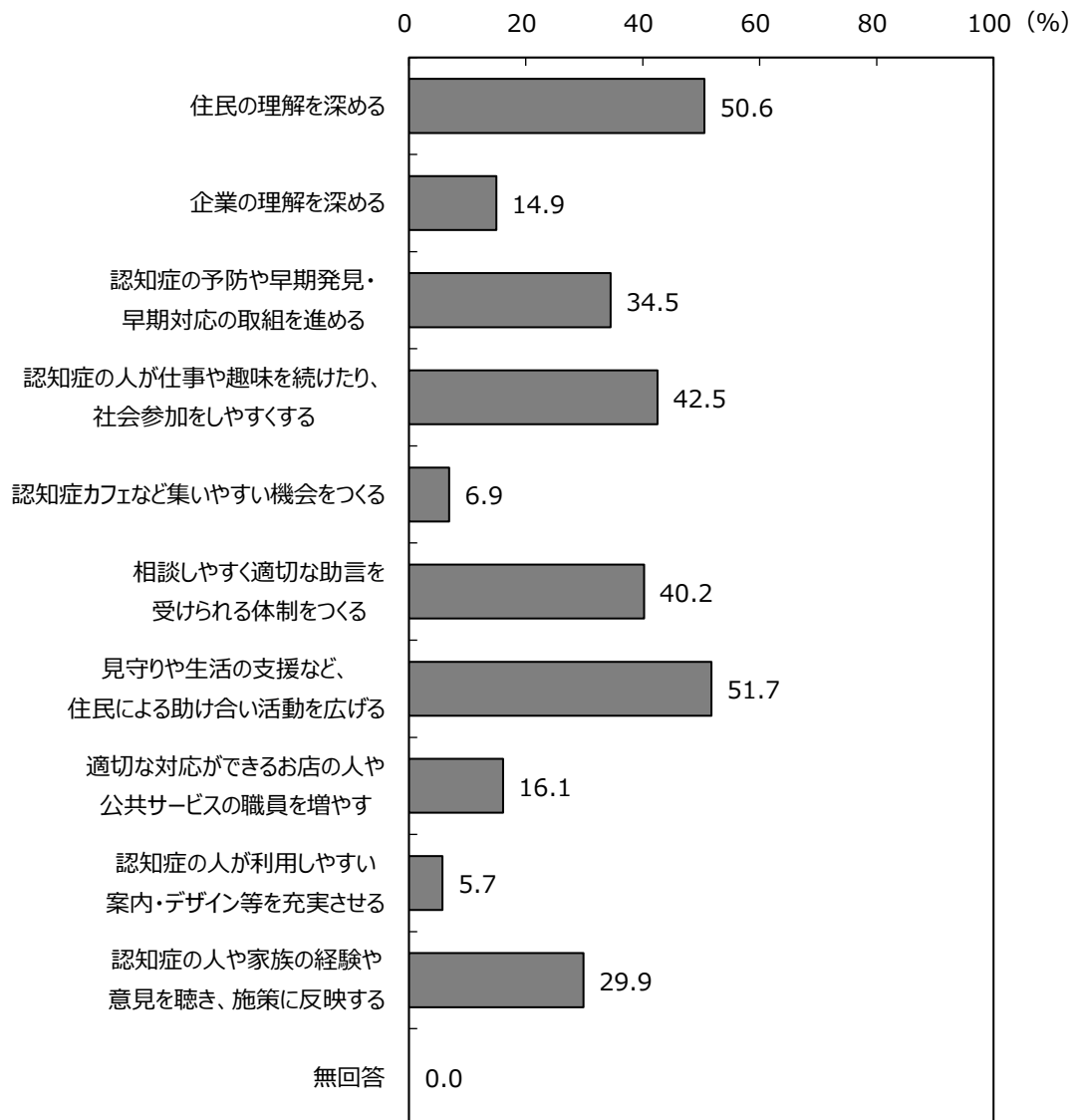


(2) 認知症の人と家族への支援に必要な取り組み

■ 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(〇は3つまで)

n=87

「見守りや生活の支援など、住民による助け合い活動を広げる」が51.7%と最も高く、次いで「住民の理解を深める」(50.6%)、「認知症の人が仕事や趣味を続けたり、社会参加をしやすくする」(42.5%)の順に高くなっています。



3 自宅等から居場所を変更した利用者について

(1) 要介護度別の人数

■ 貴事業所において、過去1年（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。（人数を記入）

* 入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。

* 病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「自宅等での死亡」、搬送先から転院等の後に死亡したケースは「自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

過去1年間における、「自宅等から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」、および、「自宅等で死亡した利用者数」のそれぞれの合計は下記表の通りです。

単位：人

自宅等から、居場所を変更した利用者								自宅等での死亡	合計
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		
21	49	194	173	168	193	122	26	464	1,410

(2) 行先別の人数

■ 貴事業所において、過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。（人数を記入）

*入院した後に自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

*搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

過去1年間における、「自宅等から、居場所を変更した利用者数」の行き先別の合計は下記表の通りです。

単位：人

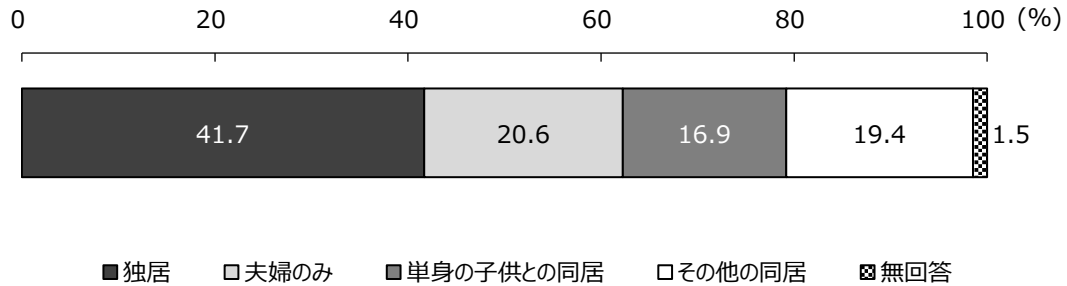
行先	豊田市内	豊田市外
兄弟・子ども・親戚等の家	13	11
住宅型有料老人ホーム	161	26
軽費老人ホーム（特定施設除く）	8	1
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	39	11
グループホーム	61	5
特定施設	34	1
地域密着型特定施設		0
介護老人保健施設	167	30
介護医療院	14	0
特別養護老人ホーム	123	4
地域密着型特別養護老人ホーム	16	0
病院・診療所（一時的な入院を除く）	161	13
その他	11	5
行先を把握していない	31	
自宅等での死亡（搬送先での死亡を含む）	464	
合計	1,410	

4 在宅生活の維持が難しくなっている利用者について

(1) 世帯類型

n=408

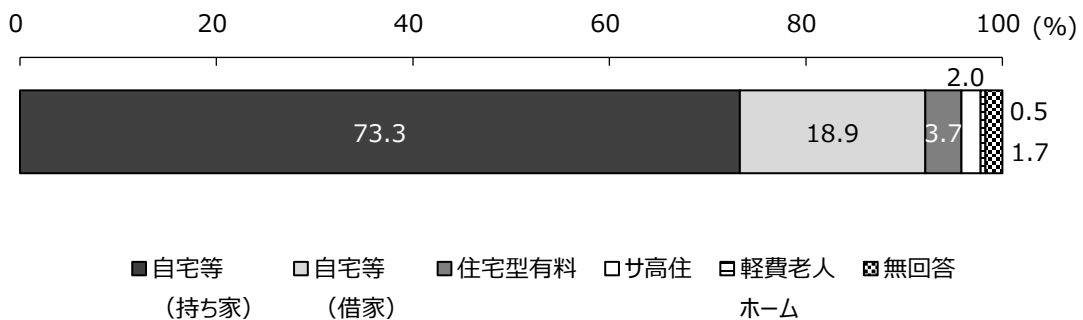
「独居」が41.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(20.6%)、「その他の同居」(19.4%)の順に高くなっています。



(2) 現在の居所

n=408

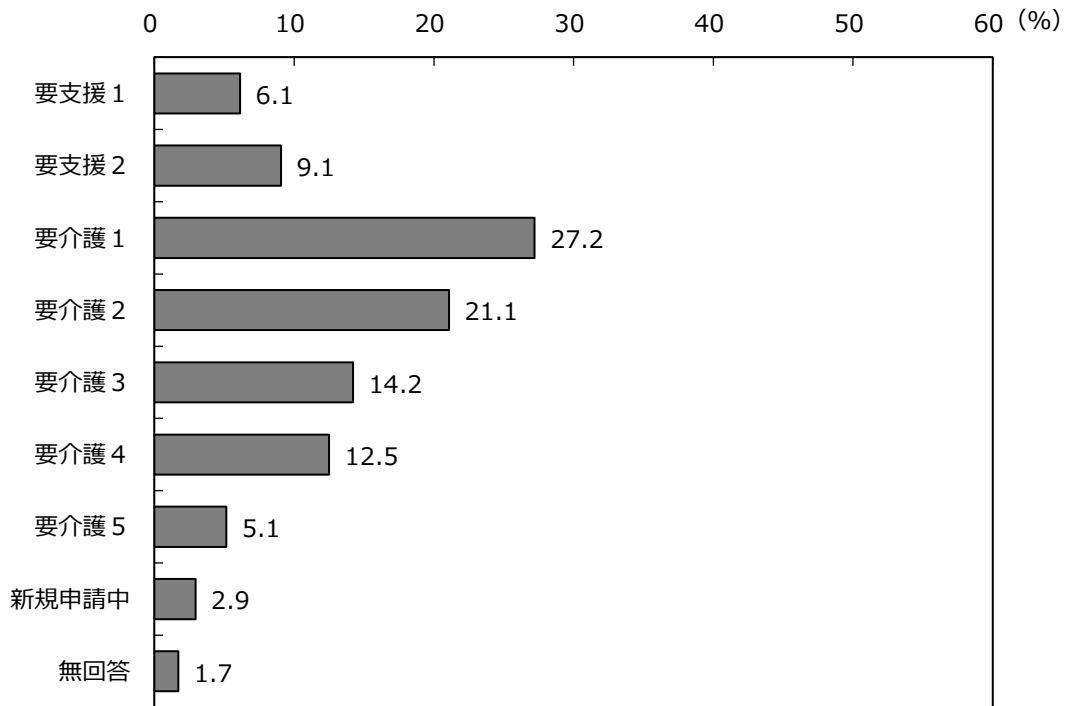
「自宅等(持ち家)」が73.3%と最も高く、次いで「自宅等(借家)」(18.9%)、「住宅型有料」(3.7%)の順に高くなっています。



(3) 要支援・要介護度

n=408

「要介護度1」が27.2%と最も高く、次いで「要介護度2」(21.1%)、「要介護度3」(14.2%)の順に高くなっています。



(4) 在宅での生活が難しくなっている利用者の属性

人数の多い類型から順に、「独居—自宅(持ち家等)—要介護2以下」(19.6%)、「独居—自宅(借家)—要介護2以下」(10.3%)、「夫婦のみ世帯—自宅(持ち家等)—要介護2以下」(9.3%) となっています。

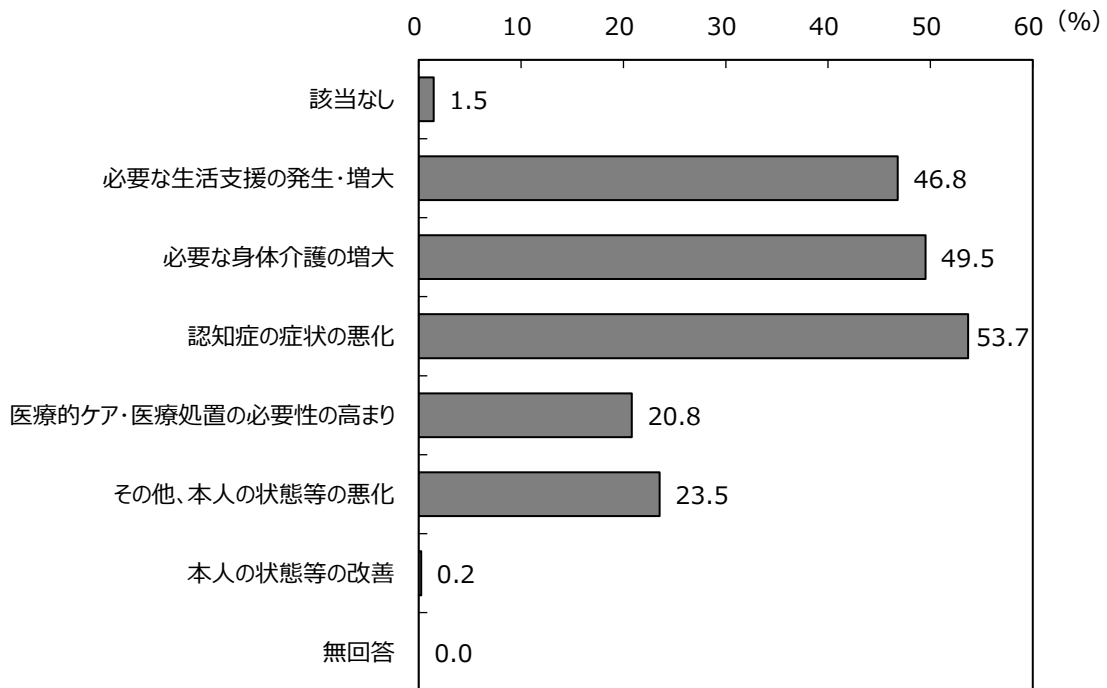
類型	回答数	割合	世帯類型				居所			要介護度	
			独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等(持ち家)	自宅等(借家)	サ高住・軽費住宅型有	要介護2以下	要介護3以上
1	80	19.6%	★				★			★	
2	42	10.3%	★					★		★	
3	38	9.3%		★			★			★	
4	37	9.1%				★	★			★	
5	33	8.1%				★	★				★
6	32	7.8%			★		★			★	
7	29	7.1%		★			★				★
8	24	5.9%			★		★				★
9	16	3.9%	★				★				★
10	10	2.5%	★						★	★	
11	7	1.7%	★					★			★
12	7	1.7%	★						★		★
13	7	1.7%		★				★		★	
14	6	1.5%			★			★		★	
15	4	1.0%		★				★			★
16	4	1.0%			★			★			★
17	3	0.7%				★		★		★	
18	2	0.5%		★					★		★
19	2	0.5%				★			★		★
20	1	0.2%		★					★	★	
21	1	0.2%				★		★			★
22	1	0.2%				★			★	★	
23	0	0.0%			★				★	★	
24	0	0.0%			★				★		★
その他	22	5.4%									
合計	408	100.0%									

(5) 在宅生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態等）

■ 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。本人の状態等に属する理由について、お答えください。

n=408

「認知症の症状の悪化」が53.7%と最も高く、次いで「必要な身体介護の増大」(49.5%)、「必要な生活支援の発生・増大」(46.8%)の順に高くなっています。

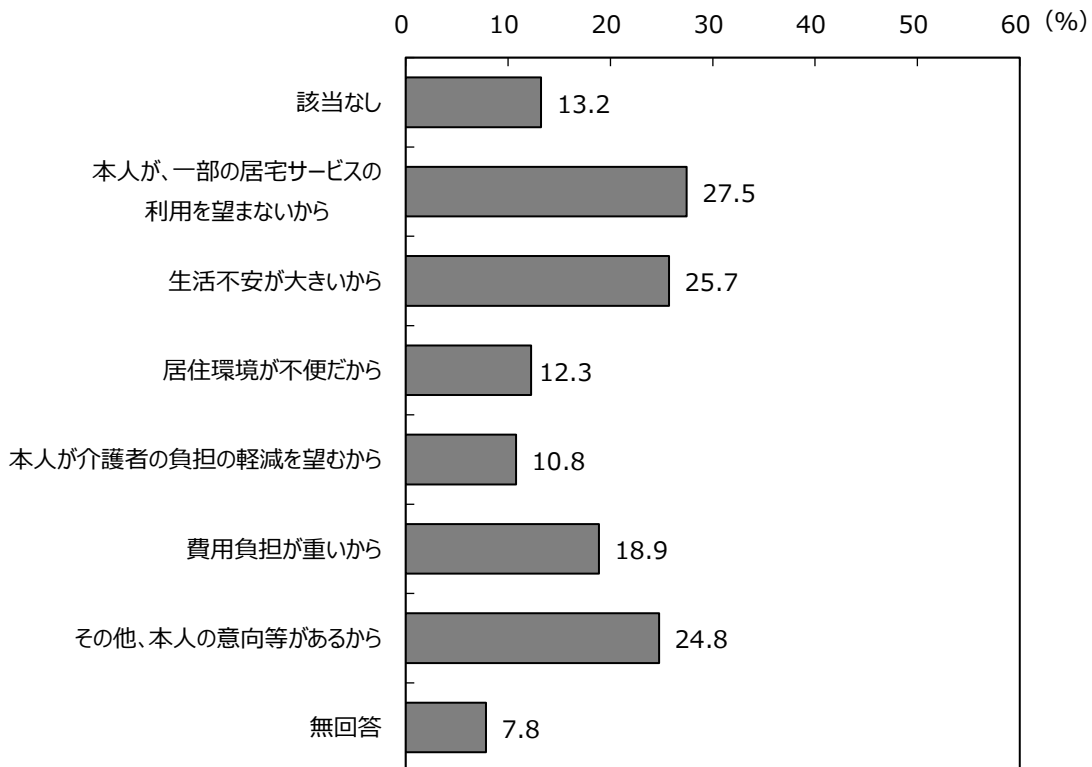


(6) 在宅生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向等）

■ 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。本人の意向等に属する理由について、お答えください。

n=408

「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が27.5%と最も高く、次いで「生活不安が大きいから」(25.7%)、「その他、本人の意向等があるから」(24.8%)の順に高くなっています。

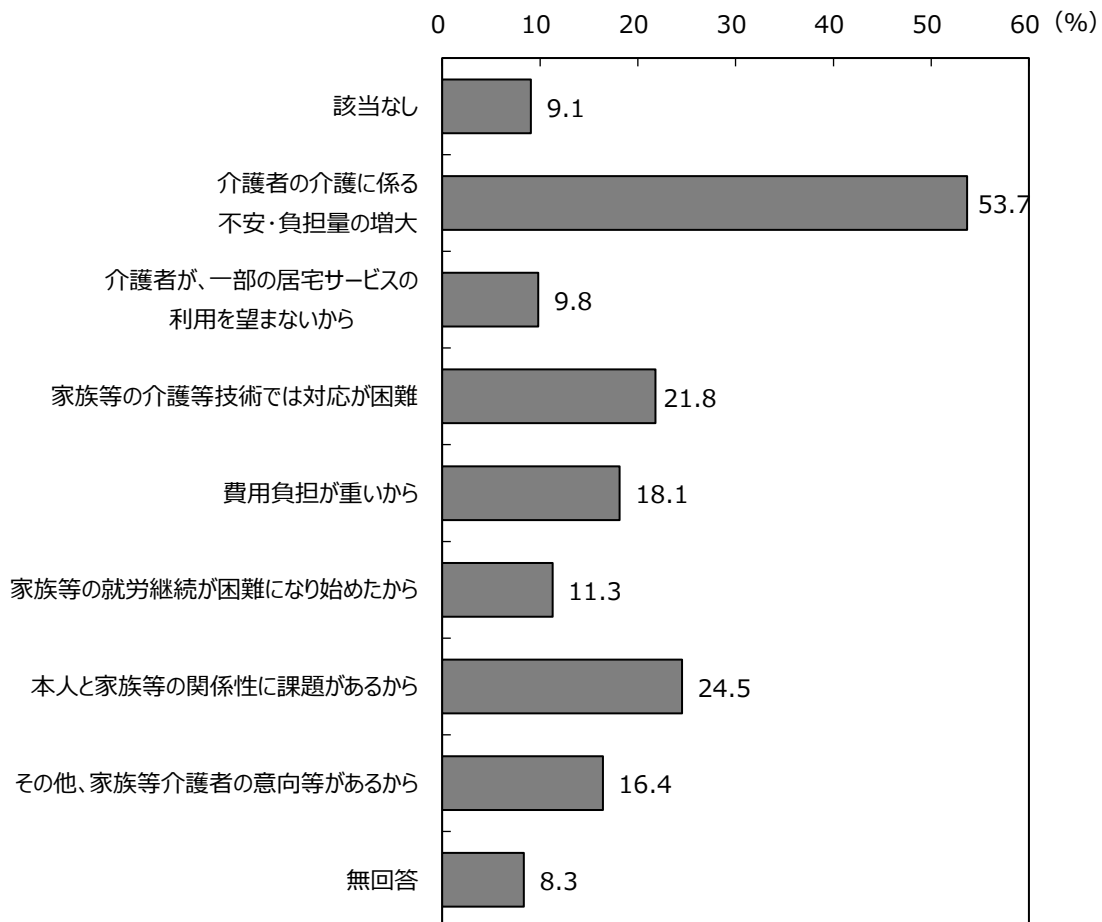


(7) 在宅生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等）

■ 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください。

n=408

「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が53.7%と最も高く、次いで「本人と家族等の関係性に課題があるから」(24.5%)、「家族等の介護等技術では対応が困難」(21.8%)の順に高くなっています。

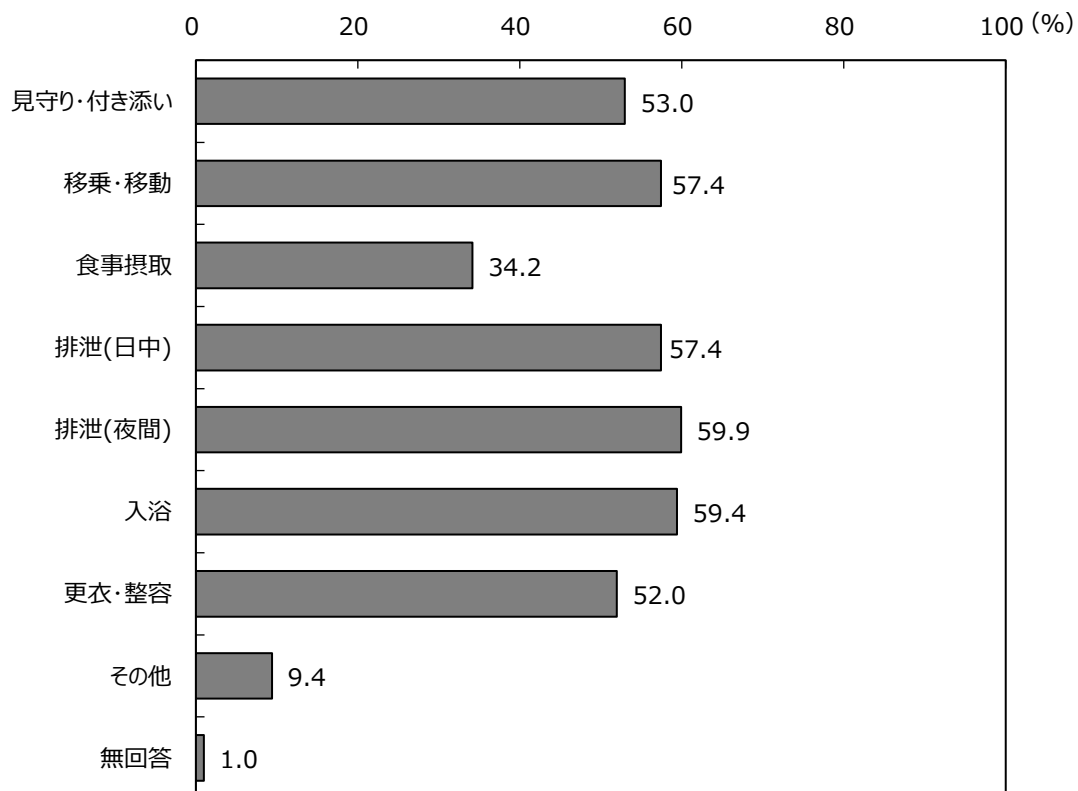


(8) 難しい身体介護の内容

■ 在宅生活の維持が難しくなっている理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください

「必要な身体介護の増大」が理由の人 n=202

「排泄（夜間）」（59.9%）、「入浴」（59.4%）、「移乗・移動」（57.4%）、「排泄（日中）」（57.4%）の順に高くなっています。

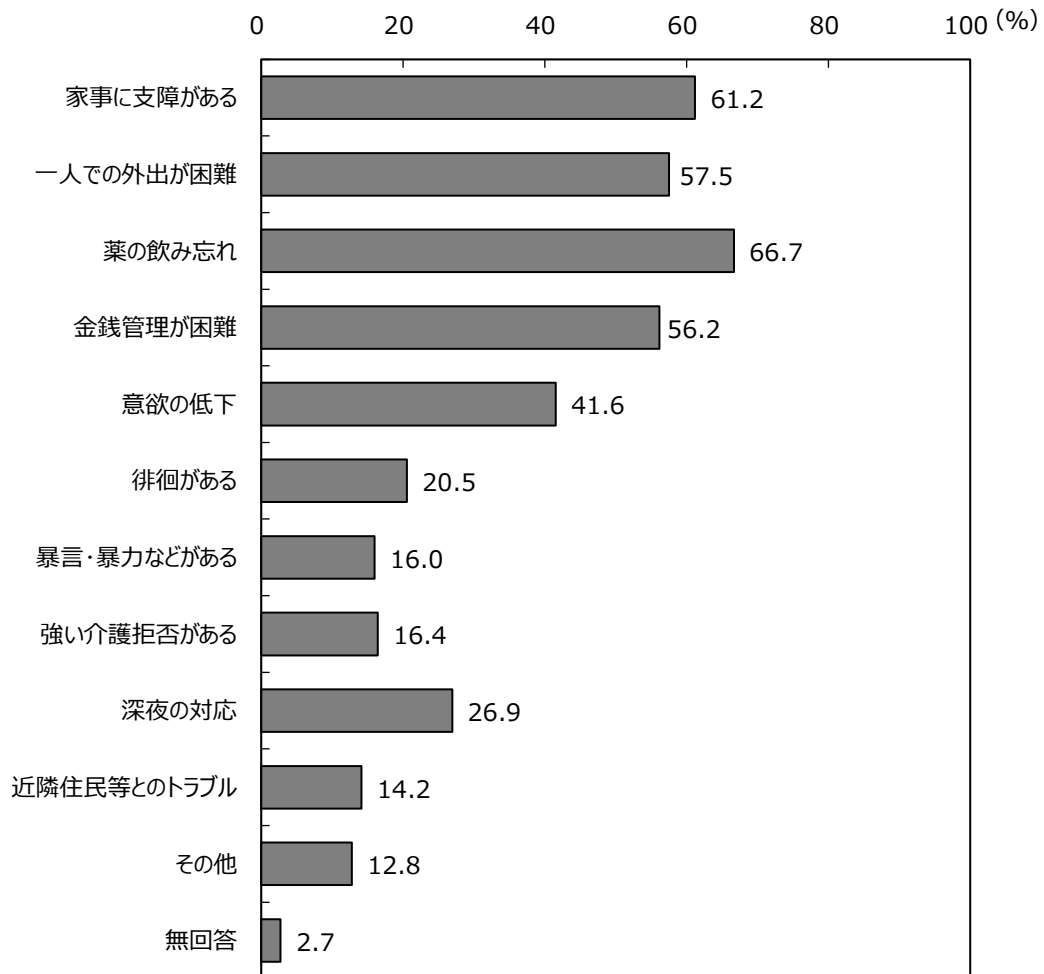


(9) 難しい認知症の症状

■ 在宅生活の維持が難しくなっている理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください

「認知症の症状の悪化」が理由の人 n=219

「薬の飲み忘れ」が66.7%と最も高く、次いで「家事に支障がある」(61.2%)、「一人での外出が困難」(57.5%)の順に高くなっています。

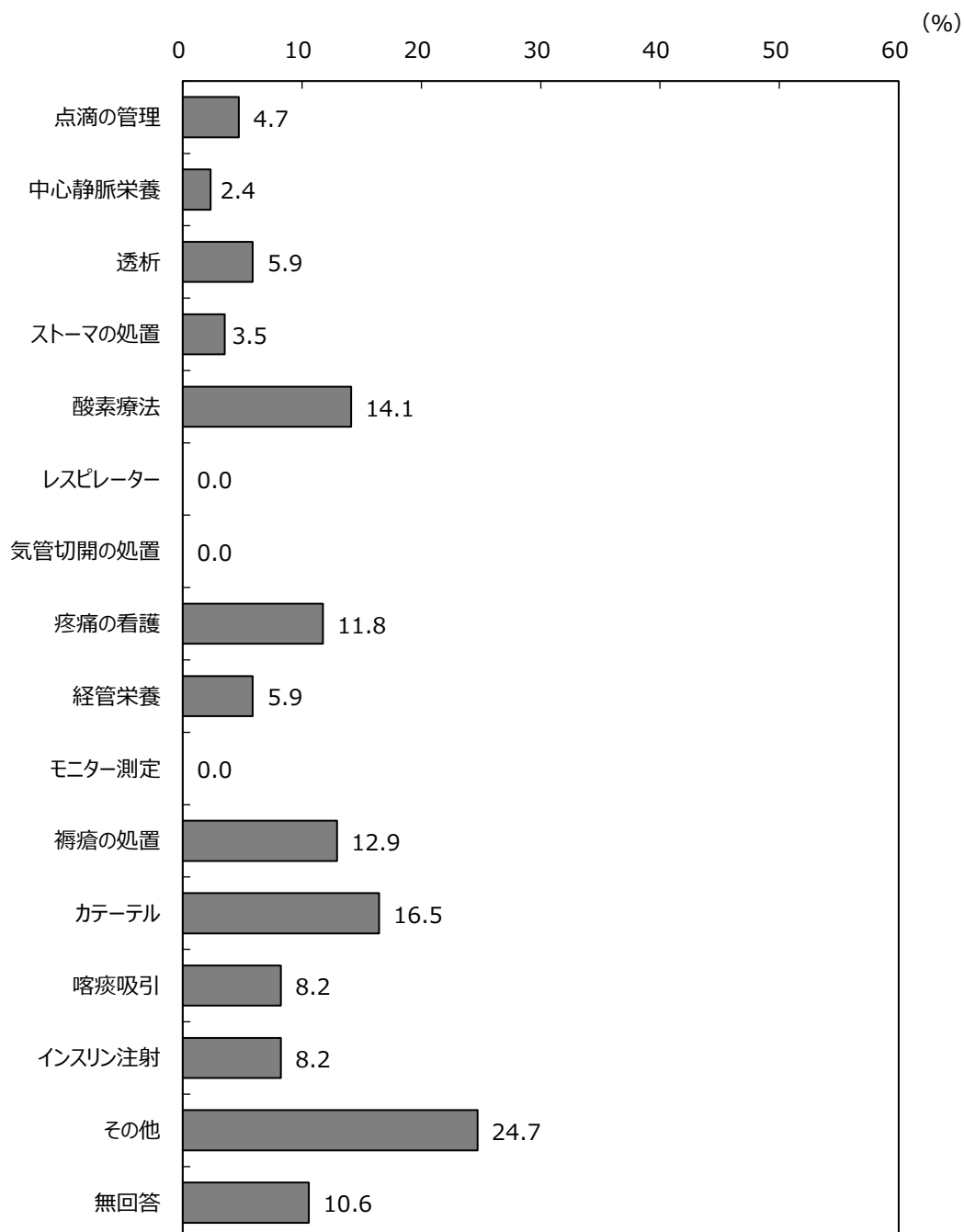


(10) 難しい医療的ケア、医療処置の内容

- 在宅生活の維持が難しくなっている理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人 n=85

「その他」が 24.7%と最も高く、次いで「カテーテル」(16.5%)、「酸素療法」(14.1%) の順に高くなっています。

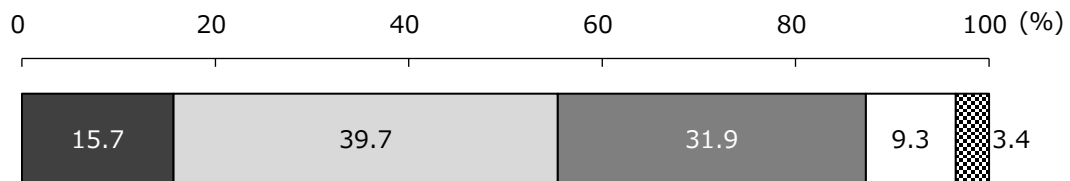


(11) 現状を改善できると思うサービス

■ 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。

n=408

「より適切な「住まい・施設等」に変更する」が39.7%と最も高く、次いで「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」(31.9%)、「より適切な「在宅サービス」に変更する」(15.7%)の順に高くなっています。



- より適切な「在宅サービス」に変更する
- より適切な「住まい・施設等」に変更する
- より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する
- サービス変更では改善は難しいと思う
- ▨ 無回答

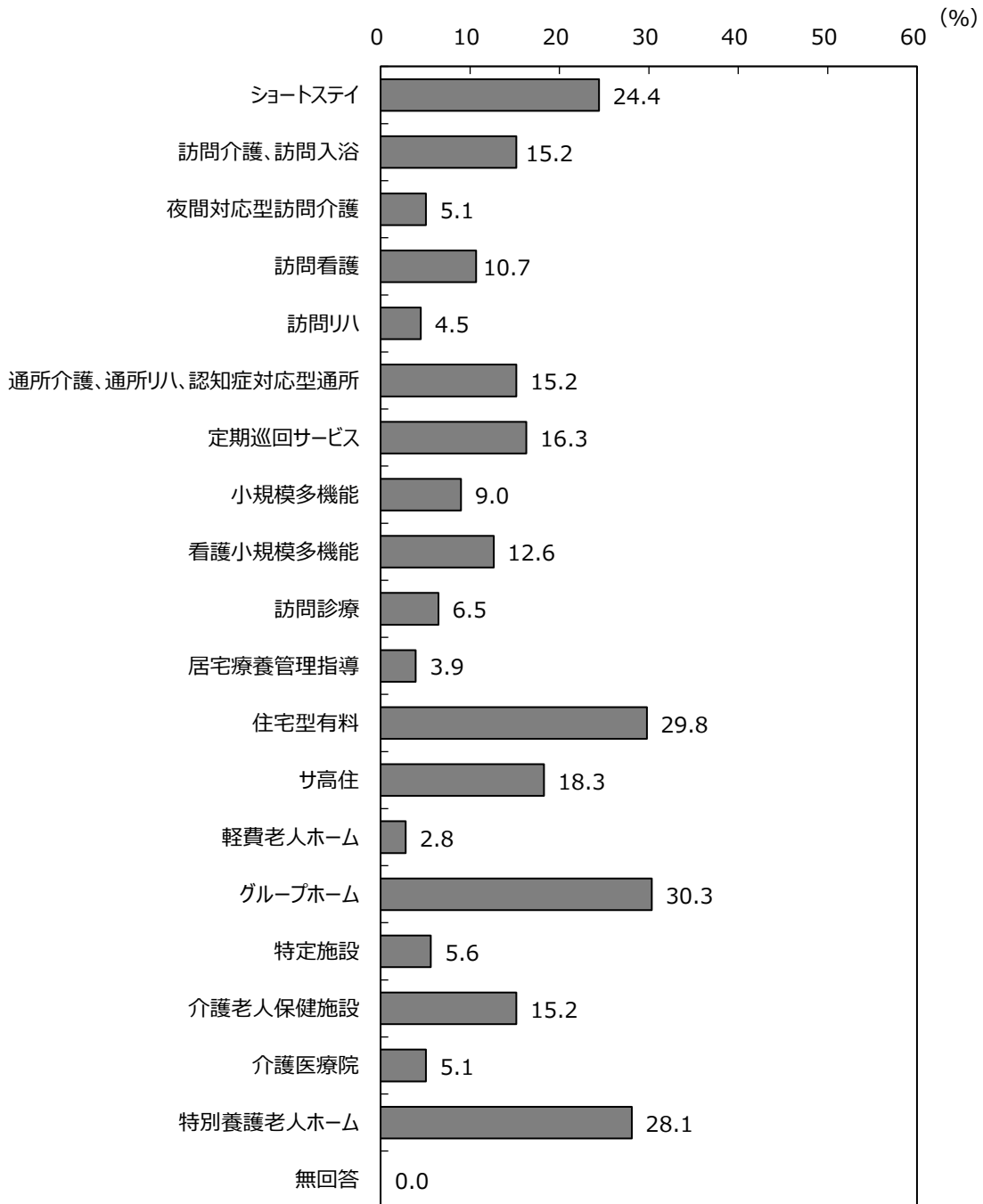
(12) より適切と思われる具体的なサービス

現状を改善できると思うサービスにおいて「サービス変更では改善は難しいと思う」以外を選択した場合

- 選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください

現状を改善できると思うサービスがある n=356

「グループホーム」が 30.3%と最も高く、次いで「住宅型有料老人ホーム」(29.8%)、「特別養護老人ホーム」(28.1%) の順に高くなっています。



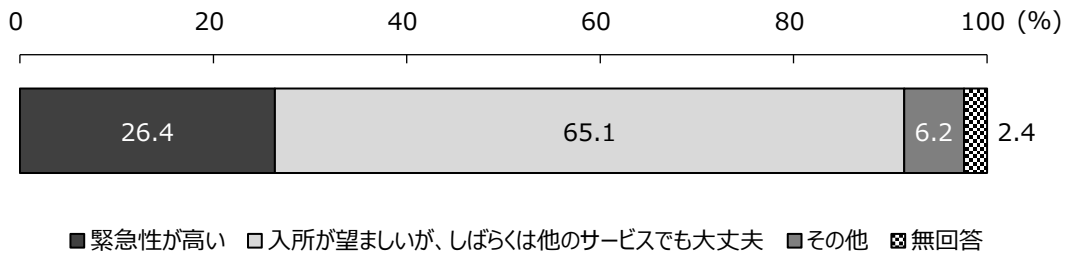
(13) 入所・入居の緊急度

具体的なサービスで住まい・施設等を選択した場合

■ 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

住まい・施設等を選択 n=292

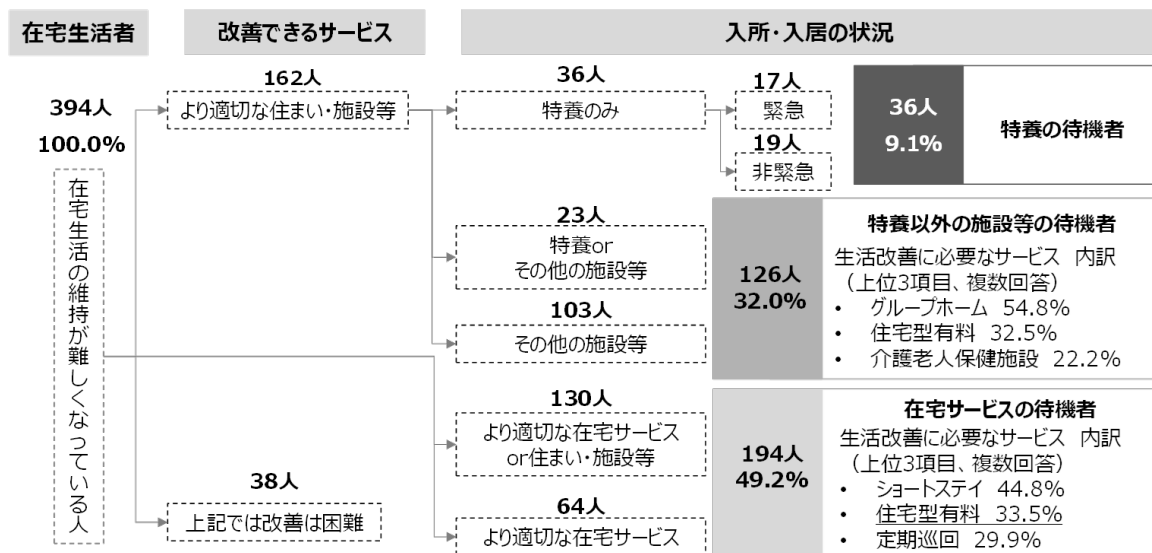
「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が65.1%と最も高く、次いで「緊急性が高い」(26.4%)の順に高くなっています。



(14) 生活の改善に必要なサービス変更

(11) ~ (13) をまとめると、以下のようになります。

生活の改善に必要なサービス変更として、特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、グループホーム、ショートステイ、定期巡回サービスなどの利用が上位に挙げられています。



* 「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類

* 「生活の維持が難しくなっている人」の合計 408 人のうち、上記の分類が可能な 394 人について分類 (分類不能な場合は「その他」に算入)

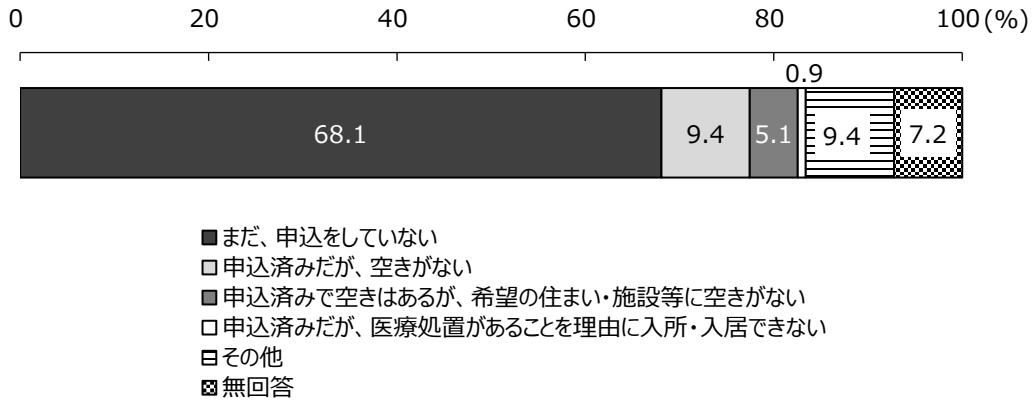
(15) 入所・入居できていない理由

具体的なサービスで特別養護老人ホーム以外の住まい・施設等を選択した場合

■ 入所・入居できていない理由をお答えください

特別養護老人ホーム以外の住まい・施設等を選択 n=235

「まだ、申込をしていない」が 68.1%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」(9.4%)が高くなっています。



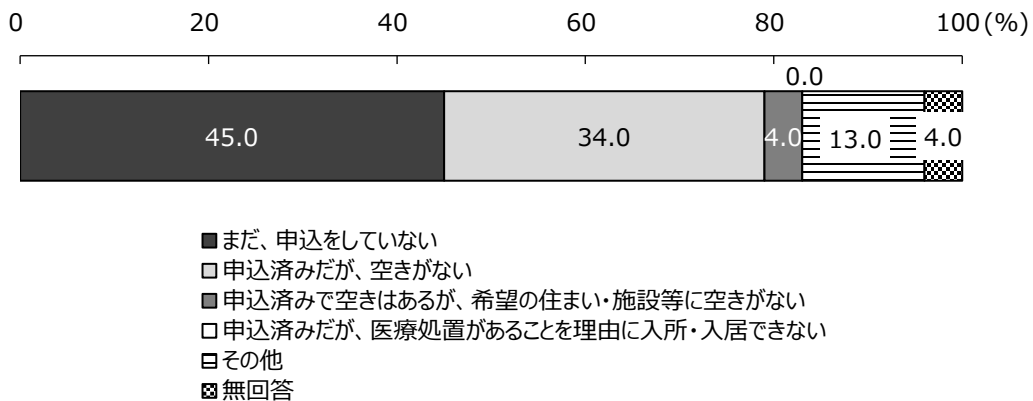
(16) 特別養護老人ホームに入所できていない理由

具体的なサービスで「特別養護老人ホーム」を選択した場合

■ 特別養護老人ホームに入所できていない理由をお答えください

特別養護老人ホームを選択 n=100

「まだ、申込をしていない」が 45.0%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」(34.0%)の順に高くなっています。



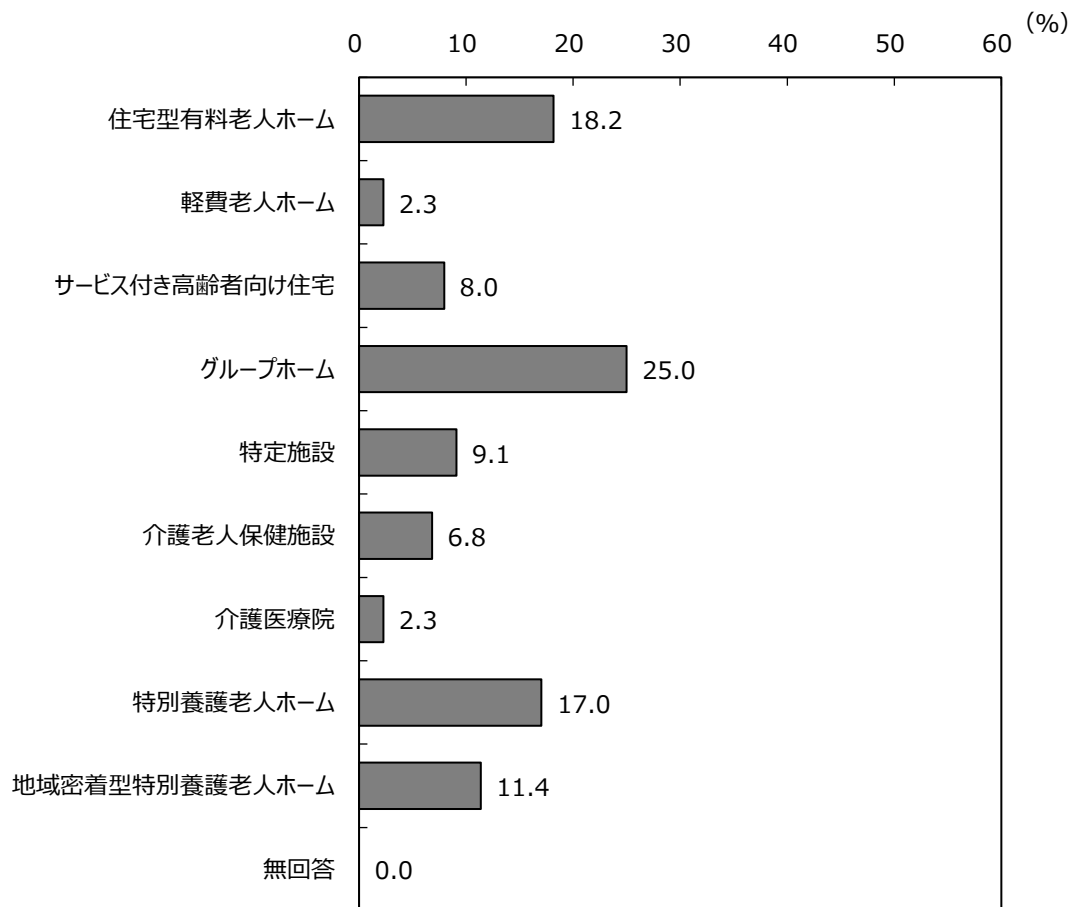
第5章 居所変更実態調査

1 事業所について

(1) サービス種別

n=88

「グループホーム」が25.0%と最も高く、次いで「住宅型有料老人ホーム」(18.2%)、「特別養護老人ホーム」(17.0%)の順に高くなっています。



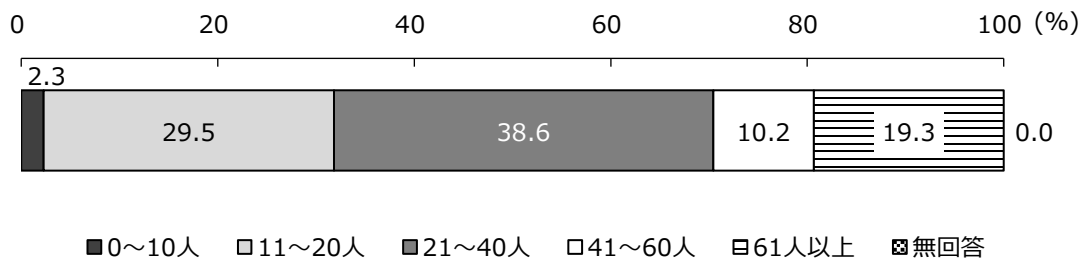
(2) 施設概要

■ 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

①定員数など

n=88

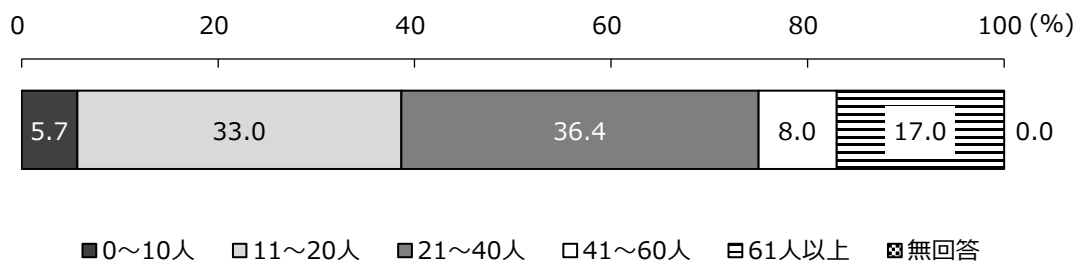
「21～40人」が38.6%と最も高く、次いで「11～20人」(29.5%)、「61人以上」(19.3%)の順に高くなっています。



②入所・入居者数

n=88

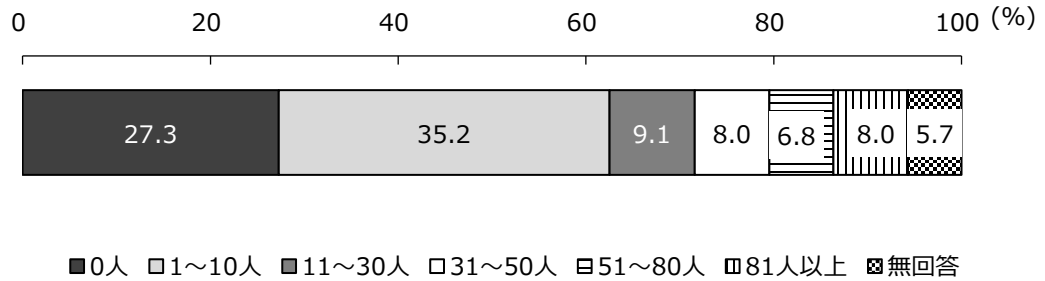
「21～40人」が36.4%と最も高く、次いで「11～20人」(33.0%)、「61人以上」(17.0%)の順に高くなっています。



③（貴施設等の）待機者数

n=88

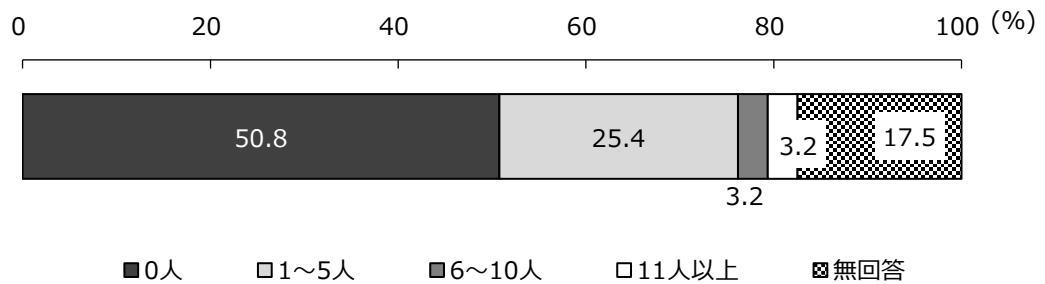
「1～10人」が35.2%と最も高く、次いで「0人」（27.3%）、「11～30人」（9.1%）の順に高くなっています。



④特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）

特養・地域密着型特養以外 n=63

「0人」が50.8%と最も高く、次いで「1～5人」（25.4%）の順に高くなっています。



(3) 入所・入居者の人数（要支援・要介護度別）

■ 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。（人数を記入）

n=88

現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数のそれぞれの合計は下記表の通りです。

単位：人

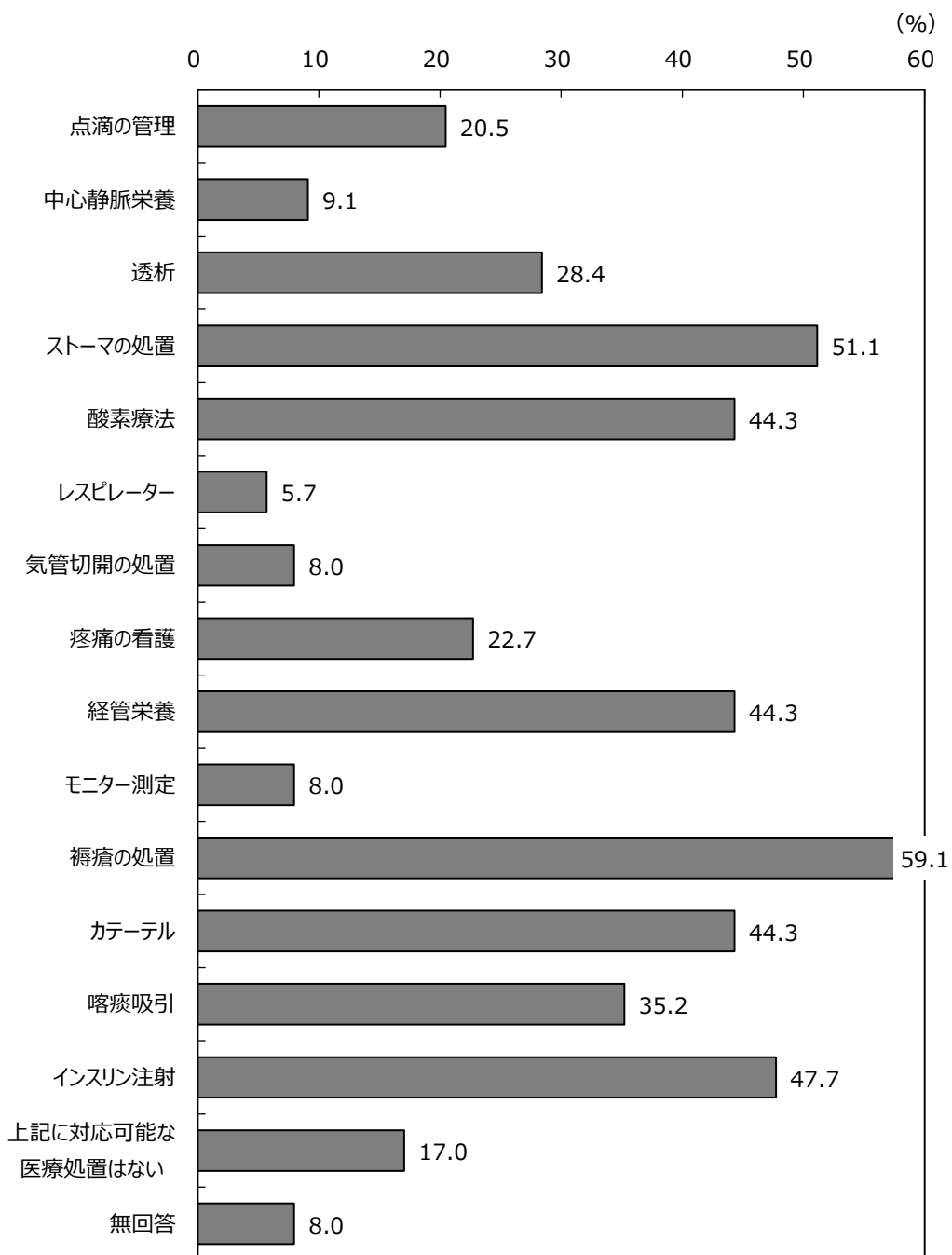
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計
65	42	74	361	349	651	943	548	40	3,073

(4) 対応可能な医療処置

■ 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。
 (あてはまるものすべてに○)
 * 1人でも受け入れが可能であれば、○とご記入ください。

n=88

「褥瘡の処置」が 59.1%と最も高く、次いで「ストーマの処置」(51.1%)、「インスリン注射」(47.7%) の順に高くなっています。また、「レスピレーター」(5.7%)、「気管切開の処置」(8.0%)、「モニター測定」(8.0%) は数値が低いものの、受け入れ可能な施設はあります。

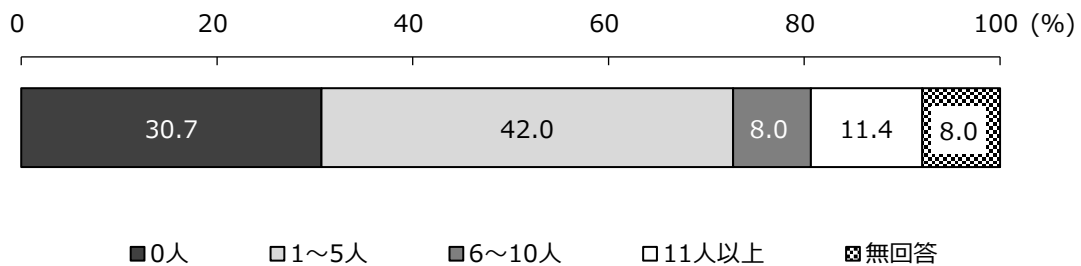


(5) 医療処置を受けている入所・入居者数

■ 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。(人数を記入)

n=88

「1～5人」が42.0%と最も高く、次いで「0人」(30.7%)、「11人以上」(11.4%)の順に高くなっています。医療処置を受けている入所・入居者は推計値で445人です。



	推計人数*	(回答数)
総数	445人	321人

*回答数を回答率で割り戻しています。

単位：%

	n	0人	1～5人	6～10人	11人以上	無回答
住宅型有料老人ホーム	16	25.0	56.3	0.0	12.5	6.3
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
グループホーム	22	68.2	13.6	0.0	0.0	18.2
特定施設	8	12.5	62.5	12.5	0.0	12.5
介護老人保健施設	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
特別養護老人ホーム	15	6.7	33.3	26.7	33.3	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	10	10.0	80.0	0.0	0.0	10.0

2 新規の入所・入居者について

(1) 新規の入所・入居者数（入所前の居場所別）

■ 過去1年間(令和6年10月1日～令和7年9月30日)の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。(人数を記入)

* 一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「病院」を選択してください。

* 「自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

過去1年間の新規の入所・入居者の、入所・入居する前の居場所別の合計は下記表の通りです。

単位：人

入所前の居場所	豊田市内	豊田市外
自宅	605	29
住宅型有料老人ホーム	32	5
軽費老人ホーム（特定施設除く）	7	0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	17	1
グループホーム	37	1
特定施設	6	1
地域密着型特定施設		0
介護老人保健施設	191	16
介護医療院	8	0
特別養護老人ホーム	5	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	0
病院・診療所（一時的な入院を除く）	608	32
その他	112	3
把握していない		0
無回答		1
合計		1,719

3 退去者について

(1) 過去1年間の退去者数（要介護度別）

■ 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。（人数を記入）

* 病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「貴施設等での死亡」、搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「退去者」に含めてください。

過去1年間の退去者の、要介護度別の合計は下記表の通りです。

単位：人

退去者									施設等での死亡	合計
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		
5	3	8	133	171	252	400	290	12	445	1,719

(2) 行先別の退去者数

■ 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。（人数を記入）

- * 一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。
- * 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。
- * 搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

過去1年間の退去者の、行先別の合計は下記表の通りです。

単位：人

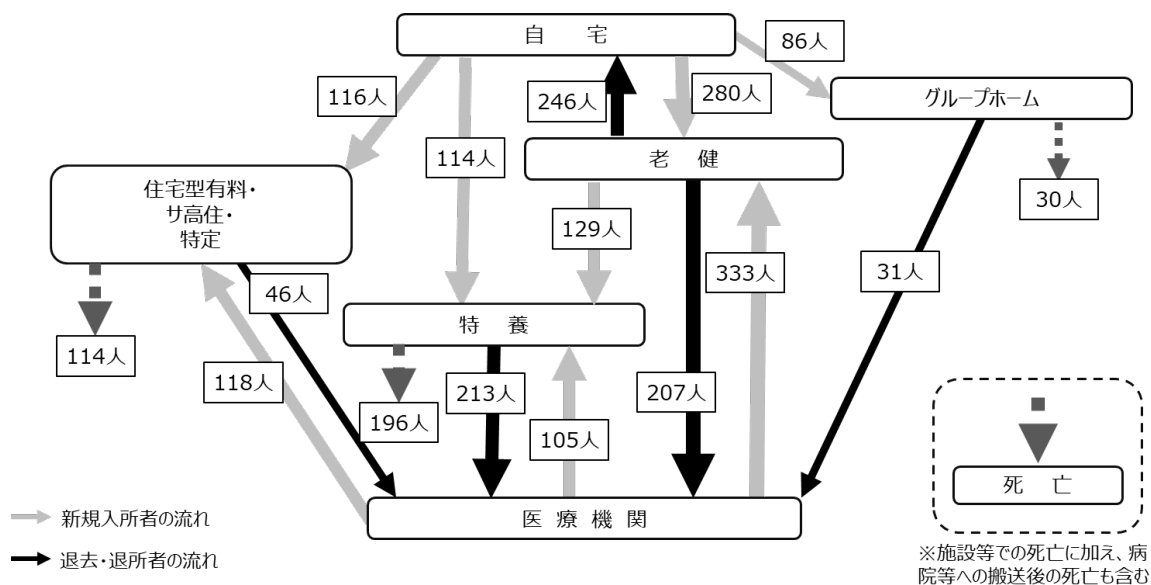
行先	豊田市内	豊田市外
自宅	259	3
住宅型有料老人ホーム	27	6
軽費老人ホーム（特定施設除く）	2	1
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	18	1
グループホーム	18	1
特定施設	13	1
地域密着型特定施設		0
介護老人保健施設	19	3
介護医療院	1	3
病院・診療所	557	6
特別養護老人ホーム	142	5
地域密着型特別養護老人ホーム	14	2
その他	56	0
把握していない	116	
死亡	445	
合計	1,719	

過去1年間の退去者について、居所変更と死亡の内訳をサービス種別ごとに整理した結果は下記表の通りです。「介護老人保健施設」は居所変更、「住宅型有料老人ホーム」「介護医療院」は死亡の割合が高くなっています。

サービス種別	居所変更	死亡
住宅型有料老人ホーム	48.8%	51.2%
軽費老人ホーム（特定施設除く）	91.7%	8.3%
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	75.6%	24.4%
グループホーム	69.1%	30.9%
特定施設	56.0%	44.0%
介護老人保健施設	98.3%	1.7%
介護医療院	53.8%	46.2%
特別養護老人ホーム	60.2%	39.8%
地域密着型特別養護老人ホーム	63.0%	37.0%
合計	74.1%	25.9%

* 死亡には、搬送先の医療機関における死亡も含まれます。

過去1年間の新規入所・入居者、および、退去者について、主な居所変更先を整理した結果は下記図の通りです。



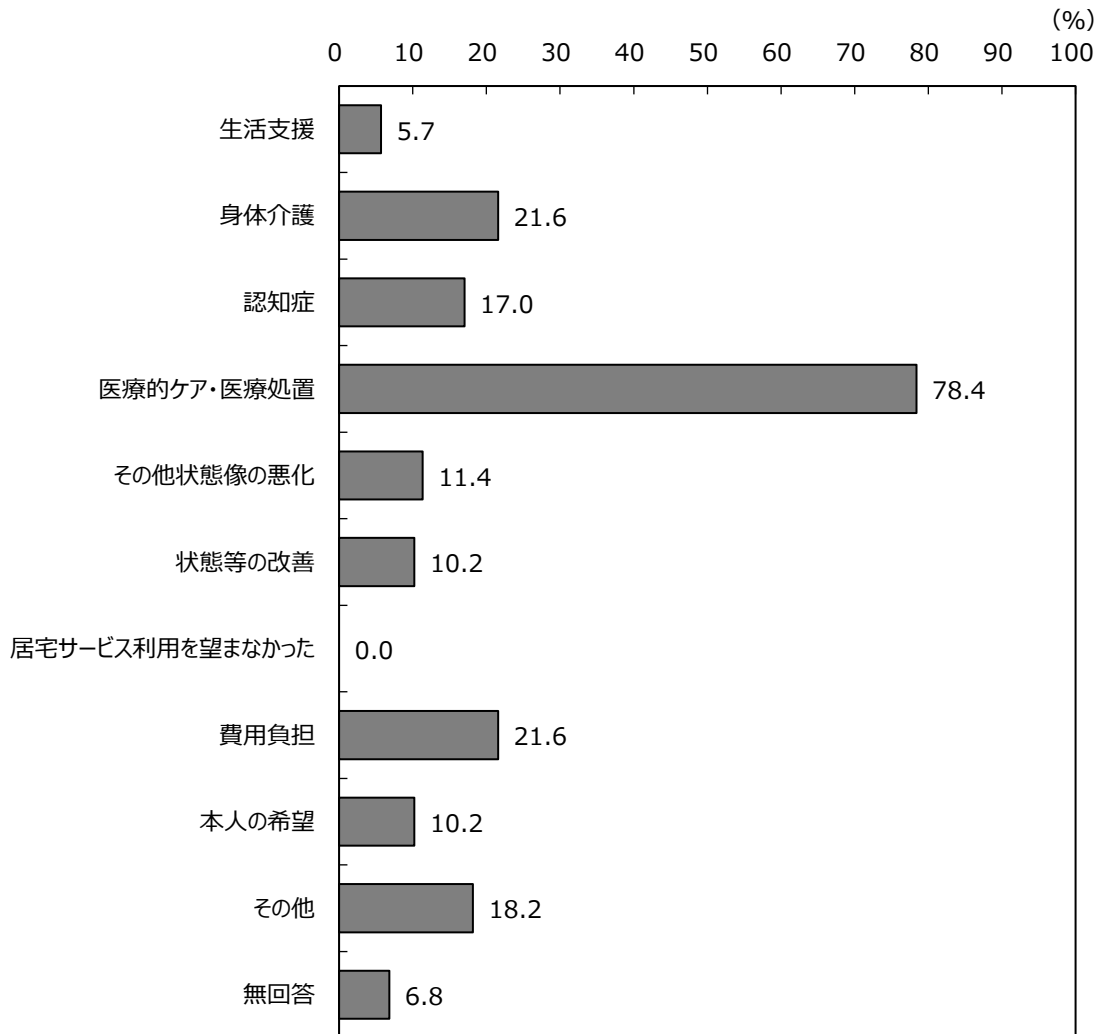
* 30人以上の居所変更がある箇所に絞って掲載しています。

(3) 主な退去理由の類型

■ 貴施設等の入所・入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。(3つまで○)

n=88

「医療的ケア・医療処置」が78.4%と最も高く、次いで「身体介護」(21.6%)、「費用負担」(21.6%)が高くなっています。



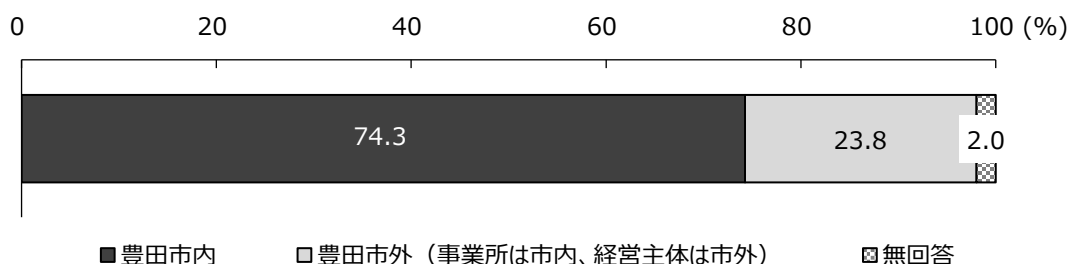
第6章 介護事業者（法人）調査

1 法人について

(1) 本部・本社の所在地

n=101

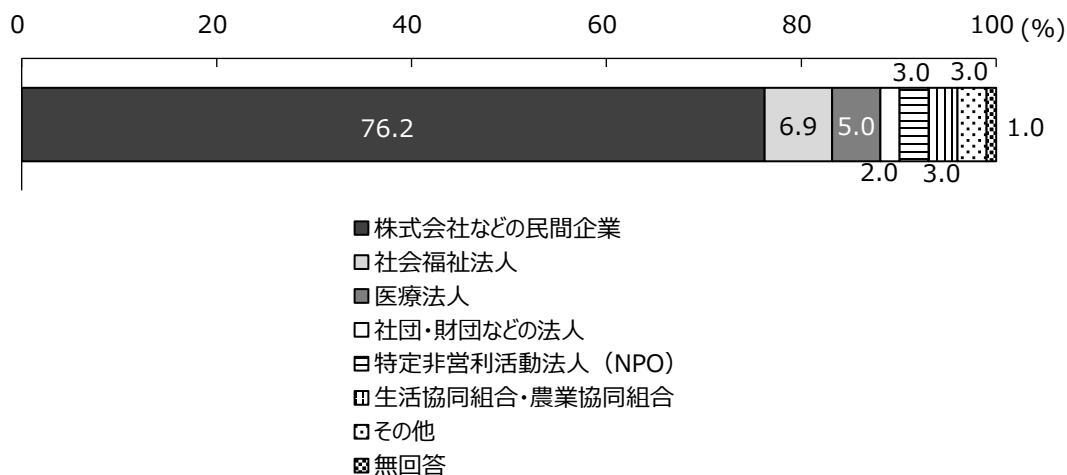
「豊田市内」が74.3%、「豊田市外(事業所は市内、経営主体は市外)」が23.8%となっています。



(2) 組織形態

n=101

「株式会社などの民間企業」が76.2%と最も高くなっています。



(3) 市内事業所の介護保険サービスに従事する従業員数

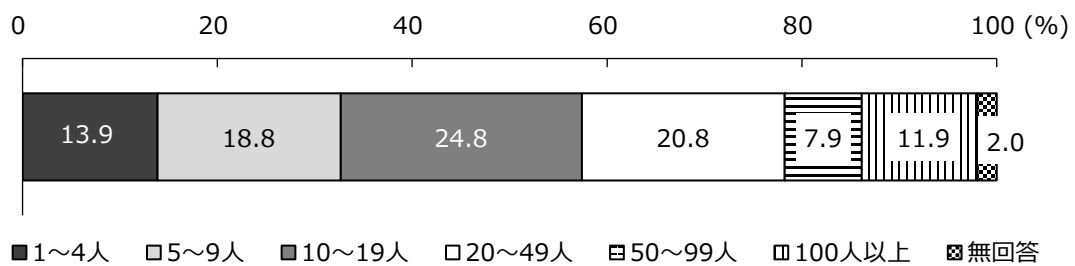
* 令和7年10月1日時点

* 事務職員等を含めて直接雇用している人数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。

* 住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、総合事業も含めてください。

n=101

「10～19人」(24.8%)、「20～49人」(20.8%)、「5～9人」(18.8%)の順に高くなっています。



2 運営について

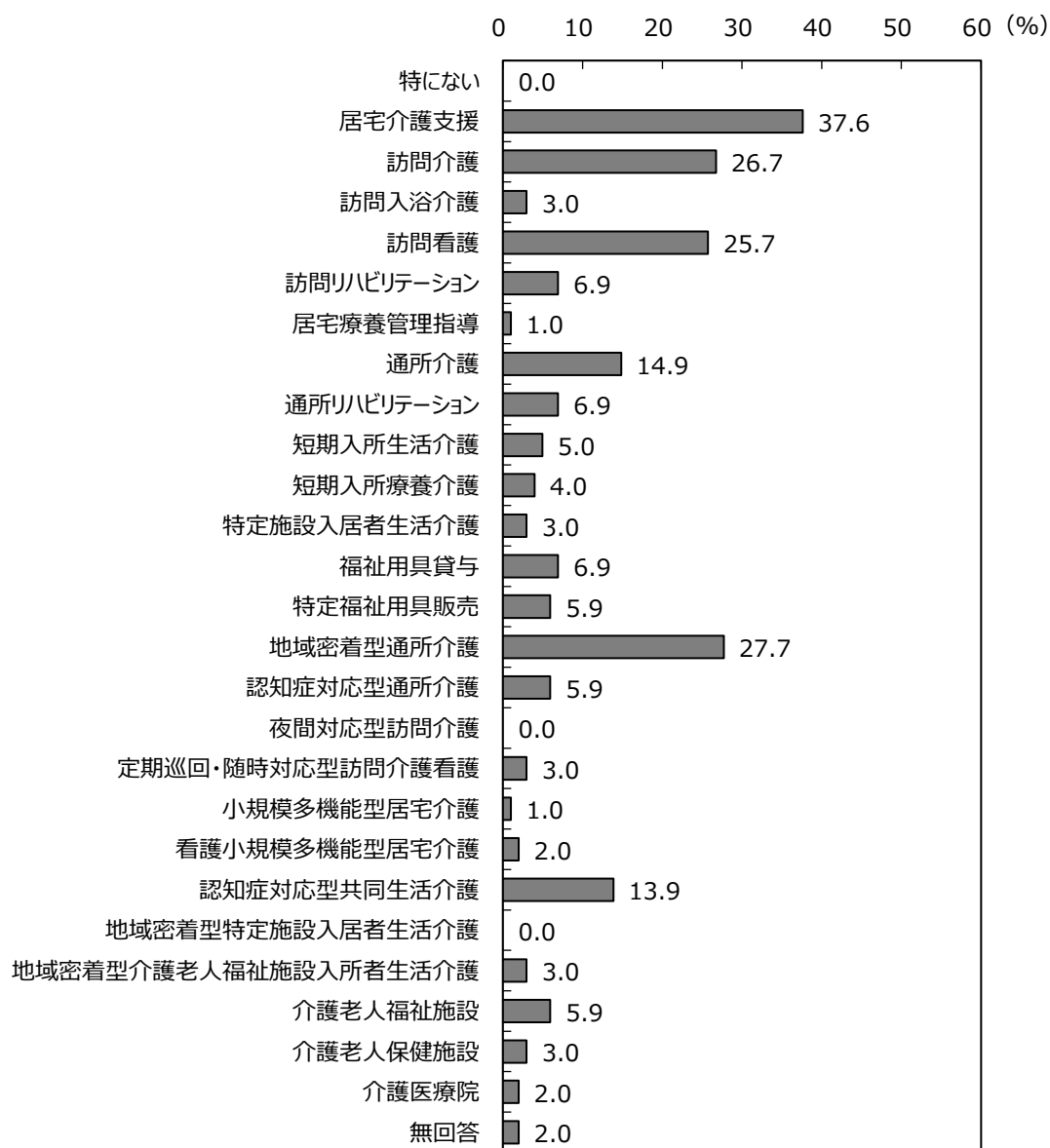
(1) 提供している介護保険サービス

■ 次のサービス（予防サービス・総合事業を含む）について、貴法人による「豊田市内」での、提供状況、拡大等の意向について、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

n=101

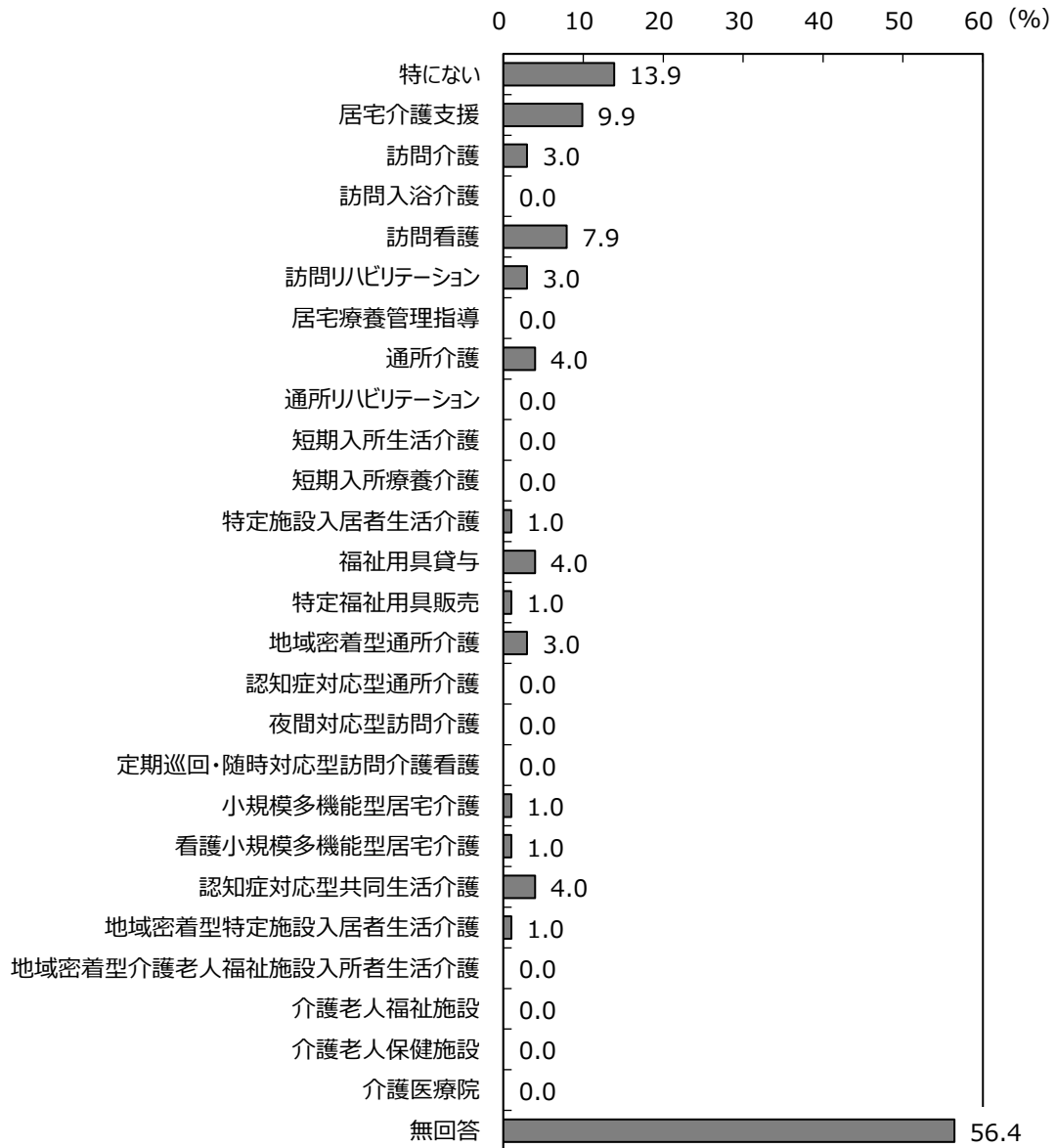
①市内で提供している介護保険サービス

「居宅介護支援」が 37.6%と最も高く、次いで「地域密着型通所介護」（27.7%）、「訪問介護」（26.7%）、「訪問看護」（25.7%）の順に高くなっています。



②拡大・新たに実施したい介護保険サービス

「居宅介護支援」(9.9%)、「訪問看護」(7.9%) などの回答がみられます。



(2) 介護保険以外のサービス

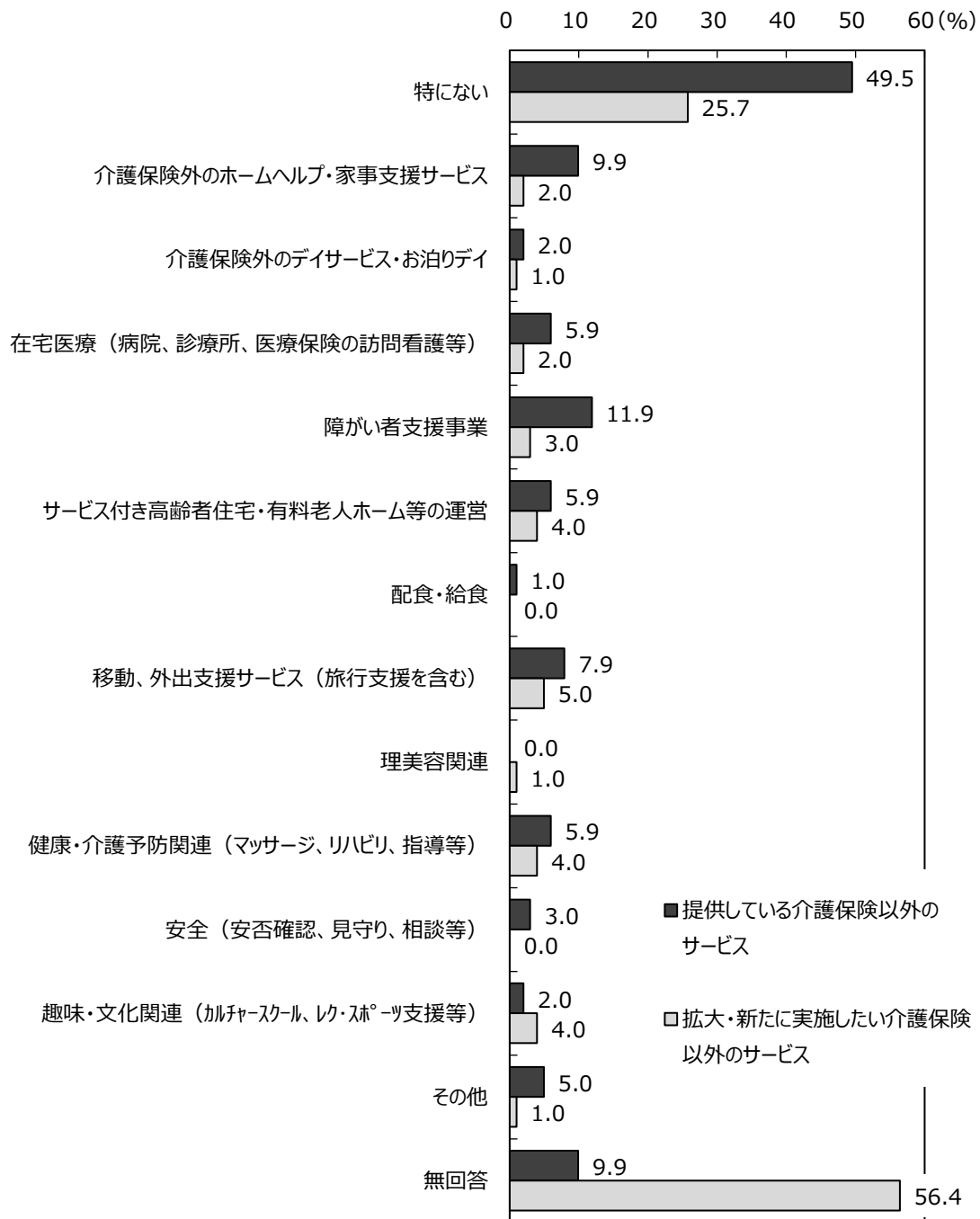
- 「豊田市内」で介護保険サービス以外にどのような事業を提供していますか。また、拡大等の意向がありますか。A Bそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

n=101

提供している事業をみると、「障がい者支援事業」(11.9%)、「介護保険外のホームヘルプ・家事支援サービス」(9.9%)、「移動、外出支援サービス(旅行支援を含む)」(7.9%)の順に高くなっています。

拡大等の意向については、「移動、外出支援サービス(旅行支援を含む)」(5.0%)、「サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム等の運営」(4.0%)、「健康・介護予防関連(マッサージ、リハビリ、指導等)」(4.0%)、「趣味・文化関連(カルチャースクール、レク・スポーツ支援等)」(4.0%)などの回答がみられます。

第6章 介護事業者（法人）調査



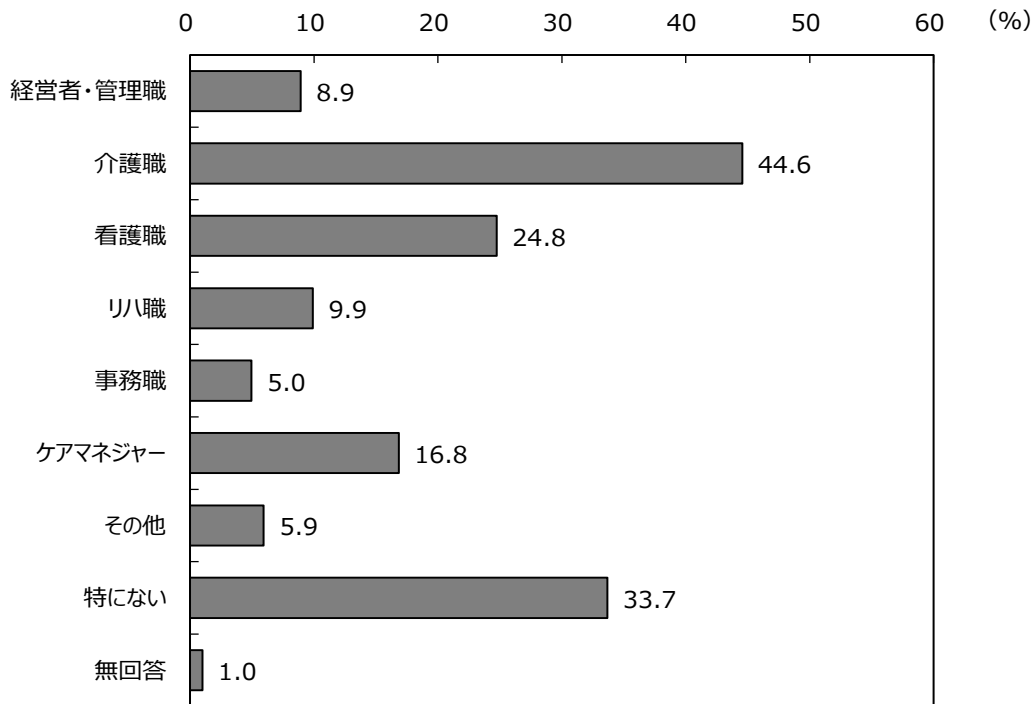
(3) 人材不足の職種

■ 貴法人において、人材不足で現在のサービス提供の維持が難しいとお考えの職種はありますか。(あてはまるものすべてに○)

n=101

「介護職」が44.6%と最も高く、次いで「看護職」が24.8%、「ケアマネジャー」が16.8%となっています。

規模別でみると20人以上、業種別では施設居住系で「介護職」の割合が高くなっています。50～99人で「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。



単位：%

		n	経営者・管理職	介護職	看護職	リハ職	事務職	ケアマネジャー	その他	特にない	無回答
規模	1～4人	14	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	71.4	0.0
	5～9人	19	5.3	26.3	21.1	21.1	0.0	26.3	0.0	42.1	0.0
	10～19人	25	8.0	40.0	20.0	12.0	4.0	8.0	4.0	32.0	4.0
	20～49人	21	23.8	66.7	33.3	9.5	4.8	14.3	4.8	14.3	0.0
	50～99人	8	12.5	62.5	37.5	0.0	25.0	62.5	25.0	12.5	0.0
	100人以上	12	0.0	66.7	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0
業種	訪問系	41	9.8	31.7	26.8	9.8	4.9	17.1	4.9	41.5	0.0
	通所系	33	6.1	42.4	18.2	15.2	3.0	9.1	9.1	33.3	0.0
	施設居住系	25	8.0	68.0	32.0	4.0	8.0	28.0	4.0	24.0	0.0

3 介護職員について

(1) 従業員数・採用者数・離職者数

■ 「豊田市内」の事業所の従業員数、採用者数、離職者数をお教えてください。
 (数字を記入)
 *看護職員が介護職員の業務を兼務している場合も人数に含めてください。(数字を記入)
 *介護職員の配置基準に入れるすべての職員の実人数をカウントしてください。なお、非常勤職員も1人としてカウントしてください。

n=101

回答事業所の従業員数について、令和7年は2,075人で常勤は1,025人、非常勤は1,050人となっています。令和5年と比べて増加しています。

法人別では、「10～19人」が24.8%と最も高く、次いで「20～49人」が20.8%、「5～9人」が18.8%となっています。

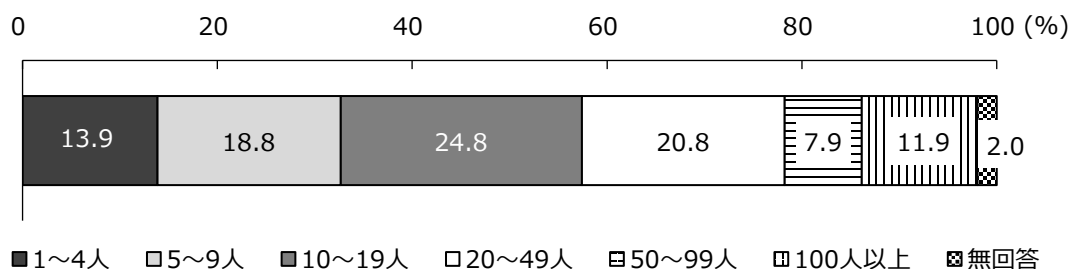
○従業員数

【全事業所計】

(人)

	令和5年 10月1日	令和6年 10月1日	令和7年 10月1日
合計	1,864	1,931	2,075
常勤	921	965	1,025
非常勤	943	966	1,050

【法人別集計（令和7年10月1日時点）】



令和6年10月1日～令和7年9月30日の採用者数について、常勤が142人、非常勤が220人で計362人となっています。離職者数について、常勤が96人、非常勤が148人で計243人となっています。

法人別では、採用者数は「11人以上」が20.8%と最も高く、次いで「0人」「1～2人」が17.8%となっています。離職者数は「1～2人」で22.8%と最も高く、次いで「0人」が19.8%となっています。

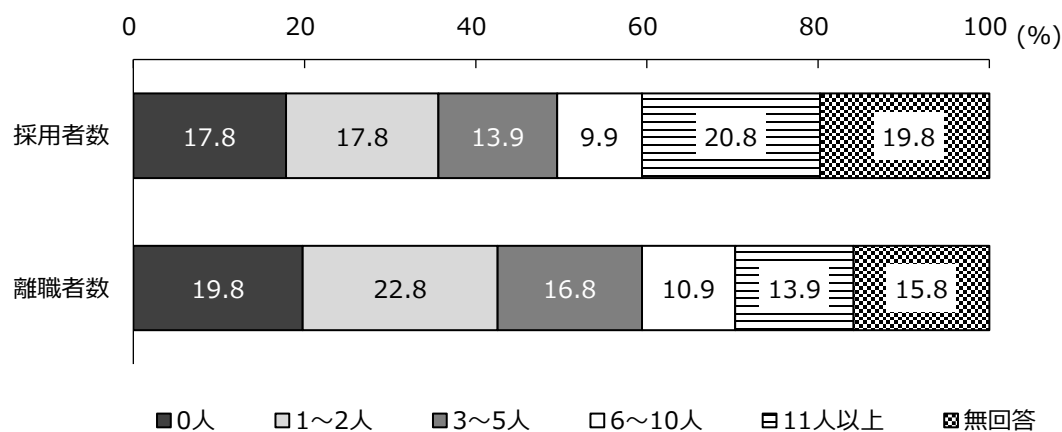
○採用者数・離職者数

【全法人計】

(人)

	採用者数		離職者数	
	令和5年10月1日～令和6年9月30日	令和6年10月1日～令和7年9月30日	令和5年10月1日～令和6年9月30日	令和6年10月1日～令和7年9月30日
合計	278	362	232	243
常勤	122	142	106	96
非常勤	156	220	132	148

【法人別の採用者数・離職者数（2年間の合計）】



離職率について、令和6年10月1日～令和7年9月30日は常勤で9.9%、非常勤で9.2%、合計で9.6%となっています。

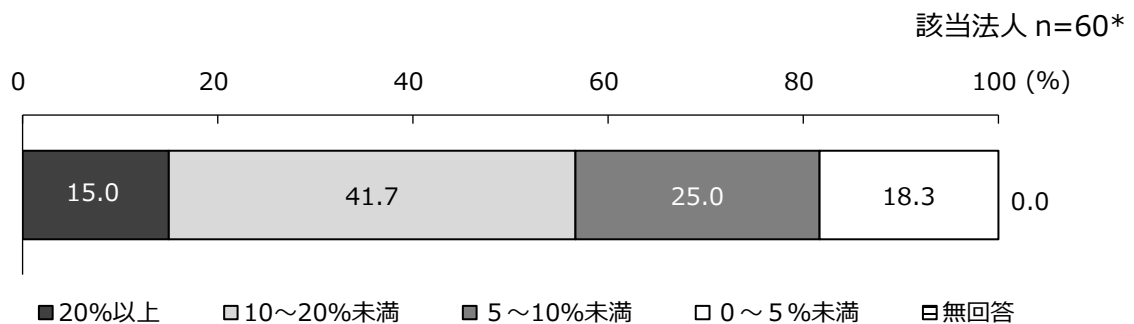
法人別で見ると、「10～20%未満」が41.7%と最も高く、次いで「5～10%未満」が25.0%となっています。

○離職率

【全法人計】

	令和5年10月1日～令和6年9月30日	令和6年10月1日～令和7年9月30日
合計	10.4%	9.6%
常勤	11.5%	9.9%
非常勤	9.2%	9.2%

【法人別の離職率】



* 法人別の集計は、従業員数が5人以上で、各年の従業員数、離職者数のデータが全てそろった法人を対象にしています。

* 各法人の離職率は、2年間の平均値。

(2) 介護職員の採用のための取組

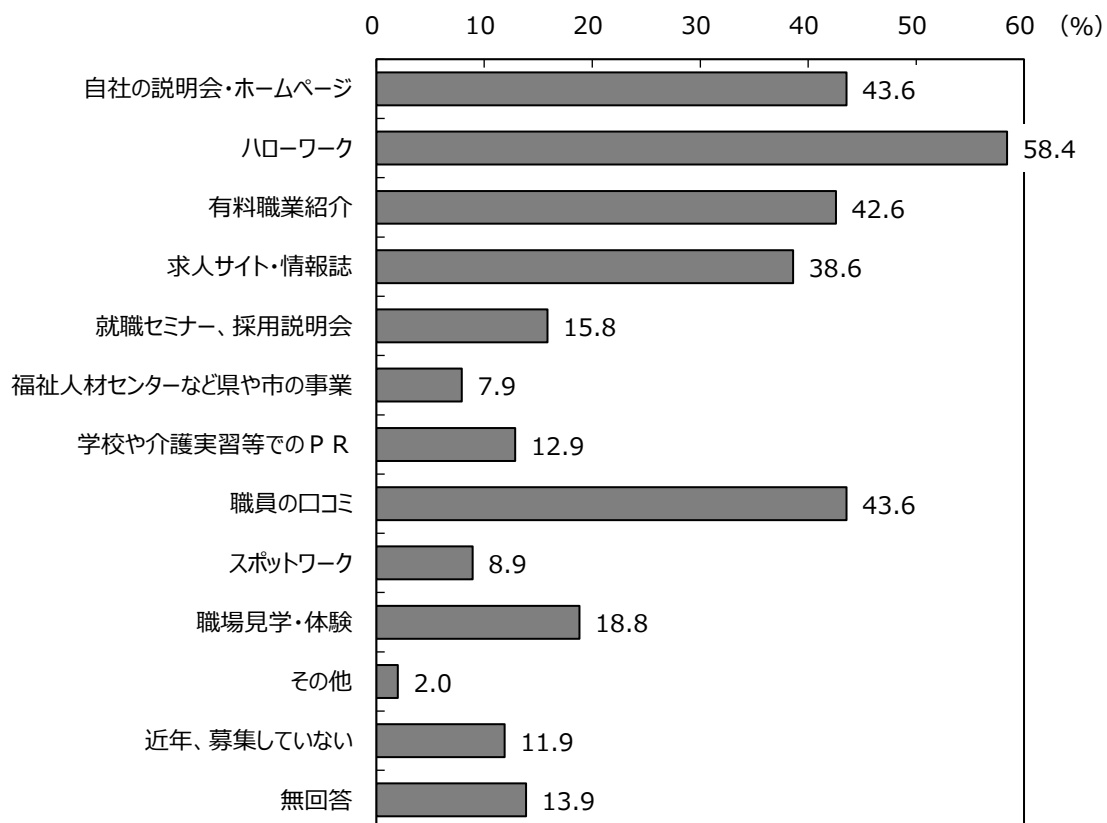
- 「介護職員」の採用のためにどのような取組をしていますか。また、効果があったと感じている取組はどれですか。A～Dそれぞれお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

n=101

①採用のために行っている取組

「ハローワーク」が58.4%と最も高く、次いで「自社の説明会・ホームページ」(43.6%)、「職員の口コミ」(43.6%)、「有料職業紹介」(42.6%)、「求人サイト・情報誌」(38.6%)の順に高くなっています。

規模別でみると、規模が大きくなるにつれて総じて各取組の割合が高くなっています。業種別でみると、施設居住系で総じて各取組の割合が高くなっています。



第6章 介護事業者（法人）調査

単位：％

	n	ホームページの説明会・	ハローワーク	有料職業紹介	求人サイト・情報誌	就業説明会	福祉人材センターなど県や市の事業	学校やPR	職員の口コミ	スポットワーク	職場見学・体験	
規模	1～4人	14	14.3	35.7	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	28.6	0.0	14.3
	5～9人	19	15.8	31.6	21.1	10.5	0.0	0.0	0.0	31.6	0.0	5.3
	10～19人	25	32.0	56.0	28.0	32.0	0.0	8.0	0.0	36.0	0.0	12.0
	20～49人	21	57.1	76.2	66.7	61.9	14.3	9.5	9.5	61.9	19.0	9.5
	50～99人	8	87.5	75.0	87.5	75.0	62.5	12.5	37.5	75.0	25.0	62.5
	100人以上	12	100.0	100.0	75.0	58.3	58.3	16.7	58.3	50.0	25.0	50.0
業種	訪問系	41	24.4	39.0	31.7	26.8	4.9	7.3	4.9	34.1	2.4	9.8
	通所系	33	45.5	57.6	36.4	33.3	9.1	9.1	3.0	42.4	9.1	15.2
	施設居住系	25	76.0	88.0	68.0	64.0	44.0	8.0	40.0	64.0	16.0	40.0

単位：％

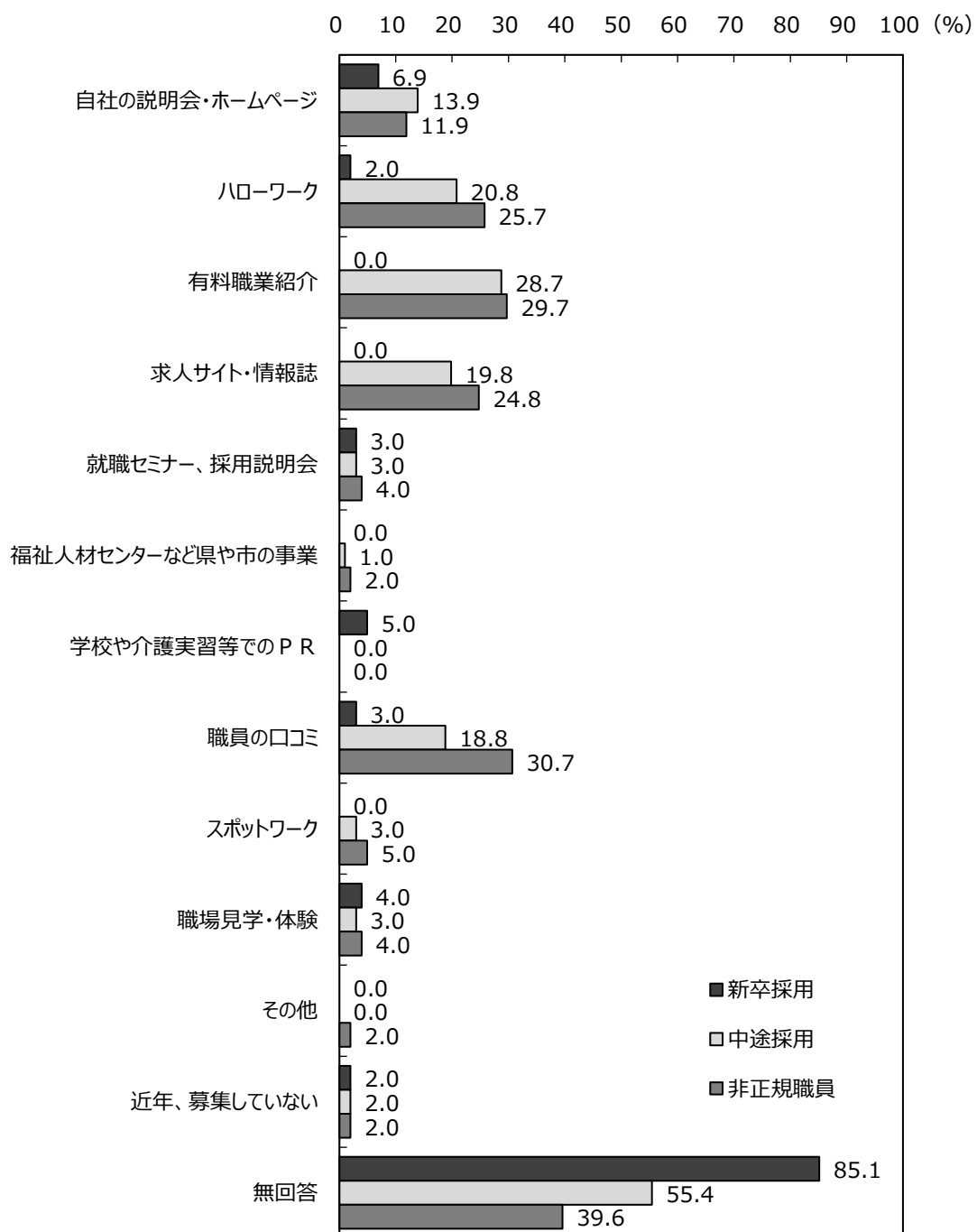
	n	その他	近い年、募集していない	無回答	
規模	1～4人	14	0.0	28.6	28.6
	5～9人	19	0.0	31.6	15.8
	10～19人	25	4.0	4.0	16.0
	20～49人	21	4.8	0.0	9.5
	50～99人	8	0.0	0.0	0.0
	100人以上	12	0.0	0.0	0.0
業種	訪問系	41	2.4	17.1	29.3
	通所系	33	3.0	15.2	6.1
	施設居住系	25	0.0	0.0	0.0

②採用につながった取組

新卒採用は、「自社の説明会・ホームページ」(6.9%)、「学校や介護実習等でのPR」(5.0%)、「職場見学・体験」(4.0%)などが回答されています。

中途採用は、「有料職業紹介」が28.7%と最も高く、次いで「ハローワーク」(20.8%)、「求人サイト・情報誌」(19.8%)、「職員の口コミ」(18.8%)の順に高くなっています。

非正規職員は、「職員の口コミ」(30.7%)、「有料職業紹介」(29.7%)、「ハローワーク」(25.7%)、「求人サイト・情報誌」(24.8%)の順に高くなっています。



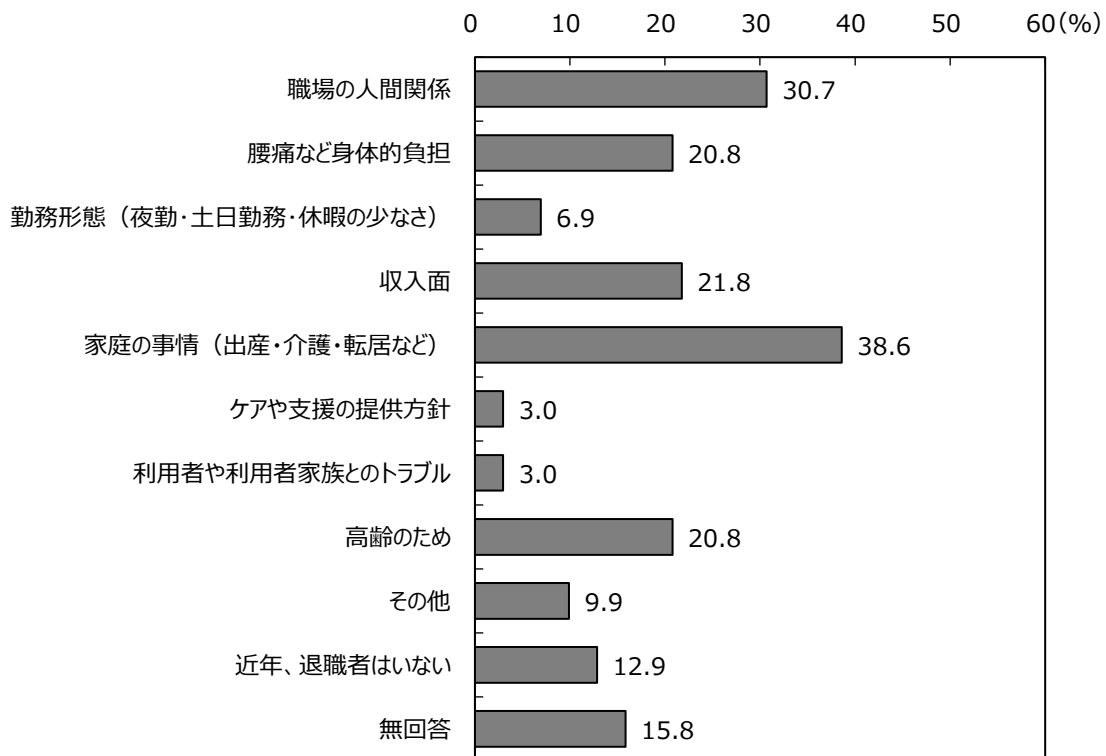
(3) 介護職員の離職事由で特に多い要因

■ 貴法人での介護職員（豊田市内）の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。（○は3つまで）

n=101

「家庭の事情（出産・介護・転居など）」が38.6%と最も高く、次いで「職場の人間関係」（30.7%）、「収入面」（21.8%）、「腰痛など身体的負担」（20.8%）、「高齢のため」（20.8%）の順に高くなっています。

規模別・業種別でみると、「職場の人間関係」「家庭の事情（出産・介護・転居など）」の割合が総じて高くなっています。また、規模の大きな法人や施設居住系で「腰痛など身体的負担」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	職場の人間関係	腰痛など身体的負担	勤務形態（夜勤・土日勤務・休暇の少なさ）	収入面	家庭の事情（出産・介護・転居など）	ケアや支援の提供方針	の利用者や利用者家族とのトラブル	高齢のため	その他
規模	1～4人	14	21.4	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1
	5～9人	19	21.1	5.3	5.3	10.5	21.1	0.0	0.0	10.5	15.8
	10～19人	25	24.0	28.0	4.0	24.0	32.0	12.0	4.0	20.0	8.0
	20～49人	21	38.1	14.3	9.5	33.3	61.9	0.0	4.8	33.3	14.3
	50～99人	8	62.5	50.0	12.5	12.5	50.0	0.0	12.5	37.5	0.0
	100人以上	12	41.7	41.7	16.7	33.3	75.0	0.0	0.0	25.0	8.3
業種	訪問系	41	24.4	14.6	2.4	9.8	14.6	4.9	4.9	22.0	9.8
	通所系	33	30.3	18.2	6.1	27.3	42.4	3.0	3.0	12.1	12.1
	施設居住系	25	36.0	36.0	16.0	36.0	68.0	0.0	0.0	28.0	8.0

単位：%

		n	近年、退職者はいない	無回答
規模	1～4人	14	14.3	42.9
	5～9人	19	31.6	15.8
	10～19人	25	8.0	16.0
	20～49人	21	4.8	9.5
	50～99人	8	12.5	0.0
	100人以上	12	0.0	0.0
業種	訪問系	41	14.6	34.1
	通所系	33	18.2	6.1
	施設居住系	25	4.0	0.0

(4) 介護職員の採用や職場定着の取組

- 介護職員の採用や職場定着のためにどのような取組をしていますか。また、採用と職場定着に効果があったと感じている取組はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

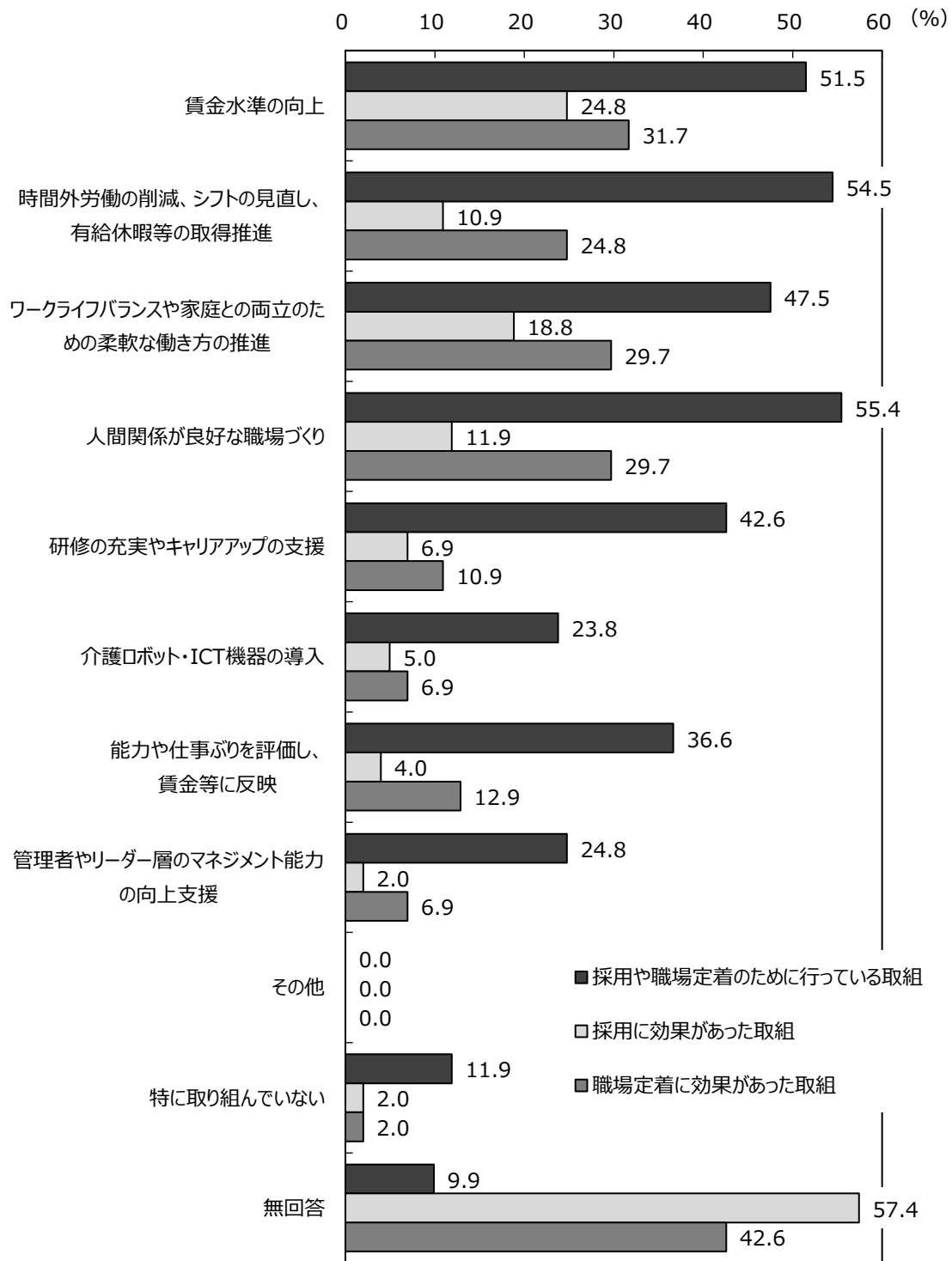
n=101

採用や職場定着のために行っている取組について、「人間関係が良好な職場づくり」(55.4%)、「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」(54.5%)、「賃金水準の向上」(51.5%)、「ワークライフバランスや家庭との両立のための柔軟な働き方の推進」(47.5%)、「研修の充実やキャリアアップの支援」(42.6%) など、様々な取組が行われています。

採用に効果があった取組は、「賃金水準の向上」(24.8%)、「ワークライフバランスや家庭との両立のための柔軟な働き方の推進」(18.8%) の順に高くなっています。

職場定着に効果があった取組は、「賃金水準の向上」(31.7%)、「ワークライフバランスや家庭との両立のための柔軟な働き方の推進」(29.7%)、「人間関係が良好な職場づくり」(29.7%)、「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」(24.8%) が高くなっています。

採用や職場定着のために行っている取組として、規模が大きくなるにつれて「研修の充実やキャリアアップの支援」「介護ロボット・ICT機器の導入」を始め総じて割合が高くなっています。業種別では、施設居住系で「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」「研修の充実やキャリアアップの支援」を始め総じて割合が他と比べて高くなっています。



第6章 介護事業者（法人）調査

【採用や職場定着のために行っている取組】

単位：％

	n	賃金水準の向上	し、時間外労働の削減、シフトの見直し	両立のための柔軟な働き方や家庭との進	人間関係が良好な職場づくり	研修の充実やキャリアアップの支援	介護ロボット・ICT機器の導入	に能力や仕事ぶりを評価し、賃金等に反映	ト管理能力の向上支援	管理層のリーダー層のマネジメント	その他
規模	1～4人	14	14.3	28.6	35.7	28.6	21.4	7.1	21.4	28.6	0.0
	5～9人	19	52.6	47.4	42.1	52.6	21.1	0.0	21.1	5.3	0.0
	10～19人	25	56.0	64.0	48.0	68.0	40.0	16.0	40.0	12.0	0.0
	20～49人	21	52.4	57.1	33.3	57.1	52.4	28.6	33.3	23.8	0.0
	50～99人	8	75.0	50.0	87.5	62.5	87.5	50.0	62.5	62.5	0.0
	100人以上	12	66.7	83.3	66.7	66.7	66.7	75.0	58.3	58.3	0.0
業種	訪問系	41	36.6	41.5	34.1	41.5	26.8	7.3	26.8	19.5	0.0
	通所系	33	60.6	57.6	54.5	69.7	42.4	18.2	36.4	21.2	0.0
	施設居住系	25	64.0	72.0	64.0	56.0	68.0	56.0	56.0	40.0	0.0

単位：％

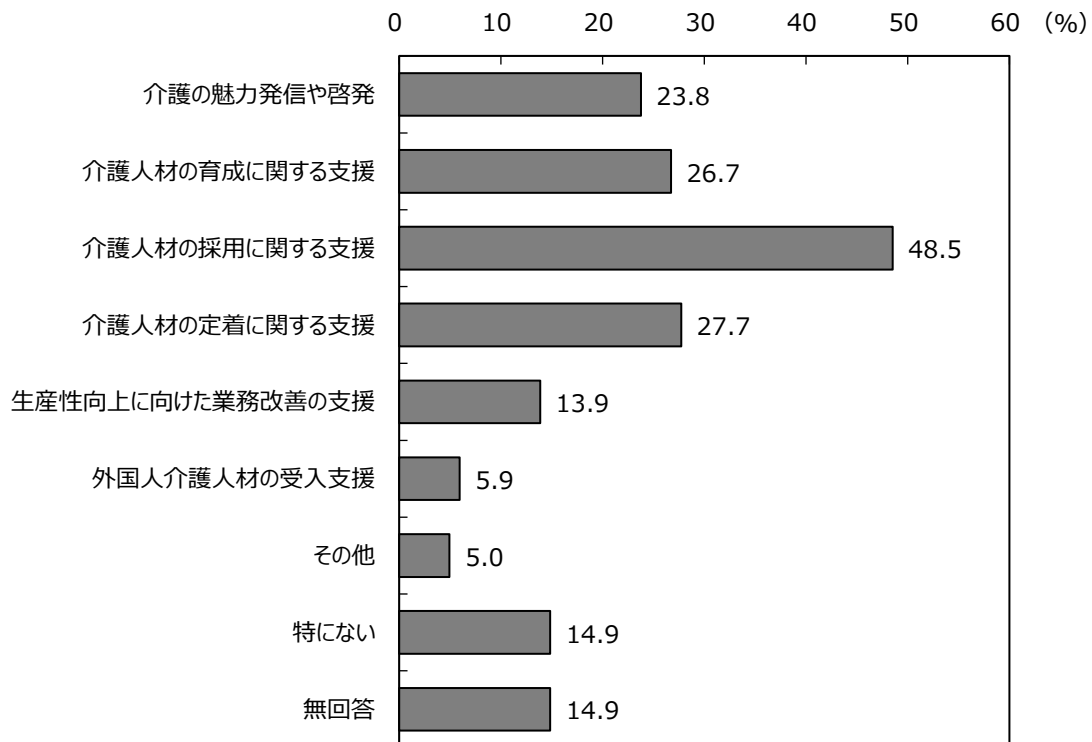
	n	特に取り組んでいない	無回答	
規模	1～4人	14	35.7	21.4
	5～9人	19	21.1	10.5
	10～19人	25	4.0	8.0
	20～49人	21	4.8	9.5
	50～99人	8	0.0	12.5
	100人以上	12	0.0	0.0
業種	訪問系	41	22.0	22.0
	通所系	33	9.1	0.0
	施設居住系	25	0.0	4.0

(5) 人材確保について豊田市に期待するサポート

- 人材確保に関して豊田市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。
(○は3つまで)

n=101

「介護人材の採用に関する支援」が48.5%と最も高く、次いで「介護人材の定着に関する支援」(27.7%)、「介護人材の育成に関する支援」(26.7%)、「介護の魅力発信や啓発」(23.8%)の順に高くなっています。



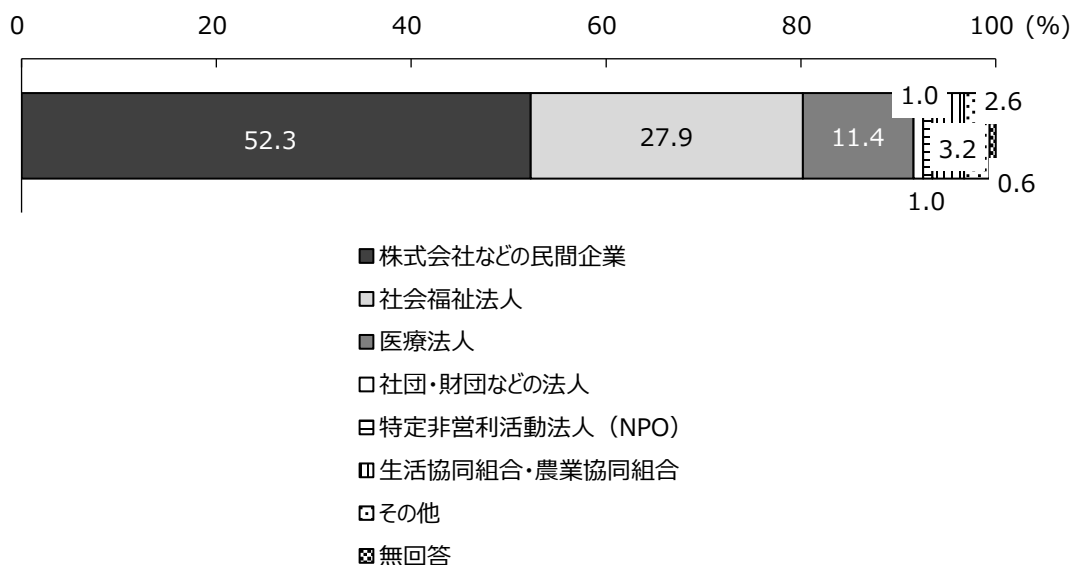
第7章 介護事業者（事業所）調査

1 事業所について

(1) 組織形態

n=308

「株式会社などの民間企業」が 52.3%と最も高く、次いで「社会福祉法人」(27.9%)、「医療法人」(11.4%) となっています。



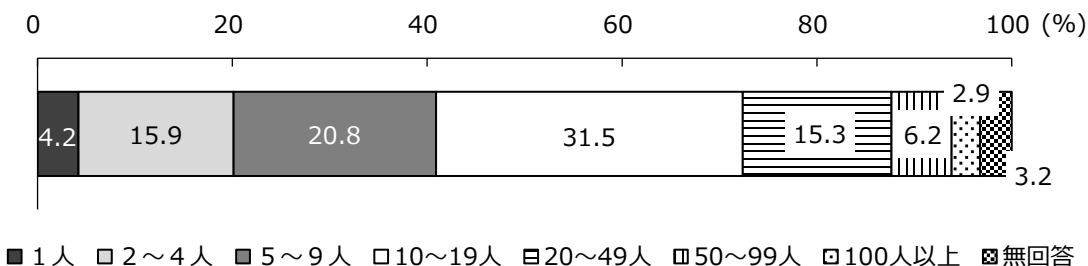
(2) 介護保険サービスに従事する従業員数

* 令和7年10月1日時点

* 事務職員等を含めて直接雇用している人数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。

n=308

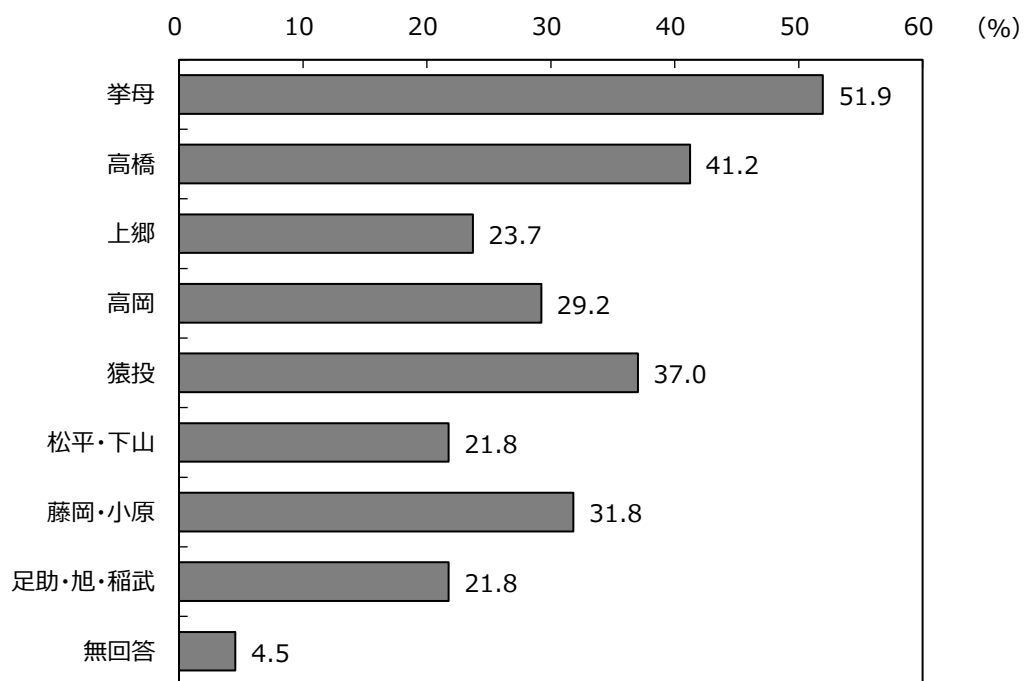
「10～19人」が 31.5%と最も高く、次いで「5～9人」(20.8%)、「2～4人」(15.9%) となっています。



(3) 事業所がサービスを提供している地域

n=308

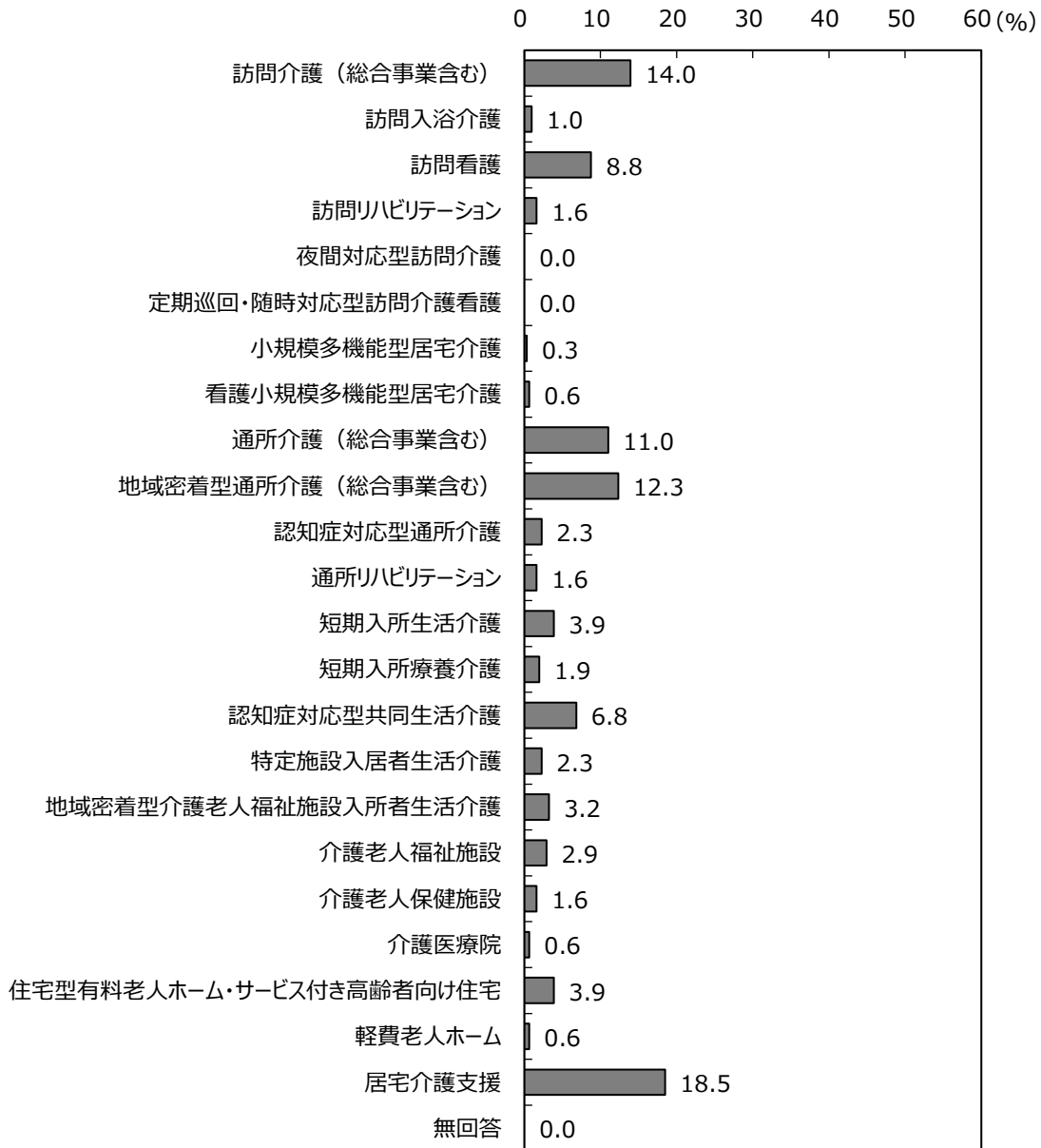
「拳母」(51.9%)、「高橋」(41.2%)、「猿投」(37.0%) の順に高くなっています。



(4) 事業所が提供しているサービス等

n=308

「居宅介護支援」(18.5%)、「訪問介護（総合事業含む）」(14.0%)、「地域密着型通所介護（総合事業含む）」(12.3%)、「通所介護（総合事業含む）」(11.0%)、「訪問看護」(8.8%)の順に高くなっています。



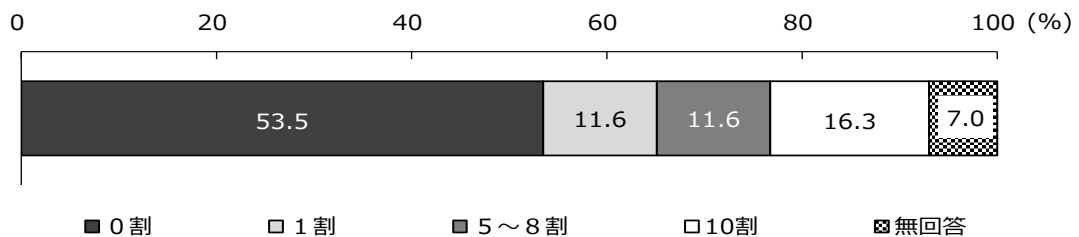
2 訪問介護の提供状況について

(1) 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の割合

■ 訪問介護サービスにおける、「住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」の割合についてお教えてください。(0～10の整数を記入してください。)

訪問介護事業者 n=43

「0割」が53.5%と最も高く、次いで「10割」が16.3%と高くなっています。



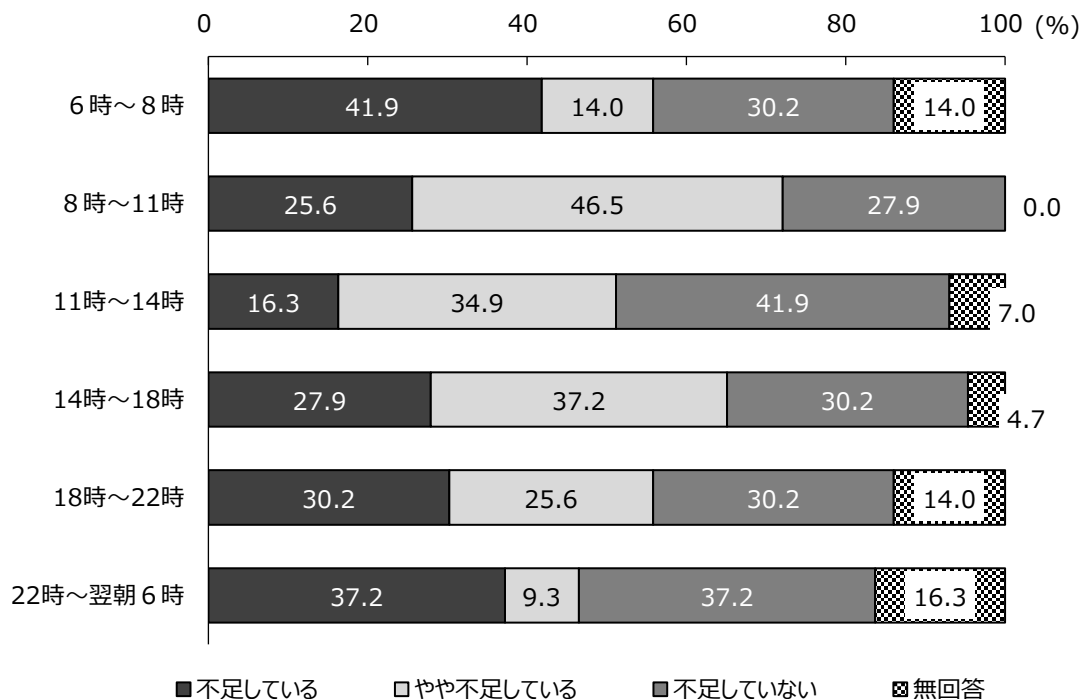
* 2～4割、9割の回答はみられませんでした。

(2) 時間帯別の不足状況

■ ヘルパーの不足状況を時間帯別にお教えてください。(A～Fそれぞれ1つに○)

訪問介護事業者 n=43

「不足している」をみると、「6～8時」が41.9%と最も高く、次いで「23時～翌朝6時」が37.2%となっています。



3 事業所の運営について

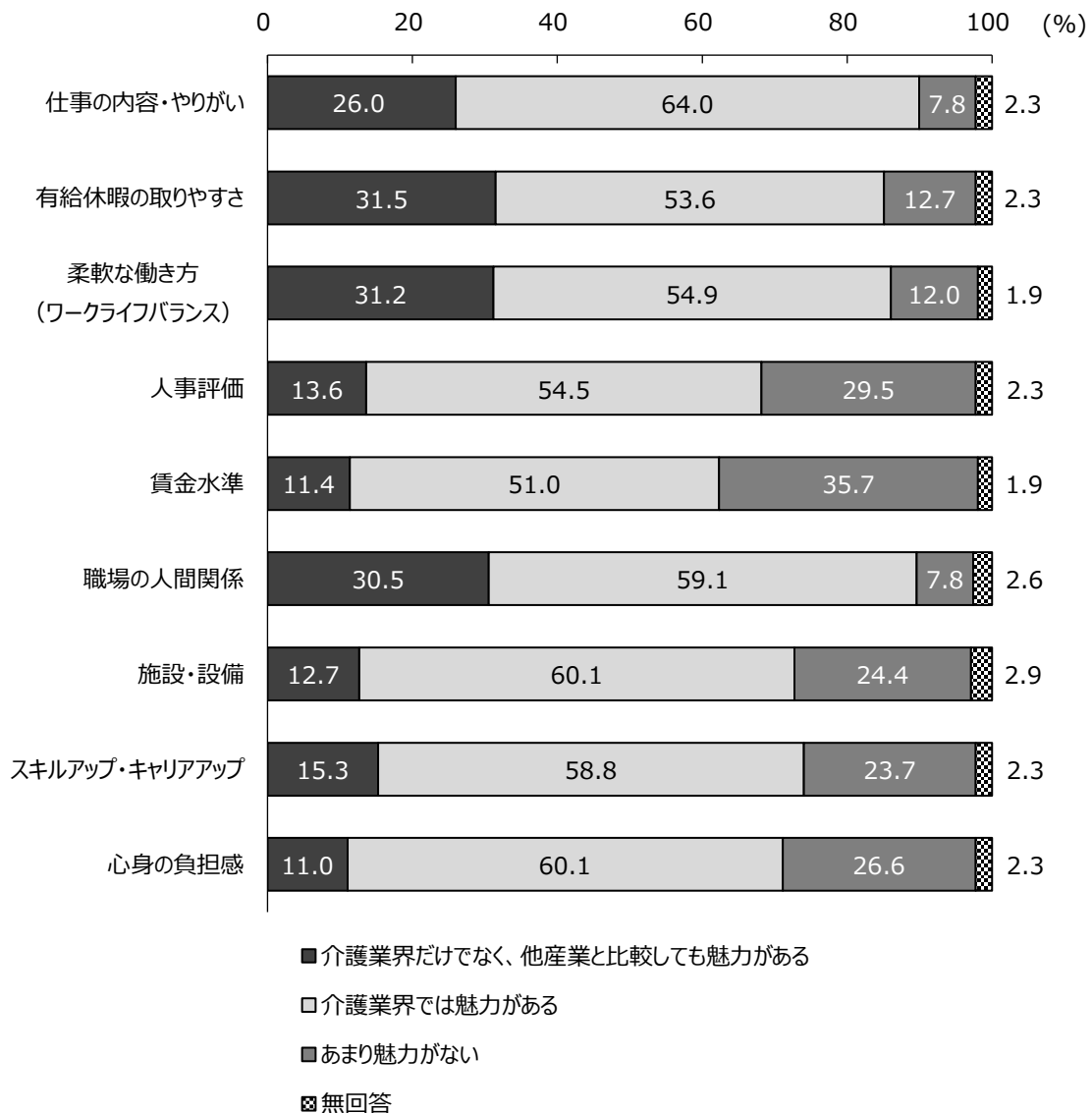
(1) 職場環境の魅力

■ 貴事業所の職場環境は、魅力があると思いますか。（A～I それぞれ1つに○）

n=308

「介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある」をみると、「仕事の内容・やりがい」（26.0%）、「有給休暇の取りやすさ」（31.5%）、「柔軟な働き方（ワークライフバランス）」（31.2%）、「職場の人間関係」（30.5%）で他の項目と比べて高くなっています。

一方、「あまり魅力がない」は、「人事評価」（29.5%）、「賃金水準」（35.7%）等で他の項目と比べて高くなっています。



「介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある」の割合を業種別で見ると、施設系は「仕事の内容・やりがい」「柔軟な働き方（ワークライフバランス）」の割合が他と比べて低くなっています。離職率別では、5%未満で「仕事の内容・やりがい」「有給休暇の取りやすさ」「柔軟な働き方（ワークライフバランス）」「職場の人間関係」の割合が他と比べて高くなっています。

【「介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある」の割合】

単位：%

		n	仕事の内容・やりがい	有給休暇の取りやすさ	柔軟な働き方（ワークライフバランス）	人事評価	賃金水準	職場の人間関係	施設・設備	リスクアップ・アップ・キャ	心身の負担感
業種	訪問系	78	30.8	24.4	37.2	16.7	19.2	37.2	14.1	19.2	14.1
	通所系	87	28.7	36.8	32.2	12.6	8.0	34.5	11.5	12.6	13.8
	居住・短期入所系	60	23.3	28.3	30.0	10.0	10.0	23.3	10.0	21.7	8.3
	施設系	26	15.4	23.1	15.4	19.2	11.5	19.2	11.5	15.4	3.8
	居宅介護支援	57	22.8	40.4	29.8	12.3	7.0	28.1	15.8	7.0	8.8
離職率	5%未満	42	38.1	45.2	38.1	19.0	16.7	45.2	7.1	14.3	14.3
	5～10%未満	31	25.8	29.0	22.6	9.7	9.7	19.4	9.7	12.9	9.7
	10～20%未満	58	19.0	27.6	32.8	12.1	6.9	29.3	6.9	19.0	12.1
	20%以上	50	22.0	24.0	20.0	12.0	2.0	24.0	10.0	14.0	8.0

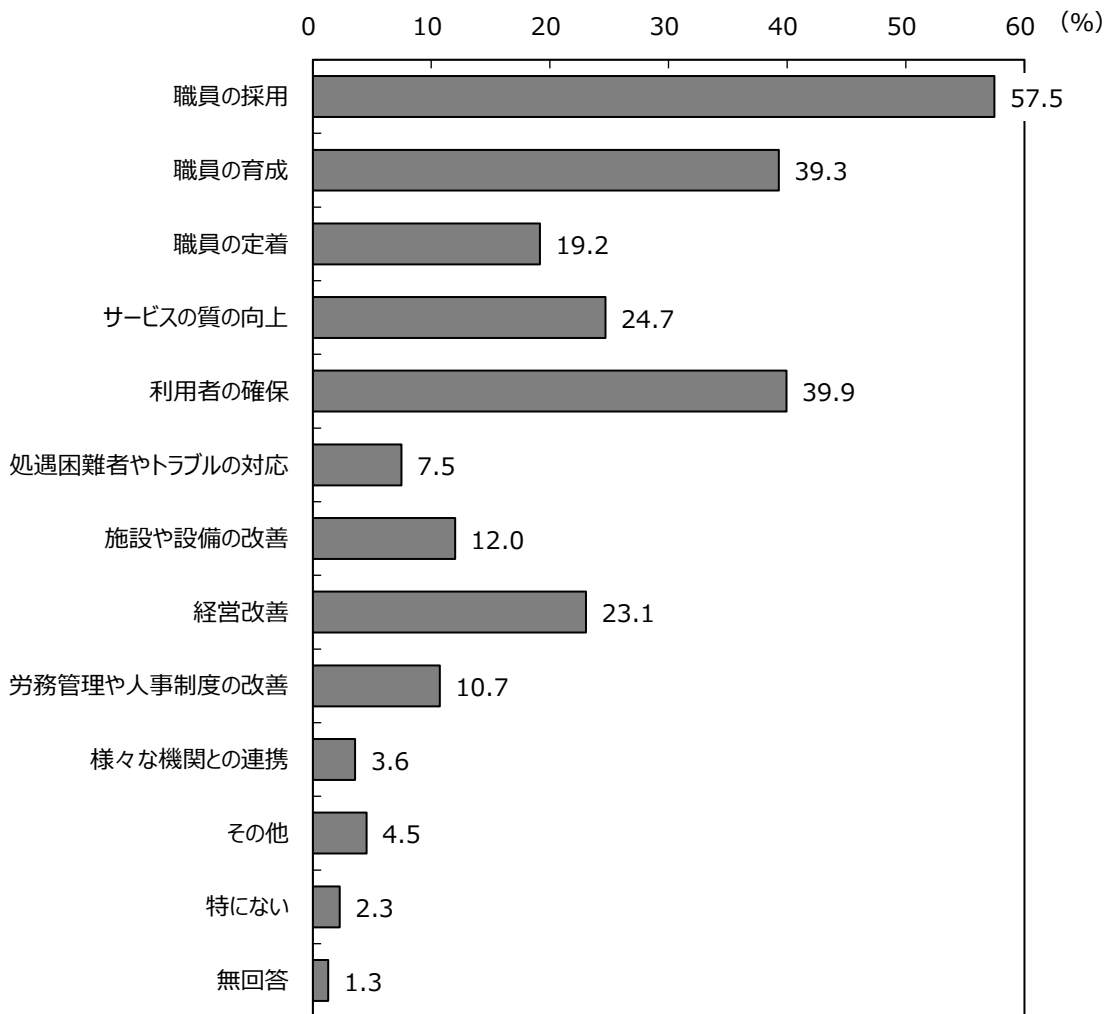
(2) 事業所運営の課題

■ 貴事業所の運営にあたり、特にどのようなことが課題となっていますか。
 (〇は3つまで)

n=308

「職員の採用」が57.5%と最も高く、次いで「利用者の確保」(39.9%)、「職員の育成」(39.3%)、「サービスの質の向上」(24.7%)、「経営改善」(23.1%)の順に高くなっています。

業種別でみると、居住・短期入所系、施設系は「職員の採用」、居宅介護支援は「利用者の確保」の割合が最も高くなっています。また、施設系は「サービスの質の向上」「経営改善」の割合が他と比べて高くなっています。離職率別でも、全てで「職員の採用」の割合が最も高くなっています。



単位：%

		n	職員の採用	職員の育成	職員の定着	向上サービスの質の	利用者の確保	ラ処遇の困難者やト	善施設や設備の改	経営改善	制度の改善や人事	連携的な機関との
業種	訪問系	78	57.7	39.7	25.6	20.5	38.5	3.8	5.1	21.8	7.7	3.8
	通所系	87	59.8	42.5	17.2	26.4	44.8	5.7	17.2	24.1	9.2	4.6
	居住・短期入所系	60	68.3	36.7	20.0	31.7	25.0	6.7	15.0	23.3	10.0	0.0
	施設系	26	80.8	26.9	26.9	53.8	42.3	0.0	23.1	38.5	11.5	3.8
	居宅介護支援	57	31.6	42.1	8.8	7.0	49.1	19.3	5.3	15.8	17.5	5.3
離職率	5%未満	42	54.8	33.3	2.4	26.2	38.1	7.1	23.8	38.1	14.3	0.0
	5～10%未満	31	74.2	45.2	22.6	51.6	25.8	3.2	9.7	25.8	9.7	0.0
	10～20%未満	58	67.2	41.4	17.2	39.7	37.9	3.4	22.4	13.8	10.3	3.4
	20%以上	50	76.0	48.0	46.0	18.0	38.0	4.0	8.0	34.0	6.0	0.0

単位：%

		n	その他	特 に ない	無 回 答
業種	訪問系	78	2.6	2.6	1.3
	通所系	87	1.1	0.0	0.0
	居住・短期入所系	60	8.3	1.7	5.0
	施設系	26	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	57	10.5	7.0	0.0
離職率	5%未満	42	0.0	0.0	0.0
	5～10%未満	31	3.2	0.0	0.0
	10～20%未満	58	0.0	0.0	1.7
	20%以上	50	6.0	0.0	0.0

4 人材の確保・職場定着について

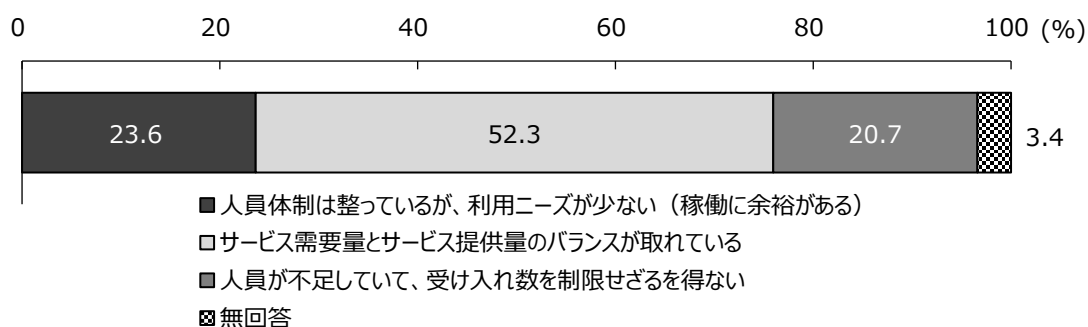
(1) 事業所の稼働状況

■ 現在の貴事業所の稼働状況はいかがですか。（○は1つ）

居宅・軽費・有料・サ高住除く n=237

「人員が不足していて、受け入れ数を制限せざるを得ない」が20.7%、「人員体制は整っているが、利用ニーズが少ない（稼働に余裕がある）」が23.6%となっています。

業種別・離職率別でみると、訪問系で「人員が不足していて、受入数を制限せざるを得ない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	人員体制は整っているが、利用ニーズが少ない（稼働に余裕がある）	サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている	人員が不足していて、受け入れ数を制限せざるを得ない	無回答
業種	訪問系	78	23.1	41.0	33.3	2.6
	通所系	87	31.0	46.0	18.4	4.6
	居住・短期入所系	46	15.2	73.9	6.5	4.3
	施設系	26	15.4	69.2	15.4	0.0
離職率	5%未満	40	25.0	62.5	10.0	2.5
	5～10%未満	30	23.3	66.7	10.0	0.0
	10～20%未満	57	19.3	57.9	22.8	0.0
	20%以上	47	21.3	36.2	31.9	10.6

(2) 必要な介護職員数

- 現状の貴事業所の人員に追加で何名採用できるとサービス需要と供給のバランスがとれると思いますか。(数字を記入)

居宅・軽費・有料・サ高住除く n=237

必要な介護職員数(推計)は、介護職員 162 人、看護職員 57 人、その他職員 15 人です。

	推計人数*	(回答数)
介護職員	162 人	99 人
看護職員	57 人	35 人
その他職員	15 人	9 人

*回答数を回答率で割り戻しています。

(3) 人材確保について豊田市に期待するサポート

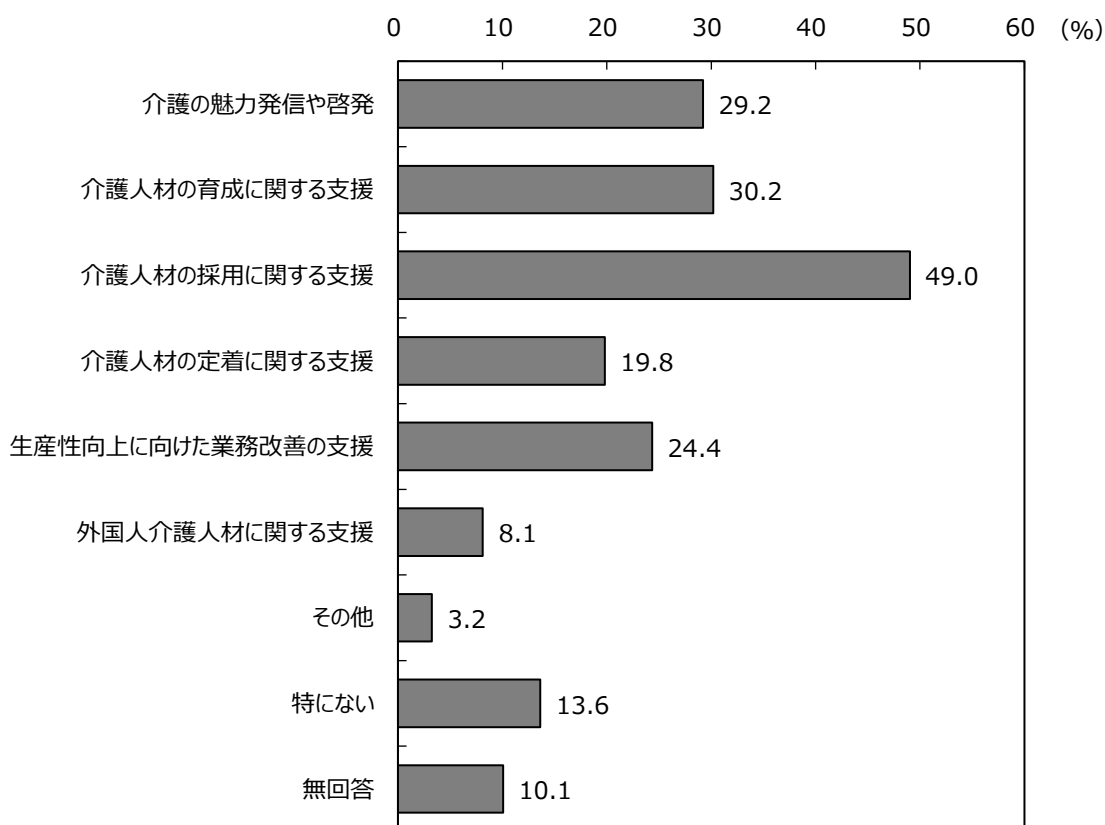
■ 人材確保に関して豊田市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。
 (○は3つまで)

n=308

「介護人材の採用に関する支援」が49.0%と最も高く、次いで「介護人材の育成に関する支援」(30.2%)、「介護の魅力発信や啓発」(29.2%)となっています。

業種別でみると、居宅介護支援を除く全てで「介護人材の採用に関する支援」の割合が最も高くなっています。また、施設系で「外国人介護人材に関する支援」の割合が他と比べて高くなっています。

離職率別では、離職率が高い事業所で「介護人材の採用に関する支援」、低い事業所で「介護の魅力発信や啓発」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：％

		n	啓介 護の 魅力 発信 や	関介 する 人材 支援 の 育成 に	関介 する 人材 支援 の 採用 に	関介 する 人材 支援 の 定着 に	た生 業産 務性 改善 向上 の 支向 援け	関外 する 人介 支介 援護 人材 に	そ の 他	特 に な い	無 回 答
業 種	訪問系	78	30.8	25.6	44.9	20.5	24.4	2.6	7.7	14.1	7.7
	通所系	87	35.6	33.3	57.5	17.2	23.0	5.7	1.1	8.0	10.3
	居住・短期入所系	60	28.3	38.3	65.0	23.3	25.0	13.3	0.0	5.0	8.3
	施設系	26	26.9	34.6	69.2	30.8	30.8	34.6	0.0	11.5	0.0
	居宅介護支援	57	19.3	21.1	15.8	14.0	22.8	1.8	5.3	31.6	19.3
離 職 率	5%未満	42	40.5	33.3	47.6	9.5	28.6	7.1	2.4	9.5	11.9
	5～10%未満	31	48.4	32.3	48.4	25.8	25.8	16.1	0.0	3.2	6.5
	10～20%未満	58	24.1	37.9	60.3	25.9	24.1	8.6	1.7	17.2	3.4
	20%以上	50	32.0	36.0	68.0	24.0	26.0	16.0	8.0	4.0	8.0

○自由回答

- ・介護の仕事の魅力を体験できる仕組み
- ・求職者に対するマッチングや紹介
- ・山間部への人材紹介サポートをしていただけるとありがたいです。
- ・人材派遣会社を通さないと集まらず、採用報酬を払うのがとても負担です。一部補助やハローワークなど、市からのバックアップが欲しいです。
- ・特に若い世代が働きたいくらい賃金が上がるとよい。
- ・賃金アップについての支援等
- ・外国人材に対する介護の知識や技術、日本語の上達への支援
- ・人材育成については、訪問看護のような育成センターがあり、とりまとめて集中して育成してくれる機関や機会があるとありがたいです。生産性向上関係は県の補助金がありますが、年々対象となるもの、要件が厳しくなっているため、柔軟に対応してくれる補助金があるとありがたいです。(ICT以外のものも可とか)
- ・若い方はケアマネジャーになりたくないという方が増えています。ご家族が働いている為、時間外での面談が増えたり、クレーム的なご家族が多くなっている事も影響しているかもしれません。
- ・ICT化運用体制を構築できるIT人材（アドバイザー）の支援。具体的なアドバイスができる人材の派遣
- ・職場環境、福利厚生、研修補助、市内での研修の充実

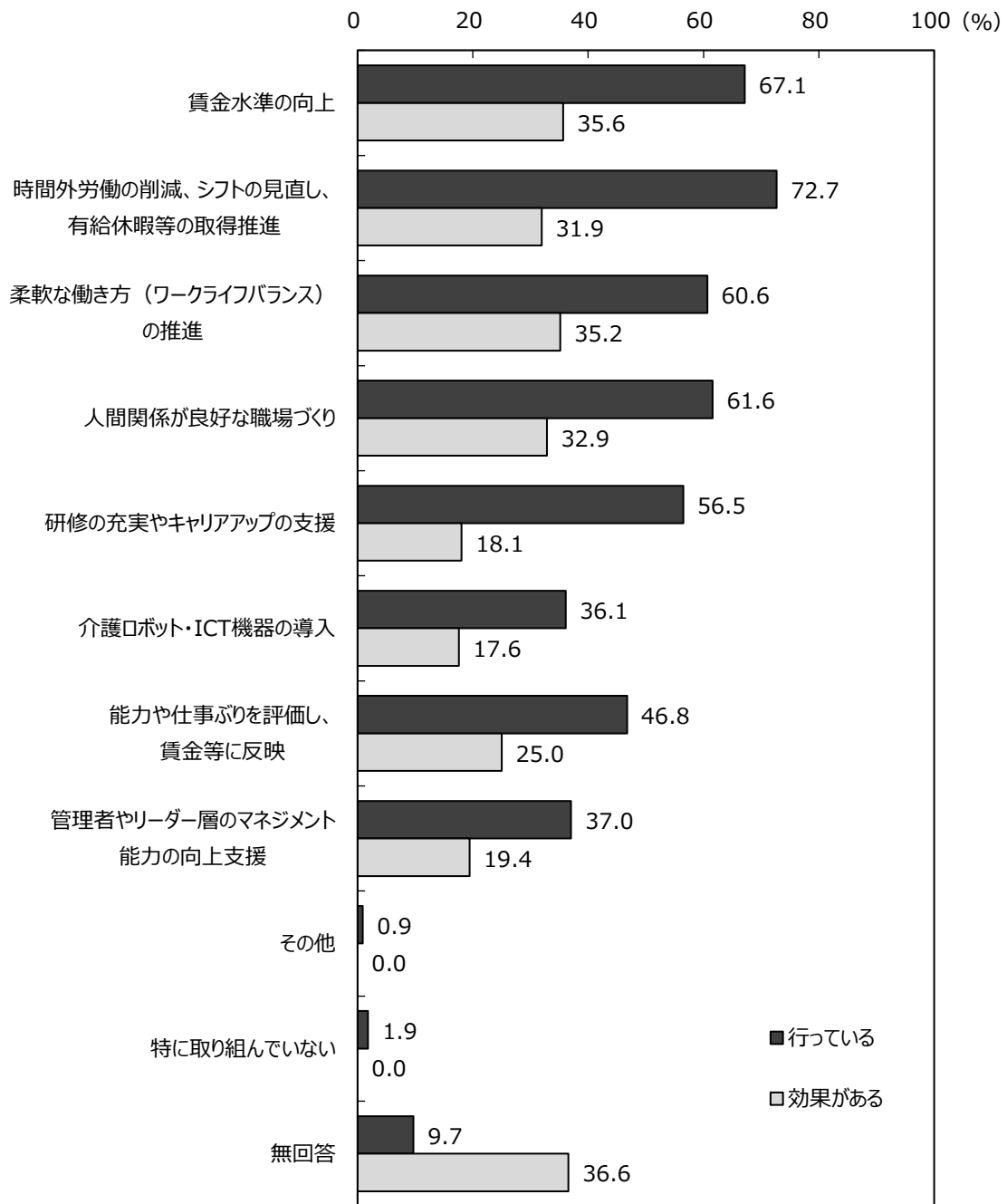
(4) 介護職員の職場定着の取組

- 介護職員の定着のために、どのようなことを行っていますか。また、どのようなことに効果を感じますか。（あてはまるものすべてに○）

介護職員配置の事業所 n=216

行っていることについて、「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」(72.7%)、「賃金水準の向上」(67.1%)、「人間関係が良好な職場づくり」(61.6%)、「柔軟な働き方(ワークライフバランス)の推進」(60.6%)の順に高くなっています。

効果を感じることもについても、これらの項目が上位となっています。



第7章 介護事業者（事業所）調査

【介護職員の定着のために行っていること】

単位：%

		n	賃金水準の向上	時間外労働の削減、シフト推進の見直し、有給休暇等の取得	柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進	人間関係が良好な職場づくり	研修の充実やキャリアアップの支援	介護ロボット・ICT機器の導入	能力や仕事ぶりを評価し、賃金に反映	管理者やリーダー層のマネジメント能力の向上支援	その他
業種	訪問系	47	63.8	70.2	68.1	53.2	51.1	10.6	38.3	27.7	0.0
	通所系	82	74.4	75.6	63.4	65.9	54.9	34.1	45.1	32.9	0.0
	居住・短期入所系	56	67.9	76.8	57.1	64.3	62.5	44.6	51.8	42.9	1.8
	施設系	26	57.7	69.2	53.8	65.4	65.4	73.1	65.4	61.5	3.8
	居宅介護支援	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
離職率	5%未満	42	69.0	76.2	64.3	57.1	52.4	33.3	42.9	33.3	2.4
	5～10%未満	31	74.2	77.4	61.3	74.2	64.5	38.7	45.2	45.2	3.2
	10～20%未満	58	69.0	77.6	67.2	70.7	65.5	44.8	58.6	46.6	0.0
	20%以上	50	52.0	70.0	50.0	58.0	58.0	40.0	44.0	30.0	0.0

単位：%

		n	特に取り組んでいない	無回答
業種	訪問系	47	2.1	10.6
	通所系	82	1.2	9.8
	居住・短期入所系	56	0.0	3.6
	施設系	26	3.8	11.5
	居宅介護支援	5	20.0	60.0
離職率	5%未満	42	2.4	9.5
	5～10%未満	31	0.0	0.0
	10～20%未満	58	3.4	5.2
	20%以上	50	2.0	14.0

【介護職員の定着に効果があること】

単位：%

		n	賃金水準の向上	時間外労働の削減、シフト推進の見直し、有給休暇等の取得	柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進	人間関係が良好な職場づくり	研修の充実やキャリアアップの支援	介護ロボット・ICT機器の導入	能力や仕事ぶりを評価し、賃金等に反映	管理者やリーダー層のマネジメント能力の向上支援	その他
業種	訪問系	47	25.5	25.5	29.8	25.5	12.8	10.6	21.3	17.0	0.0
	通所系	82	30.5	28.0	35.4	24.4	14.6	18.3	20.7	12.2	0.0
	居住・短期入所系	56	46.4	39.3	42.9	44.6	25.0	17.9	33.9	28.6	0.0
	施設系	26	53.8	46.2	34.6	53.8	26.9	30.8	30.8	30.8	0.0
	居宅介護支援	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
離職率	5%未満	42	26.2	23.8	31.0	26.2	11.9	19.0	14.3	9.5	0.0
	5～10%未満	31	45.2	41.9	32.3	35.5	19.4	19.4	32.3	12.9	0.0
	10～20%未満	58	37.9	41.4	41.4	43.1	22.4	22.4	32.8	25.9	0.0
	20%以上	50	42.0	32.0	42.0	30.0	22.0	20.0	30.0	30.0	0.0

単位：%

		n	特に取り組んでいない	無回答
業種	訪問系	47	0.0	51.1
	通所系	82	0.0	41.5
	居住・短期入所系	56	0.0	21.4
	施設系	26	0.0	15.4
	居宅介護支援	5	0.0	100.0
離職率	5%未満	42	0.0	42.9
	5～10%未満	31	0.0	25.8
	10～20%未満	58	0.0	31.0
	20%以上	50	0.0	28.0

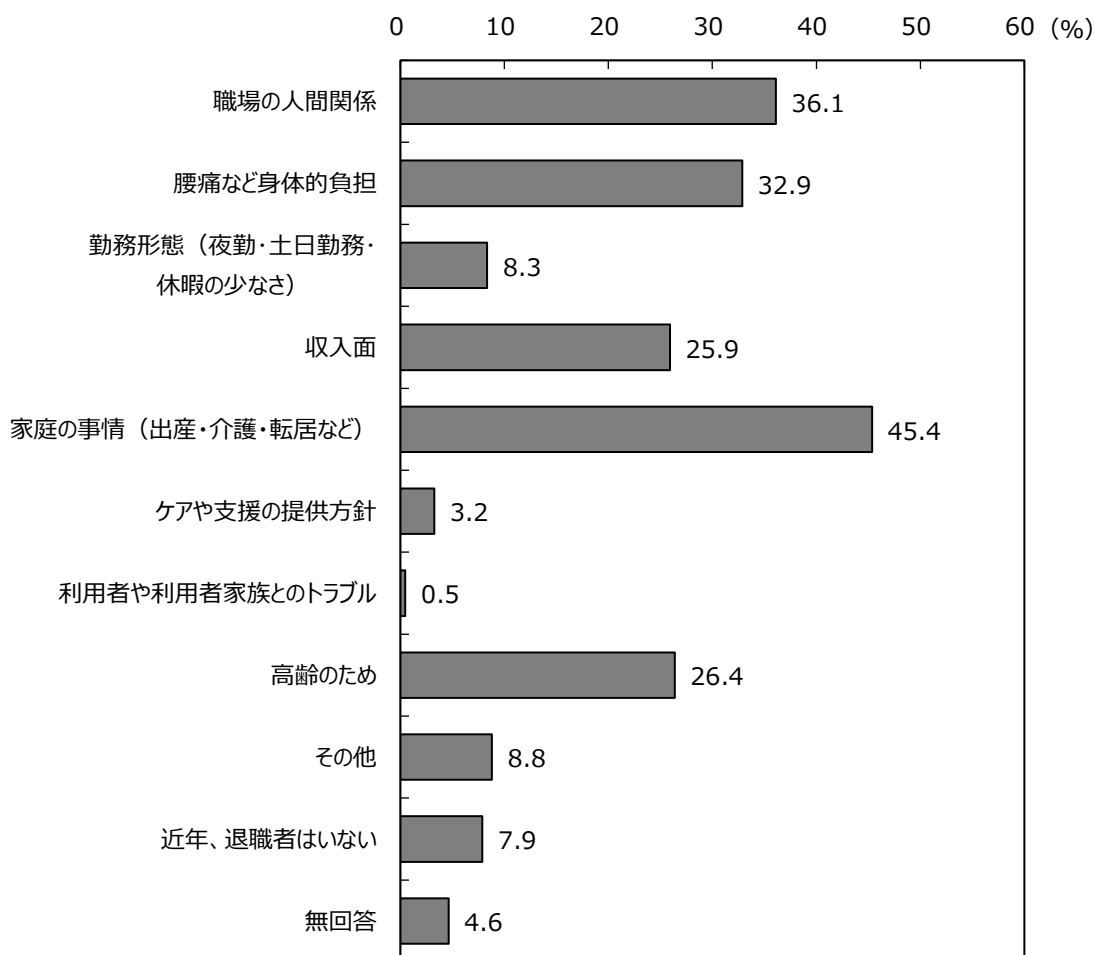
(5) 介護職員の離職事由

■ 貴事業所における介護職員の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。
 (○は3つまで)

介護職員配置の事業所 n=216

「家庭の事情（出産・介護・転居など）」が45.4%と最も高く、次いで「職場の人間関係」(36.1%)、「腰痛など身体的負担」(32.9%)、「高齢のため」(26.4%)、「収入面」(25.9%)の順に高くなっています。

業種別でみると、施設系で「職場の人間関係」「腰痛など身体的負担」「収入面」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	職場の人間関係	腰痛など身体的負担	勤務形態（夜勤・土日・勤務・休暇の少なさ）	収入面	家庭の事情（出産・介護・転居など）	ケアや支援の提供方針	の利用者や利用者家族とのトラブル	高齢のため	その他
業種	訪問系	47	34.0	40.4	2.1	25.5	40.4	2.1	0.0	34.0	10.6
	通所系	82	26.8	23.2	6.1	20.7	46.3	6.1	1.2	17.1	11.0
	居住・短期入所系	56	46.4	37.5	12.5	28.6	48.2	0.0	0.0	30.4	7.1
	施設系	26	53.8	46.2	19.2	42.3	53.8	3.8	0.0	38.5	3.8
	居宅介護支援	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
離職率	5%未満	42	31.0	33.3	2.4	23.8	54.8	2.4	0.0	21.4	4.8
	5～10%未満	31	38.7	45.2	3.2	35.5	54.8	0.0	0.0	25.8	3.2
	10～20%未満	58	41.4	36.2	10.3	29.3	50.0	3.4	0.0	34.5	6.9
	20%以上	50	48.0	30.0	18.0	22.0	50.0	2.0	0.0	26.0	10.0

単位：%

		n	近年、退職者はいない	無回答
業種	訪問系	47	6.4	4.3
	通所系	82	8.5	7.3
	居住・短期入所系	56	5.4	1.8
	施設系	26	0.0	0.0
	居宅介護支援	5	80.0	20.0
離職率	5%未満	42	19.0	2.4
	5～10%未満	31	3.2	3.2
	10～20%未満	58	0.0	1.7
	20%以上	50	0.0	6.0

(6) 介護職員の人数

■ 介護職員の人数を、ご記入ください。（数字を記入）

* 令和7年10月1日時点

* 前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

* 「うち外国人職員数」には、EPA、技能実習、特定技能、在留資格「介護」により勤務している人数をご記入ください。

介護職員数（推計）について、総数は5,848人で、うち常勤職員が2,808人、非常勤職員が2,755人です。

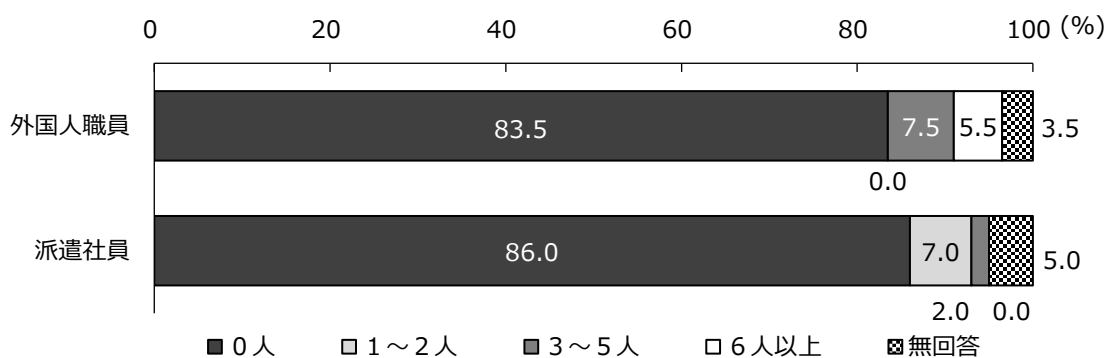
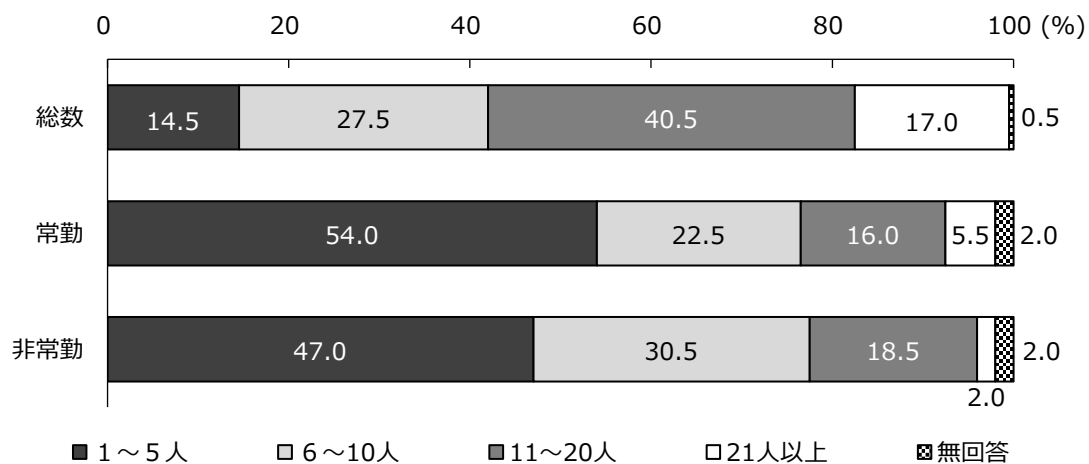
事業所別では「11～20人」が40.5%と最も高く、次いで「6～10人」が27.5%となっています。また、外国人職員が勤務する事業所は13.0%、派遣社員は9.0%となっています。

	推計人数*	(合計人数)
総数	5,848人	2,972人 (n=199)
常勤職員	2,808人	1,426人 (n=196)
非常勤職員	2,755人	1,399人 (n=196)
内訳不明	285人	147人 (n=199)
外国人職員	265人	162人 (n=193)
派遣職員	54人	33人 (n=190)

*回答人数を基に、回答率が100%であった場合を推計しています（回答率は、nをアンケート配布した事業所386（居宅・軽費・有料・サ高住を除く）で除した値）。

*nは介護職員配置の事業所（居宅・軽費・有料・サ高住除く）の回答数

【事業所別の職員数】

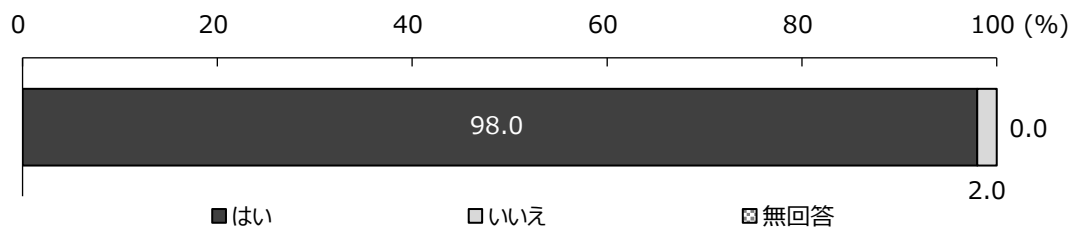


(7) 開設期間

■ 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(1つに○)

介護職員配置の事業所（居宅・軽費・有料・サ高住除く） n=200

「はい」が98.0%、「いいえ」が2.0%となっています。



(8) 介護職員の採用者数・離職者数

■ 過去1年間の「介護」職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。(数字を記入)

*令和6年10月1日～令和7年9月30日の1年間

*外国人職員(すべての在留資格)も含めてご回答ください。

令和6年10月1日～令和7年9月30日の採用者数は384人、離職者数は384人、離職率は13.0%となっています。

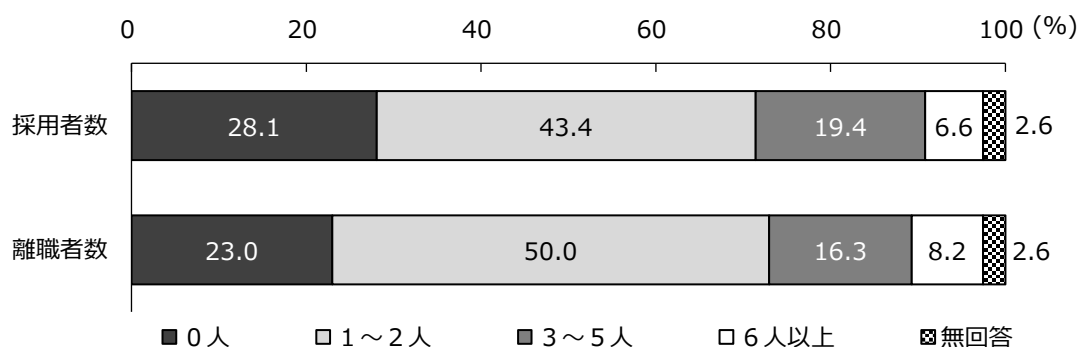
事業所別にみると、採用者数は「1～2人」(43.4%)、離職者数は「1～2人」(50.0%)、離職率は「10～20%未満」(32.8%)が最も高くなっています。

【回答データ(開設から1年以上の事業所対象、無回答を除く、n=191)】

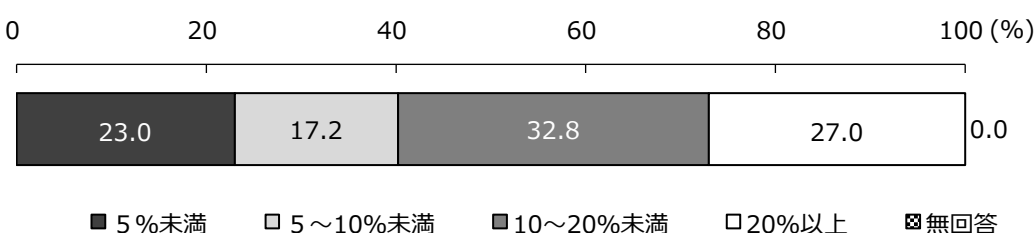
	介護職員数 (令和6年試算)	採用者数	離職者数	離職率
総数	2,943人	384人	384人	13.0%
常勤職員	1,406人	183人	178人	12.7%
非常勤職員	1,390人	201人	206人	14.8%
内訳不明	147人	-	-	-

*介護職員数は、令和7年10月1日時点の開設から1年以上の事業所の介護職員数から採用者数を加え、離職者数を減じて算出

【事業所別の採用者数・離職者数(開設から1年以上の事業所対象、n=196)】



【事業所別の離職率* (n=174)】



*事業所別の集計は、介護職員数が5人以上で、各年の従業員数、離職者数のデータが全てそろった事業者を対象にしています。

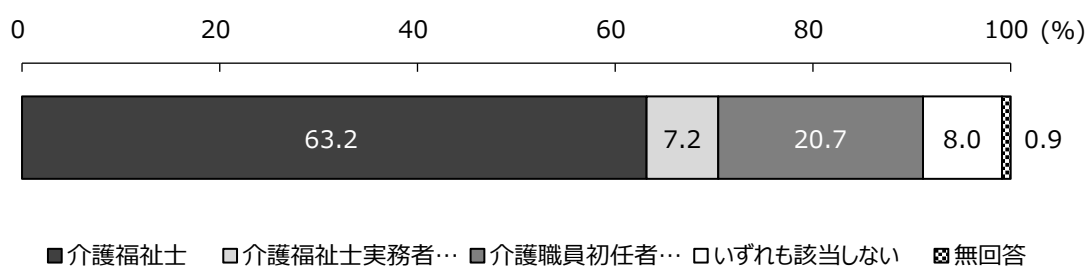
5 介護人材の状況について

■ 貴事業所に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

（1）資格の取得、研修の修了状況

n=2,414

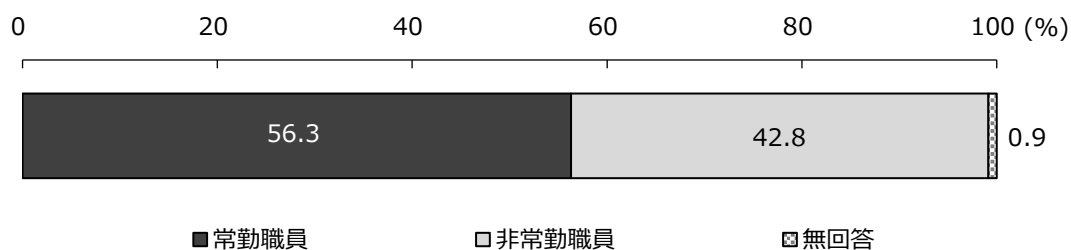
「介護福祉士」が 63.2%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了等」が 20.7%となっています。



（2）雇用形態

n=2,414

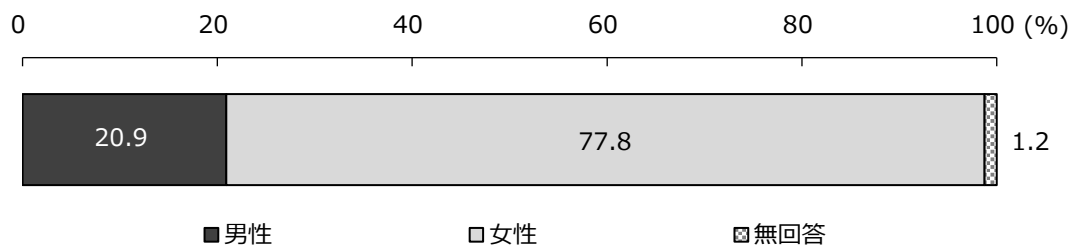
「常勤職員」が 56.3%、「非常勤職員」が 42.8%となっています。



（3）性別

n=2,414

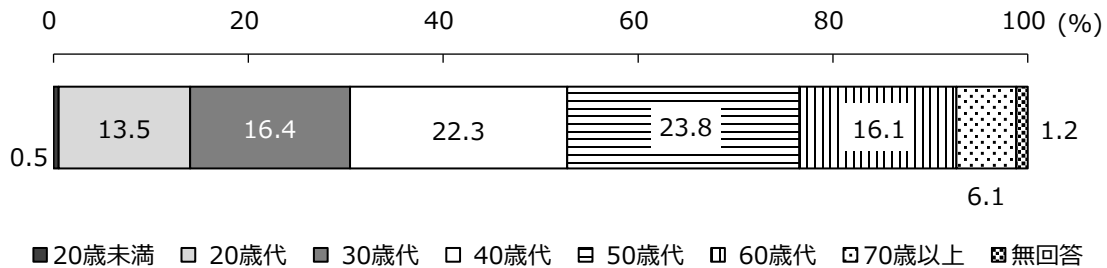
「女性」が 77.8%、「男性」が 20.9%となっています。



(4) 年齢

n=2,414

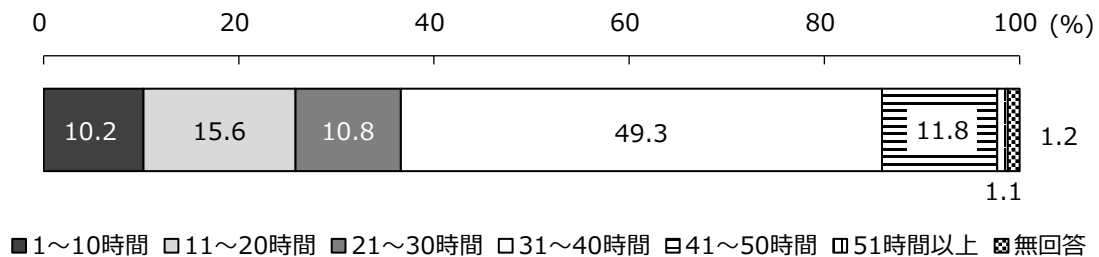
「50歳代」(23.8%)、「40歳代」(22.3%)の割合が比較的高くなっています。



(5) 過去1週間の勤務時間

n=2,414

「31~40時間」が49.3%と最も高く、次いで「11~20時間」が15.6%となっています。



(6) 現在の事業所での勤務年数

n=2,414

「1年以上」が84.8%、「1年未満」が11.1%となっています。

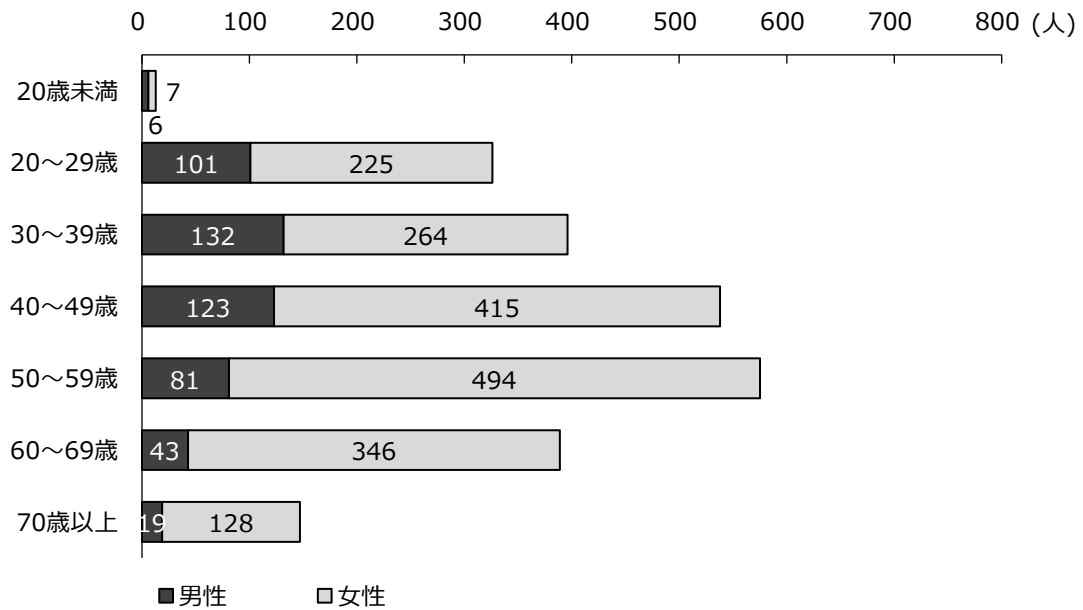


(7) 介護職員数

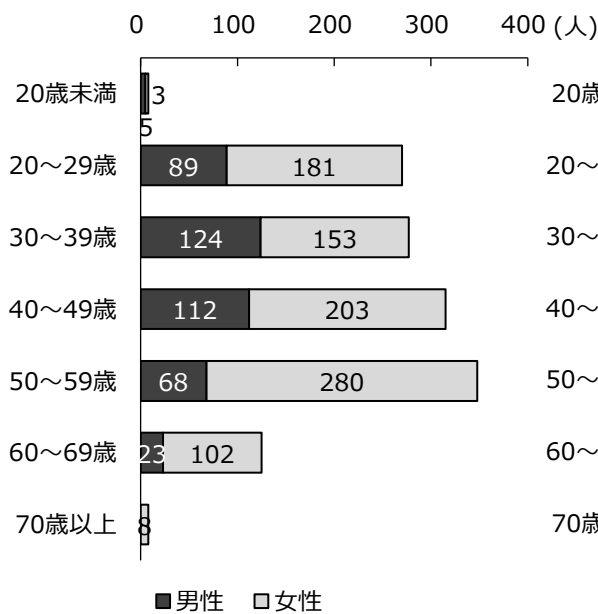
n=2,414

性年齢別で見ると、50～59歳が最も多く、次いで40～49歳となっています。男性のほとんどは常勤で、非常勤は40～69歳の女性が特に多くなっています。

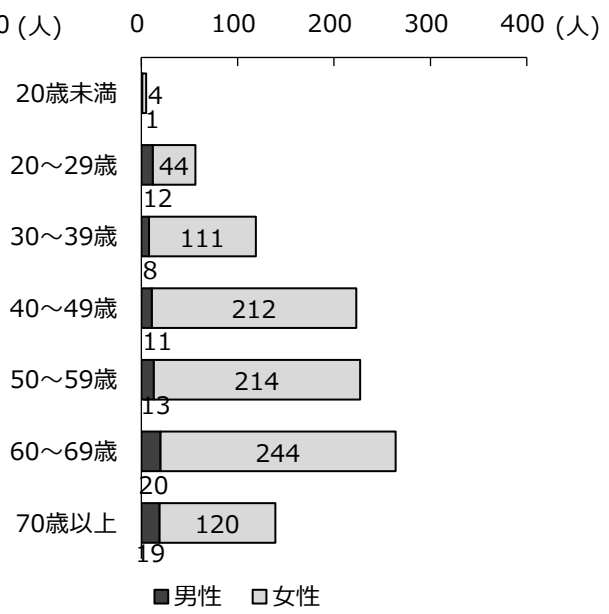
【性年齢別の介護職員数】



(常勤)

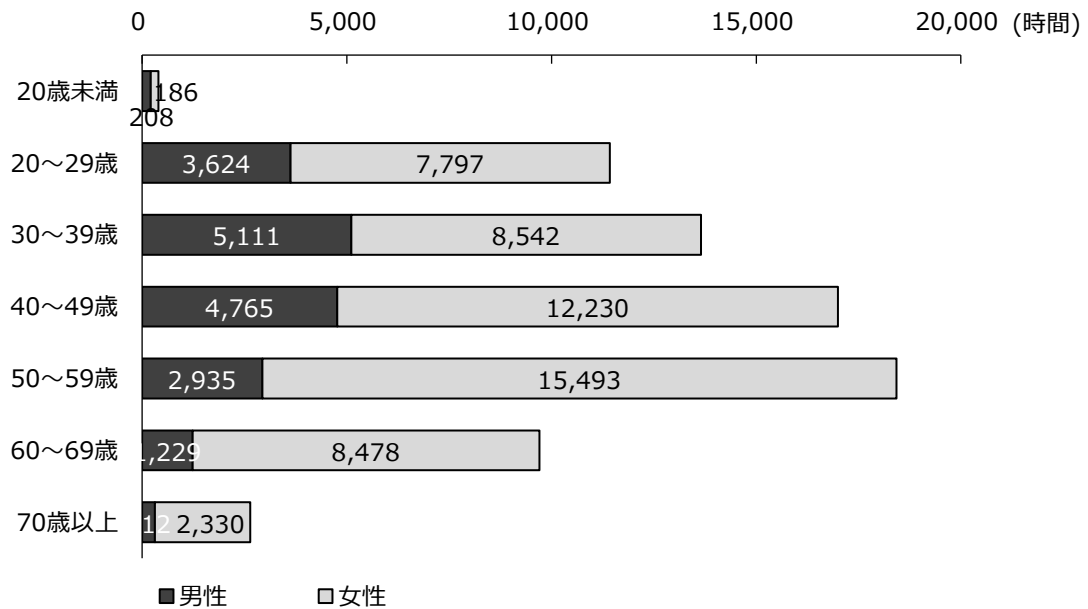


(非常勤)

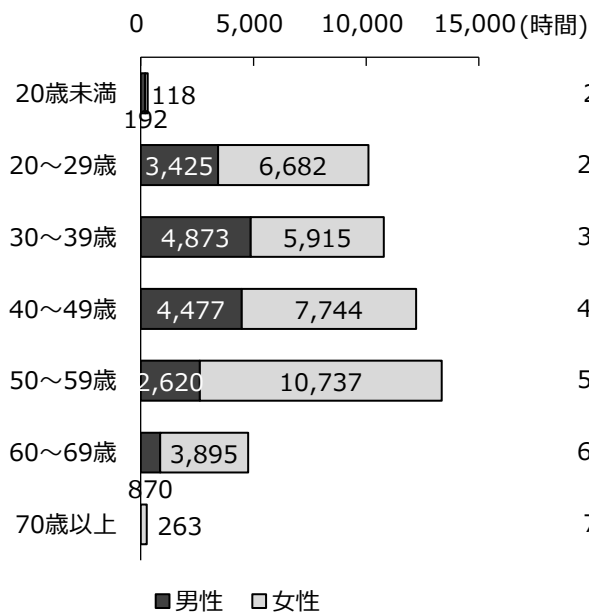


1週間の勤務時間も、性年齢別と同様の傾向となっています。常勤と非常勤を比べると、常勤の割合が高くなっています。

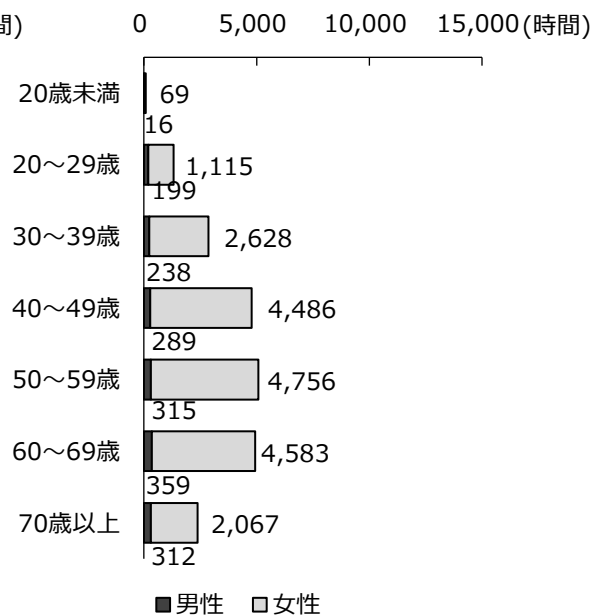
【性年齢別の1週間の勤務時間】



(常勤)

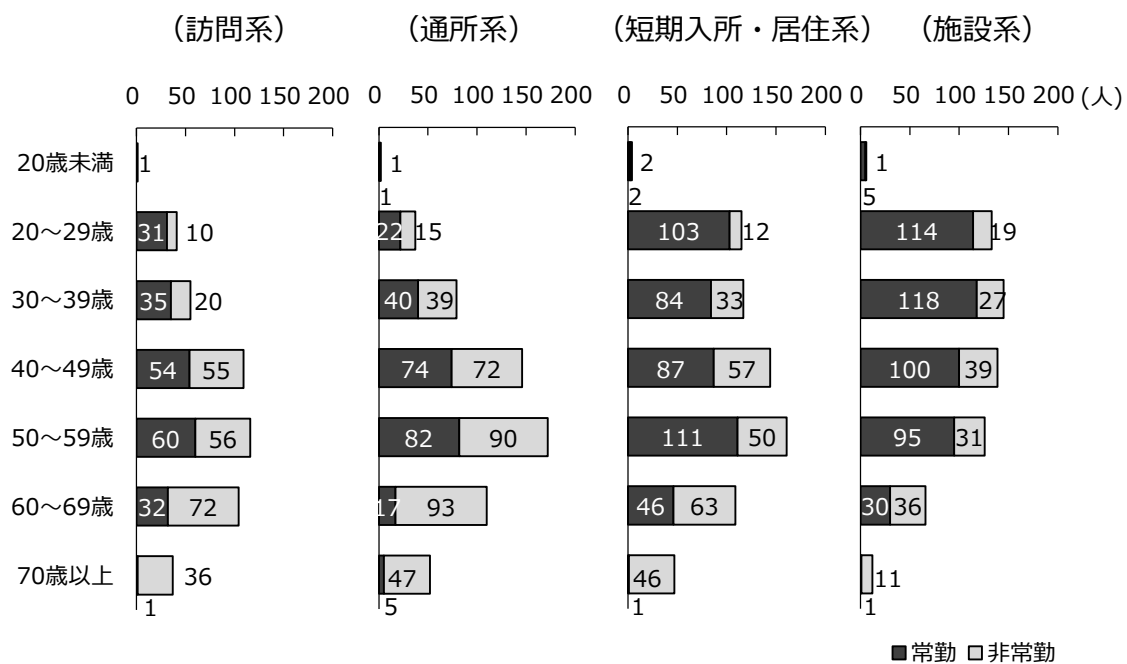


(非常勤)



業種別でみると、訪問系・通所系は40～59歳の非常勤が比較的多く、短期入所・居住系・施設系は常勤職員の割合が高くなっています。

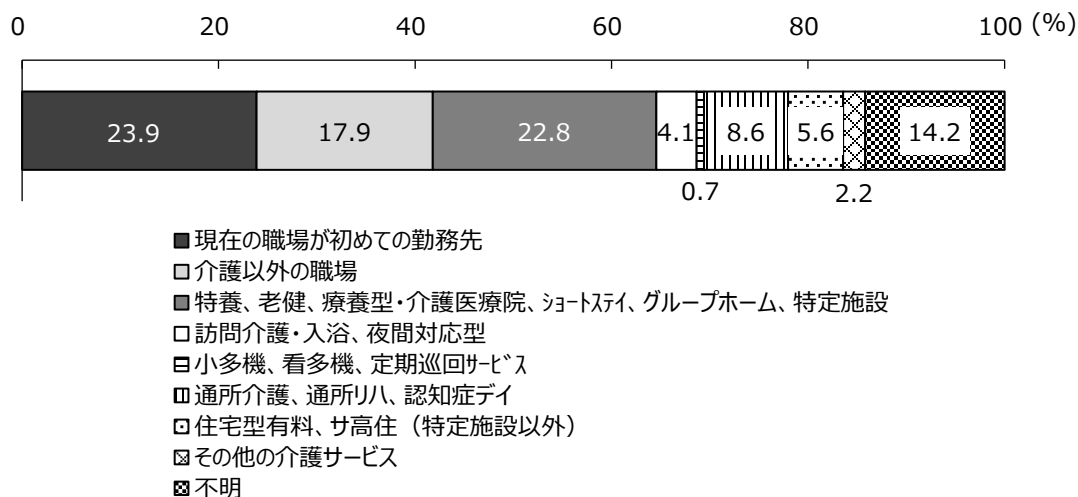
【業種別介護職員数】



(8) 現在の施設等に勤務する直前の職場

現在の職場が1年未満の職員 n=268

「現在の職場が初めての勤務先」が23.9%と最も高く、次いで「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」(22.8%)、「介護以外の職場」(17.9%)の順に高くなっています。



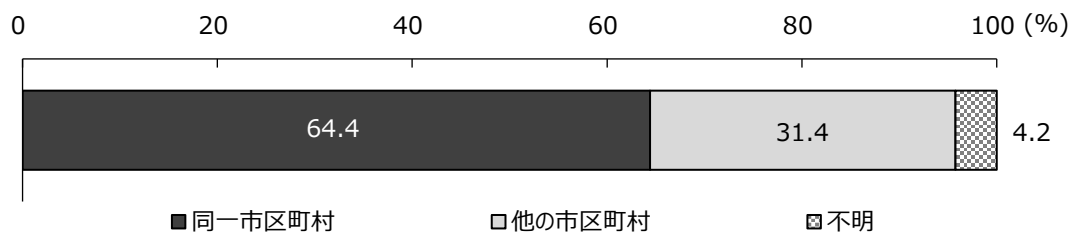
【直前の職場（人数ベース）】

現在の職場が初めて	64人
介護以外の職場	48人
別法人・グループ	91人
同一法人・グループ	20人
不明・無回答	45人

①直前の職場（場所）

介護関連の職場から転勤（1年以内） n=118

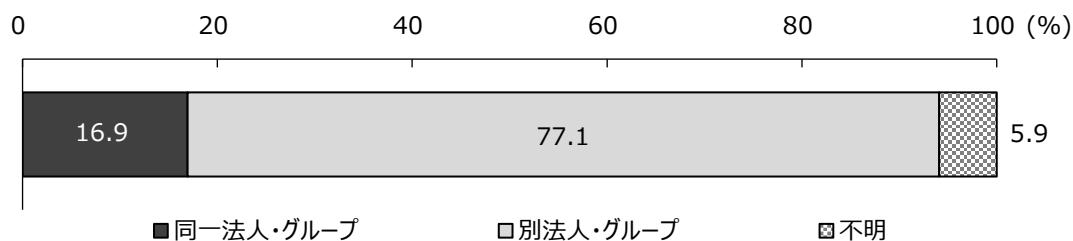
「同一市区町村」が64.4%、「他の市区町村」が31.4%となっています。



②直前の職場（法人）

介護関連の職場から転勤（1年以内） n=118

「別法人・グループ」が77.1%、「同一法人・グループ」が16.9%となっています。



各項目で該当する数字に○をつけてください。

問1	あなたのご家族や生活状況について
(1)	調査票を記入されたのはどなたですか
1.	宛名のご本人が記入
2.	ご家族が記入
3.	その他
(2)	家族構成をお教えください
1.	1人暮らし
2.	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3.	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4.	息子・娘との2世帯
5.	その他
(3)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか
1.	介護・介助は必要ない
2.	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3.	現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
(4)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか
1.	大変苦しい
2.	やや苦しい
3.	ふつう
4.	ややゆとりがある
5.	大変ゆとりがある

問2	からだを動かすことについて
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
1.	できるし、している
2.	できるけどしていない
3.	できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
1.	できるし、している
2.	できるけどしていない
3.	できない

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市 福祉部 介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

豊田市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「(仮称)第2期豊田市認知症施策推進計画」の策定を令和8年度に行う予定です。

この計画の策定に当たり、市民の方々に生活の様子や介護に関する考え方などについてアンケートを実施させていただくこととしました。

この調査は、主に、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。また、広く高齢者保健福祉・介護保険事業の推進に活用させていただきます。回答はすべて統計的に処理しますが、国や市が管理するデータベース等に情報を登録し、個人が識別されない形で公表する場合があります。

大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

豊田市長 太田 稔彦

<提出方法> 次のいずれか1つの方法で、**10月27日(月)**までにご回答ください。

封筒の宛名のご本人がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご本人の意思を尊重してご家族の方などが代わってご回答いただくようお願いいたします。

①紙の調査票で回答

ご記入後、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函する。(切手不要)



②Webで回答

右側の2次元コード(又は下記URL)からアンケートフォームに接続し、回答する。

URL (<https://questant.jp/q/koureitoyo65>)

調査票の右上に記載の「アルファベット+4桁の数字(例:A1234)」を最初に入力してください。

【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画推進担当

電話：0565-34-6634

※このアンケートは、8月末時点で、市内にお住まいの方のうち、65歳以上で要支援や要介護認定等を受けられていない方、及び、要支援認定を受けた方や総合事業の対象者の方の中から約5,000人を無作為に選ばせていただいております。それ以降に市外転出された方などにもアンケートが届く可能性があります。が、その場合は回答不要です。

高齢者-1

高齢者-2

問3 15分位寝て歩いていますか	
1. できるし、している	2. できるだけしていない 3. できない
問4 過去1年間に転んだ経験がありますか	
1. 何度もある	2. 1度ある 3. ない
問5 転倒に対する不安は大きいですか	
1. とても不安である	2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
問6 週に1回以上は外出していますか	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
問8 外出を控えていますか	
1. はい	2. いいえ
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】	
問9 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)	
1. 病気	2. 障害 <small>(しょうがい、のきそくめつ、こういしりょう)</small> (脳卒中 <small>(のうそちゅう)</small> の後遺症 <small>(こういしりょう)</small> など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ()

問3 食べることについて	
(1) 身長・体重	
身長 <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
1. はい	2. いいえ
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
(4) どなたかと食事とともにする機会はありますか	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない

問4 毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか	
1. はい	2. いいえ
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	
1. できるし、している	2. できるだけしていない 3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	
1. できるし、している	2. できるだけしていない 3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか	
1. できるし、している	2. できるだけしていない 3. できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) あなたは、どのようなことを生きがいや楽しみにしていきたいとお考えですか (〇は3つまで)		
1. 仕事・生きがい・就労 (賃金や地位ではなく、生きがい重視した就労)	2. 自治区・高齢者クラブ・ボランティアなどの地域活動	
3. スポーツや運動	4. 旅行や娯楽などの外出	
5. 散歩や買い物などの近所への外出	6. 趣味・文化活動	
7. 家族や孫との交流	8. 友人や知人との交流	
9. テレビやラジオの視聴・聴取	10. 食事	
11. その他 ()	12. 特になし	
(8) あなたは、インターネットを何に利用していますか (いくつでも) *スマートフォンでの利用も含みます		
1. 家族との連絡	2. SNS (Instagram, X, Facebook 等)	
3. 動画の視聴 (You Tube, Netflix 等)	4. 情報収集	
5. 買い物	6. オンラインゲーム	
7. ネットバンキング・オンライン決済	8. 民間サービスの予約 (飲食店や宿泊施設の予約、保険の申込み等)	
9. 公共サービスの予約		
10. 利用したい気持ちはあるが利用方法がわからない・利用に不安がある		
11. 利用する必要を感じない		

(9) インターネット利用にあたってどのようなことが不安ですか (いくつでも)	
1. 機器の使い方がわからない	2. インターネット上のサービスの利用方法がわからない
3. 用語がわからない	4. 商品やサービス利用でお金を使いすぎる
5. 詐欺被害等、信頼できるサイトが判断できない	6. 個人情報の漏えい
7. インターネット上で交流する相手とのトラブル	8. 機器の購入費用や月額費用
9. 困ったときに助けってもらえない人がいない	10. 不安はない

問5 地域での活動について					
(1) 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか ※①から⑧までのそれぞれについて、最も近い番号にひとつずつ〇をつけてください					
① ボランティアのグループ					
週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ					
週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ					
週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル					
週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6
⑤ 地域ふれあいサロン・元氣アップ教室など介護予防のための通いの場					
週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6

⑥ 高齢者クラブ

週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6

⑦ 町内会・自治区

週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6

⑧ 収入のある仕事

週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6

【(1)の①から⑥までのすべての質問で、「5年に数回」または「6に参加していない」のいずれかのみを回答した方におたずねします】

(2) 会・グループ等にあまり参加していない理由をお聞かせください (○は3つまで)

1. 興味がない	2. なんとなく参加していない
3. いろいろな人が集まる場所は苦手である	4. きっかけがない
5. 家事・介護で忙しい	6. 交通手段がない・距離が遠い
7. 病気や障がいのため、参加が難しい	8. 会・グループ等の情報を知らない
9. その他 ()	

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきまきた地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきまきた地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

(5) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

1. 職に就いたことがない	2. 引退した
3. 常勤 (フルタイム)	4. 非常勤 (パート・アルバイト等)
5. 自営業	6. 求職中
7. その他	

【(5)において「2.引退した」の方のみ】

(6) あなたはいつ引退しましたか

1. 昭和 () 年
2. 平成 () 年
3. 令和 () 年

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (いくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (いくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか
 (「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、○をつけてください)

とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか

1. ほほ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
 4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)
 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
 11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気
 14. うつ病 15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 ()

(3) あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他 () 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他 () 8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)

1. 自治区・町内会 2. 高齢者クラブ 3. 社会福祉協議会 4. 民生委員
 5. ケアマネジャー 6. 医師・歯科医師・看護師
 7. 地域包括支援センター・市役所・支所 8. その他
 9. そのような人はいない

(6) 1週間に、知人・友人・近所の人 (家族以外) とどのくらい話しますか (○は1つ)

1. ほとんど会話しな
 2. 週に1日
 3. 週に2～4日
 4. 週に5日以上

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか
1. はい 2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか
1. はい 2. いいえ
(3) 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか (○は3つまで)
1. 住民の理解を深める 2. 企業の理解を深める 3. 認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める 4. 認知症の人が仕事や趣味を続けたり、社会参加をしやすくする 5. 認知症カフェなど集いやすい機会をつくる 6. 相談しやすく適切な助言を受けられる体制をつくる 7. 見守りや生活の支援など、住民による助け合い活動を広げる 8. 適切な対応ができるお店の人や公共サービスの職員を増やす 9. 認知症の人が利用しやすい案内・デザイン等を充実させる 10. 認知症の人や家族の経験や意見を聴き、施策に反映する

問9 住まいや医療・看護について
(1) あなたは、在宅療養について知っていますか (○は1つ)
※在宅療養とは、住み慣れた自宅等で、訪問診療や訪問看護、訪問介護などの様々な医療・介護サービスを受けながら日常生活を送ることです
1. 在宅療養の内容がある程度知っている 2. 在宅療養の言葉だけは聞いたことがある
3. 知らない
(2) あなたは、万一、病氣(長期療養や看取り段階)などを抱えたことを想定して、今後の生活等について考えたり、子どもや家族等と話し合っていますか (○は1つ)
1. 話し合って記録に残している 2. 話し合いはしている
3. 考えているが話し合いはしていない 4. 考えていない
(3) あなたは、万一、病氣(長期療養や看取り段階)などを抱えたことを想定して、人生の最期はどのように迎えたいと考えますか (○は1つ)
1. あなたの家、ご家族の家 2. 施設やサービス付き高齢者向け住宅等
3. 病院
(4) あなたのお住まいの地域で、高齢者の介護や福祉の相談窓口(地域包括支援センター※)をご存知ですか (○は1つ)
※地域包括支援センターでは、高齢者の生活や介護に関する各種相談や権利擁護の相談、要支援者等の介護予防ケアマネジメントなどを行っています(市内28か所)
1. 利用したことがある
2. 利用したことはないが、所在地や連絡先を知っている
3. 聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない
4. 知らない

問 10 日常生活の自立・回復について		
<p>(1) 老化などで心身が弱ってきたときに、再び自立した生活に戻るための短期的なサービス※を受けたいと思いますか (○は1つ)</p> <p>※ここでいう短期的なサービスとは、3か月程度、専門職と対話をしながら、それぞれの状況に応じた介護予防サービス等を受けたり、日常生活できるリハビリテーションを学ぶ機会のことです。</p>		
1. ぜひ受けたい	2. 条件によっては受けたい	3. 受けたくない
<p>(2) そのような短期的なサービスを受ける際に、どのようなことが気になりますか (○は3つまで)</p>		
1. 自宅または自宅から近い場所で受けられるか	2. 送迎をしてもらえるか	
3. 料金が高くないか	4. 日常的に続けることが大変でないか	
5. 自分に合った方法で受けられるか	6. 終わった後、困ったときに相談することができるか	
7. その他 ()		

<p>(2) 介護保険料は、市全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか (○は1つ)</p>		
1. 高齢化が進んでサービス利用者が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない	2. 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くはないでほしい	
<p>(3) あなたは、成年後見制度※をご存知ですか (○は1つ)</p> <p>※成年後見制度：認知症や知的・精神障がいにより判断能力が不十分な方に対し、家庭裁判所から選任された人が、本人の意思決定支援や金銭管理を行う制度です</p>		
1. 制度の内容を知っている	2. 名前は聞いたことがあるが内容は分からない	3. 聞いたことがない

問 11 地域の資源について				
<p>(1) あなたのお住まいの地域について、どのようにお考えですか</p> <p>※①から③までのそれぞれについて、最も近い番号にひとつずつ○をつけてください</p>				
① 高齢者が集い、会話や健康体操をする機会がある				
そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5
② 高齢者が困ったときには、手助けをする風土や制度がある				
そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5
③ 認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる				
そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5

問 1 2 あなたのことについて				
(1) 性別				
1. 男性	2. 女性			
(2) 年齢				
1. 65～69 歳	2. 70～74 歳	3. 75～79 歳		
4. 80～84 歳	5. 85～89 歳	6. 90～94 歳		
7. 95～99 歳	8. 100 歳以上			
(3) 要介護状態区分				
1. 特に要支援や要介護認定等を受けていない（下記 2～4 以外の一般高齢者）				
2. 要支援 1				
3. 要支援 2				
4. 事業対象者（介護予防・日常生活支援総合事業対象者（要支援認定者を除く））				
(4) 中学校区				
1. 逢妻	2. 旭	3. 朝日丘	4. 足助	5. 井郷
6. 石野	7. 稲武	8. 梅坪台	9. 小原	10. 上郷
11. 猿投	12. 猿投台	13. 下山	14. 浄水	15. 未野原
16. 崇化館	17. 高岡	18. 高橋	19. 藤岡	20. 藤岡南
21. 豊南	22. 保見	23. 前林	24. 益高	25. 松平
26. 美里	27. 竜神	28. 若園	29. わからない（町名）	
(5) あなたに介護が必要になった時に、主として介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか				
1. 同居している、隣近所	2. 車で 10 分以内の所			
3. 車で 10～30 分以内の所	4. 日帰りで帰れる所			
5. 遠方で日帰りは難しい所	6. 介護や援助を期待できる人はいない			

■■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■■■■

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性
2. 女性

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

1. 65歳未満
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80～84歳
6. 85～89歳
7. 90歳以上

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護5
6. わからない

問6 ご本人のお住まいについて、ご回答ください（1つを選択）

1. 一戸建て
2. 共同住宅（マンション・アパート）
3. サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム
4. その他（ ）

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市 福祉部 介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
豊田市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「（仮称）第2期豊田市認知症施策推進計画」の策定を令和8年度に行う予定です。

この計画の策定に当たり、市民の方々に生活の様子や介護に関する考え方などについてアンケートを実施させていただくこととしました。

この調査は、広く高齢者保健福祉・介護保険事業の推進に活用させていただきます。なお、回答はすべて統計的に処理しますが、国や市が管理するデータベース等に情報を登録し、個人が識別されない形で公表する場合があります。

大変お手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月 豊田市長 太田 稔彦

<ご記入に当たってのお願い>

- アンケートには、**A票は封筒の宛名ご本人、B票は主な介護者**がお答えください。アンケート調査票のうち、A票については、ご本人が記入できない場合は、ご本人の意思を尊重して代わってご家族の方などがご回答いただくようお願いいたします。
- このアンケートは、市内にお住まいの要介護認定を受けられた方の中から約2,000人を無作為に選ばせていただいております。
- ご記入後、**同封の返信用封筒に入れ10月27日（月）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。**

【お問合せ先】 豊田市 福祉部 介護保険課 計画推進担当
電 話：0565-34-6634

※このアンケートは、8月末時点で対象の方を無作為に選ばせていただいております。それ以降に市外転出された方などにもアンケートが届く可能性があります。その場合は回答不要です。

問7 ご本人のお住まいは、どちらの中学校区ですか。わからない場合は、町名を書いてください
(1つを選択)

- | | | | | |
|---------|---------|--------|---------------|---------|
| 1. 逢妻 | 2. 旭 | 3. 朝日丘 | 4. 足助 | 5. 井郷 |
| 6. 石野 | 7. 稲武 | 8. 梅平台 | 9. 小原 | 10. 上郷 |
| 11. 猿投 | 12. 猿投台 | 13. 下山 | 14. 浄水 | 15. 末野原 |
| 16. 崇化館 | 17. 高岡 | 18. 高橋 | 19. 藤岡 | 20. 藤岡南 |
| 21. 豊南 | 22. 保見 | 23. 前林 | 24. 益富 | 25. 松平 |
| 26. 美里 | 27. 竜神 | 28. 若園 | 29. わからない(町名) |) |

問8 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他() |
| 15. なし | 16. わからない |

問9 日中の時間帯において、介護を頼める人(家族、ヘルパーなど)が、そばにいないことが、どのくらいありますか(1つを選択)

※同居者がいる場合でも、介護を行うことができない場合は、そばにいないとは考えません。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 日中おおむねそばにいる |
| 2. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に1～2日ある |
| 3. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に3～4日ある |
| 4. 日中4時間以上そばにいない時間帯が、週に5日以上ある |

問10 介護サービス事業所側の業務多忙・人手不足を理由に、利用回数を減らされたり、使えなかつたサービスはありますか(複数選択可)

- | |
|--|
| 1. 特になし |
| 2. 訪問介護 |
| 3. 訪問リハビリテーション |
| 4. 訪問看護 |
| 5. 通所介護(デイサービス) |
| 6. 通所リハビリテーション(デイケア) |
| 7. ショートステイ |
| 8. 通い泊まり・訪問サービスを組み合わせた定額のサービス(小規模多機能型居宅介護など) |

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 特になし | |

問 1 3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	4. その他（ ）

問 1 4 ご本人やご家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか（○は3つまで）

1. 食べること（の介護）が難しくなったとき
2. 排せつ（の介護）が難しくなったとき
3. 室内の移動（の介護）が難しくなったとき
4. 複雑な医療の処置が必要になったとき
5. 認知症等による問題行動が多くなったとき
6. 夜間の介護負担が大きくなったとき
7. （介護者が別居の場合）介護者の通いの負担が大きくなったとき

問 1 5 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組みが必要かあると思いませんか（○は3つまで）

1. 住民の理解を深める
2. 企業の理解を深める
3. 認知症の予防や早期発見・早期対応の取組を進める
4. 認知症の人が仕事や趣味を続けたり、社会参加をしやすいとする
5. 認知症カフェなど集いやすい機会をつくる
6. 相談しやすい適切な助言を受けられる体制をつくる
7. 見守りや生活の支援など、住民による助け合い活動を広げる
8. 適切な対応ができるお店の人や公共サービスの職員を増やす
9. 認知症の人が利用しやすい案内・デザイン等を充実させる
10. 認知症の人や家族の経験や意見を聴き、施策に反映する

問 1 6 あなたは、成年後見制度※をご存知ですか（1つを選択）

※成年後見制度：認知症や知的・精神障がいにより判断能力が不十分となった方に対し、家庭裁判所から選任された人が、本人の意思決定支援や金銭管理を行う制度です。

1. 制度の内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は分からない
3. 聞いたことがない

問 1 7 あなたのお住まいの地域について、どのようにお考えですか

※①から④までのそれぞれについて、最も近い番号に1つずつ○をつけてください。

① 必要な介護保険サービスを受けられることができる

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5

② 高齢者が集い、会話や健康体操をする機会がある

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5

③ 高齢者が困ったときには、手助けをする風土や制度がある

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5

④ 認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる

そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
1	2	3	4	5

問 1 8 介護保険料は、市全体のサービスの利用量に比例して決まります。現在のサービス水準を維持していくと、高齢化の進展により保険料の上昇が今後も見込まれています。あなたの考えは次のどれに近いですか（1つを選択）

1. 高齢化が進んでサービス利用が増えるので、現在のサービス水準を維持するためには保険料負担の増加はやむをえない
2. 施設やサービスを抑え現在のサービス水準を下げても、保険料は高くはないでほしい

問19 令和7年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

1. 利用した ⇒ 問20・問21へ
2. 利用していない ⇒ 問21へ

問19で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

問20 以下の介護保険サービスについて、令和7年9月の1か月間の利用状況をご回答ください(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例) サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
E. 通所介護 (デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回 以上

	利用の有無(それぞれ1つに○)	
G. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
H. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない	月1~7日 程度	月8~14日 程度	月15~21日 程度	月22日 以上
J. ショートステイ	0回	1~7日	8~14日	15~21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
K. 居宅療養管理指導	0回	1回	2日	3回	4回

問21 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない	→ 調査は終了です
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	
3. 週に1~2日ある	
4. 週に3~4日ある	
5. ほぼ毎日ある	

B票へ進んでください

- A票の問2.1で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他（ ） |

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問4 主にご本人を介護や援助している家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか（1つを選択）

- | |
|---------------------|
| 1. 同居している、隣近所 |
| 2. 車などで10分以内の所 |
| 3. 車などで10～30分以内の所 |
| 4. 日帰りで帰れる所 |
| 5. 遠方で日帰りは難しい所 |
| 6. 介護や援助を期待できる人はいない |

問5 主にご本人を介護や援助をしている方は、どのくらい介護を続けていますか（1つを選択）

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 | 3. 1年～3年未満 |
| 4. 3年～5年未満 | 5. 5年～10年未満 | 6. 10年以上 |

問6 主にご本人を介護している方の健康状態はいかがですか（1つを選択）

- | |
|------------------------------------|
| 1. おおむね健康 |
| 2. 要支援・要介護の認定を受けていないが、健康上の問題を抱えている |
| 3. 要支援の認定を受けている |
| 4. 要介護の認定を受けている |

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3. 主な介護者が転職した |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない |
| 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（1～17のうち、3つまで選択可）

（身体介護）

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

（生活援助）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き | |

（その他）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特になし |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問9 ご本人（このアンケートの封筒の宛名のご本人）には、認知症の症状がありますか（1つを選択）

1. ある（重い） * 症状があり、常時の見守りや何らかの介護が必要
2. ある（軽い） * 症状はあるが、少しサポートすれば普段の生活が可能
3. 症状はない

問10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている	} 問11 および問12へ進んでください
2. パートタイムで働いている	
3. 働いていない	
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

調査は終了です

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問11 問10で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問12 問10で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市 福祉部 介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。
豊田市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「(仮称)第2期豊田市認知症施策推進計画」の策定を令和8年度に行う予定です。

この調査は、在宅生活をされている要介護者の実態や、必要な支援について把握することを目的として、実施いたします。ご回答内容は、広く高齢者保健福祉・介護保険事業の推進に活用させていただくほか、個人が識別されない形で公表する場合があります。

ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

豊田市長 太田 稔彦

【事業所票】（※1部のみ同封されています）

○各事業所の、管理者の方を対象とした調査票です。管理者の方はご回答をお願いします。

【利用者票（※A3）】（※3枚同封されています）

○各ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「(自宅等にお住まいの方)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についての調査票です。
○下記のフローにしたがって対象者を抽出し、対象となる利用者の方について「利用者票」にご回答をお願いします。本調査票は、ケアマネジャーの方がご回答ください。



(ウツタ) -1

＜ご回答に当たってのお願い＞

- 「事業所票」については、管理者の方にご回答をお願いしております。
 - 「利用者票」については、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方にご回答をお願いしております（非常勤の方も含まれます）。
 - 令和7年10月1日現在の内容でご回答ください。
 - 管理者の方は、回答済みの調査票すべてを、同封の返信用封筒にまとめて封入していただき、**同封の返信用封筒に入れ10月27日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)**。
- 【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画推進担当
電話：0565-346634

調査対象

豊田市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センター

調査委託先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究開発第2部（名古屋）
名古屋市中区錦 3-21-24 E-mail: nago_keikaku@murc.jp 担当：小澤、岩室

■個人情報等の扱いにつきまして

- ・お預かりする個人情報は、調査委託先である三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の「個人情報保護方針」(http://www.murc.jp/corporate/privacy)及び「個人情報の取り扱いについて」(http://www.murc.jp/privacy/)に従って適切に取り扱います。
- ・皆様からいただいたご回答は、統計的に処理しますので、個々の回答を公表することはございません。ご回答内容は本業務以外の目的で利用しません。
- ・お預かりしました個人情報は、集計作業のために預託することがあります。その際には十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって保護水準を守るように定め、適切に取り扱います。
- ・お預かりしました個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、調査委託先 (nago_keikaku@murc.jp) までお願い申し上げます。

(ウツタ) -2

【事業所票】

○各事業所の、管理者の方を対象とした調査票です。管理者の方はご回答をお願いします。

ご回答者の事業所について

問1 貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	

問2 法人等のタイプ (○は1つ)

1. 社会福祉法人 (社協を含む) 2. 医療法人
3. 営利法人 (株式会社・有会社等) 4. その他

問3 主な担当地区 (あてはまるものすべてに○)

1. 拳母 2. 高橋 3. 上郷 4. 高岡 5. 猿投
6. 松平・下山 7. 藤岡・小原 8. 足助・旭・稲武

問4 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	人
2) 「自宅等 (下記3) を除く」にお住まいの利用者数	人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	人

問5 貴事業所の利用者について、次の①から③まで教えてください。(それぞれ○は1つ)

①「介護保険サービス以外」(配食、生活支援等)の支援・サービスを利用している割合

* 延長料金や限度額以上の利用などは除きます。

1. 5割以上	2. 3～4割程度	3. 1～2割程度
4. ほとんどない		

② 地域住民の助け合いや見守り、ボランティア団体による支援などを利用している割合

1. 5割以上	2. 3～4割程度	3. 1～2割程度
4. ほとんどない		

③ ACP (アドバンス・ケア・プランニング) *に取り組んでいる利用者の割合

* 将来の変化に備え、本人の希望する将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、「繰り返し」話し合う取組

1. 7割以上	2. 5～6割程度	3. 3～4割程度
4. 1～2割程度	5. ほとんどない	

問6 在宅介護において、ケアプラン作成でのようなサービスや支援が特に不足していると感じますか。

(○は3つまで)

* 選択肢のサービスが不足していると感じていても、他のサービス等で代替できる場合は、不足してはいないとお考えください。

1. 訪問系の居宅サービス
2. 介助が可能な移送支援サービス
3. 通所系の居宅サービス
4. リエイブルメント (元の生活に戻る・状態の改善) の考え方に基づく支援
5. 住民が自ら運営する自主的な通いの場
6. 生活コーディネーターなどによる通いの場や趣味活動などへのコーディネート
7. 短期入所系のサービス
8. (介護) 小規模多機能や定期巡回、夜間対応など地域密着型サービス
9. 訪問診療・看護など在宅医療
10. 配食・宅配・家事等の生活支援サービス
11. コミ出し、見守りなど近所・地域の支援
12. 特に不足することはない

高齢者福祉等について

問7 貴事業所の要介護者の訪問介護の利用状況はいかがでしょうか。人数をご記入ください。

① 訪問介護を利用している人、利用が必要な人の合計

計	人
---	---

② ①のうち、訪問介護事業所側の業務多忙・人手不足を理由に訪問介護の利用回数を減らしている人・利用できない人

計	人
---	---

問8 ケアプランの PDCA をまわしていくことを通じて、介護保険サービス・介護保険サービス外にかかわらず、本人の社会参加*を実現することができていますか。(○は1つ)

* デイサービス利用者どうしの交流、近所や趣味等の付き合い、その他家族以外の人と接する機会

<ol style="list-style-type: none"> 十分に社会参加を実現できている ある程度、社会参加を実現できている あまり社会参加を実現できていない ほとんど社会参加を実現できていない

問9 ケアプランを作成するうえで、本人の社会参加について、特にどのような課題がありますか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 実現が難しく、目標(長期・短期)に挙げづらい 社会参加の目標について、関係職種との共有が不十分である 社会参加を目標としているが、サービス事業所の取組が不十分である 社会参加を実現するよりも、他の目標を優先すると限度額いっぱいになる 社会参加を実現するための、フォーマルなサービスが不足している 社会参加を実現するための、インフォーマルな支援が不足している 社会参加に関する本人や家族介護者の意欲が弱い 社会参加を実現するために、地域住民や商店などの理解が弱い 特になし

問10 ご本人や家族等が特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 食へること(の介護)が難しくなったとき 排せつ(の介護)が難しくなったとき 室内の移動(の介護)が難しくなったとき 複雑な医療の処置が必要になったとき 認知症等による問題行動が多くなったとき 夜間の介護負担が大きくなったとき (介護者が別居の場合)介護者の通いの負担が大きくなったとき 一人暮らしで、日常生活の見守りが必要になったとき
--

問11 認知症の人とその家族が安心して暮らせる社会をつくるために、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 住民の理解を深める 企業の理解を深める 認知症の予防や早期発見、早期対応の取組を進める 認知症の人が仕事や趣味を続けたり、社会参加をしやすくする 認知症カフェなど集いやすい機会をつくる 相談しやすく適切な助言を受けられる体制をつくる 見守りや生活の支援など、住民による助け合い活動を広げる 適切な対応ができるお店の人や公共サービスの職員を増やす 認知症の人が利用しやすい案内・デザイン等を充実させる 認知症の人や家族の経験や意見を聴き、施策に反映する
--

ここからは、貴事業所において、過去1年間の間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」についてお尋ねします。

問12 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。（人数を記入）

- ・入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。
- ・病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

①自宅等から、居場所を変更した利用者						②自宅等での死亡	合計★
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		
人	人	人	人	人	人	人	人

問13 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。（人数を記入）

- ・入院した後自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。
- ・搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。
- ・問12の合計（★）と、問13の合計（★）が一致することを確認ください。

行先	豊田市内	豊田市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	人	人
2) 住宅型有料老人ホーム	人	人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	人	人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	人	人
5) グループホーム	人	人
6) 特定施設	人	人
7) 地域密着型特定施設	人	人
8) 介護老人保健施設	人	人
9) 介護医療院	人	人
10) 特別養護老人ホーム	人	人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12) 病院・診療所 ※一時的な入院を除く	人	人
13) その他	人	人
14) 行先を把握していない		人
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む		人
合計★		人

合計人数が一致することを確認ください

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございます。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

令和7年10月27日（月）までに、郵便ポストへご投函ください。

「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。

例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、 「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

問1-1	問1-2	問1-3	問2-1	問2-2	問2-3	問2-4	問2-5	問2-6	問3-1	問3-2	問3-3	問3-4	問3-5
1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。	世帯類型 現在の居所	要支援・要介護度	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください (1) 本人の持病等に関する理由について、お答えください (2) 主に本人の意向等に関する理由について、お答えください (3) 主に家族等介護者の意向・負担等に関する理由について、お答えください	【問2-1で【3】を選択した場合】理由となる、具体的な「身体的な」理由をお答えください	【問2-1で【4】を選択した場合】理由となる、具体的な「認知的な」理由をお答えください	【問2-1で【15】を選択した場合】理由となる、具体的な「医療的ケア」に関する理由をお答えください	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。	【問3-1で選択したサービス利用の変更により、本来であればより適切と思われるサービスに変更することを希望する理由をお答えください。 ※実際にサービスがあるかにかかわらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。	【問3-2で【12】～【19】(※特養以外)を選択した場合】入所・入居を希望する理由をお答えください	【問3-2で【12】～【18】(※特養以外)を選択した場合】入所・入居を希望する理由をお答えください	【問3-2で【19】(※特養)を選択した場合】入所・入居を希望する理由をお答えください
番号1-1 選択記入	番号1-2 選択記入	番号1-3 選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	番号1-1 選択記入	番号1-2 選択記入	番号1-3 選択記入	番号1-4 選択記入	番号1-5 選択記入
1. 独居	1. 自宅等(持ち家)	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 該当なし	1. 見守り・付き添い	1. 家事に支障がある	1. 点滴の管理	1. より適切な「在宅サービス」に変更する(例:小多機能等)	<在宅サービス> 1. ショートステイ 2. 訪問介護、訪問入浴 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	1. 緊急性が強い	1. 申込 申込を希望する理由をお答えください	1. 申込 申込を希望する理由をお答えください
2. 夫婦のみ	2. 必要な生活支援の発生・増大	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	2. 一人での外出が困難	2. 移乗・移動	2. 一人での外出が困難	2. 中心静脈栄養	2. 「住まい・施設等」に変更する(例:サ高住への入居、特養への入所等)	2. 訪問介護、訪問入浴 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	2. 入所が望ましいが、上記は他サービスでも大丈夫	2. 申込済みだが、空きがない	2. 申込済みだが、空きがない
3. 単身の子どもとの同居	3. 必要な身体介護の増大 ⇒ 【問2-4】	3. 生活不安が大きいためから	3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから	3. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大	3. 薬の飲み忘れ	3. 食事摂取	3. 薬の飲み忘れ	4. ストーマの処置	3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する(例:定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等)	3. 看護小規模多機能 4. 訪問診療 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	3. その他	3. 申込済みだが、空きがあるが、希望の住まい・施設等に空きがない	3. 申込済みだが、空きがあるが、希望の住まい・施設等に空きがない
4. その他	4. サ高住	4. 居住環境が不便だから	4. 家族等の介護等技術では対応が困難	4. 家族等の介護等技術では対応が困難	4. 金銭管理が困難	4. 排泄(日中)	4. 金銭管理が困難	5. 酸素療法	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	4. 申込済みだが、医師処置がある	4. 申込済みだが、医師処置がある	4. 申込済みだが、医師処置がある
5. 軽費老人ホーム	5. 必要生活の高まり ⇒ 【問2-6】	5. 本人が介護者の負担を軽減を望むから	5. 費用負担が重いから	5. 費用負担が重いから	5. 意欲の低下	5. 排泄(夜間)	5. 意欲の低下	6. レスプレーター	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導	5. その他	5. その他	5. その他
6. 新規申請中	6. その他、本人の状態等の悪化	6. その他、本人の意向等があるから	6. 家族等の介護継続が困難になり始めたから	6. 家族等の介護継続が困難になり始めたから	6. 徘徊がある	6. 入浴	6. 徘徊がある	7. 気管切開の処置	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
7. 本人の状態等の改善	7. 本人の状態等の改善	7. 本人の意向等があるから	7. 本人と家族等の関係性に課題があるから	7. 本人と家族等の関係性に課題があるから	7. 暴言・暴力などがある	7. 更衣・整容	7. 暴言・暴力などがある	8. 疼痛の看護	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
8. 新規申請中					8. 強い介護拒否がある	8. その他	8. 強い介護拒否がある	9. 経管栄養	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
9. 新規申請中					9. 深夜の対応	9. 更衣・整容	9. 深夜の対応	10. モニター測定	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
10. 新規申請中					10. 近隣住民等とのトラブル	10. 更衣・整容	10. 近隣住民等とのトラブル	11. 褥瘡の処置	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
11. 新規申請中					11. その他	11. 更衣・整容	11. その他	12. カテーテル	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
12. 新規申請中						12. 更衣・整容		13. 喀痰吸引	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
13. 新規申請中						13. 更衣・整容		14. インスリン注射	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
14. 新規申請中						14. 更衣・整容		15. その他	4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
15. 新規申請中						15. 更衣・整容			4. 「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】	4. 看護小規模多機能 5. 訪問診療 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 10. 訪問診療 11. 居宅療養管理指導			
記入例	2	5	3, 4	3	2	5, 6	7		3	7, 17	2		2

豊田市高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市 福祉部 介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

豊田市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和8年度に行う予定です。

この調査は、住み慣れた施設等における生活の継続性について、その実態を把握することを目的として実施いたします。回答内容は、広く高齢者保健福祉・介護保険事業の推進に活用させていただくほか、調査対象施設が識別されない形で公表する場合があります。

ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

豊田市長 太田 稔彦

<ご回答に当たってのお願い>

- 管理者の方にご回答をお願いしております。
- 令和7年10月1日現在の内容でご回答ください。
- ご記入いただいた内容は、統計的に処理します。また、自由回答は調査対象施設が特定できないように留意して報告書にとりまとめます。
- **ご記入後、同封の返信用封筒に入れ10月27日(月)までに郵便ポストに投函してください**(切手は不要です)。

【お問合せ先】豊田市 福祉部 介護保険課 計画推進担当

電話：0565-34-6634

調査対象

- ・ 住宅型有料老人ホーム
- ・ 軽費老人ホーム
- ・ サービス付き高齢者向け住宅
- ・ グループホーム
- ・ 特定施設入居者生活介護
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 介護医療院
- ・ 特別養護老人ホーム(地域密着型含む)

調査委託先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究開発第2部(名古屋)
名古屋市中区錦 3-21-24 E-mail: nago_keikaku@murc.jp 担当: 小澤、岩室

■ 個人情報等の扱いにつきまして

- ・ お預かりする個人情報は、調査委託先である三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱の「個人情報保護方針」(<http://www.murc.jp/corporate/privacy>)及び「個人情報の取り扱いについて」(<http://www.murc.jp/privacy/>)に従って適切に取り扱います。
- ・ 皆様からいただいたご回答は、統計的に処理します。また、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはございません。
- ・ お預かりしました個人情報は、データ入力作業のために預託することがあります。その際には十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって保護水準を守るように定め、適切に取り扱います。
- ・ お預かりしました個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、調査委託先(nago_keikaku@murc.jp)までお願い申し上げます。

問 1 貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご回答者氏名	
電話番号	

問 2 該当するサービス種別をご回答ください。(1つに○)

1. 住宅型有料老人ホーム	6. 介護老人保健施設
2. 軽費老人ホーム(特定施設除く)	7. 介護医療院
3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	8. 特別養護老人ホーム
4. グループホーム	9. 地域密着型特別養護老人ホーム
5. 特定施設	

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

※「1. 住宅型有料老人ホーム」及び「3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)」のどちらも該当する場合は、「3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)」に○を付けてください。

問 3 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	
2) 定員数など	(人/戸/室)
3) 入所・入居者数	人
4) (貴施設等の) 待機者数	人
5) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	人

※「2)定員数などは、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

※5)は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問 4 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。(人数を記入)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中・不明	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問 5 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。

(あてはまるものすべてに○)

※1人でも受け入れが可能であれば、○をご記入ください。

1) 点滴の管理		8) 疼痛の看護	
2) 中心静脈栄養		9) 経管栄養	
3) 透析		10) モニター測定	
4) ストーマの処置		11) 褥瘡の処置	
5) 酸素療法		12) カテーテル	
6) レスビレーター		13) 喀痰吸引	
7) 気管切開の処置		14) インスリン注射	
		15) 上記に対応可能な医療処置はない	

問 6 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。

(人数を記入)

問 5 の医療処置を受けている入所・入居者の合計(実人数)	人
-------------------------------	---

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問7 過去1年間(令和6年10月1日～令和7年9月30日)に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。(人数を記入)

※貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めなくてください。

新規の入所・入居者数(合計★)

人

問8 問7の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。(人数を記入)

※「合計★」と、問7「新規の入所・入居者数(合計★)」が一致することをご確認ください。

※一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「12」病院)を選択してください。

※「1」自宅)に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

合計人数が一致することをご確認ください

	豊田市内	豊田市外
1) 自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	人	人
2) 住宅型有料老人ホーム	人	人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	人	人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	人	人
5) グループホーム	人	人
6) 特定施設	人	人
7) 地域密着型特定施設	人	人
8) 介護老人保健施設	人	人
9) 介護医療院	人	人
10) 特別養護老人ホーム	人	人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12) 病院・診療所(一時的な入院を除く)	人	人
13) その他	人	人
14) 入所・入居する前の居場所を把握していない	人	人
合計★	人	人

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問9 過去1年間(令和6年10月1日～令和7年9月30日)に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。(人数を記入)

※一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方(貴施設等との契約が継続している方)は含めなくてください。

※「死亡」には、「貴施設等で亡くなった方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含まれます。

退去者数(合計A) ※死亡を含む

人

問10 問9の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。(人数を記入)

※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご記入ください。

※病院等への搬送後に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。

※「合計B」と、問9の退去者数(合計A)が一致することをご確認ください。

自立	①退去者					合計B ※①②の合計
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	
人	人	人	人	人	人	人

問11 問9でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。(人数を記入)

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する先行にカウントしてください。

※「合計C」と、問9の退去者数(合計A)、「問10の「合計B」が一致することをご確認ください。

合計人数が一致することをご確認ください

	豊田市内	豊田市外
1) 自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	人	人
2) 住宅型有料老人ホーム	人	人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	人	人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	人	人
5) グループホーム	人	人
6) 特定施設	人	人
7) 地域密着型特定施設	人	人
8) 介護老人保健施設	人	人
9) 介護医療院	人	人
10) 病院・診療所(上記「9」を除く) ※一時的な入院は含みません。	人	人
11) 特別養護老人ホーム	人	人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
13) その他	人	人
14) 行先を把握していない	人	人
15) 死亡(※搬送先での死亡を含む)	人	人
合計C	人	人

問 1 2 貴施設等の入所・入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを 3 つまで選択してください。(3 つまで○)

※死亡した方は除く、退去者についてお答えください。

	3 つまで○
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	
3) 認知症の症状が悪化したから	
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	
8) 費用負担が重くなったから	
9) 本人が希望したから	
10) その他	

問 1 3 貴事業所で入所・入居者が退去するのはどのような場合が多いですか。問 1 2 でご回答いただいた理由のうち、具体的な事例についてお答えください。(自由回答)

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、

令和 7 年 1 0 月 2 7 日 (月) までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市介護人材・高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市 福祉部 介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
豊田市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和8年度に行う予定です。

この調査は、介護人材の確保と定着を目的として実施いたします。ご回答内容は、広く高齢者保健福祉・介護保険事業の推進に活用させていただくほか、個人が識別されない形で公表する場合があります。

ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

豊田市長 太田 稔彦

<ご回答に当たってのお願い>

- 事業所宛にご送付している調査票と重複している設問もございますが、ご回答いただきますよう、お願いいたします。
- 令和7年10月1日現在の内容でご回答ください。
- ご記入いただいた内容は、統計的に処理します。また、自由回答は調査対象団体が特定できないように留意して報告書にとりまとめます。
- ご記入後、**同封の返信用封筒に入れ11月20日(木)までに郵便ポストに投函**してください（切手は不要です）。

【お問合せ先】 豊田市 福祉部 介護保険課 計画推進担当

電話：0565-34-6634

調査委託先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究開発第2部（名古屋）
名古屋市中区錦 3-21-24 E-mail: nago_keikaku@murc.jp 担当：小澤、岩室

■ 個人情報等の扱いにつきまして

- ・お預かりする個人情報は、調査委託先である三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の「個人情報保護方針」(http://www.murc.jp/corporate/privacy)及び「個人情報の取り扱いについて」(http://www.murc.jp/privacy/)に従って適切に取り扱います。
- ・皆様からいただいたご回答は、統計的に処理します。また、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはありません。
- ・お預かりしました個人情報は、データ入力作業のために預託することがあります。その際には十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって保護水準を守るように定め、適切に取り扱います。
- ・お預かりしました個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、調査委託先(nago_keikaku@murc.jp)までお願い申し上げます。

運営について

問5 次のサービス（予防サービス・総合事業を含む）について、貴法人による「豊田市内」での、提供状況、拡大等の意向について、A Bそれぞれお答えください。（あてはまるものすべてに○）

	A.提供しているサービス	B.拡大・新たに実施したいサービス
① 特になし	1	1
② 居宅介護支援	2	2
③ 訪問介護	3	3
④ 訪問入浴介護	4	4
⑤ 訪問看護	5	5
⑥ 訪問リハビリテーション	6	6
⑦ 居宅療養管理指導	7	7
⑧ 通所介護	8	8
⑨ 通所リハビリテーション	9	9
⑩ 短期入所生活介護	10	10
⑪ 短期入所療養介護	11	11
⑫ 特定施設入居者生活介護	12	12
⑬ 福祉用具貸与	13	13
⑭ 特定福祉用具販売	14	14
⑮ 地域密着型通所介護	15	15
⑯ 認知症対応型通所介護	16	16
⑰ 夜間対応型訪問介護	17	17
⑱ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18	18
⑲ 小規模多機能型居宅介護	19	19
⑳ 看護小規模多機能型居宅介護	20	20
㉑ 認知症対応型共同生活介護	21	21
㉒ 地域密着型特定施設入居者生活介護	22	22
㉓ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	23	23
㉔ 介護老人福祉施設	24	24
㉕ 介護老人保健施設	25	25
㉖ 介護医療院	26	26

貴法人について

問1 宛名の事業所名とご回答者名等をご記入ください。

貴法人名	
ご回答者名	
お電話番号	

問2 経営主体の本部・本社の所在地は、どちらですか。（○は1つ）

1. 豊田市内	2. 豊田市内（事業所は市内、経営主体は市外）
---------	-------------------------

問3 経営主体の組織形態として、あてはまるものはどれですか。（○は1つ）

1. 株式会社などの民間企業	2. 社会福祉法人
3. 医療法人	4. 社団・財団などの法人
5. 特定非営利活動法人（NPO）	6. 生活協同組合・農業協同組合
7. その他	

問4 貴法人において「豊田市内」の事業所で、介護保険サービスに従事する従業員数の合計は何人ですか。（○は1つ）

- * 令和7年10月1日時点
- * 事務職員等を含めて直接雇用している人数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。
- * 住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、総合事業も含めてください。

1. 1~4人	2. 5~9人	3. 10~19人	4. 20~49人
5. 50~99人	6. 100人以上		

貴法人の介護職員について

問6 「豊田市内」で介護保険サービス以外にどのような事業を提供していますか。また、拡大等の意向がありますか。A B それぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

	A. 提供しているサービス	B. 拡大・新たに実施したいサービス
① 特になし	1	1
② 介護保険外のホームヘルプ・家事支援サービス	2	2
③ 介護保険外のデイサービス・お泊りデイ	3	3
④ 在宅医療 (病院、診療所、医療保険の訪問看護等)	4	4
⑤ 障がい者支援事業	5	5
⑥ サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム等の運営	6	6
⑦ 配食・給食	7	7
⑧ 移動、外出支援サービス (旅行支援を含む)	8	8
⑨ 理美容関連	9	9
⑩ 健康・介護予防関連 (マッサージ、リハビリ、指導等)	10	10
⑪ 安全 (安否確認、見守り、相談等)	11	11
⑫ 趣味・文化関連 (カルチャースクール、レク・スポーツ支援等)	12	12
⑬ その他 ()	13	13

問7 貴法人において、人材不足で現在のサービス提供の維持が難しいとお考えの職種はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 経営者・管理職	2. 介護職	3. 看護職
4. リハ職	5. 事務職	6. ケアマネジャー
7. その他 ()	8. 特になし	

ここからは、介護保険サービスに従事する介護職員について、うかがいます。

* 看護職員が介護職員の業務を兼務している場合も人数に含めてください。

* 介護職員の配置基準に入れるすべての職員の実人数をカウントしてください。なお、非常勤職員も1人としてカウントしてください。

問8 「豊田市内」の事業所の従業員数、採用者数、離職者数をお教えてください。(数字を記入)

* 0人の場合、0とご記入ください。

* 非常勤職員は、当該事業所における勤務時間が、「当該事業所において定められている常勤の従業員が勤務すべき時間数」に達していない人としてご記入ください。

○従業員数 (介護職員)

	常勤職員	非常勤職員
令和5年10月1日	人	人
令和6年10月1日	人	人
令和7年10月1日	人	人

○採用者数 (介護職員)

	常勤職員	非常勤職員
令和5年10月1日～ 令和6年9月30日	人	人
令和6年10月1日～ 令和7年9月30日	人	人

○離職者数 (介護職員)

	常勤職員	非常勤職員
令和5年10月1日～ 令和6年9月30日	人	人
令和6年10月1日～ 令和7年9月30日	人	人

問9 「介護職員」の採用のためのような取組をしていますか。また、効果があったと感じている取組はどれですか。A～Dそれぞれお答えください。（あてはまるものすべてに○）

	A.行っている取組	採用につながった取組		
		B.新卒採用(正規職員)	C.中途採用(正規職員)	D.非正規職員
① 自社の説明会・HP				
② ハローワーク				
③ 有料職業紹介				
④ 求人サイト・情報誌				
⑤ 就職セミナー、採用説明会				
⑥ 福祉人材センターなど県や市の事業				
⑦ 学校や介護実習等のPR				
⑧ 職員の口コミ				
⑨ スポットワーク				
⑩ 職場見学・体験				
⑪ その他 ()				
⑫ 近年、募集していない				

問10 貴法人での介護職員（豊田市内）の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。（○は3つまで）

* 本来の理由として、ご担当者がお感じになっていることも含めて、ご回答ください。

1. 職場の人間関係	2. 腰痛など身体的負担
3. 勤務形態（夜勤・土日勤務・休暇の少なさ）	4. 収入面
5. 家庭の事情（出産・介護・転居など）	6. ケアや支援の提供方針
7. 利用者や利用者家族とのトラブル	8. 高齢のため
9. その他 ()	10. 近年、退職者はいない

問11 介護職員の採用や職場定着のためにどのような取組をしていますか。また、採用と職場定着に効果があったと感じている取組はどれですか。ABC それぞれお答えください。（あてはまるものすべてに○）

	A.行っている取組	B.採用に効果があった取組	C.職場定着に効果があった取組
① 賃金水準の向上			
② 時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進			
③ 柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進			
④ 人間関係が良好な職場づくり			
⑤ 研修の充実やキャリアアップの支援			
⑥ 介護ロボット・ICT 機器の導入			
⑦ 能力や仕事を評価し、賃金等に反映			
⑧ 管理者やリーダー層のマネジメント能力の向上支援			
⑨ その他 ()			
⑩ 特に取り組んでいない			

問12 人材確保に関して豊田市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（○は3つまで）

* この質問の介護人材は、介護職員・看護職員・その他職員を対象とします。

1. 介護の魅力発信や啓発
2. 介護人材の育成に関する支援
3. 介護人材の採用に関する支援
4. 介護人材の定着に関する支援
5. 生産性向上に向けた業務改善の支援
6. 外国人介護人材の受入支援
7. その他
8. 特にない

具体的に

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。
 同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
 令和7年11月20日（木）までに、郵便ポストへご投函ください。

豊田市介護人材・高齢者福祉に関するアンケート調査

～ 豊田市 福祉部 介護保険課からのアンケート調査のお願い ～

日頃から高齢者福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

豊田市では、令和9年度から11年度までの高齢者福祉や介護保険の方向性を定める「第10期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を令和8年度に行う予定です。

この調査は、介護人材の確保と定着を目的として実施いたします。ご回答内容は、広く高齢者保健福祉・介護保険事業の推進に活用させていただきますが、個人が識別されない形で公表する場合があります。

ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

豊田市長 太田 稔彦

＜ご回答に当たってのお願い＞

- 管理者の方にご回答をお願いしております。
- 令和7年10月1日現在の内容でご回答ください。
- このアンケートは市内の介護保険サービス事業所、住宅型有料老人ホーム、ケアハウスにお送りしています。事業所単位でご回答をお願いします。
- 居宅介護支援事業、居住系・施設系の事業者様におかれましては、先日、ケアマネジメントや居所変更に関するアンケートをお送りしております。お手数をおかけいたしますが、そちらにつきましてもご協力をお願いします。
- ご記入いただいた内容は、統計的に処理します。また、自由回答は調査対象団体が特定できないように留意して報告書にとりまとめます。
- ご記入後、**同封の返信用封筒に入れ11月20日(木)までに郵便ポストに投函**してください（切手は不要です）。

【お問合せ先】 豊田市 福祉部 介護保険課 計画推進担当

電話：0565-34-6634

調査委託先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究開発第2部（名古屋）
名古屋市中区錦 3-21-24 E-mail：nago_keikaku@murc.jp 担当：小澤、岩室

■ 個人情報等の扱いにつきまして

- ・お預かりする個人情報は、調査委託先である三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱の「個人情報保護方針」（<http://www.murc.jp/corporate/privacy>）及び「個人情報の取り扱いについて」（<http://www.murc.jp/privacy/>）に従って適切に取り扱います。
- ・皆様からいただきましたご回答は、統計的に処理します。また、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはありません。
- ・お預かりしました個人情報は、データ入力作業のために預託することがあります。その際には十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって保護水準を守るように定め、適切に取り扱います。
- ・お預かりしました個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、調査委託先（nago_keikaku@murc.jp）までお願い申し上げます。

貴事業所について

問1 宛名の事業所名とご回答者名等をご記入ください。

貴事業所名	
ご回答者名	
お電話番号	

問2 組織形態として、あてはまるものはどれですか。(○は1つ)

1. 株式会社などの民間企業	2. 社会福祉法人
3. 医療法人	4. 社団・財団などの法人
5. 特定非営利活動法人 (NPO)	6. 生活協同組合・農業協同組合
7. その他	

問3 貴事業所において、介護保険サービスに従事する従業員数の合計は何人ですか。(○は1つ)

* 令和7年10月1日時点

* 事務職員等を含めて直接雇用している人数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。

1. 1人	2. 2～4人	3. 5～9人	4. 10～19人
5. 20～49人	6. 50～99人	7. 100人以上	

問4 サービスを提供している地域 (あてはまるものすべてに○)

1. 拳母	2. 高橋	3. 上郷	4. 高岡	5. 猿投
6. 松平・下山	7. 藤岡・小原	8. 足助・旭・稲武		

問5 貴事業所が提供するサービス (宛名に記載のサービスに○を1つ)

1. 訪問介護 (総合事業含む)	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 夜間対応型訪問介護	6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
7. 小規模多機能型居宅介護	8. 看護小規模多機能型居宅介護
9. 通所介護 (総合事業含む)	10. 地域密着型通所介護 (総合事業含む)
11. 認知症対応型通所介護	12. 通所リハビリテーション
13. 短期入所生活介護	14. 短期入所療養介護
15. 認知症対応型共同生活介護	16. 特定施設入居者生活介護
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	18. 介護老人福祉施設
19. 介護老人保健施設	20. 介護医療院
21. 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅	22. 軽費老人ホーム
23. 居宅介護支援	

※問5で「1. 訪問介護 (総合事業を含む)」をお答えの方にお尋ねします。

問6 訪問介護サービスにおける、「住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」の割合についてお教えてください。(0～100の整数を記入してください。)

・回数ベース

約	割
---	---

※問5で「1. 訪問介護 (総合事業を含む)」をお答えの方にお尋ねします。

問7 ヘルパーの不足状況を時間帯別にお教えてください。(A～Fそれぞれ1つに○)

	不足している	やや不足している	不足していない
A 6時～8時	1	2	3
B 8時～11時	1	2	3
C 11時～14時	1	2	3
D 14時～18時	1	2	3
E 18時～22時	1	2	3
F 22時～翌朝6時	1	2	3

貴事業所の運営について

問8 貴事業所の職場環境は、魅力があると思いますか。(A～Iそれぞれ1つに○)

* ご回答者の考えで結構です。

	1. 介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある	2. 介護業界では魅力がある	3. あまり魅力がない
A 仕事の内容・やりがい	1	2	3
B 有給休暇の取りやすさ	1	2	3
C 柔軟な働き方(ワークライフバランス)	1	2	3
D 人事評価	1	2	3
E 賃金水準	1	2	3
F 職場の人間関係	1	2	3
G 施設・設備	1	2	3
H スキルアップ・キャリアアップ	1	2	3
I 心身の負担感	1	2	3

問9 貴事業所の運営にあたり、特にどのようなことが課題となっていますか。(○は3つまで)

1. 職員の採用	2. 職員の育成
3. 職員の定着	4. サービスの質の向上
5. 利用者の確保	6. 処遇困難者やトラブルの対応
7. 施設や設備の改善	8. 経営改善
9. 労務管理や人事制度の改善	10. 様々な機関との連携
11. その他 ()	
12. 特にない	

人材の確保について

問10 現在の貴事業所の稼働状況はいかがですか。(○は1つ)

1. 人員体制は整っているが、利用ニーズが少ない(稼働に余裕がある)
2. サービス需要とサービス提供量のバランスが取れている
3. 人員が不足していて、受け入れ数を制限せざるを得ない

※問10で「3.人員が不足していて、受け入れ数を制限せざるを得ない」とお答えの方にお尋ねします。

問11 現状の貴事業所の人員に追加で何名採用できるとサービス需要と供給のバランスがとれると思いますか。(数字を記入)

*「0人」の場合は「0」をご記入ください。

介護職員	人
看護職員	人
その他 ()	人

問12 人材確保に関して豊田市に期待するサポートがあれば、ご回答ください(○は3つまで)

* 介護人材は、問11と同様に、介護職員・看護職員・その他の職員を対象とします。

1. 介護の魅力発信や啓発
2. 介護人材*の育成に関する支援
3. 介護人材の採用に関する支援
4. 介護人材の定着に関する支援
5. 生産性向上に向けた業務改善の支援
6. 外国人介護人材に関する支援
7. その他
8. 特にない

具体的に(法人アンケートでご記載の場合、ご記入は不要です)

介護人材の確保について

問 13～問 18 は、介護職員が配置されていない場合、回答不要です。
(看護職員が介護職員の業務を兼務している場合はご回答ください。)

問13 介護職員の定着のために、どのようなことを行っていますか。また、どのようなことに効果を感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

	A.行っている	B.効果がある
① 賃金水準の向上		
② 時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進		
③ 柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進		
④ 人間関係が良好な職場づくり		
⑤ 研修の充実やキャリアアップの支援		
⑥ 介護ロボット・ICT 機器の導入		
⑦ 能力や仕事を評価し、賃金等に反映		
⑧ 管理者やリーダー層のマネジメント能力の向上支援		
⑨ その他 ()		
⑩ 特に取り組んでいない		

問14 貴事業所における介護職員の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。(○は3つまで)

* 本来の理由として、ご担当者がお感じになっっていることも含めて、ご回答ください。

1. 職場の人間関係	2. 腰痛など身体的負担
3. 勤務形態（夜勤・土日勤務・休暇の少なさ）	4. 収入面
5. 家庭の事情（出産・介護・転居など）	6. ケアや支援の提供方針
7. 利用者や利用者家族とのトラブル	8. 高齢のため
9. その他 ()	10. 近年、退職者はいない

問15 介護職員の人数を、ご記入ください。(数字を記入)

- * 令和7年10月1日時点
- * 前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含まないでください。
- * 「0人」の場合は「0」をご記入ください。

総数		
介護職員	人	うち非常勤職員
	人	人

うち外国人職員数 人

*「うち外国人職員数」には、EPA、技能実習、特定技能、在留資格「介護」により勤務している人数をご記入ください。

うち派遣職員数 人

問16 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(1つに○)

1. はい ⇒問 17へ
2. いいえ ⇒問 18へ

令和7年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

問17 過去1年間の「介護」職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。(数字を記入)

- * 令和6年10月1日～令和7年9月30日の1年間
- * 外国人職員（すべての在留資格）も含めてご回答ください。
- * 「0人」の場合は「0」をご記入ください。

	採用者数	離職者数
常勤職員	人	人
非常勤職員	人	人

豊田市高齢者等実態調査結果報告書

発行年月 令和8年3月
編集・発行 豊田市 福祉部 介護保険課
〒471-8501 豊田市西町三丁目 60 番地
電話 0565-34-6634 (直通)
